

Canon

PUB. DIJ-0424-001

HD ビデオカメラ

XF205

使用説明書



はじめに

準備

撮影

カスタマイズ

再生

接続

ネットワーク

静止画

メニュー

その他



MXF

MP4

HDMI

WiFi
CERTIFIED

本機の特長

XF205は、1/2.84型の単板CMOSセンサーを搭載。有効画素数約291万画素（2136×1362）のフルピクセルHD収録に対応し、記録メディアにコンパクトフラッシュとSDカードを採用した、高画質で機動性に優れるHDビデオカメラです。

高画質HD記録システム

291万画素、1/2.84型 単板CMOSと、高画質映像エンジン「DIGIC DV 4」を搭載

有効画素数が約291万画素のHD CMOS PROイメージセンサーと映像エンジン「DIGIC DV 4」を搭載。光学20倍 ワイドアングルレンズ（広角26.8 mm、F1.8）との組み合わせで、中心解像度900TV本を実現しました。独自の高感度／低ノイズ技術により、低照度下でもノイズの少ない撮影が可能です。

MXFとMP4のマルチフォーマットに対応

MPEG-2 Long GOP 4:2:2 50 Mbpsコーデックを、業界標準であるMXF (Material eXchange Format) フォーマットで記録するMXFファイル形式と、MPEG-4 AVC/H.264コーデックで記録するMP4ファイル形式に対応。ワークフローに応じて使い分けることができます。

さまざまな記録信号形式に対応 (□ 56)

MXF形式の動画は、解像度（1920×1080、1440×1080、1280×720）、フレームレート（59.94i、29.97P、23.98P、59.94P）と3種類のビットレートの組み合わせにより、全16種類の信号形式で記録可能。音声は、リニアPCM（16ビット、48 kHz）の4チャンネルで記録できます。MP4形式の動画は、解像度（1920×1080、1280×720、640×360）、フレームレート（59.94P、29.97P、23.98P）と5種類のビットレートの組み合わせにより、全8種類の信号形式で映像を記録できます。

優れた操作性と汎用性

プロの操作性を追求した撮影操作系

フォーカス、ズーム、アイリスの3本のレンズリングを独立して操作可能。また、グリップは最大

120°まで回転できます。ゲイン、シャッター、アイリスなどのカメラ設定は、オートとマニュアルをワンアクションで切り換え可能。レンズフードはバリア付きでレンズの汚れ防止に役立ちます。

3.5型の高精細123万ドット相当の有機ELモニターと、広視野角チルト式ファインダー

色再現性やコントラスト、応答速度が高い高精細有機ELモニターを搭載。屋外撮影でも快適です。ファインダーは、広視野角（約28.2°）で、0.45型123万ドット相当の高精細液晶を搭載。68°までチルト可能なため、制限された撮影現場にも柔軟に対応できます。

CFカードにMXF動画*1を、SDカードにMP4動画*2を記録可能

記録メディアには汎用性の高いコンパクトフラッシュ（CF）カードとSDカードを採用。MXF動画は、2つのCFカードスロットに連続／同時記録できます。また、MXF動画記録中にMP4動画を同時に記録することもできます。

*1 MXF形式の動画。 *2 MP4形式の動画。

XF UtilityとXF PluginによるNLEとの連携

MXF動画は、XF Utilityで再生・管理可能。また、XF Pluginを使用すれば、ノンリニア編集システム*への取り込みも簡単です。MP4動画は、付属のData Import Utilityを使ってパソコンに取り込み可能です。

* 取り込み可能なソフトウェアについては179ページをご覧ください。

リモートコントローラー RC-V100(別売)に対応

別売のリモートコントローラー RC-V100を接続して、リモート撮影可能。アイリス、ゲインなどのカメラ設定だけでなく、階調やシャープネスなどの画質設定も遠隔で調整できます。

制作意図に応える多彩な表現力

さまざまな映像表現が可能な特殊記録機能 (□ 125) MXF動画では、撮影フレームレートを変更することにより、最低1/2.5倍速のスローモーション(オーバークランク)撮影や最高5倍速のファーストモーション(アンダークランク)撮影が可能。インターバル記録で、自然観察などの長時間の変化を間欠的に収録したり、設定したフレーム数だけを記録するフレーム記録でクレイアニメーションを制作したりすることもできます。

高度な画づくりを実現するカスタムピクチャー (□ 141)

ガンマやカラーマトリクス調整などの画質調整が可能。制作意図に応じた自由な画づくりが実現できます。

業務用途に対応する柔軟性と拡張性

有線LAN / Wi-Fiによるネットワーク機能

本機をネットワークに接続すれば、ネットワーク機器からリモート撮影する「ブラウザーリモート」(□ 198)や、モバイル機器に速報用映像を記録する「リアルタイムプロキシ転送」(□ 205)、撮影映像を転送する「FTPファイル転送」(□ 207)、本機内のMP4映像をネットワーク機器で再生/保存する「ブラウザープレビュー」(□ 214)を使用できます。また、「IPストリーミング」を使うと、本機のライブ映像を、対応する映像伝送装置のデコーダーにストリーミング送信することもできます (□ 211)。

充実した映像出力端子と外部同期用端子を搭載

3G/HD-SDI端子からは、記録信号形式に対応する映像信号に音声/タイムコードを重畳して、外部記録用のHD映像として出力可能。MON端子はモニタリング用で画面表示を重畳できます。HDMI OUT端子からは、1080/60P映像やタイムコードを出力可能。TIME CODE入出力端子やGENLOCK/SYNC OUT端子を使用すれば、外部機器と本機を同期させることができます。

赤外線撮影 (Infrared)で低照度でも明るく撮影

ワンタッチで赤外線撮影モードに切り換えると、近赤外線への感度が向上し、暗い場所でも明るく撮影可能。赤外線ライトを使えば、より明るく撮影できます。

使いやすさを向上させるさまざまな機能

- 画面を見ながらカメラ設定が可能な、カメラダイレクト設定 (□ 58)。
- 波形モニター、ベクトルスコープ、エッジモニター(フォーカスのアシスト機能)を搭載 (□ 114)。
- 撮影をアシストする、ピーキング、拡大、マーカー、ゼブラパターンなどの表示機能。
- 13個のアサインボタンに良く使う機能を割り当てて、好みの操作性をカスタマイズ可能 (□ 138)。
- よく使う項目をあらかじめ登録して、素早くアクセスできるマイメニュー (□ 29)。
- 操作性や機能を好みに変更できるカスタムファンクション (□ 151)と、画面の表示項目を選べるカスタムディスプレイ (□ 52、233)。
- メニュー設定やカスタムピクチャー設定は、SDカードに保存/読み出しでき、複数のXF205と設定を共有可能 (□ 152)。
- 残量の目安や寿命(劣化度)を確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリー。
- 電源ONのままバッテリー交換を可能にする、DC IN端子。
- ファンタム電源共有(+48V)に対応した音声入力用INPUT端子 (□ 105)。
- 防振構造を採用した外部マイクホルダーと外部マイク用ケーブルクランプ。
- MXF動画には、カメラ本体やNLE、サーバーでの簡単検索を実現するさまざまなメタデータを記録可能 (□ 118)。GPSレシーバー GP-E2 (別売)を接続すれば、GPS情報も記録でき、XF Utilityで検索に使用できません (□ 121)。
- カラーバー、テストトーンの出力/記録。

Contents

本機の特長	2
本書の読みかた	9

はじめに

商品を確認する	12
各部の名称	13
本体の名称	13
リモコン WL-D6000(□45)の名称	20

準備

電源を準備する	22
バッテリーを使う	22
コンセントにつないで使う	24
電源を入れる／切る	25
日時を設定する	26
日付と時刻を設定する	26
撮影中に日時を表示する	26
メニューで設定を変える	27
メニュー操作の基本	27
マイメニューを使う	29
カメラを準備する	31
マイクホルダーを取り付ける	31
レンズフードを取り付ける	31
ファインダーを使う	32
有機ELモニターを使う	33
有機ELモニター／ファインダーを調整する	33
グリップを使う	35
ショルダーストラップを取り付ける	36

端子カバーを取り外す／取り付ける	36
本体を三脚に取り付ける	37
記録メディアを準備する	38
使用可能なメモリーカード	38
CFカードを入れる	39
CFカードを取り出す	40
SDカードを入れる／出す	41
初期化する	42
MXF動画の記録／再生に使用するCFカード スロットを切り換える	43
CFカードスロット記録方式を選ぶ	43
CFカード／SDカードの記録可能時間を確認する... ..	44
メモリーカードを修復する	44
リモート撮影の準備をする	45
リモコン (付属)を使う	45
リモートコントローラー RC-V100(別売)を使う	46

撮 影

動画を撮影する	48
準備する	48
撮影する	48
ブラウザーリモートで撮影する	51
撮影時の画面表示	52
パワーセーブモードで待機する	54
冷却ファンの動作方法を選ぶ	55
映像の信号形式を選ぶ	56
カメラダイレクト設定を使う	58
カメラダイレクト設定の基本操作	58
シャッタースピードを調整する	59
設定可能なシャッタースピード	60
オートで調整する	61
マニュアルで調整する	62

フリッカーを抑える.....	64	タイムコードを設定する.....	97
ゲインを調整する.....	65	カウントアップ方式を選ぶ.....	97
設定可能な値.....	65	ドロップフレーム／ノンドロップフレームを	
GAIN(ゲイン)スイッチを切り換える.....	65	切り換える.....	98
オートで調整する.....	66	タイムコードを保持する(タイムコード	
マニュアルで調整する.....	67	ホールド).....	99
アイリスを調整する.....	69	ユーザービットを設定する.....	100
設定可能な値.....	69	任意の16進数を設定する.....	100
オートで調整する.....	69	時刻または日付を設定する.....	100
マニュアルで調整する.....	70	外部機器と同期をとる.....	101
NDフィルターを使う.....	72	接続のしかた.....	101
露出を調整する(AEシフト).....	73	外部のリファレンスビデオ信号に同期する	
測光方式を設定する.....	73	(GENLOCK).....	101
ホワイトバランスを調整する.....	74	外部のタイムコード信号に同期する	
オートホワイトバランス(AWB)で調整する.....	75	(タイムコード入力).....	102
プリセット設定／色温度設定で調整する.....	76	リファレンスビデオ信号を出力する.....	103
ホワイトバランスセットで調整する.....	78	タイムコードを出力する.....	104
ズームを操作する.....	80	音声を記録する.....	105
ズームのモードを選ぶ.....	80	記録音声と必要な設定.....	105
ズームリングで操作する.....	81	記録チャンネル数を選ぶ.....	106
ズームロッカーまたはリモコンで操作する.....	81	外部マイク／外部ライン入力機器を本機に接続	
ブラウザーリモートで操作する.....	84	する.....	107
ズームの開始／終了時の動作を滑らかにする		内蔵マイク／外部マイク(MIC端子)の音声を	
(ソフトズームコントロール).....	85	選択する.....	108
別売のコンバージョンレンズを使う.....	85	外部マイク(INPUT端子)／外部ライン入力	
フォーカスを調整する.....	86	(INPUT端子)の音声を選択する.....	109
オートフォーカス(AF)で調整する.....	86	録音レベルを調整する.....	110
マニュアルフォーカスで調整する.....	88	ヘッドホンでモニターする.....	112
PUSH AF(プッシュ AF)で調整する.....	90	カラーバー／テストトーンを記録する.....	113
顔を検出してフォーカスを合わせる(顔検出AF)...	91	カラーバーを記録する.....	113
フォーカスリミットとマクロ撮影.....	92	テストトーンを記録する.....	113
手ブレ補正を使う.....	93	波形モニターを表示する.....	114
マーカ―／ゼブラパターンを表示する.....	94	モニター表示を選ぶ.....	114
マーカ―を表示する.....	94	波形モニター(Waveform Monitor)のタイプを	
ゼブラパターンを表示する.....	95	選ぶ.....	114
		ベクトルスコープ(Vectorscope)のタイプを選ぶ... 115	
		エッジモニター(Edge Monitor)のタイプを選ぶ... 115	

ショットマークを付加する	116
撮影中にショットマークを付加する.....	116
OKマーク/チェックマークを付加する.....	117
撮影中にOKマーク/チェックマークを 付加する.....	117
メタデータを操作する	118
XF Utilityを使ってユーザーメモを設定する.....	118
ブラウザーリモートでユーザーメモ/ GPS情報 を設定する	119
GPS情報を記録する.....	121
GPSレシーバーを接続する.....	121
GPSを有効にする	121
レックレビューで確認する.....	123
ファイル番号をリセットする	124
特殊記録を行う.....	125
インターバル記録を行う.....	125
フレーム記録を行う.....	126
スロー & ファーストモーション記録を行う	128
プレ記録を行う	130
MXF動画とMP4動画を同時に記録する.....	131
赤外線撮影 (INFRARED)を行う	134
焦点距離ガイドを使う	136

カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する	138
機能を変更する	140
アサインボタンに割り当てた機能を使う	140
ブラウザーリモートで操作する.....	140
カスタムピクチャーを使用する.....	141
カスタムピクチャーファイルを選ぶ.....	142
カスタムピクチャーファイルを登録する.....	143
カスタムピクチャーファイルをコピーする.....	144
カスタムピクチャーファイルをクリップと一緒に 保存する.....	145
カスタムピクチャーの設定項目	146
機能や表示をカスタマイズする.....	151
カスタムファンクションで設定できる項目.....	151
カスタムディスプレイで設定できる項目.....	151
設定データの保存と読み出し.....	152
設定データをSDカードに保存する	152
設定データをSDカードから読み込む	152

再生

クリップを再生する.....	154
MXFインデックス画面/ MP4インデックス画面 ...	154
再生する	156
クリップを操作する.....	159
クリップメニュー一覧	159
クリップメニューで操作する	160
クリップの詳細情報を表示する	161
OKマーク/チェックマークを付加する	162
OKマーク/チェックマークを消去する	163
クリップをコピーする	164
クリップを消去する.....	165
クリップに付加されているユーザーメモ/ GPS情報を消去する.....	166
カスタムピクチャーファイルをコピーする	166
ショットマークインデックス画面を表示する.....	167
エクスパンドクリップインデックス画面を表示 する	168
ショットマークを付加/消去する	169
クリップの代表画を設定する	170

接 続

出力信号形式	172
外部モニターを接続する	173
接続のしかた.....	173
3G/HD-SDI端子を使用する	174
MON.端子を使用する	174
HDMI OUT端子を使用する.....	175
AV OUT端子を使用する.....	175
SD出力時の表示方式を選ぶ.....	176
出力映像に画面表示を重畳する	176
音声出力を選択する	177
音声出力チャンネルを選ぶ.....	177
映像と音声のタイミングを選ぶ (モニターディレイ)	178
AV OUT端子の音声出力レベルを選ぶ.....	178
クリップをパソコンに保存する.....	179
MXFクリップをパソコンに保存する	179
MP4クリップをパソコンに保存する.....	183

ネットワーク

ネットワークの接続設定をする	186
Wi-Fiで接続する	187
有線LANで接続する	194
ネットワーク接続設定を選ぶ.....	195
ネットワーク接続設定を変更する	196
ネットワーク機器でリモート撮影する (ブラウザー リモート)	198
設定する	198
ブラウザーリモートを起動する.....	199
モバイル機器にプロキシ映像を記録する (リアルタイムプロキシ転送)	205

クリップをFTPで転送する (FTPファイル転送).....	207
FTP転送の準備をする	207
撮影直後のMP4クリップを転送する	208
クリップ/静止画を転送する	209
映像をストリーミング送信する (IPストリーミング)	211
ストリーミング送信の準備をする	211
ストリーミング送信を行う	213
Webブラウザーで再生/保存する (ブラウザー プレビュー)	214

静止画

静止画を記録する	218
カメラモードで静止画を記録する	218
記録した動画から静止画を切り取る	219
静止画を再生する	220
静止画インデックス画面を表示する	220
再生する	221
静止画を操作する	222
静止画を消去する	222

メニュー

メニュー一覧.....	224
メニューの階層	224
メニューの設定項目.....	225
カメラ設定メニュー	225
オーディオ設定メニュー	228
ビデオ設定メニュー	230

OLED/VF設定メニュー.....	231
TC/UB設定メニュー.....	235
その他機能メニュー.....	236
マイメニュー.....	244

その他

ステータス画面を表示する.....	246	ビデオカメラ本体.....	268
操作のしかた.....	246	バッテリー.....	268
カメラステータス画面.....	247	メモリーカード.....	269
アサインボタンステータス画面.....	247	充電式内蔵電池.....	270
オーディオステータス画面.....	248	その他のご注意.....	270
メディアステータス画面.....	248	コイン型リチウム電池 (CR2025).....	271
ビデオステータス画面.....	249	日常のお手入れ.....	273
メタデータステータス画面.....	249	ビデオカメラ本体を清掃する.....	273
バッテリー／使用時間ステータス画面.....	250	アクセサリ紹介.....	274
カスタムピクチャステータス画面.....	250	主な仕様.....	275
ネットワーク設定ステータス画面.....	251	XF205本体.....	275
GPS情報表示ステータス画面.....	254	付属品.....	278
トラブルシューティング.....	255	バッテリーの充電時間／使用時間の目安.....	279
電源.....	255	索引.....	281
撮影中.....	255	保証書と修理対応.....	290
再生中.....	256	修理について.....	291
表示やランプ.....	256		
画面や音.....	257		
アクセサリ.....	257		
他機.....	258		
ネットワーク接続.....	259		
エラーメッセージ.....	261		
ネットワーク機能使用時.....	264		
安全上のご注意.....	266		
取り扱い上のご注意.....	268		

本書の読みかた

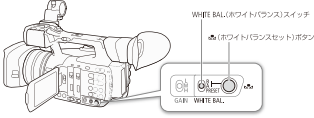
ホワイトバランスを調整する

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

照明や太陽光などの光源の色温度に応じて、ホワイトバランスを設定することができます。調整のしかたには次の4種類があり、WHITE BAL.(ホワイトバランス)スイッチの各ポジション(A, B, PRESET)にそれぞれ設定して、スイッチで切り換えて使用できます。
* WHITE BAL.スイッチのポジションによって、設定できる調整方法が異なります(下表)。

オートホワイトバランス(AWB) 常に適切なホワイトバランスになるように自動調整する。
プリセット設定: [太陽(太陽光)]または[電球]のいずれかを選択。
色温度設定: 2000K ~ 15000Kの範囲で色温度を設定する。
ホワイトバランスセット: 実際に白/黒などを写して設定し、設定値を「セットA」または「セットB」として登録する。

蛍光灯下で撮影するときは、オートホワイトバランスを使うか、ホワイトバランスセットで調整してください。プリセット設定を使うときは、さらに9-9の範囲で微調整することができます。



WHITE BAL.スイッチのポジションと使用できる調整方法

調整方法	WHITE BAL.(ホワイトバランス)スイッチのポジション		
	A	B	PRESET
オートホワイトバランス(AWB)	●	●	●
プリセット設定	-	-	●
色温度設定	-	-	●
ホワイトバランスセット	●	●	-

MEMO ● カスタムピクチャーの「Color Matrix」または「White Balance」を設定しているときは、それらの設定がホワイトバランス設定より優先されます。
● ●の機能メニュー「Custom Functions」>「シャッターレスW」を「入」にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値が自動的に変化します(□ 237)。
● リモートコントローラーRCV100(別売)のAWBボタン、A/Bボタン、PRESETボタン、●ボタンを使って、調整することもできます。

74

オートホワイトバランス(AWB)で調整する

常に適切なホワイトバランスになるように自動で調整します。光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスも自動的に調整し直されます。

1 WHITE BAL.(ホワイトバランス)スイッチをA, B, PRESETのいずれかにする

2 カメラシャッター設定に入り、オートに切り換える

① SETを押す。
② ジョイスティックを左右に押して、設定対象をホワイトバランスモードに切り換える。
③ ジョイスティックを上下に押して、●を選択しSETを押す。
●が現在の色温度が表示される。

ブラウザリモートで設定する

ブラウザリモートを使って、ネットワークに接続した機体からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影(ブラウザリモート)の準備を行っておいてください(□ 186)。

① ホワイトバランスの調整方法を押す。
② 「Auto」を押して、ホワイトバランスモードをオートにする。

MEMO ● オートホワイトバランスでうまくいかないとき
このような条件で撮影する場合、画面の色が不自然なときはS(ホワイトバランスセット)で調整してください。
● 照明条件が急に変化する場所での撮影。
● クローズアップ撮影。
● 空や海、森など色一色しか持たない被写体の撮影。
● 本機が「一部の光源」LED照明での撮影。
● カメラ設定メニュー「White Balance」>「A」、「B」、「PRESET」のいずれかで、ホワイトバランスモードを切り換えることもできます(□ 222)。さらに、アサインボタンにWBモードを割り当てておけば、アサインボタンを押してホワイトバランスモードを切り換えることもできます(□ 138)。

撮影

75

POWER(電源)スイッチの位置を示すマーク

- CAMERA MEDIA CAMERAにする
- CAMERA MEDIA MEDIAにする
- CAMERA MEDIA CAMERAかMEDIAにする

対応する動画形式モード(□ 56)

- MXF MXF+MP4 MP4 MXFモードまたはMXF+MP4モードで使用可能
- MXF MXF+MP4 MP4 MXFモードまたはMP4モードで使用可能

本文中の表記

- 参照ページを示す
- 参考 ▶▶ 参考になるページなどを示す
- 画面 ファインダーまたは有機ELモニターの画面のこと
- SDカード SD / SDHC / SDXCメモリーカードのこと
- メモリーカード CF(コンパクトフラッシュ)カードまたはSDカードのこと。
- カメラモード 動画撮影モードのこと

コラムのマーク

- ! 必ず守っていただきたいこと
- MEMO 知っておいていただきたいこと

次のページに続くことを示すマーク

- メディアモード 再生モードのこと
- アクセスランプ CFカードアクセスランプまたはSDカードアクセスランプのこと。

- 本書で使用している作例写真はスチルカメラで撮影したものです。
- 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

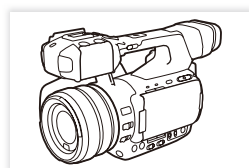


はじめに

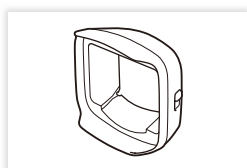
商品を確認する.....	12
各部の名称	13

商品を確認する

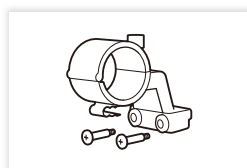
XF205には、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。



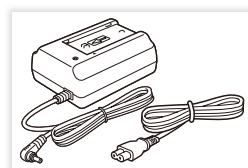
ビデオカメラ本体



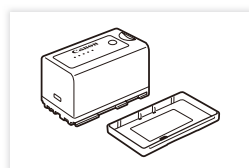
バリア付きレンズフード



マイクホルダー



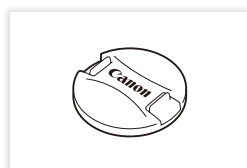
ACアダプター
CA-935



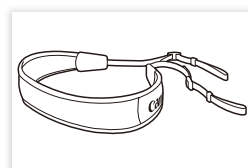
バッテリーパック BP-955



アイカップ



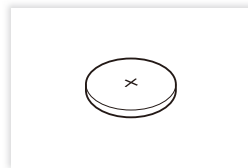
レンズキャップ



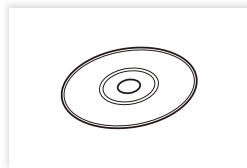
ショルダーストラップ
SS-1200



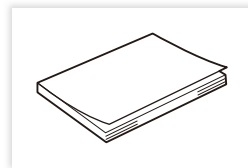
リモコン (ワイヤレスコント
ローラー) WL-D6000



コイン型リチウム電池
CR2025 (リモコン用)



Data Import Utility*



XF205使用説明書 (本書)

* ソフトウェアの説明書 (PDF) はディスク内に入っています。

使う前に知っておいてください

必ずためし撮りをしてください

事前に、MXF動画では50 Mbpsのビットレート (□ 56) で約6分間、MP4動画では35 Mbpsのビットレートで約20分間試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万一、ビデオカメラが正常に動作しないときは、「トラブルシューティング」(□ 255) をご確認ください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラや記録メディアなどの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。

著作権にご注意ください

録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

有機ELモニターやファインダーの画面について

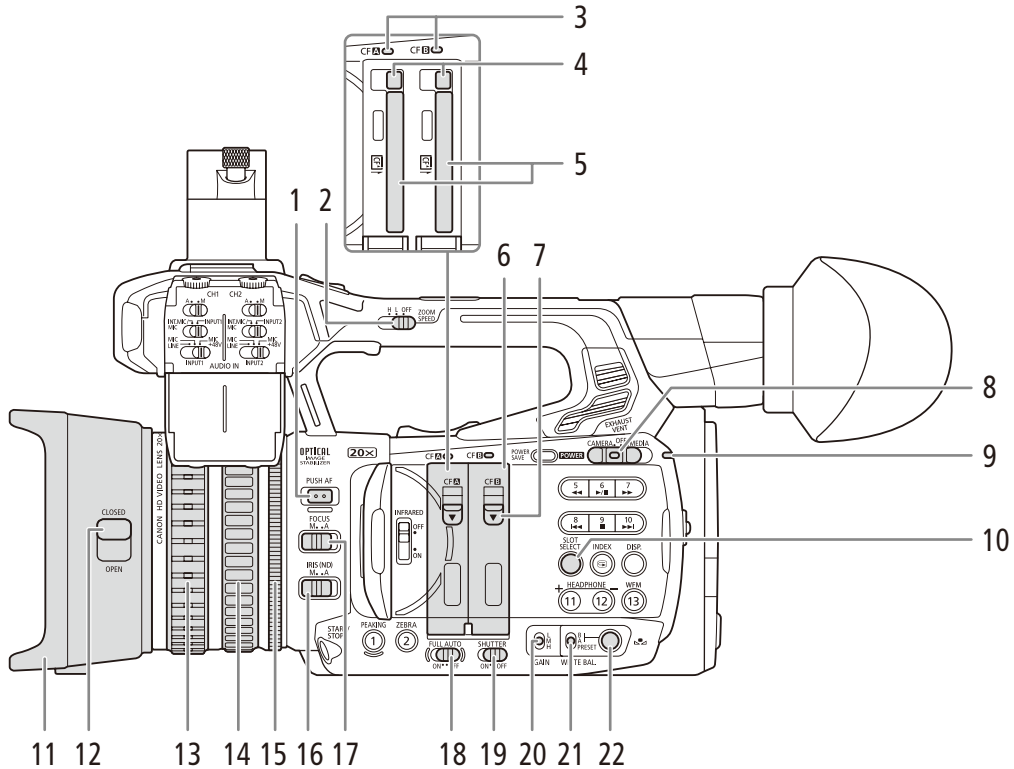
有機ELモニターやファインダーの画面は精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、まれに点灯しない画素や、白い点*が常時点灯する画素が発生することがあります。

* ファインダーの画面のみ。

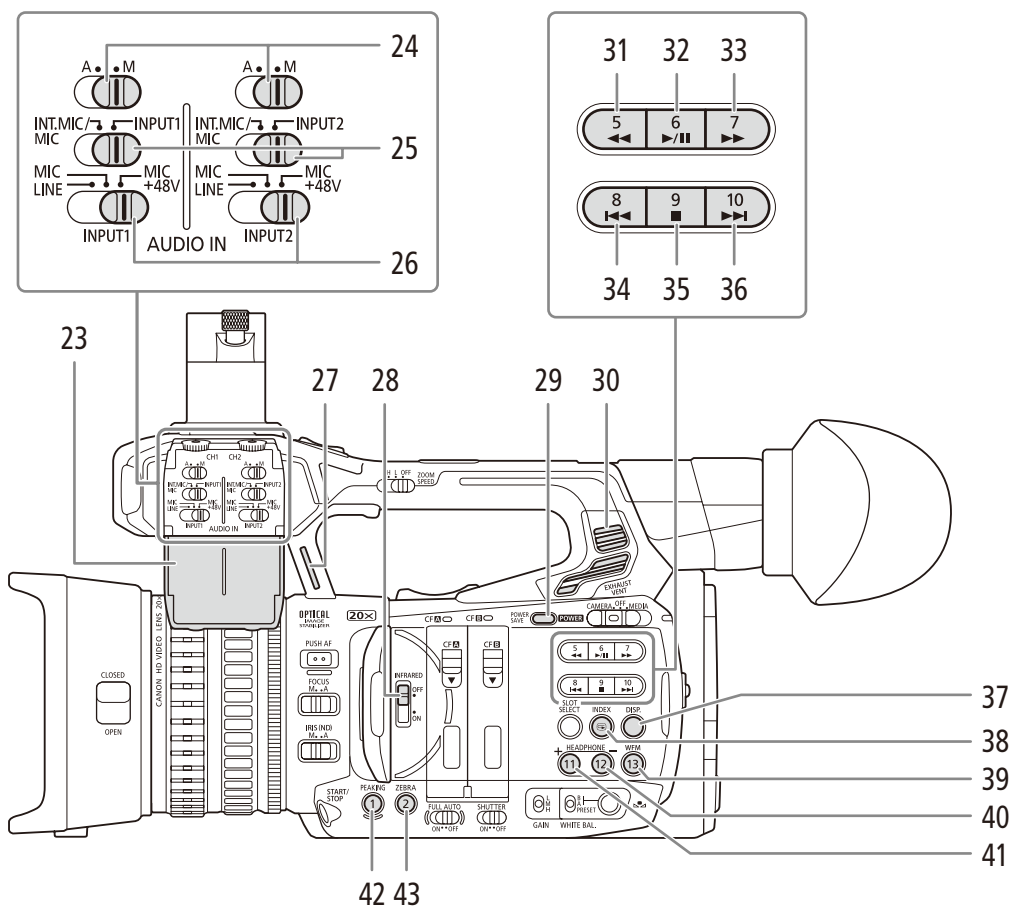
各部の名称

各部の機能と使いかたについては、▶▶に記載されているページをご覧ください。

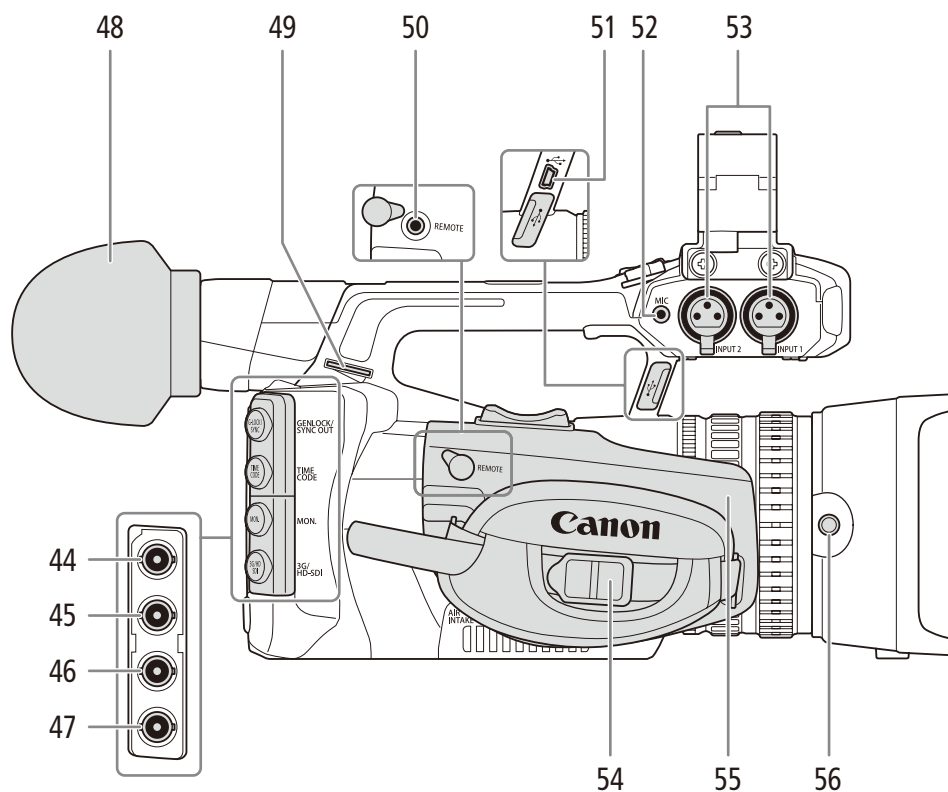
■ 本体の名称



- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1 PUSH AF(プッシュ AF)ボタン ▶▶ 90 | 12 レンズバリヤ開閉レバー ▶▶ 48 |
| 2 ZOOM SPEED(ハンドルズームスピード)切り換えスイッチ ▶▶ 81 | 13 フォーカスリング ▶▶ 88 |
| 3 CFカードアクセスランプ (A / B) ▶▶ 39 | 14 ズームリング ▶▶ 81 |
| 4 CFカード取り出しボタン ▶▶ 40 | 15 アイリスリング ▶▶ 70 |
| 5 CFカードスロット ▶▶ 39 | 16 IRIS (ND)(アイリス / ND)スイッチ ▶▶ 69 |
| 6 CFカードカバー ▶▶ 39 | 17 FOCUS(フォーカス)スイッチ ▶▶ 86 |
| 7 CFカードカバー開くレバー(CF A / CF B) ▶▶ 39 | 18 FULL AUTO(フルオート)スイッチ ▶▶ 50 |
| 8 POWER(電源)スイッチ ▶▶ 25 | 19 SHUTTER(シャッター)スイッチ ▶▶ 61 |
| 9 電源ランプ ▶▶ 25 | 20 GAIN(ゲイン)スイッチ ▶▶ 65 |
| 10 SLOT SELECT(スロット選択)ボタン ▶▶ 43 | 21 WHITE BAL.(ホワイトバランス)スイッチ ▶▶ 74 |
| 11 レンズフード ▶▶ 31 | 22 (ホワイトバランスセット)ボタン ▶▶ 74 |



- 23 **AUDIO** カバー ▶▶ 111
- 24 **AUDIO** (録音レベル)切り換えスイッチ (CH1/CH2) ▶▶ 105
- 25 **AUDIO IN** (音声入力)切り換えスイッチ (CH1/CH2) ▶▶ 105
- 26 **INPUT 1** / **INPUT 2**端子切り換えスイッチ ▶▶ 105
- 27 ストラップ取り付け部 ▶▶ 36
- 28 **INFRARED** (赤外撮影)切り換えスイッチ ▶▶ 134
- 29 **POWER SAVE** (パワーセーブ) ボタン ▶▶ 54
- 30 **EXHAUST VENT** (排気口) ▶▶ 55
- 31 ◀◀ (早戻し) /アサイン5ボタン ▶▶ 158
- 32 ▶▶/|| (再生/一時停止) /アサイン6ボタン ▶▶ 156
- 33 ▶▶ (早送り) /アサイン7ボタン ▶▶ 158
- 34 ◀◀ (前スキップ) /アサイン8ボタン ▶▶ 158
- 35 ■ (停止) /アサイン9ボタン ▶▶ 156
- 36 ▶▶ (次スキップ) /アサイン10ボタン ▶▶ 158
- 37 **DISP.** (ディスプレイ) ボタン ▶▶ 52
- 38 **INDEX** / (レックレビュー) ボタン ▶▶ 123, 155
- 39 **WFM** (波形モニター) /アサイン13ボタン ▶▶ 114
- 40 **HEADPHONE** (ヘッドホン) 音量調整- /アサイン12ボタン ▶▶ 112
- 41 **HEADPHONE** (ヘッドホン) 音量調整+ /アサイン11ボタン ▶▶ 112
- 42 **PEAKING** (ピーキング) /アサイン1ボタン ▶▶ 89
- 43 **ZEBRA** (ゼブラ) /アサイン2ボタン ▶▶ 95



44 GENLOCK/SYNC OUT端子 ▶ 101

45 TIME CODE端子 ▶ 101

46 MON.端子 ▶ 174

47 3G/HD-SDI端子 ▶ 174

48 アイカップ ▶ 32

49 ストラップ取り付け部 ▶ 36

50 REMOTE(リモート)端子 ▶ 46

- リモートコントローラー RC-V100(別売) または市販のリモコンを接続する。

51 USB端子 ▶ 183

52 MIC(マイク)端子 ▶ 105

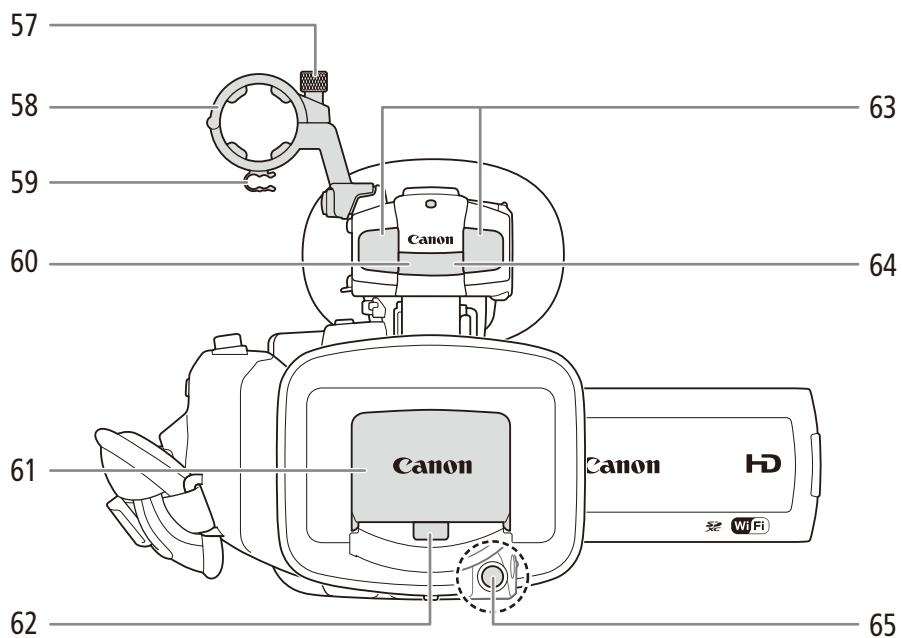
53 INPUT 1 / INPUT 2端子 (XLR) ▶ 105

- 以降、両端子に共通の説明は「INPUT端子」と記載する。

54 グリップベルト ▶ 35

55 グリップ ▶ 35

56 レンズフード固定ネジ ▶ 31



57 外部マイク固定ネジ ▶▶ 107

58 外部マイクホルダー ▶▶ 107

59 ケーブルクランプ ▶▶ 107

60 赤外ライト ▶▶ 134

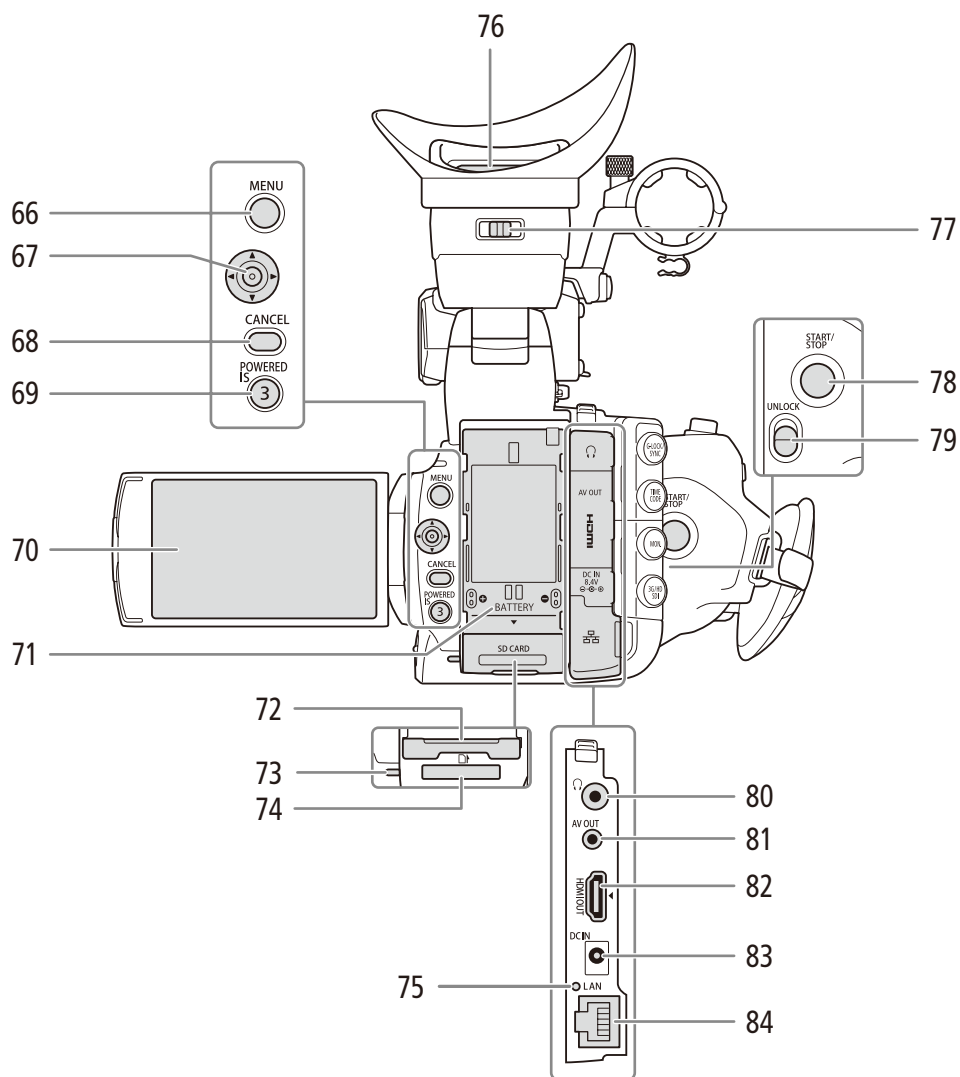
61 レンズバリア ▶▶ 48

62 ハイスピードAF用外部センサー ▶▶ 87

63 内蔵マイク ▶▶ 105

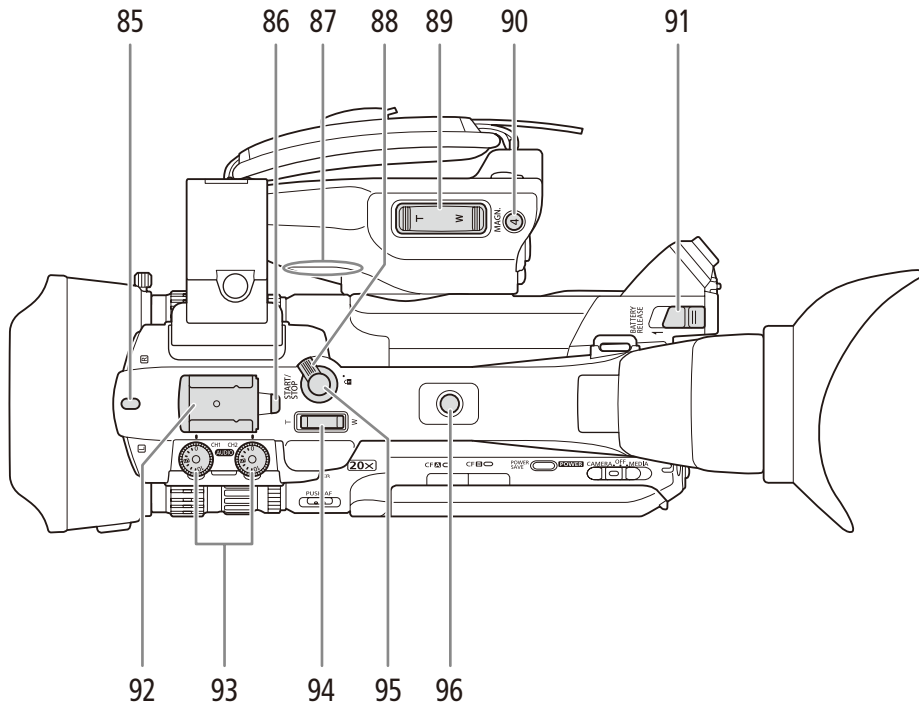
64 リモコン受光部 ▶▶ 45

65 **START/STOP**(スタート/ストップ)ボタン ▶▶ 48

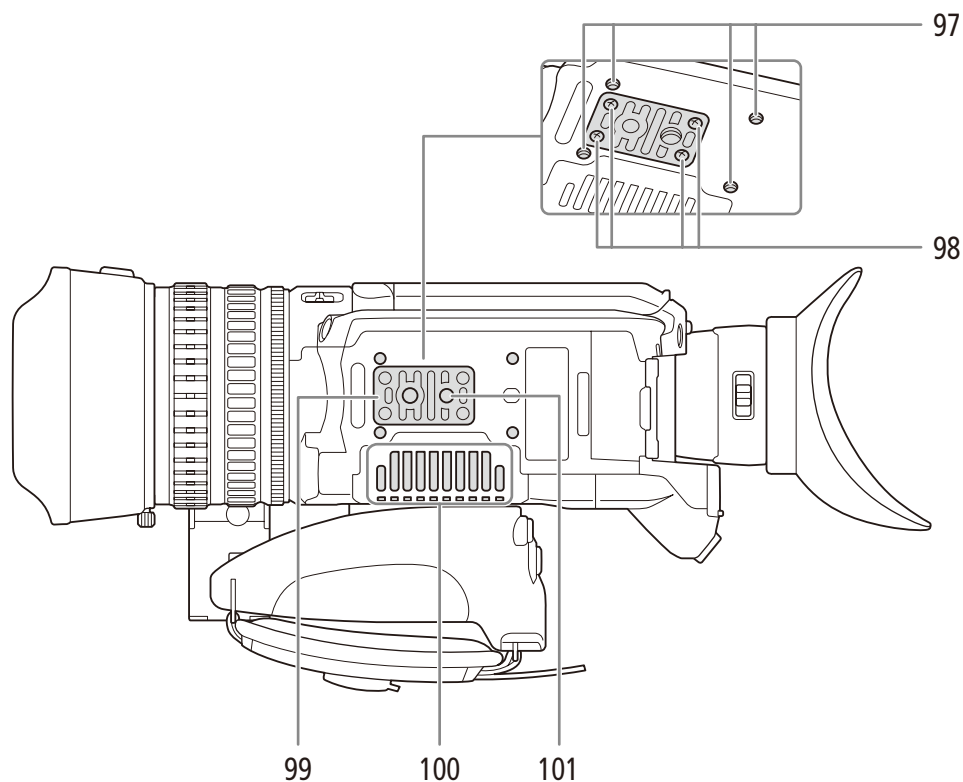


- 66 MENU(メニュー)ボタン ▶▶ 27
- 67 ジョイスティック ▶▶ 27
- 68 CANCEL(キャンセル)ボタン ▶▶ 27
- 69 POWERED IS(パワードIS)/アサイン3ボタン ▶▶ 93
- 70 有機ELモニター ▶▶ 33
- 71 バッテリー装着部 ▶▶ 22
- 72 SDカードカバー ▶▶ 41
- 73 SDカードアクセスランプ ▶▶ 41
- 74 SD CARD(SDカード)スロット ▶▶ 41
- 75 LANアクセスランプ ▶▶ 195

- 76 ファインダー ▶▶ 32
- 77 視度調整レバー ▶▶ 32
- 78 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン ▶▶ 48
- 79 UNLOCK(グリップロック解除)レバー ▶▶ 35
- 80 Ω (ヘッドホン)端子 ▶▶ 112
- 81 AV OUT端子 ▶▶ 175
- 82 HDMI OUT端子 ▶▶ 175
- 83 DC IN端子 ▶▶ 24
- 84 LAN端子 ▶▶ 194



- | | |
|---|---|
| <p>85 前部タリーランプ ▶▶ 48</p> <p>86 後部タリーランプ ▶▶ 48</p> <p>87 内蔵スピーカー ▶▶ 158</p> <p>88 ロックレバー ▶▶ 49</p> <p>89 グリップズームロッカー ▶▶ 81</p> <p>90 MAGN.(拡大) /アサイン4ボタン ▶▶ 90</p> <p>91 BATTERY RELEASE(バッテリー取り外し)レバー
▶▶ 23</p> | <p>92 アクセサリーシュー</p> <p>93 AUDIO (録音レベル)調整つまみ (CH1/CH2)
▶▶ 105</p> <p>94 ハンドルズームロッカー ▶▶ 81</p> <p>95 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン ▶▶ 48</p> <p>96 1/4インチハンドルネジ
● 市販のアクセサリを取り付け可能</p> |
|---|---|



97 別売の三脚アダプター TA-100取り付け部

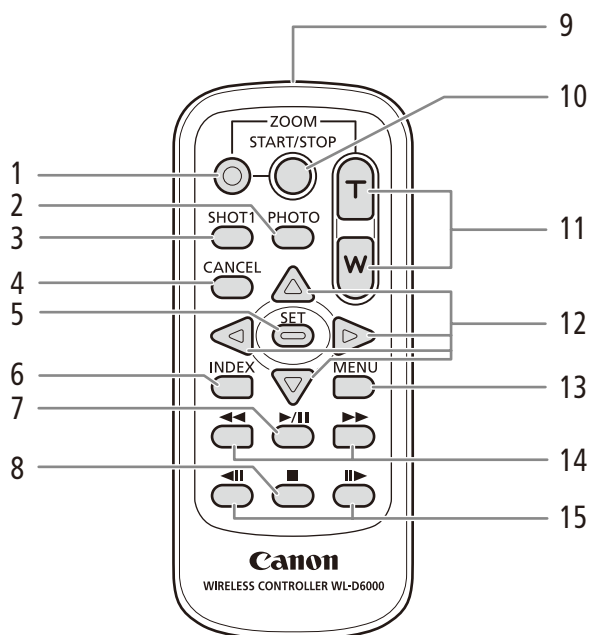
98 三脚ベース取り付けネジ ▶▶ 37

99 1/4インチネジ用三脚ベース ▶▶ 37

100 AIR INTAKE(吸気口) ▶▶ 55

101 三脚取り付け穴 ▶▶ 37

■ リモコン WL-D6000(45)の名称



- | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| 1 誤操作防止ボタン ▶▶ 48 | 9 送信部 ▶▶ 45 |
| 2 PHOTO(フォト)ボタン ▶▶ 218 | 10 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン ▶▶ 48 |
| 3 SHOT1(ショットマーク1)ボタン ▶▶ 116 | 11 ZOOM(ズーム)ボタン ▶▶ 83 |
| 4 CANCEL(キャンセル)ボタン ▶▶ 27 | 12 △/▽/◀/▶ボタン ▶▶ 27 |
| 5 SET(設定)ボタン ▶▶ 27 | 13 MENU(メニュー)ボタン ▶▶ 27 |
| 6 INDEX(インデックス)ボタン ▶▶ 155 | 14 ◀◀/▶▶(早戻し/早送り)ボタン ▶▶ 158 |
| 7 ▶/ (再生/一時停止)ボタン ▶▶ 156 | 15 ◀ / (コマ戻し/コマ送り)ボタン ▶▶ 158 |
| 8 ■(停止)ボタン ▶▶ 156 | |



準備

電源を準備する.....	22
日時を設定する.....	26
メニューで設定を変える.....	27
カメラを準備する.....	31
記録メディアを準備する.....	38
リモート撮影の準備をする.....	45

電源を準備する

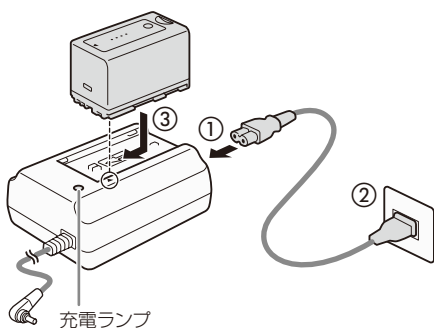
電源は、バッテリーまたはコンセントから使用します。バッテリーが取り付けられている状態で、コンセントに接続するとコンセントからの電源で動作します。バッテリーは充電してから使います。

■ バッテリーを使う

本機は、バッテリーパックBP-955(付属)またはBP-975(別売)を使用できます。インテリジェントシステムに対応していますので、残量を確認することができます。

充電する

付属のACアダプター CA-935を使って充電します。バッテリーパックを使うときは、ショート防止用端子カバーを取り外します。(P268)



	1秒間に1回点滅 → 0 ~ 34%
	1秒間に2回点滅 → 35 ~ 69%
	1秒間に3回点滅 → 70 ~ 99%

- 1 付属のACアダプターのDCプラグをビデオカメラ本体のDC IN端子に接続しているときは、DCプラグを抜く
 - ビデオカメラに接続していると充電が行われません。
- 2 ACアダプターに電源コードを差し込む(①)
- 3 電源プラグをコンセントに差し込む(②)
- 4 バッテリーパックの先端を▼に合わせて、押し付けながらカチッと音がするまでスライドさせる(③)
 - 充電ランプが点滅して、充電が始まる。
 - 充電中は、充電ランプの点滅のしかたで充電量(目安)を確認できる。点滅→点灯に変わったら充電終了。
- 5 バッテリーパックをスライドさせて、取り外す
- 6 電源プラグをコンセントから抜き、電源コードをACアダプターから抜く



⚠️ ご注意

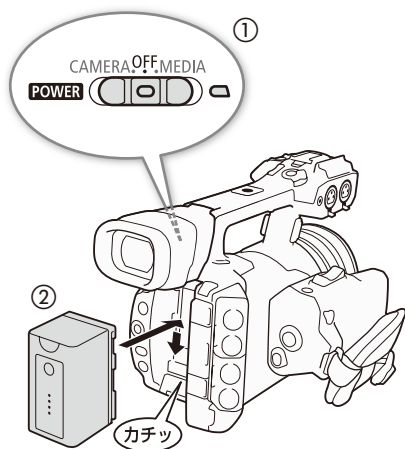
- ACアダプターに指定された製品以外を接続しないでください。
- 10℃～30℃の場所で充電することをおすすめします。0℃未満、40℃を超える場所では充電できません。



MEMO

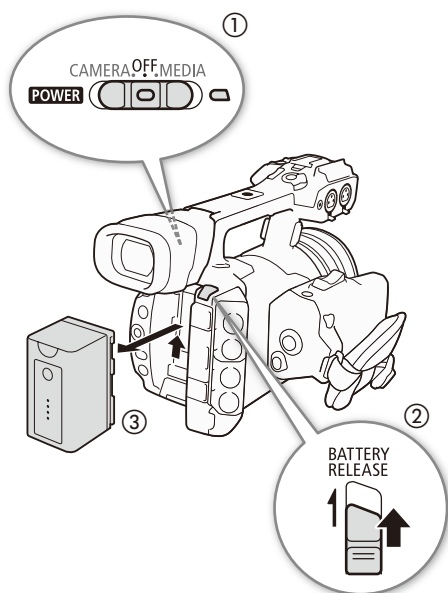
- バッテリーパックを充電するときは、DCプラグをビデオカメラ本体からはずしてください。
- ACアダプターやバッテリーに異常があると、充電ランプが消灯し、充電を中止します。
- バッテリーの取り扱いについては、268ページをご覧ください。
- バッテリーの充電時間とフルに充電したときの使用時間は、279ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- バッテリーは、充放電を繰り返すと少しずつ劣化して容量が少なくなります。BP-955(付属)を本機に取り付けると、バッテリーステータス画面(P250)でバッテリーの寿命を確認できます。寿命をより正確に確認するには、バッテリーを充電してから使い切ってください。

本体に取り付ける



- 1 POWER (電源) スイッチをOFFにする (①)
 - POWER (電源) スイッチをスライドさせ、「OFF」に合わせる
- 2 バッテリーパックを図のように奥に押しつけながら下にスライドさせ、カチッと音がするまで入れる (②)

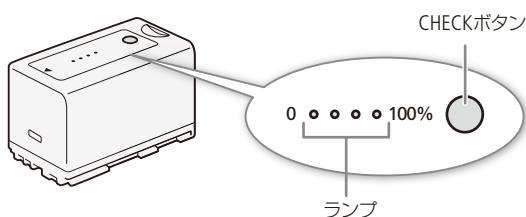
本体から取り外す



- 1 POWER (電源) スイッチをOFFにする (①)
 - POWER (電源) スイッチをスライドさせ、「OFF」に合わせる
- 2 BATTERY RELEASE (バッテリー取り外し) レバーを矢印の方向に押しながら (②)、バッテリーパックを上へスライドさせて、バッテリーパックを取り出す (③)

残量を確認する

BP-955 (付属) およびBP-975 (別売) は、バッテリー単独で残量 (目安) を確認できます。また、本機に取り付けて電源を入れたあとは、カメラモード/メディアモードの各画面 (□ 52、154) や、バッテリー/使用時間ステータス画面 (□ 250) で確認することもできます。



1 バッテリーパック上のCHECKボタンを押す

- 約3秒間ランプが点灯してバッテリーの残量 (目安) を確認できる。

☼ ○ ○ ○ ○	0 ~ 25%
☼ ☼ ○ ○ ○	26 ~ 50%
☼ ☼ ☼ ○ ○	51 ~ 75%
☼ ☼ ☼ ☼ ○	76 ~ 100%

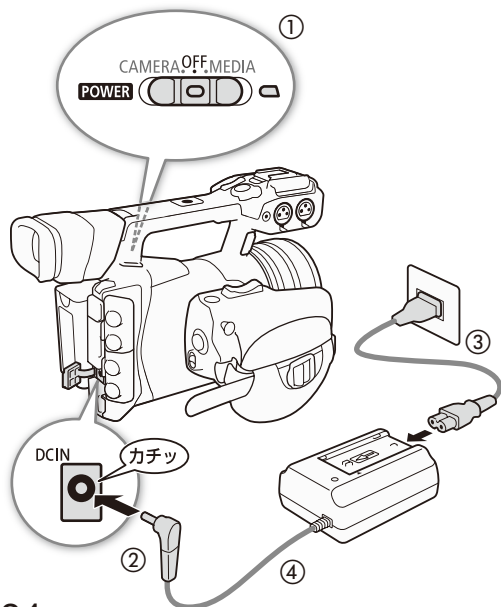


MEMO

撮影可能時間をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。

■ コンセントにつないで使う

付属のACアダプター CA-935を使って、コンセントにつないで使用できます。コンセントにつなぐと、電源を入れたままバッテリーを交換することもできます。



1 POWER (電源) スイッチをOFFにする (①)

- POWER (電源) スイッチをスライドさせ、「OFF」に合わせる

2 ACアダプターにバッテリーパックを取り付けているときは、バッテリーパックを取り外す

- ACアダプターにバッテリーパックを取り付けていると、本機が正常に動作しないことがある。

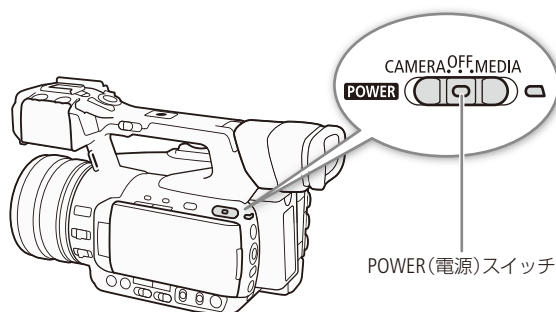
3 DC IN端子にDCプラグを接続する (②)

4 ACアダプターに電源コードを差し込み、電源プラグをコンセントに差し込む (③)

- **ご注意** ACアダプターを抜き差しするときは、必ずビデオカメラの電源を切ってください。

■ 電源を入れる／切る

本機には、撮影用のカメラモードと再生用のメディアモードとがあり、電源を入れるときに選択します。POWER(電源)スイッチを「CAMERA」にして電源を入れるとカメラモードに、「MEDIA」にして電源を入れるとメディアモードになります。



カメラモードで起動するとき

- POWER(電源)スイッチを押しながら「CAMERA」側にスライドさせる。電源ランプが緑色に点灯する。



メディアモードで起動するとき

- POWER(電源)スイッチを押しながら「MEDIA」側にスライドさせる。電源ランプが緑色に点灯する。



電源を切るとき

- POWER(電源)スイッチをスライドさせ、「OFF」に合わせる。電源ランプが消灯する。



MEMO 電源ランプは点灯しないようにすることもできます (P.237)。

日時を設定する

CAMERA

MEDIA

MXF

MXF+MP4

MP4

はじめてお使いになるときは、日付・時刻を設定する画面が表示されます*。操作に使用するボタンなどの位置を次ページの図で確認して、日時を設定してください。

* 内蔵のリチウム2次電池が放電したときも同様です。

■ 日付と時刻を設定する



- ① ジョイスティックを上下に押して「年」の数字を選び、ジョイスティックを押す。
 - カーソルが「月」に移動する。
 - ジョイスティックを押すたびに、年→月→日→時→分の順にカーソルが移動する。
- ② ①の操作を繰り返して、日付/時刻を設定する。
- ③ カーソルが一番右の「セット」にある状態で、時報に合わせてジョイスティックを押す。
 - 日時設定が完了する。

■ 撮影中に日時を表示する

CAMERA

MEDIA

撮影中に現在の日時を画面下方に表示できます。



- ① MENUボタンを押す。
- ② ジョイスティックを上下に押して (OLED/VF設定メニュー) を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 同様に、「Custom Display 2」▶「日付/時刻」を順に選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ④ 「日付/時刻」、「時刻」、「日付」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 日時を表示しないときは、ここで「切」を選ぶ。
- ⑤ MENUボタンを押す。



MEMO

- 日時設定は、 その他機能メニュー ▶ 「日時設定」▶ 「日付/時刻」で変更できます。また、タイムゾーンは、 その他機能メニュー ▶ 「タイムゾーン」で変更できます(□□ 236)。なお、ブラウザーリモート(□□ 198)の動作中は、「日時設定」、「タイムゾーン」ともに使用できません。
- 本機を3ヶ月近く使わないでおくと、内蔵の充電式リチウム電池が放電して日付/時刻の設定が解除されることがあります。そのときは、内蔵のリチウム電池を充電してから設定し直してください(□□ 270)。
- GPSレシーバー GP-E2(別売)を使用すれば、GPSから得られる時刻情報を本機に自動設定することもできます(□□ 121)。

メニューで設定を変える

CAMERA

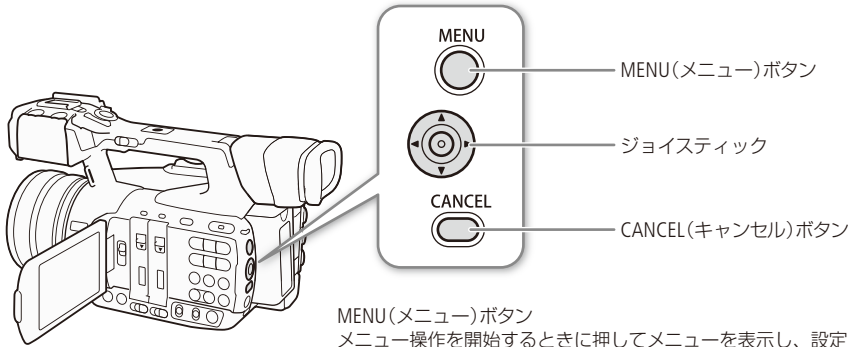
MEDIA

MXF

MXF+MP4

MP4

本機のさまざまな機能をメニューによって設定することができます。また、よく使うメニュー項目をあらかじめマイメニューに登録して設定することもできます。ここではメニュー設定の基本操作や共通操作について説明しますので、本書の各項目で説明されているメニュー設定を操作するときの参考にしてください。メニューの種類については「メニュー一覧」(P.224)をご覧ください。



MENU(メニュー)ボタン

メニュー操作を開始するときを押してメニューを表示し、設定が終わったら再度押してメニューを消します。

ジョイスティック

上下左右に押すと、メニュー上のカーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。選択した内容を決定するときは、ジョイスティックを垂直に押し込みます。

CANCEL(キャンセル)ボタン

メニューの1つ上の階層に戻ります。実行前の操作はキャンセルされます。

メニュー操作の基本

例をあげてメニューの基本操作を説明します。

例：「ピーキング」を「入」に設定する場合

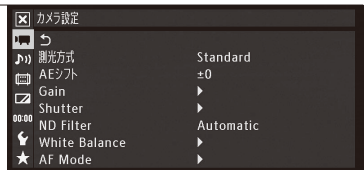
MENU



1 メニューを表示させる

① MENUボタンを押す。

- メニュー操作モードになり、画面にメニューが表示される。
- メニューは、最後にメニューを消したときの状態が保持されたまま表示される(電源をOFF/ONすると初期状態に戻る)。

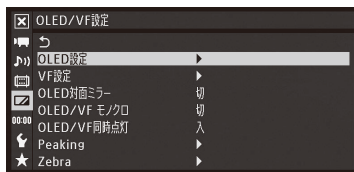
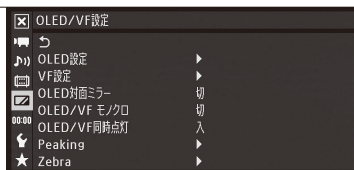




2 設定するメニューを選ぶ

- ① ジョイスティックを上下に押して、設定するメニューを選ぶ。
 - 選んだメニューのサブメニューが表示される。
- ② ジョイスティックを垂直に押す*。
 - カーソルがメニュー項目に移動する。
 - ジョイスティックを右に押して、カーソルをメニュー項目に移動することもできる。
 - 表示しきれないメニュー項目があるときは、メニューの右端にスクロールバーが表示される。カーソルを上下に移動するとメニューがスクロールする。

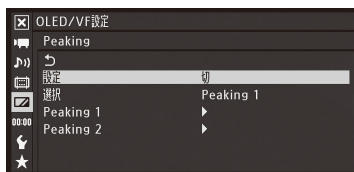
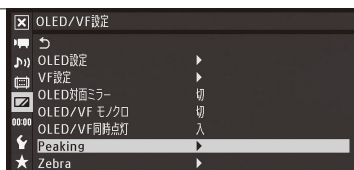
*以降、この操作を「SETを押す」と記載する。



3 設定するメニュー項目を選ぶ

- ① ジョイスティックを上下に押して、設定するメニュー項目を選ぶ。
- ② SETを押す。
 - カーソルが設定内容に移動する。
 - メニュー項目の右側に表示される「▶」は、下の階層にメニュー項目があることを示す。このメニュー項目を選んだときは、再度①、②の操作を行って、下の階層のメニュー項目を選ぶ。
 - 「CANCELボタンを押す*」、「ジョイスティックを左に押す」、「◀を選ぶ」、のいずれかを行うと、カーソルが1つ上の階層に戻る。

*以降、この操作を「CANCELを押す」と記載する。



4 設定内容を選び、設定する

- ① ジョイスティックを上下に押して、設定内容を選ぶ。
- ② SETを押す。
 - 選んだ設定内容を決定し、上の階層のメニュー項目に戻る。



MENU



5 メニューを消す

- ① MENUボタンを押す。
 - メニュー操作モードが終了し、メニューが消える。



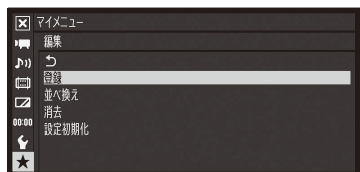
MEMO

- 他の機能の設定内容などによって設定できない項目は、灰色で表示されることがあります。
- MENUボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。
- 操作ガイドとして画面に **SET**、**Cancel**、**MENU** が表示されることがあります。このときはガイドに応じて、それぞれ、SET (ジョイスティック)、CANCEL、MENUボタンを押してください。
- リモコン(付属) で操作する場合、リモコンの **△/▽/◀/▶/SET(設定)** ボタンがジョイスティックと同等に機能します。リモートコントローラー RC-V100(別売) を使用時も同様に、RC-V100の上/下/左/右/SET(設定)ボタンで操作できます。
- 一部の設定内容は、ステータス画面で確認できます(□ 246)。

■ マイメニューを使う CAMERA MEDIA

よく使うメニュー項目をあらかじめ登録しておき、必要なときに簡単に設定することができます。アサインボタン(□ 138)にマイメニューを割り当てておけば、1ボタン操作でマイメニューを開くこともできます。マイメニューにはメニュー項目を14個まで登録できます。

例： **👉** その他機能メニュー ▶ 「MXF」 ▶ 「ビットレート/解像度」を追加する場合



1 マイメニューの「登録」を選ぶ

- ① ★マイメニュー ▶ 「編集」 ▶ 「登録」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
 - メニューが青色に変わり、マイメニューに登録するメニュー項目を選ぶ画面になる。

登録を中止するとき

CANCELを押す。

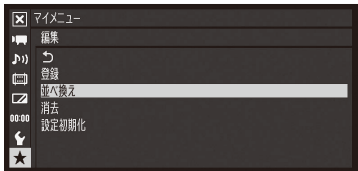


2 マイメニューに登録するメニュー項目を選ぶ

- ① **👉** その他機能メニュー ▶ 「MXF」 ▶ 「ビットレート/解像度」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ③ SETを押す。
 - 「MXF ビットレート/解像度」がマイメニューに登録される。

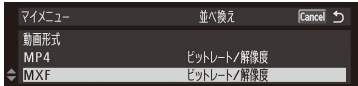
登録したメニュー項目を並べ換える

マイメニューに登録したメニュー項目を並べ換えることができます。



1 マイメニューの「並べ換え」を選ぶ

- ① ★マイメニュー ▶ 「編集」 ▶ 「並べ換え」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - マイメニューに登録されているメニュー項目が一覧表示される。

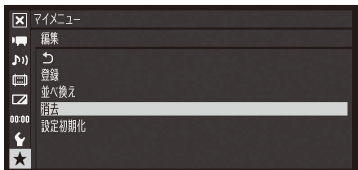


2 メニュー項目を選んで並べ換える

- ① 並べ換えるメニュー項目を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選んだメニュー項目の左に◆が表示される。
- ② ジョイスティックを上下に押して、移動先を選ぶ ▶ SETを押す。
 - メニュー項目が移動する。

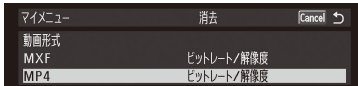
登録したメニュー項目を消去する

マイメニューに登録したメニュー項目を、1項目ずつまたはすべて消去することができます。



1 マイメニューの「消去」または「設定初期化」を選ぶ

- ① ★マイメニュー ▶ 「編集」 ▶ 「消去」または「設定初期化」を選ぶ ▶ SETを押す。



2 消去する

「消去」を選んだとき

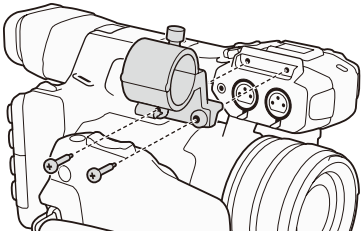
消去するメニュー項目を選ぶ ▶ SETを押す。

- ① 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 「消去」を選んだときは選んだメニュー項目が、「設定初期化」を選んだときは登録されているすべてのメニュー項目が、消去される。
- ② SETを押す。

カメラを準備する

ここではマイクホルダーやレンズフードの取り付け、ファインダーや有機ELモニター、グリップの調整など、はじめに行うカメラの準備について説明します。

■ マイクホルダーを取り付ける

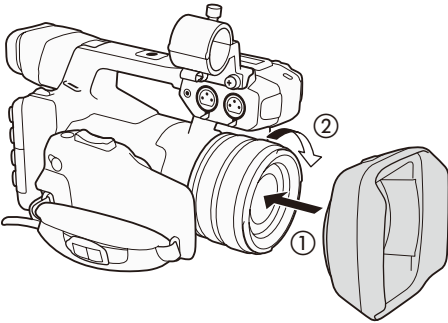


- 1 付属のネジでマイクホルダーをハンドル部に取り付ける

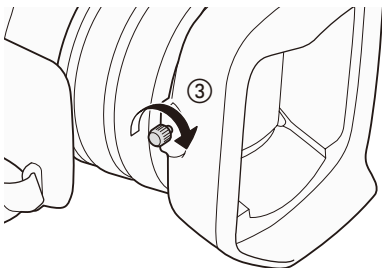
■ レンズフードを取り付ける

撮影時はレンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどの低減に効果的です。また、レンズフードのレンズバリアを閉じれば、レンズに指紋などの汚れが付きにくくなります。

ビデオカメラの持ち運びや保管時は、レンズフードを取り外してレンズキャップをご使用ください。



- 1 レンズキャップを取り外す
 - レンズキャップとレンズフードは、同時に使用できません。
- 2 レンズ先端部に、固定ネジを下にしてフードをはめ込み (①)、時計方向に回す (②)
 - フードの先端を軽く持って取り付ける。強く握ると変形して、取り付け/取り外しにくくなる。
 - レンズフードはまっすぐ、斜めにならないように取り付ける。

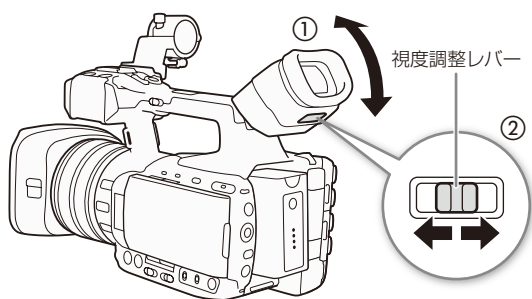


- 3 固定ネジでフードを固定する (③)

■ ファインダーを使う

ファインダーの角度と視度を調整する

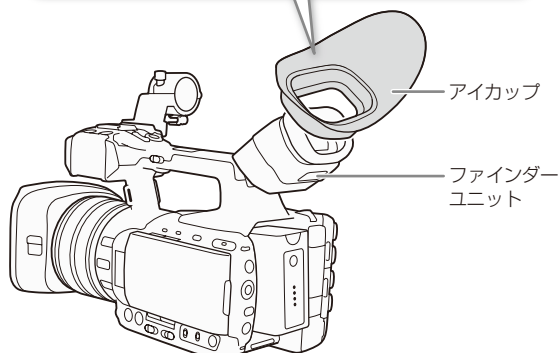
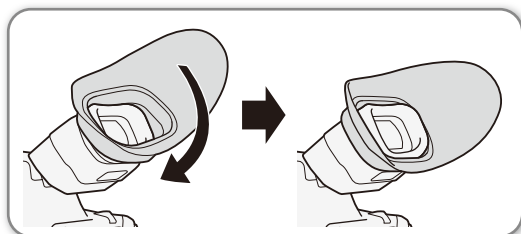
ファインダーを見やすい角度に調整し、映像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度を調整します。



- 1 ファインダーを見やすい角度に調整する (①)
- 2 本機の電源を入れる (☞ 25)
- 3 視度調整レバーを左右に動かして調整する (②)

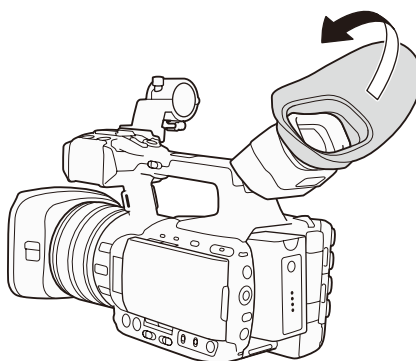
アイカップを取り付ける

ファインダーユニットのゴム部分にアイカップをかぶせるようにして取り付けます。なお、左目でファインダーを見るときはアイカップを逆向きに取り付けてください。

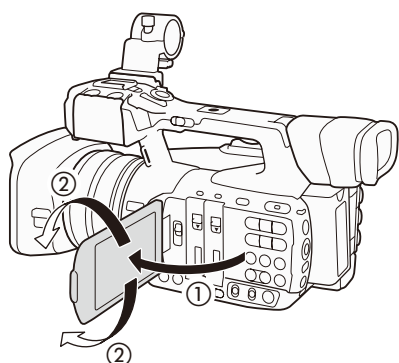


アイカップを取り外す

アイカップの側面を引っ張るようにして外します。



■ 有機ELモニターを使う



- 1 有機ELモニターを手前に引き出し (①)、見やすい角度に調整する (②)

MEMO

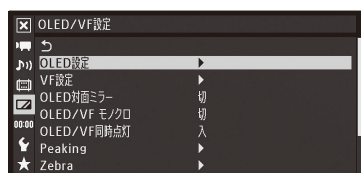
- 市販のレンズアダプターなどを取り付けたときに映像が上下左右に反転する場合は、 その他機能メニュー ▶ 「Custom Function」 ▶ 「スキャンリバース記録」(□ 242)で、映像を上下左右、上下、左右のいずれかに反転させて記録することができます。
- 有機ELモニターとファインダーを同時に使わないときは、 OLED/VF設定メニュー ▶ 「OLED/VF同時点灯」を「切」にすると、バッテリーの持ちがよくなります。なお、「切」に設定しても、有機ELモニターを閉じるとファインダー画面は表示されます。
- 有機ELモニターの画面を相手に見せながら撮影するときなどは、 OLED/VF設定メニュー ▶ 「OLED対面ミラー」を「入」にすると、画面を左右に反転して表示させることができます

■ 有機ELモニター／ファインダーを調整する

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

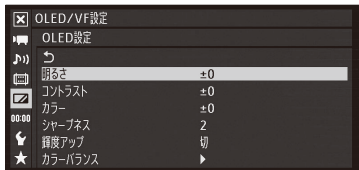
画面を調整する

明るさ、コントラスト、カラー、シャープネスの各項目を、有機ELモニターとファインダーでそれぞれ個別に調整できます。また、有機ELモニターでは画面の輝度を、ファインダーではバックライトをそれぞれ調整することもできます。なお、これらの設定は記録される映像には影響しません。



1 「OLED設定」または「VF設定」を選ぶ

- ① OLED/VF設定メニュー ▶ 「OLED設定」または「VF設定」を順に選ぶ。
- ② SETを押す。



2 調整する

- ① 調整する項目を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 「明るさ」、「コントラスト」、「カラー」、「シャープネス」、「輝度アップ」*1、「バックライト」*2から選ぶ。
 - *1 有機ELモニターのみ。*2 ファインダーのみ。
- ② ジョイスティックを上下に押し調整する ▶ SETを押す。
 - 「輝度アップ」を選んだときは「入」または「切」を、「バックライト」を選んだときは「ノーマル」または「明るい」を選ぶ。
- ③ 調整する項目について、①②を繰り返す。

有機ELモニターのカラーバランスを調整する

有機ELモニターは経年変化により色のバランスが変わることがあります。このときはカラーバランスを調整します。



- ① OLED/VF設定メニュー ▶ 「OLED設定」 ▶ 「カラーバランス」を順に選ぶ。
- ② 「R-B联动調整」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ③ ジョイスティックを上下に押し調整する ▶ SETを押す。
 - レッド (R) とブルー (B) が同時に調整される。
- ④ さらに詳細に調整するとき 「R微調整」または「B微調整」を選ぶ。
- ⑤ ジョイスティックを上下に押し調整する ▶ SETを押す。
 - レッド (R) またはブルー (B) が独立して調整される。

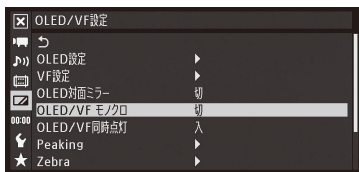


MEMO

- アサインボタンに「OLED設定」を割り当てると、アサインボタンを押して OLED/VF設定メニュー ▶ 「OLED設定」を表示することができます。(□ 138)。「VF設定」についても同様です。
- DISP.(ディスプレイ) ボタンを長押し(約3秒)して、有機ELモニターの「輝度アップ」を入/切することもできます。
- 約3分間、本機の操作をしないと、有機ELモニターの輝度が自動的に下がります(動画の撮影中/再生中を除く)。何か操作をすると元の輝度に戻ります。

有機ELモニターとファインダーをモノクロにする

画面をモノクロ表示にします。モノクロ表示にしても、表示文字などはカラーで表示されます。



- ① OLED/VF設定メニュー ▶ 「OLED/VF モノクロ」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ SETを押す。



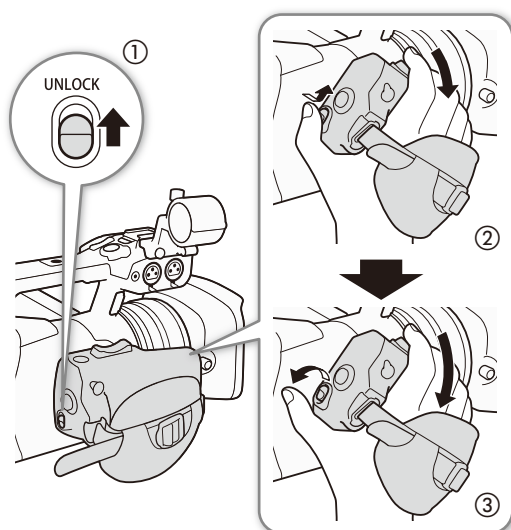
MEMO

アサインボタンに「OLED/VF モノクロ」を割り当てると、アサインボタンを押して入/切を切り換えられます(□ 138)。

■ グリップを使う

グリップの角度を調整する (回転グリップ)

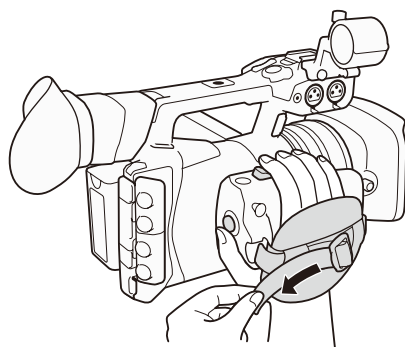
グリップは15°刻みで最大120°回転できます。撮影の状況に応じて好みの角度に調整して使用できます。



- 1 UNLOCK (グリップロック解除) レバーをSTART/STOPボタン側に押しながら (①)、グリップを好みの角度に合わせる (②)
- 2 UNLOCK (グリップロック解除) レバーを放し、カチッという音がするまで、グリップをさらに回す (③)。
 - 音がした位置でグリップが固定される。

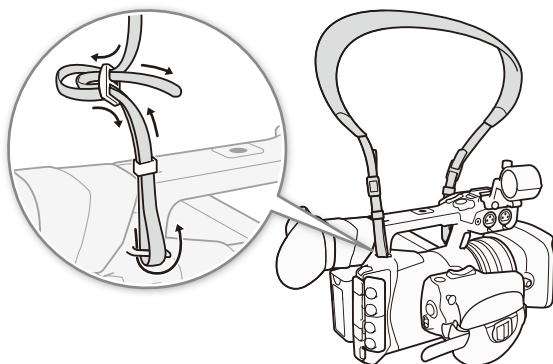
グリップベルトを調節する

親指をSTART/STOP (スタート/ストップ) ボタンに、人さし指と中指をズームロッカーに添え、グリップを軽く握った状態でベルトの長さを調節します。



落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。

■ ショルダーストラップを取り付ける

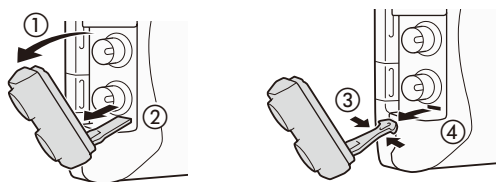


落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。

■ 端子カバーを取り外す／取り付ける

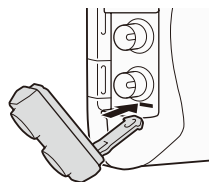
本機の端子カバーは、すべて取り外すことができます。

取りはずす



- 1 端子カバーを開けて、引き出す (①、②)
- 2 端子カバーの取り付け部を左右からつかみ (③)、引き出す (④)
 - REMOTE端子とUSB端子のカバーは、そのまま、まっすぐに引き出してください。

取り付ける



端子カバーの取り付け部を取り付け口に差し込む

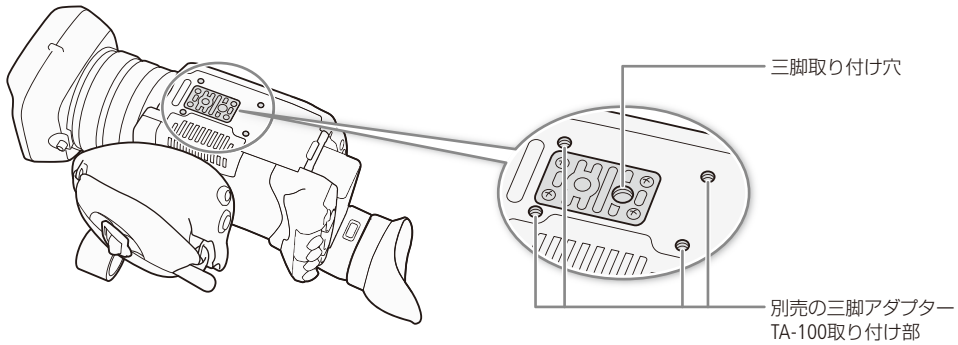


MEMO

取り外し／取り付けの際、端子カバーの取り付け部がつかみにくいときは、ピンセットなど先の細いものを使用してください。

■ 本体を三脚に取り付ける

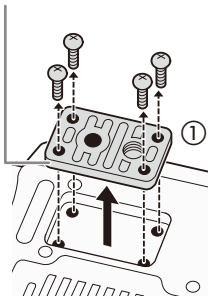
取り付けネジの径が1/4インチ、長さが5.5mm未満の三脚を取り付けることができます。



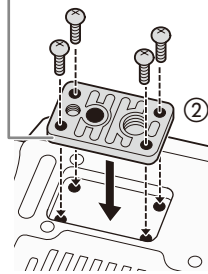
取り付けネジ径が3/8インチの三脚を使う

取り付けネジの径が3/8インチの三脚を使用するときは、三脚ベース（三脚取り付け部）を3/8インチネジ用の三脚ベースTB-1（別売）に交換する必要があります。

1/4インチネジ用三脚ベース



3/8インチネジ用三脚ベース
（別売）







- 1 1/4インチネジ用の三脚ベースを取り外す ①
 - ネジを4本取り外して、1/4インチネジ用の三脚ベースを取り外す。
- 2 3/8インチネジ用の三脚ベースTB-1（別売）を取り付ける ②
 - 4本のネジをしっかりと締める。
- 3 三脚を取り付ける
 - 三脚のネジは確実に締める。
 - 3/8インチと1/4インチの2つのネジが付いた三脚を使用するときは、両方のネジを確実に締める。

● **ご注意** ⚡ ネジの長さが5.5mm以上の三脚を使用すると、本体を破損することがあります。



記録メディアを準備する

本機では、MXF形式の動画（以降、「MXF動画」）をコンパクトフラッシュカード（CFカード）に、MP4形式の動画（以降、「MP4動画」）と静止画をSDメモリーカード（） / SDHCメモリーカード（） / SDXCメモリーカード（）*に記録します。CFカード用のスロットは2つあります。記録メディアを使用するときは、はじめに本機で初期化してください（[□ 42](#)）。なお、選択した動画形式（[□ 56](#)）によって、必要となる記録メディア（CFカード / SDカード / 両方）が異なります。

* SDカードには、カスタムピクチャーファイルや設定データも記録されます。また、MXF動画用ソフトウェアCanon XF Utility（[□ 179](#)）で作成したユーザーメモファイルを本機に取り込むときに、SDカードを使います。

■ 使用可能なメモリーカード

動作確認済みカードなどの詳細情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

CFカード

UDMA*¹に対応した512MB以上のコンパクトフラッシュカード（Type I）を使用可能。

*¹ Ultra Direct Memory Accessの略で、機器とCFカード間のデータ転送を行うときの最大転送速度（MB/s）を定めた規格です。UDMA対応のカードでも、転送速度によっては記録できないことがあります。

SDカード

SDスピードクラス*²がClass 4 / 6 / 10*³の、SD / SDHC / SDXCメモリーカード。

次のメーカー製のSD / SDHC / SDXCメモリーカードについて、MP4動画記録時の動作を確認しています（2014年5月現在）。

• Panasonic • TOSHIBA • SanDisk

*² SDカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。

*³ ビットレートが35 MbpsのMP4動画を記録するときはClass 6または10のカードを、スロー & ファーストモーション記録を行うときはClass 10のカードを、それぞれ推奨します。



● ご注意

撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画をバックアップしてから、本機でカードを初期化してください。

SDXCメモリーカードまたは容量が128GBを超えるCFカードを使用するとき

これらのメモリーカードは、exFAT形式で初期化されます。

- exFAT形式に対応した機器でのみ使用できます。exFAT形式に対応する、レコーダー、パソコンまたはカードリーダー／ライターなどをご使用ください。対応状況については、パソコン、OSまたはカードのメーカーにお問い合わせください。
- exFAT形式に対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。

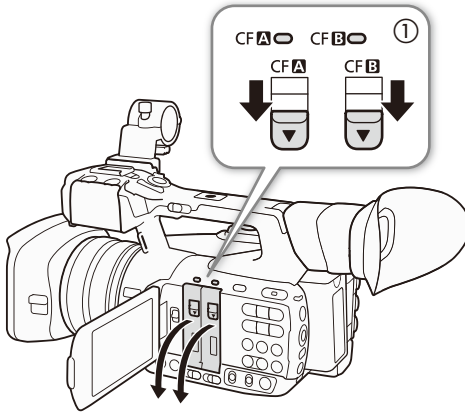


MEMO

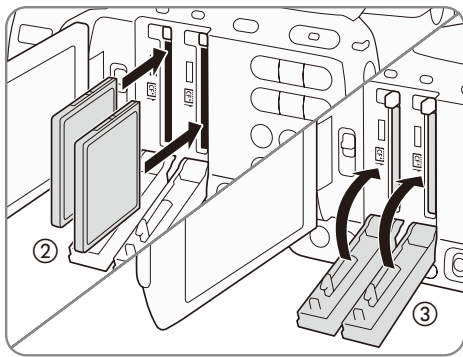
すべてのカードの動作を保証するものではありません。

■ CFカードを入れる

MXF MXF+MP4 MP4



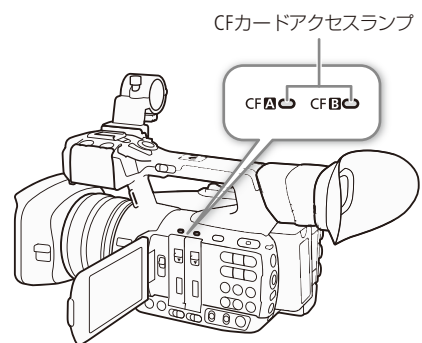
- 1 CFカードカバーを開くレバーを▼方向にスライドさせる (①)
 - CFカードカバーが下に開く。
- 2 カードのラベル面をバッテリー側に向けて、奥までしっかり入れる (②)
- 3 CFカードカバーを閉じる (③)
 - カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。



CFカードスロットの状態を確認するには
CFカードアクセスランプの色と光りかたでCFカードスロットの状態を確認できます。

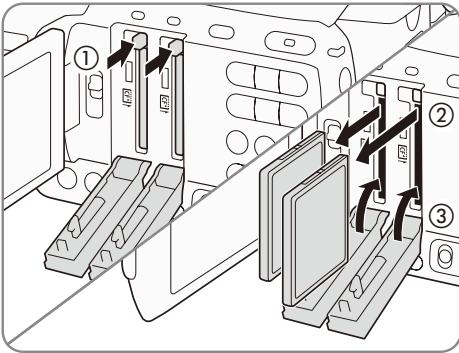
CFカード アクセスランプ	スロットの状態
点灯 (赤)	カードにアクセス中
点灯 (緑)	記録／再生可能でかつ、スロットが記録／再生先として選択されている
消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● カードにアクセスしていない ● カードが入っていない ● 別のスロットが選択されている

CFカードアクセスランプは点灯しないようにすることもできます (□ 237)。



■ CFカードを取り出す

MXF | MXF+MP4 | MP4



- 1 CFカードアクセスランプが消えていることを確認する
- 2 CFカードカバー開くレバーを▼方向にスライドさせる
 - CFカードカバーが下に開く。
- 3 CFカード取り出しボタンを押し込む (①)
 - CFカードが出てくる。
- 4 CFカードを取り出す (②)
- 5 CFカードカバーを閉じる (③)



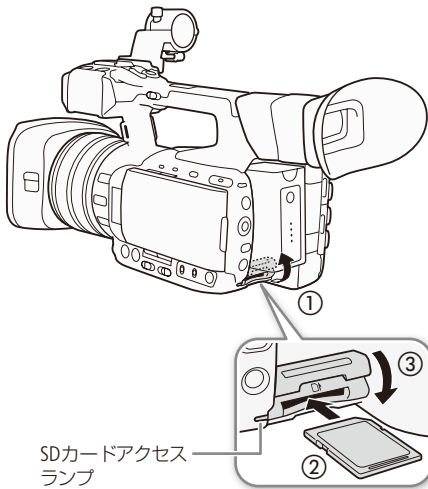
● ご注意

CFカードアクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- アクセスしているCFカードスロットのカードカバーを開けない。

■ SDカードを入れる／出す

MXF | MXF+MP4 | MP4



- 1 SDカードアクセスランプが消えていることを確認する
 - 2 SDカードカバーを開ける(①)
 - 3 カードのラベル面を上側にして、カチッと音がするまでしっかり入れる(②)
- SDカードを出すとき
- カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。
- 4 SDカードカバーを閉じる(③)
 - カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。



● ご注意

- SDカードアクセスランプが赤色に点灯／点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - SDカードを取り出さない。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作説明に従って正しい向きで入れてください。



MEMO

誤ってデータを消さないために
カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できます。



誤消去防止ツマミ

SDカードアクセスランプの光りかた

	SDカードスロットの状態
点灯／点滅	カードにアクセス中
消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● カードにアクセスしていない ● カードが入っていない

アクセスランプは点灯しないようにすることもできます(□ 237)。

初期化する

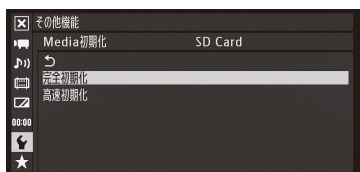
CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

メモリーカードをはじめて使用するときや、メモリーカードに記録した動画／静止画などすべての情報を消去するとき、メモリーカードを初期化します。SDカードの初期化には「高速初期化」と「完全初期化」とがあり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。



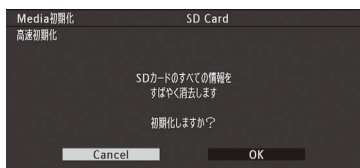
1 初期化する記録メディアを選ぶ

- ① ほか機能メニュー ▶ 「Media初期化」を順に選ぶ。
- ② 「CF A」、「CF B」、「SDカード」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。



2 「SDカード」を選んだとき 初期化の方法を選ぶ

- ① 「完全初期化」または「高速初期化」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - CFカードを初期化するときには、この操作は不要。



3 初期化を実行する

- ① 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選んだカードが初期化され、すべての情報が消去される。

SDカードの「完全初期化」を中止するとき

SETを押す。SDカードはそのまま使用できるが、データはすべて消去される。

- ② SETを押す。



ご注意

- 初期化すると、OKマークを付けたMXF動画やカスタムピクチャーファイルなどを含め、CFカード／SDカード内のすべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたいデータがあるときは、バックアップしてから初期化してください。
- SDカードの「完全初期化」は、カードによっては数分かかることがあります。



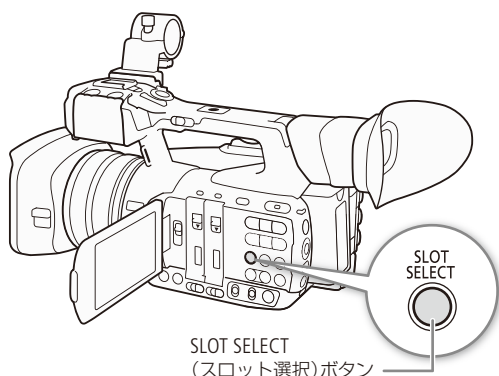
MEMO

- MXF動画記録中に、もう一方のCFカードを初期化することができます。
- アサインボタンに「Media初期化」を割り当てると、アサインボタンを押して「Media初期化」メニューを表示することができます。

■ MXF動画の記録／再生に使用するCFカードスロットを切り換える

CAMERA MEDIA **MXF** MXF+MP4 MP4

本機は、2つのCFカードスロットを備えています（CF**A** / CF**B**）。両方のスロットにCFカードを入れているときは、必要に応じてスロットを切り換えることができます。



- 1 SLOT SELECT(スロット選択) ボタンを押す
 - 選択されたスロットのCFカードアクセスランプが緑色に点灯する。

MEMO

- 両方のスロットにCFカードを入れていて、選択しているスロットのカードカバーを開けると、スロットが切り換わります。
- 記録中にSLOT SELECTボタンを押しても、スロットは切り換わりません。
- ブラウザリモートを使って撮影するときは、ブラウザリモートの「SLOT SELECT」を押して切り換えることもできます。

■ CFカードスロット記録方式を選ぶ

CAMERA MEDIA **MXF** MXF+MP4 MP4

2つのCFカードに連続してMXF動画を記録するリレー記録と、2つのCFカードに同時にMXF動画を記録するダブルスロット記録があります。

リレー記録： 撮影中にカードの空き容量がなくなると、自動的にもう一方のスロットに切り換わります。映像が途切れることなく連続して記録することができます。CF**A**⇄CF**B**両方向で連続記録が可能です。

☛その他機能メニュー ▶ 「MXF」 ▶ 「リレー記録」で「入」を選ぶ ▶ SETを押す。

ダブルスロット記録： 同じ映像をA/B両方のCFカードに同時に記録します。撮影中に撮影映像のバックアップを取ることができます。

☛その他機能メニュー ▶ 「MXF」 ▶ 「ダブルスロット記録」で「入」を選ぶ ▶ SETを押す。

MEMO

- CFカードへのダブルスロット記録と同時にMP4動画をSDカードに記録することもできます(□ 131)。
- ビットレート(□ 56)を50 Mbpsに設定していると、スローモーション撮影時にリレー記録されません。

- ダブルスロット記録中、記録容量の少ないCFカードの空き容量がなくなると、両カードへの記録を停止します。なお、一方のCFカードに書き込みエラーが発生しても、他方のCFカードへの記録は続きます。
- ダブルスロット記録は、リレー記録またはスロー & ファーストモーション記録との併用はできません。

CFカード／SDカードの記録可能時間を確認する

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

カメラモードでは、選択しているメモリーカードのアイコンと記録可能時間（分単位）*が、画面の左上に表示されます。動画形式（□ 56）がMXFまたはMXF+MP4のときは、現在選択しているCFカードスロットの横に▶が表示されます。また、メディアステータス画面（□ 248）を表示すると、各カードの総容量、使用量、記録可能時間、静止画記録可能枚数（SDカードのみ）を確認できます。

* 記録可能時間は、現在設定しているビットレート（□ 56）を元に算出します。

メモリーカードを修復する

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

記録中に停電する、記録中にカードを取り出すなどの原因によって、メモリーカードに記録したデータに異常が発生することがあります。このときは、カードを修復することによってカード内のデータを正常な状態に戻すことができます。MXF動画の場合は修復が必要なCFカードをスロットに入れたとき、MP4動画の場合はMP4インデックス画面で修復が必要なクリップを再生したとき、修復するかどうかを確認するエラーメッセージが画面に表示されます。



1 「CF A(CF B)は修復が必要です 修復しますか？」または「このクリップは修復が必要です 修復しますか？」が表示されたとき 修復を行う

- ① 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - CFカード、またはSDカード内のMP4クリップの修復が行われる。
 - 修復が終了すると、「修復が終了しました。クリップを確認してください」が表示される。
- ② SETを押す。



MEMO

記録中に修復が必要な状態になったカードを修復した場合

- 10秒未満のクリップは消去される。
- クリップの末尾のデータが、最大約10秒間消去される。
- 修復を行っても正常な状態に戻らないことがあります。特に、ファイルシステムが壊れているとき、またはカードが物理的に壊れているときは修復できません。
- 記録中、選択されていないスロットに、修復が必要なCFカードを入れたときも修復を行うことができません。

リモート撮影の準備をする

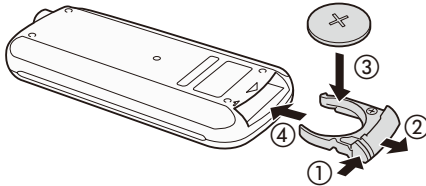
CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

本機は、付属のリモコン（ワイヤレスコントローラー）WL-D6000やリモートコントローラー RC-V100（別売）などからリモートで撮影できます。Wi-FiやLAN端子を使って本機をネットワークに接続すれば、ネットワーク機器からリモート撮影することもできます（ブラウザーリモート）。ブラウザーリモートについては「ネットワーク」の章（[185](#)）をご覧ください。

■ リモコン（付属）を使う

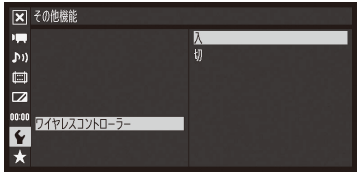
付属のリモコン（ワイヤレスコントローラー）WL-D6000を使うと、撮影／再生時に本機をワイヤレスで操作できます。

電池を入れる



- 1 ツマミを押して (①)引き抜く (②)
- 2 +側を上にして付属の電池を入れる (③)
- 3 リモコンに取り付ける (④)

リモコン（付属）を有効にする



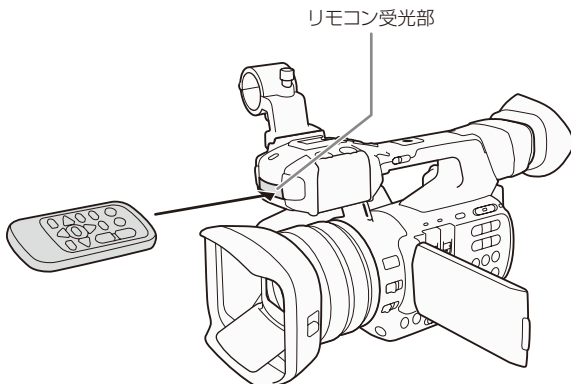
- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「ワイヤレスコントローラー」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ SETを押す。



MEMO

アサインボタンに「ワイヤレスコントローラー」を割り当てると、アサインボタンを押してリモコンの入／切を切り換えられます（[138](#)）。

リモコン（付属）を使って操作する



- 1 リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す
 - リモコン操作中は、前後のタリールンプが点灯する。

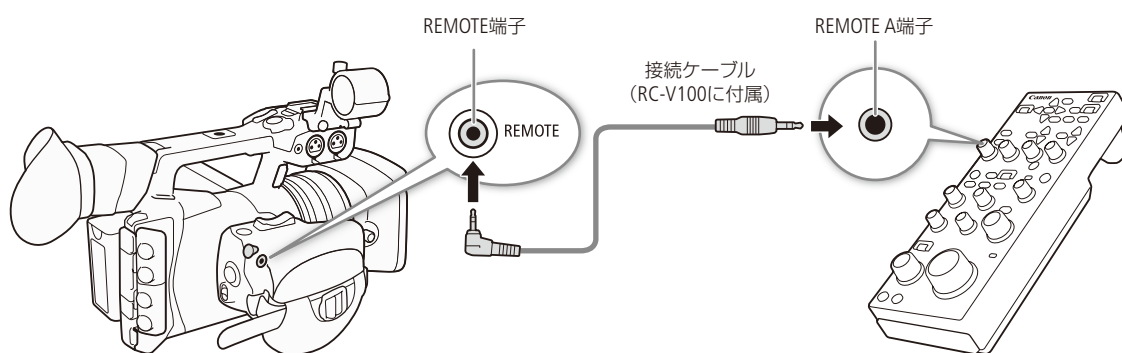


MEMO

- リモコンのSTART/STOP（スタート／ストップ）ボタンまたはZOOM（ズーム）ボタンを操作するときは、誤操作防止ボタンと同時に押してください。
- リモコンのボタンを押しても動作しない、本体に近づかないと動作しないなどのときは、電池を交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。

■ リモートコントローラー RC-V100(別売)を使う

リモートコントローラー RC-V100 (別売) を接続すると、本機をリモートで操作できます。電源の入/切やメニュー操作に加えて、撮影時は、アイリス、シャッター、ズームなどのカメラ設定や、フォーカス、シャープネスなどの画質調整ができます。RC-V100は、接続ケーブル (RC-V100に付属) を使って、本機のREMOTE端子に接続します。接続のしかたやRC-V100の詳細については、RC-V100の説明書をご覧ください。



- | | |
|--|--|
| | <p>1 POWER(電源)スイッチをOFFにする</p> |
| | <p>2 RC-V100を本機につなぐ</p> |
| | <p>3 POWER(電源)スイッチをCAMERAにする</p> |
| | <p>4 RC-V100を有効にする</p> <p>① ④ その他機能メニュー ▶ 「REMOTE端子」を順に選ぶ。</p> <p>② 「RC-V100」を選ぶ ▶ SETを押す。</p> |



MEMO

- RC-V100のND切り換えボタンは本機に対応していません。
- 本機がフルオートモード(□ 50)のときは、RC-V100から、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランス(WHITE BALANCE R / Bダイヤルを除く)を設定できません。
- RC-V100の画質調整(□ 150)は、カスタムピクチャーファイルを選んでいるときのみ使用できます(□ 142)。

撮 影

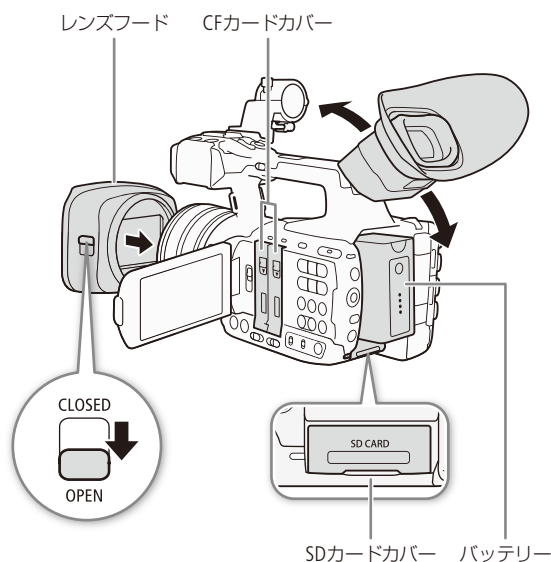
動画を撮影する.....	48	カラーバー／テストトーンを記録する.....	113
映像の信号形式を選ぶ.....	56	波形モニターを表示する.....	114
カメラダイレクト設定を使う.....	58	ショットマークを付加する.....	116
シャッタースピードを調整する... ..	59	OKマーク／チェックマークを付加する.....	117
ゲインを調整する.....	65	メタデータを操作する.....	118
アイリスを調整する.....	69	GPS情報を記録する.....	121
ホワイトバランスを調整する.....	74	レックレビューで確認する.....	123
ズームを操作する.....	80	ファイル番号をリセットする... ..	124
フォーカスを調整する.....	86	特殊記録を行う.....	125
手ブレ補正を使う.....	93	MXF動画とMP4動画を同時に記録する.....	131
マーカー／ゼブラパターンを表示する.....	94	赤外撮影 (INFRARED)を行う... ..	134
タイムコードを設定する.....	97	焦点距離ガイドを使う.....	136
ユーザービットを設定する.....	100		
外部機器と同期をとる.....	101		
音声を記録する.....	105		

動画を撮影する

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

ここでは、動画の基本的な撮影について説明します。音声の記録については、105ページをご覧ください。

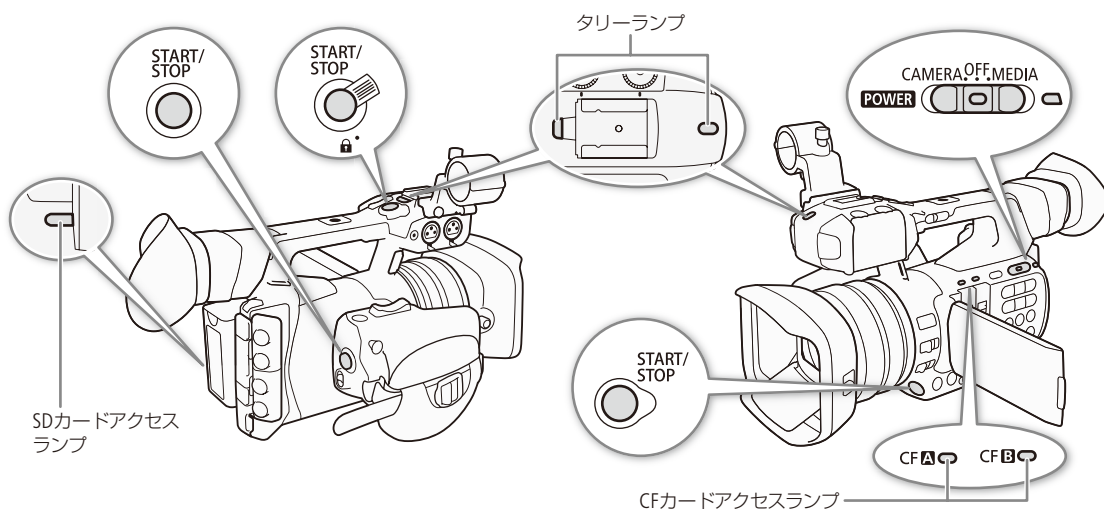
■ 準備する



- 1 レンズフードを取り付ける (31)
- 2 充電したバッテリーパックを取り付ける (23)
- 3 記録メディア (CFカード、SDカード) を入れる (39)
 - MXF動画を記録するときはCFカードを、MP4動画を記録するときはSDカードを、各スロットに入れる。
 - リレー記録 (43)、ダブルスロット記録 (43)を行うときは、CFカードを2枚入れる。
- 4 レンズバリアを開ける
- 5 ファインダーを調整する (32)

MEMO 記録されるMXF動画のクリップに、撮影者や撮影場所、撮影内容などの情報をユーザーメモとして付加することができます。ユーザーメモを付加するときは、撮影前に設定してください (118)。

■ 撮影する





1 POWER(電源)スイッチを押しながら「CAMERA」にする (25)

- 本機がカメラモードで起動し、撮影一時停止状態 (STBY)になる。
- メモリーカードが入っているCF / SDカードスロットのアクセ斯拉ンプが赤く点灯したあと、MXF動画の記録先として選択されているCFカードスロットのアクセ斯拉ンプが緑色に点灯する。



2 START/STOP(スタート/ストップ)ボタンを押す

- 撮影が始まる。前後のタリールンプが点灯し、画面に「●REC」(MXF動画とMP4動画を同時に記録中は、「●MP4 ●REC」)が表示される。
- グリップのSTART/STOPボタン、ハンドルのSTART/STOPボタン、レンズ下方のSTART/STOPボタンのいずれを押しても撮影開始できる。
- リモコン (付属)で操作するときは、START/STOPボタンと誤操作防止ボタンを同時に押す。
- MXF+MP4モード時のMP4動画の撮影操作について (131)。



3 撮影を停止するとき もう一度START/STOP(スタート/ストップ)ボタンを押す

- 撮影が終了してクリップ*がメモリーカードに記録され、撮影一時停止状態 (STBY)になる。タリールンプは消灯する。

* 本書では、1回の撮影操作で記録される動画を「クリップ」と呼びます。また、MXF形式のクリップを「MXFクリップ」、MP4形式のクリップを「MP4クリップ」と呼びます。



ご注意

- アクセ斯拉ンプが赤色に点灯/点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - アクセスしているCFカードスロットまたはSDカードスロットのカードカバーを開けて、メモリーカードを取り出さない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどを取り外さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。



MEMO

- ハンドルのSTART/STOPボタンには、誤操作防止用のロックレバーがあります。使用しないときや撮影状態を保持したままにしたいときは、ロックレバーを \mathbb{L} 側にしてください。レバーを元の位置に戻すとロックは解除されます。
- レックレビュー機能(123)を使うと、カメラモードのまま、最後に撮影したクリップの映像を再生して確認できます。
- アサインボタンに「 \mathbb{OK} Mark追加」または「 \mathbb{M} Mark追加」を割り当て、アサインボタンを押すと、最後に記録したMXFクリップにOKマーク/チェックマークを付加できます(138)。
- \mathbb{L} その他機能メニュー \mathbb{L} 「最終クリップ消去」で、最後に記録したクリップを消去できます(241)。なお、「ダブルスロット記録」が「入」のときや、MXF+MP4モードのときは、「最終クリップ消去」は使用できません。



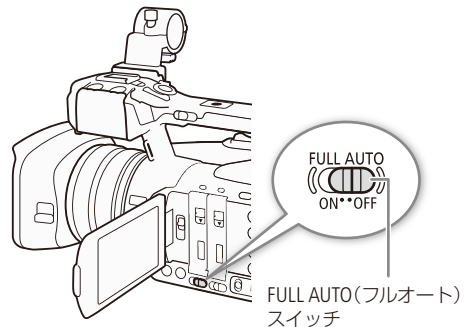
MEMO

ビデオ設定メニュー ▶ 「記録コマンド」を「入」にして、本機と他機を3G/HD-SDI端子またはHDMI OUT端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作（START/STOPボタンの操作）と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができます。

フルオートモードで撮影する

FULL AUTO（フルオート）スイッチをONにすると本機がフルオートモードになります。このときはアイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスがすべてオートに設定され、明るさとホワイトバランスが常に自動で調整されます*。ただし、フルオートモードにしてもフォーカスはオートになりません。

* 測光方式（□ 73）は「Standard」に、AEシフト（□ 73）は「±0」に、AGCリミット（□ 66）は「切/27.0 dB」に、それぞれ設定されます。



MXFクリップについて

記録されるクリップには、「AA0001」のような6文字のクリップ名（2桁の大文字英字または数字+4桁の数字）が自動的に付けられます。下4桁の数字は記録のたびにカウントアップされます。上2桁の英数字の初期値は、 その他機能メニュー ▶ 「MXF」▶ 「クリップ」であらかじめ任意の文字列に設定できます（□ 238）。記録後に変更することはできません。

- MXF動画の撮影中にリレー記録が発生すると、撮影された映像はそれぞれ別々のクリップとして記録されます。
- クリップ内の映像ファイル（ストリーム）は、約2 GB毎に分割して記録されます（本機で再生したときは、連続して再生されます）。なお、スローモーション撮影（□ 128）時は、約1 GB毎に分割して記録されます。
- カスタムピクチャーやメタデータを設定して撮影すると、それらのデータがMXF動画と一緒にクリップ内に記録されます。それぞれのデータの詳細については、「カスタムピクチャーを使用する」（□ 141）または「メタデータを操作する」（□ 118）をご覧ください。

MP4クリップについて

記録されるMP4クリップには、「100-0001」のような番号（ファイル番号）を含むクリップ名（上位3桁：フォルダー番号、下位4桁：ファイルの番号）が自動的に付けられます。番号の付けかたを選ぶこともできます（□ 124）。

- MP4クリップ内の映像ファイル（ストリーム）は、次のいずれかの条件に達すると分割して記録されます（本機で再生したときは、連続して再生されます）。分割されたファイルは、付属のData Import Utilityを使ってパソコンに取り込むと、結合できます（□ 183）。
 - ファイルサイズが約4 GB。
 - フレームレートが59.94Pで、記録時間が約29分50秒。
 - フレームレートが59.94P以外で、記録時間が約59分50秒。
- 1回の撮影操作で記録できる時間は、約12時間です。それを越えると自動的に停止します。

■ ブラウザーリモートで撮影する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで撮影することができます。また、ライブビューを使えば、ネットワークに接続した機器の画面で画角を確認することもできます。あらかじめリモート撮影(ブラウザーリモート)の準備を行っておいってください(□ 186)。画面の詳細については202ページをご覧ください。



1 ライブビュー映像を表示する

- ① LIVE VIEW ON/OFF (ライブビュー)ボタンを押す
 - ライブビュー映像が表示される。



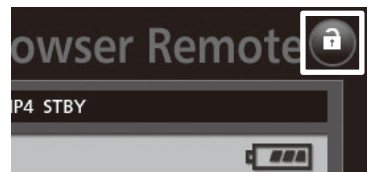
2 撮影を行う

- ① START/STOP(スタートストップ)ボタンを押す。
 - 撮影が開始され、撮影状態表示が「● REC」、「● MP4」または両方に変わり、START/STOP(スタートストップ)ボタン中央の●が赤色に変わる。
 - タイムコードはビデオカメラ本体と同様に表示される。
- ② 再度、START/STOP(スタートストップ)ボタンを押して撮影を終える。
 - 撮影状態表示が「STBY」に変わる。

操作をロックする

ブラウザーリモート画面右上の🔒ボタンを押すとブラウザーリモートのすべての操作をロックすることができます*。🔒を押すと、ロックは解除されます。

* このとき、本体側の操作はロックされません。

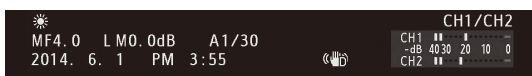


■ 撮影時の画面表示

ここでは、カメラモードのときの画面表示について説明します。ここで説明する項目はすべて、カスタムディスプレイ(□ 233)で表示/非表示を選択できます。



「日付・時刻」を表示したときの画面



画面の左側と中央

アイコン/表示	説明
	バッテリー残量と撮影/再生可能時間(分単位)の目安。☒は残量なし。充電したバッテリーと交換する。本機/バッテリーの状態により、実残量と表示が異なることがある。
記録メディア状態/記録可能時間(分)	
A / B 00 min	CFカードの状態 緑色: 記録可能(MXF動画) / 白色: 認識中。選択中のCFカードに▶が付く。
	CFカードなし/記録不可能
SD 00 min	SDカードの状態 緑色: 記録可能(MP4動画) / 黄色: 空き容量が少ない
	SDカードなし/記録不可能
D 00 min	ダブルスロット記録残量(分) * (□ 43) 緑色: 記録可能 / 赤色: 記録不可能 * MXFモードのみ。
	ズームバー (□ 80)
	00/00
	±000

アイコン/表示	説明
Infrared 	Infrared(赤外撮影)モード/ IRライト状態 (□ 134)
FAN	冷却ファン (□ 55)
	高温警告 (□ 55) 内部温度が上昇すると (黄色)が、本機を使い続けてさらに上昇すると (赤色)が表示される。
MF 00m AF MAF S.AF	フォーカスモード/被写体距離* (□ 86、89) * マニュアルフォーカスのみ。
	顔検出AF (□ 91)
ND 1/2 1/4 1/8	NDフィルター (□ 72)
	測光方式 (□ 73)

画面の上側

アイコン/表示	説明
	ネットワーク接続状態 (□ 195) 白色: 接続完了 黄色: 接続/切断処理中



アイコン/表示	説明
FTP	FTPファイル転送 (□ 207) 白色：サーバーへのログイン完了 黄色：サーバーにログイン処理中 赤色：FTP転送不可能* * カメラモードのみ。
Remote	ブラウザーリモート (□ 198) 白色：接続準備完了 黄色：接続/切断処理中 赤色：ブラウザーリモート使用不可
IP	IPストリーミング (□ 211) 白色：送信中 黄色：接続/切断処理中 赤色：IPストリーミングで送信不可

撮影状態 (記録モード)





STBY、●REC	主記録動画の撮影一時停止中/撮影中
MP4、●MP4	MP4動画の撮影一時停止中/撮影中 (MXF+MP4モードのみ)
INT STBY*、●INT STBY、●INT REC	インターバル記録：撮影一時停止中 (撮影開始前/開始後)、撮影中 * INTが点滅する。
FRM STBY*、●FRM STBY、●FRM REC	フレーム記録：撮影一時停止中 (撮影開始前/開始後) / 撮影中 * FRMが点滅する。
S&F STBY、●S&F REC	スロー & ファーストモーション記録：撮影一時停止中/撮影中
PRE REC STBY、●PRE REC	ブレ記録：撮影一時停止中/撮影中
D	ダブルスロット記録 (□ 43)
Gen.	ゲンロック (□ 101)
00:00:00.00 00:00:00.00	タイムコード (□ 97)
SD 0000	静止画の記録可能枚数
CHAR REC	表示文字記録 (□ 151)
1s ~ 10m00s	インターバルカウンター (□ 125)

画面の右側

アイコン/表示	説明
MXF/MP4 00 Mbps	動画形式 (□ 56)/ビットレート (□ 56)

アイコン/表示	説明
0000x0000	解像度 (□ 56)
00.00P、00.00i、00/00.00P	撮影フレームレート* (□ 128)/フレームレート (□ 56) * スロー&ファーストモーション記録時のみ。
WIFI	ワイヤレスコントローラー (□ 45)
DISP	画面表示出力 (□ 176)
REC →、STBY →	記録コマンド状態 (□ 230)
GPS	GPS信号の受信状態* (□ 121) 衛星未捕捉時は点滅し、衛星を捕捉すると点灯する。 * GPSレシーバー GP-E2接続時のみ。
MEMO	ユーザーメモ (□ 118)
00 00 00 00	ユーザービット (□ 100)
4ch	オーディオ4ch (□ 106)
CH0/CH0	音声出力チャンネル (□ 177)
CH1  CH2 	オーディオレベルメーター (□ 111)
LIM	オーディオリミッター (□ 112)

画面の下側

アイコン/表示	説明
CP0 、 CP0	カスタムピクチャー (□ 141)
Full Auto	フルオートモード (□ 50)
AWB 0000 K、  A  B 0000 K、 K 0000 K、  	ホワイトバランス (□ 74)
A/M F0.0	F値 (□ 69)
L/M/H A/M 00.0dB	ゲイン (□ 65)
A/M 1/0000、 M 000.00Hz、 M 000.00°	シャッタースピード (□ 59)
WA 、 TL	コンバージョンレンズ (□ 85)
MAGN	拡大表示 (□ 90)
PEAK1 、 PEAK2	ピーキング (□ 89)
1.5x 、 3.0x 、 6.0x	デジタルテレコン (□ 80)
AE ±0.00	AEシフト (□ 73)

アイコン／表示	説明
	露出バー (☐ 71)
	手ブレ補正 (☐ 93)
yyyy.mm.dd HH:MM	日時表示 (☐ 26)



MEMO

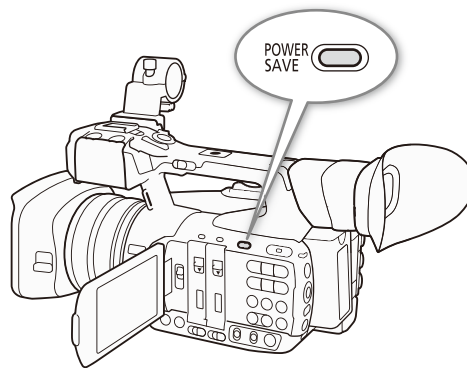
DISP.(ディスプレイ)ボタンを押すと、画面表示を次のように切り換えることができます。

全表示 → マーカーのみ表示* → 全消去

* マーカー表示 (☐ 94)を有効にしているときのみ。

■ パワーセーブモードで待機する

本機をパワーセーブモードにすると画面が消え、バッテリーの消費を軽減することができます。撮影するときは、ボタンを押すだけですぐに撮影一時停止状態 (STBY)に戻ります。



1 パワーセーブモードに入る

① POWER SAVE(パワーセーブ)ボタンを1秒以上押す。

- 電源ランプがオレンジ色に点灯して画面が消え、本機がパワーセーブモードに入る。
- パワーセーブ中は、前後のタリールンプが約3秒に一度2回点滅する。各種の設定やタイムコードは保持される。



2 パワーセーブモードから復帰する

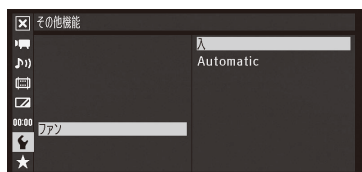
- ① POWER SAVE(パワーセーブ)ボタンを押す。
 - 画面が表示され、本機が撮影一時停止状態 (STBY)になる。

■ 冷却ファンの動作方法を選ぶ

本機内部の熱を排出する冷却ファンの動作方法を選びます。初期設定では、「入」に設定されています。

入： 冷却ファンは常に低速で回転する。本機をパワーセーブモードにすると、冷却ファンを停止する。通常はこの設定を使用する。

Automatic： 冷却ファンは、撮影一時停止中(パワーセーブモードを含む)には高速で回転し、撮影中(画面に●RECが表示中)は自動的に停止する。ただし、撮影中でも、本機の内部温度が上昇(●赤色)が出ると、冷却ファンが自動的に高速で回転する(画面にFANが出る)。内部温度が十分下がると、再び冷却ファンは停止する。この設定は、冷却ファンの動作音を記録したくないときに使用する。

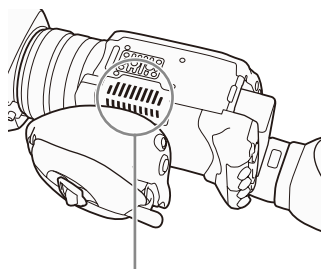


- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「ファン」を順に選ぶ。
- ② 「入」または「Automatic」を選ぶ ▶ SETを押す。

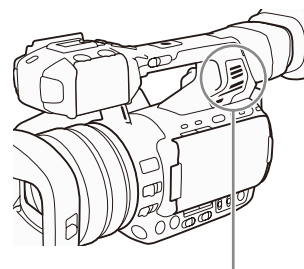


MEMO

内蔵冷却ファンの吸排気口をテープなどで塞がないでください。



AIR INTAKE (吸気口)



EXHAUST VENT (排気口)

映像の信号形式を選ぶ

CAMERA

MEDIA

MXF

MXF+MP4

MP4

映像を記録するときの信号形式を切り換えることができます。信号形式は、動画形式、ビットレート、解像度、フレームレートと撮影時のスキャン方式の組み合わせからなります。動画形式にはMXF形式とMP4形式があり、お使いのワークフローに適した形式を選択できます。MXF形式の動画はCFカードに、MP4形式の動画はSDカードに記録されます。MXF形式とMP4形式の動画を両方同時に記録することもできます(□ 131)。また、MXF動画のダブルスロット記録(□ 43)を併用すれば、3枚の記録メディアに映像を同時に記録することもできます。

MXF動画の記録信号形式一覧

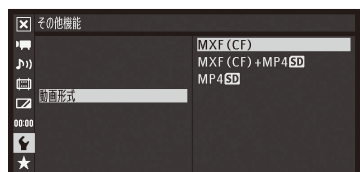
ビットレート	解像度	フレームレート			
		59.94i	59.94P	29.97P	23.98P
50 Mbps (CBR 4:2:2)	1920×1080	●	—	●	●
	1280×720	—	●	●	●
35 Mbps (VBR 4:2:0)	1920×1080	●	—	●	●
	1440×1080	●	—	—	—
	1280×720	—	●	●	●
25 Mbps (CBR 4:2:0)	1440×1080	●	—	●	●

()内は、ビットレートの方式とカラーサンプリング方式です。

MP4動画の記録信号形式一覧

ビットレート	解像度	オーディオビットレート	フレームレート		
			59.94P	29.97P	23.98P
35 Mbps	1920×1080	256 kbps	●	—	—
24 Mbps			—	●	●
17 Mbps	1280×720	128 kbps	●	—	—
9 Mbps			—	●	●
3 Mbps*	640×360		—	●	●

* MXF+MP4モードのみ(□ 131)。



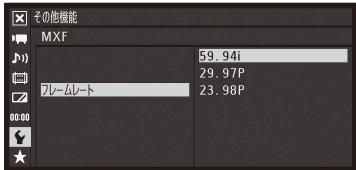
1 「動画形式」を選ぶ

- ① 他機能メニュー ▶ 「動画形式」を順に選ぶ。
- ② 「MXF(CF)」、「MXF(CF)+MP4(SD)」、「MP4(SD)」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。



2 ビットレートと解像度を選ぶ

- ① 他機能メニュー ▶ 「MXF」または「MP4」▶ 「ビットレート/解像度」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選んだビットレートと解像度が画面に表示される。なお、MXF+MP4モードでは、MXF動画のビットレート/解像度のみ表示される。



3 フレームレートを選ぶ

- 次の場合はこの操作は不要。
 - MXFモードで「35 Mbps 1440x1080」のとき。
 - MP4モードで「35 Mbps 1920x1080」のとき。
 - MP4モードで「17 Mbps 1280x720」のとき。
- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「MXF」または「MP4」 ▶ 「フレームレート」を順に選ぶ。
 - ② いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選んだフレームレートが画面に表示される。



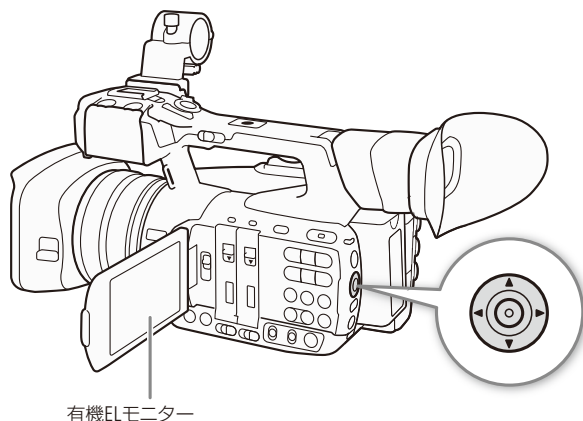
MEMO

- MXF+MP4モード時のMP4動画の記録信号形式については、「MXF動画とMP4動画を同時に記録する」(131)をご覧ください。
- 各種出力端子からの信号については、「出力信号形式」(172)をご覧ください。

カメラダイレクト設定を使う

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

画面を見ながらジョイスティックを操作して、ホワイトバランス、ゲイン、シャッタースピードを設定することができます(カメラダイレクト設定)。ここではカメラダイレクト設定の基本操作や共通操作について説明します。ホワイトバランス、ゲイン、シャッタースピードの詳細については、各機能のページをご覧ください。

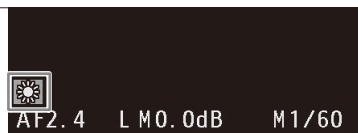


■ カメラダイレクト設定の基本操作



1 カメラダイレクト設定に入る

- SETを押す。
 - 画面のホワイトバランス、ゲイン、シャッタースピードのいずれかの背景がオレンジ色になる。
- ジョイスティックを左右に押して、設定したい項目に切り換える。
 - ジョイスティックを右に押すたびに、次の順に設定対象が切り換わる。



ホワイトバランスモード → ホワイトバランス (プリセット微調整/色温度調整)*1 → ゲインモード → ゲインの値*2 → シャッタースピードモード*3 → シャッタースピードの値*2*3 → ホワイトバランス

*1 ホワイトバランスの調整方法がプリセット設定または色温度設定

*2 モードがマニュアルのときのみ。

*3 SHUTTER(シャッター)スイッチがONのときのみ。



2 値を調整する

- ジョイスティックを上下に押してモードまたは数値を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 設定値が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。
 - 画面のオレンジ色の表示は解除される。



MEMO

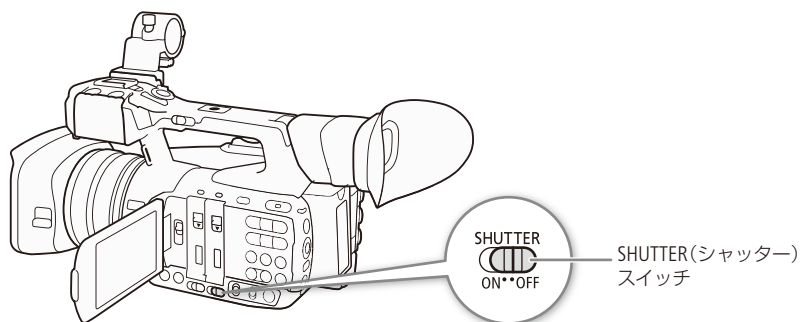
約6秒間操作しないか、またはメニューやステータス画面を開くと、カメラダイレクト設定は自動的に終了します。

シャッタースピードを調整する

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

シャッタースピードを調整すると、動きの速い被写体（スポーツや乗り物など）を鮮明に撮影する、低照度のシーンを明るく撮影するなど被写体や撮影環境に合わせて撮影できます。シャッタースピードには、次の6種類の設定方式があります。

- OFF： シャッタースピードを調整しないで、各フレームレートの基準シャッタースピードを使用するときは、SHUTTER(シャッター)スイッチをOFFにする。
- オート： 映像の明るさに応じて、シャッタースピードを無段階で自動調整する。スロー&ファーストモーション記録のときは選択できない。
- スピード： 秒数でシャッタースピードを設定する。設定時の刻み幅は、ノーマルとファインを選択できる。
- アングル： 開角度でシャッタースピードを設定する。
- クリアスキャン： 周波数でシャッタースピードを設定する。モニター画面に黒い帯が出ないようにするときなど。
- スロー： フレームレートより低速のシャッタースピードを秒数で設定する。低照度の場所で撮影するときなど。スロー&ファーストモーション記録のときは選択できない。



設定可能なシャッタースピード


選択できるシャッタースピードはフレームレートによって異なります。

		フレームレート		
		59.94i / 59.94P	29.97P	23.98P
シャッタースピードの設定方式	OFF	1/60秒	1/30秒	1/24秒
	オート ^{*2}	1/60 ~ 1/500秒	1/30 ~ 1/500秒	1/24 ~ 1/500秒
	Infraredモード時	1/60 ~ 1/100秒	1/30 ~ 1/100秒	1/24 ~ 1/100秒
	Infraredモードで、スローシャッター時 ^{*3}	1/30 ~ 1/100秒	1/15 ~ 1/100秒	1/12 ~ 1/100秒
	スピード ^{*4} (「Shutterステップ」: 「ノーマル」)	1/60、1/75、1/90、1/100、 1/120、1/150、1/180、1/210、 1/250、1/300、1/360、1/420、 1/500、1/600、1/720、1/840、 1/1000、1/1200、1/1400、 1/1700、1/2000秒	1/30、1/34、1/40、1/48、1/50、 1/60、1/75、1/90、1/100、 1/120、1/150、1/180、1/210、 1/250、1/300、1/360、1/420、 1/500、1/600、1/720、1/840、 1/1000、1/1200、1/1400、 1/1700、1/2000秒	1/24、1/25、1/30、1/34、1/40、 1/48、1/50、1/60、1/75、1/90、 1/100、1/120、1/150、1/180、 1/210、1/250、1/300、1/360、 1/420、1/500、1/600、1/720、 1/840、1/1000、1/1200、 1/1400、1/1700、1/2000秒
	アングル ^{*1}	360°、240°、216°、180°、 120°、90°、60°、45°、30°、 22.5°、15°、11.25°	360°、240°、216°、180°、 120°、108°、90°、60°、45°、 30°、22.5°、15°、11.25°	360°、345.6°、288°、240°、 180°、172.8°、144°、120°、 90°、86.4°、72°、60°、45°、 30°、22.5°、15°、11.25°
	クリアスキャン ^{*1}	59.94 Hz ~ 250.51 Hz	29.97Hz ~ 250.51 Hz	23.98 Hz ~ 250.51 Hz
スロー ^{*2}	1/4、1/8、1/15、1/30秒	1/4、1/8、1/15秒	1/3、1/6、1/12秒	

*1 スロー & ファーストモーション記録の場合、設定できる値は撮影フレームレートによって変わる。

*2 スロー & ファーストモーション記録のときは使用できない。

*3  カメラ設定メニュー > 「Infrared」 > 「スロー Shutter」の設定。

*4  カメラ設定メニュー > 「Shutter」 > 「Shutterステップ」が「ファイン」のときは、最大1/256段刻みで調整可能。

■ オートで調整する

カメラダイレクト設定で設定する

カメラダイレクト設定の詳細については、58ページをご覧ください。

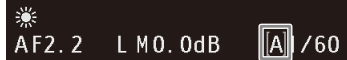


1 SHUTTER(シャッター)スイッチをONにする



2 カメラダイレクト設定に入り、オートに切り換える

- ① SETを押す。
- ② ジョイスティックを左右に押して、設定対象をシャッタースピードモードに切り換える。
- ③ ジョイスティックを上下に押して、**A**を選ぶ ▶ SETを押す。



MEMO

カメラ設定メニュー ▶ 「Shutter」 ▶ 「モード」で、シャッタースピードモードを切り換えることもできます (□ 226)。さらに、アサインボタンに「Shutterモード」を割り当てれば、アサインボタンを押してシャッタースピードモードを切り換えることもできます (□ 138)。

ブラウザーリモートで設定する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影(ブラウザーリモート)の準備を行っておいてください (□ 186)。



- ① シャッタースピードの設定方式を押す。
- ② 「Auto」を押して、シャッタースピードの設定方式をオートにする。

■ マニュアルで調整する

設定方式をスピード、アングル、クリアスキャン、スローから選んで、シャッタースピードを手動で調整します。

カメラダイレクト設定で調整する

カメラダイレクト設定の詳細については、58ページをご覧ください。

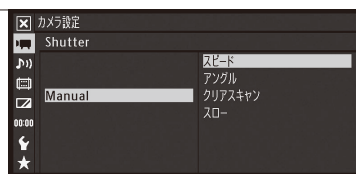


1 SHUTTER(シャッター)スイッチをONにする



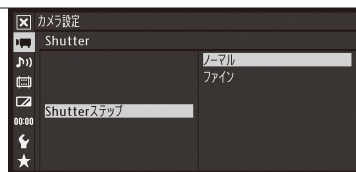
2 シャッタースピードの設定方式を選ぶ

- 1 カメラ設定メニュー ▶ 「Shutter」 ▶ 「Manual」 を順に選ぶ。
- 2 いずれかを選ぶ ▶ SETを押す



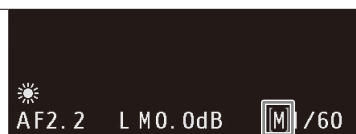
3 「スピード」を選んだとき 設定時の刻み幅を選ぶ

- 1 カメラ設定メニュー ▶ 「Shutter」 ▶ 「Shutterステップ」を順に選ぶ。
- 2 「ノーマル」または「ファイン」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 「ファイン」にすると、最大1/256段刻みで調整可能。
- 3 MENUボタンを押す。



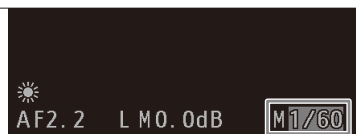
4 カメラダイレクト設定に入り、マニュアルに切り換える

- 1 SETを押す。
- 2 ジョイスティックを左右に押して、設定対象をシャッタースピードモードに切り換える。
- 3 ジョイスティックを上下に押して、シャッタースピードモードをMに切り換える。



5 値を調整する

- 1 ジョイスティックを左右に押して、設定対象をシャッタースピードの値に切り換える。
- 2 ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ。
 - クリアスキャンのときは、画面上に黒い帯が出ないように周波数を選ぶ。
- 3 SETを押す。
 - 設定値が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。
 - 画面のオレンジ色の表示は解除される。



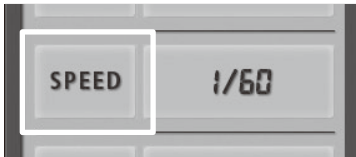


MEMO

アサインボタンに「Shutterステップ」を割り当てると、アサインボタンを押してシャッタースピードの刻み幅を変更できます (□ 138)。同様に、アサインボタンに「Shutterモード」を割り当てると、アサインボタンを押してシャッタースピードのモードを変更することができます。

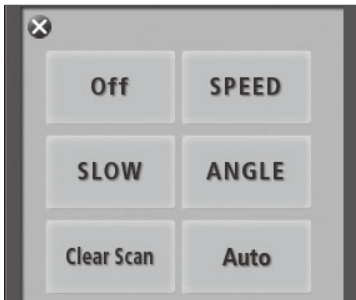
ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影 (ブラウザーリモート) の準備を行っておいてください (□ 186)。



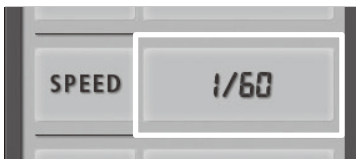
1 シャッタースピード設定を選ぶ

- ① シャッタースピードの設定方式を押す。



2 シャッタースピードの設定方式を選ぶ

- ① 「Off」、「SPEED」、「SLOW」、「ANGLE」、「Clear Scan」 (クリアスキャン) のいずれかを選ぶ。



3 値を調整する

- ① シャッタースピードの設定値を押す。
 - 選択可能なシャッタースピードの値が表示される。
- ② いずれかの値を選ぶ。
 - 必要に応じて画面をスクロールさせて値を選ぶ。
 - 選んだシャッタースピードの値がブラウザーリモートの画面に表示される。

スローによる撮影について

スローを使うと、明るさが不足している場所で被写体を明るく撮影できます。また、動いている被写体をパンするときに背景を流す、ズームに残像効果を加えるなどの特殊効果として使用することもできます。

- 通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- オートフォーカスではピントが合いにくいことがあります。



MEMO

小絞りによるボケを防ぐには

晴天下などの明るい場所で撮影するときに絞りを絞り込むと、小絞りによるボケが発生することがあります。この現象は、シャッタースピードを高速にして、絞りを開くことによって防止できます。

- ゲインとアイリスがマニュアルで、シャッタースピードがオート以外のときは、画面に露出バーが表示され、露出調整の目安に使用できます(□ 71)。
- 本機をInfraredモード(□ 134)にすると、シャッタースピードはオートになります。また、Infraredモードとスロー & ファーストモーション記録を同時に有効にすると、シャッタースピードはOFFになります。
- 本機のSHUTTER切り換えスイッチの位置に関わらず、リモートコントローラー RC-V100(別売)のSHUTTER SELECTボタンでも、シャッタースピードの設定方式を切り換えられます。

■ フリッカーを抑える

蛍光灯のフリッカーを自動的に検知して補正することができます。



- ① カメラ設定メニュー ▶ 「フリッカー低減」を順に選ぶ。
- ② 「Automatic」を選ぶ ▶ SETを押す。



MEMO

人工光源の照明下でフリッカーが気になるとき

- 蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源の照明下で撮影する場合、設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出ることがあります。フリッカーは、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると抑制できることがあります。電源周波数が50Hzのときは1/50秒*または1/100秒を、60Hzのときは1/60秒または1/120秒を選んでください。

* フレームレートによっては選択できません。

ゲインを調整する

CAMERA

MEDIA

MXF

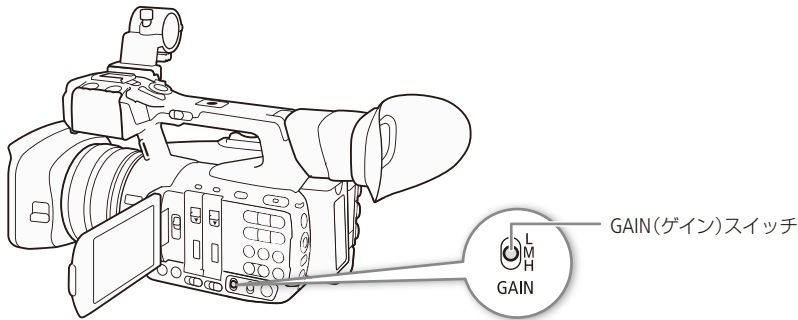
MXF+MP4

MP4

映像アンプの増幅量をゲインで設定できます。設定には次の2種類があり、GAIN (ゲイン) スイッチの各ポジション (L、M、H) にそれぞれ設定して、スイッチで切り換えて使用します。ゲインをオートに設定したときは、ゲインの最大値を設定することもできます (AGCリミット)。AGCリミットはGAINスイッチの各ポジションにそれぞれ設定可能です。

オート (AGC*) : 被写体の明るさに応じてゲインを自動調整する。* Auto Gain Control

マニュアル : ゲインを手動で設定する。



設定可能な値

	刻み幅	設定可能な値
ゲイン	3 dB	-6 dB*、-3 dB*、0 dB、3 dB、6 dB、9 dB、12 dB、15 dB、18 dB、21 dB、24 dB、27 dB、33 dB*
	「詳細設定」時 : 0.5 dB	-6 dB* ~ -0.5 dB*、0 dB ~ 27 dB

* カスタムピクチャーのGammaが「Wide DR」のときは、設定できない。

GAIN (ゲイン) スイッチを切り換える

GAIN (ゲイン) スイッチを、L、M、Hのいずれかに切り換えます。それぞれのポジションに良く使う設定をあらかじめ登録しておけば、素早くゲイン値を変更できます。



1 GAIN (ゲイン) スイッチをL、M、Hのいずれかにする

- 選択した「L」、「M」、「H」のいずれかが画面に表示される。

☀ AF2.2 [L] M0.0dB M1/100

オートで調整する

次の操作でゲインをオートに設定します。



1 カメラダイレクト設定に入り、オートに切り換える

- ① SETを押す。
- ② ジョイスティックを左右に押して、設定対象をゲインモードに切り換える。
- ③ ジョイスティックを上下に押して、**A**を選ぶ ▶ SETを押す。
 - GAINスイッチの現在のポジションがオートに設定される。

AF2.2 L[A] 7.0dB M1/100

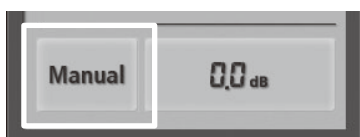


MEMO

カメラ設定メニュー ▶ 「Gain」 ▶ 「L」、「M」、「H」のいずれか ▶ 「モード」で、ゲインモードを切り換えることもできます (□ 225)。さらに、アサインボタンに「Gainモード」を割り当てれば、アサインボタンを押してゲインモードを切り換えることもできます (□ 138)。

ブラウザーリモートで設定する

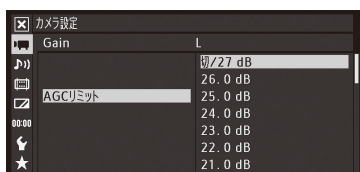
ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影(ブラウザーリモート)の準備を行っておいください (□ 186)。



- ① ゲインのモードを押す。
- ② 「Auto」を押して、ゲインモードをオートにする。

ゲインの最大値を設定する (AGCリミット)

ゲインをオートで調整するとき、AGCリミットを設定してゲインの最大値を制限することができます。本機をフルオートモード (□ 50) または Infraredモード (□ 134) にすると、「切/27 dB」になります。



- ① カメラ設定メニュー ▶ 「Gain」 ▶ 「L」、「M」、「H」のいずれか ▶ 「AGCリミット」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。

■ マニュアルで調整する

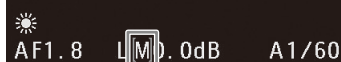
カメラダイレクト設定で調整する

カメラダイレクト設定の詳細については、58ページをご覧ください。



1 カメラダイレクト設定に入り、マニュアルに切り換える

- ① SETを押す。
- ② ジョイスティックを左右に押して、設定対象をゲインモードに切り換える。
- ③ ジョイスティックを上下に押して、**M**を選ぶ。



2 値を調整する

- ① ジョイスティックを左右に押して、設定対象をゲインの値に切り換える。
- ② ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ。
- ③ SETを押す。
 - GAINスイッチの現在のポジションに、調整した値が設定され、カメラダイレクト設定を終了する。
 - 画面のオレンジ色の表示は解除される。



MEMO

カメラ設定メニュー ▶ 「Gain」 ▶ 「L」、「M」、「H」のいずれか ▶ 「Manual」で、ゲインの値を設定することもできます。このとき、「詳細設定」を選ぶと、 $-6.0\text{ dB} \sim 27.0\text{ dB}$ のゲインを 0.5 dB 刻みで調整できます。メニューで「詳細設定」を選んだGAINスイッチのポジションは、カメラダイレクト設定でも 0.5 dB 刻みで調整できます。

ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影(ブラウザーリモート)の準備を行っておいてください(186)。



Manual

0.0 dB

1 ゲインのモードを切り換える

- ① ゲインのモードを押す。
- ② 「Manual」を押して、ゲインモードをマニュアルにする。



2 値を調整する

- ① ゲインの設定値を押す。
 - 選択可能なゲインの値が表示される。
- ② いずれかの値を選ぶ。
 - 必要に応じて画面をスクロールさせて値を選ぶ。
 - 選んだゲインの値がブラウザーリモートの画面に表示される。



MEMO

- ゲインとアイリスがマニュアルで、シャッタースピードがオート以外のときは、画面に露出バーが表示され、露出調整の目安に使用できます(□ 71)。
- ゲインを上げると画面が多少ざらつくことがあります。また画面に色むら、白い点、縦線などが現れることがあります。
- 本機をInfraredモード(□ 134)にすると、ゲインはオートになります。
- GAIN(ゲイン) スイッチでゲインを切り換えたときの値が変化する速さを、☛その他機能メニュー ▶ 「Custom Function」の「ショックレスGain」で設定できます(□ 241)。
- GAINスイッチのポジション(L / M / H) の値は、リモートコントローラー RC-V100(別売) のISO/GAIN(ISO感度/ゲイン) 上/下ボタンを押して調整することもできます。

アイリスを調整する

CAMERA

MEDIA

MXF

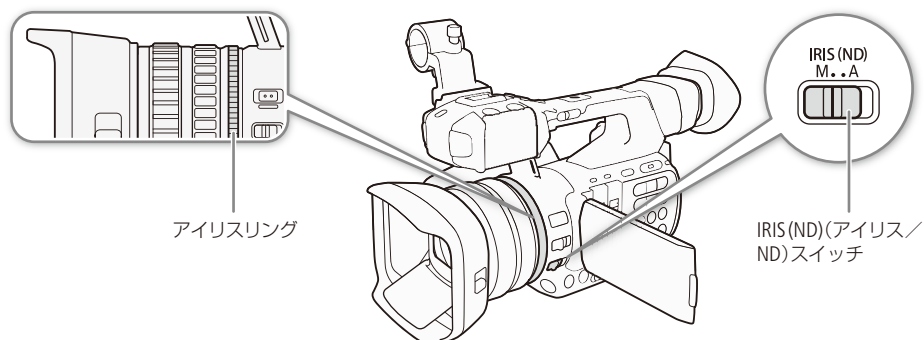
MXF+MP4

MP4

被写体の明るさに応じてアイリス（絞り）を調整します。被写界深度を変えて背景や周囲をぼかし、被写体を引き立たせたいときは絞り値を小さく、近くのものから遠くのものまでピントを合わせたいときは、絞り値を大きく設定します。設定のしかたには、次の2種類があります。

オート： 被写体の明るさに応じてアイリスを自動調整する。

マニュアル： アイリスリングを回して、アイリスを手動で調整する。




撮影

■ 設定可能な値

	設定可能な値	アイリスリミットが「切」のときのみ*
		オート
マニュアル	F1.8, F2.0, F2.2, F2.4, F2.6, F2.8, F3.2, F3.4, F3.7, F4.0, F4.4, F4.8, F5.2, F5.6, F6.2, F6.7, F7.3, F8.0	F8.7, F9.5, F10, F11, F12, F14, F15, F16, CLOSE

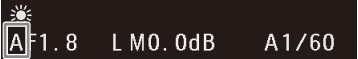
* ④ その他機能メニュー ▶ 「Custom Function」 ▶ 「Irisリミット」(241)。

■ オートで調整する



1 IRIS(ND)(アイリス)スイッチをAにする

- 画面のF値の左にAが表示され、適正露出になるように絞りが自動調整される。



MEMO アイリスを自動で調整するときの応答性を、④ その他機能メニュー ▶ 「Custom Function」 ▶ 「AEレスポンス」で設定できます (241)。

ブラウザーリモートで設定する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影(ブラウザーリモート)の準備を行っておいてください(□ 186)。



- ① アイリスのモードを押す。
- ② 「Auto」を押して、アイリスモードをオートにする。

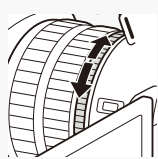
■ マニュアルで調整する

アイリスリングで調整する



1 IRIS(ND)(アイリス)スイッチをMにする

- 画面のF値の左にMが表示され、絞りの手動調整が可能になる。

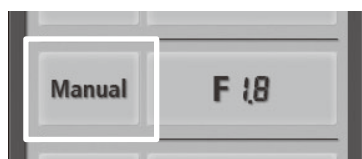


2 アイリスリングを回してF値を調整する

- 画面に1/4段刻みでF値が表示される。

ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影(ブラウザーリモート)の準備を行っておいてください(□ 186)。



1 アイリスモードをマニュアルにする

- ① アイリスのモードを押す。
- ② 「Manual」を押して、アイリスのモードをマニュアルにする。

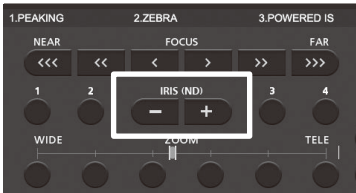
F値を選んで調整する



2 値を調整する

- ① F値ボタンを押す。
 - 選択可能なF値が表示される。
- ② いずれかの値を選ぶ。
 - 必要に応じて画面をスクロールさせて値を選ぶ。
 - 選んだF値がブラウザリモートの画面に表示される。

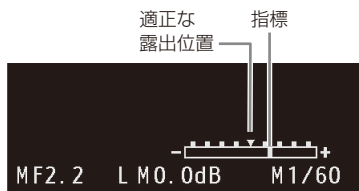
IRISボタンで調整する



2 IRISの-ボタンまたは+ボタンを押して調整する。

- ボタン：絞りを約1/16段刻みで絞る。
- +ボタン：絞りを約1/16段刻みで開く。
- F値表示は1/4段刻みで行われる。

露出バー



ゲインとアイリスがマニュアルで、シャッタースピードがオート以外
のときは、画面に露出バー*が表示され、現在の露出位置を指標で
確認できます。

* 1/2段の刻み幅で-2段～+2段まで表示でき、この範囲を超えると
指標が点滅します。

MEMO

- アイリスをオート(フルオートモードを除く)に切り換えるとき、手動で設定したF値は記憶されません。オートからマニュアルに切り換えたときは、オートのF値が引き継がれます。
- NDフィルターが挿入されているときに、アイリスを絞り込むと画面が暗くなることがあります。このときは、NDフィルターを「切」にして、アイリスを再調整してください。
- アイリスリングの操作方向は、☛その他機能メニュー > 「Custom Function」の「I. Ring方向」で設定できます(☞ 241)。
- リモートコントローラー RC-V100(別売)でアイリスを調整するときは、RC-V100のIRIS(アイリス)ダイヤルを右に回すとF値が小さくなり、左に回すとF値が大きくなります(初期状態)。

アイリスに絞り制限をつける (アイリスリミット)

☛ その他機能メニュー ▶ 「Custom Function」の「Irisリミット」(☐ 241)で、絞り (設定可能F値)の最大値を制限することができます。

入： 小絞り回折F値* (F8.0)まで絞れる。

切： CLOSEまで絞れる。F値が小絞り回折F値を超えると、画面のF値が灰色になる。

* 小絞り回折F値を超えると、小絞りによるボケが発生します。

NDフィルターを使う

初期状態では、NDフィルターはF値に応じて挿入されます。絞りを絞り込んでF値がF4.0になるとNDフィルターが自動的に挿入され、1/2、1/4、1/8と自動的に切り換わります (「ND 1/2」、「ND 1/4」、「ND 1/8」のいずれかが画面に表示される)。F4.4以上のF値ではNDフィルター 1/8が使用されます。アイリスをマニュアルで調整するときなど、NDフィルターを使用しないときは、NDフィルターを「切」にすることもできます。



- ① ☛ カメラ設定メニュー ▶ 「ND Filter」を順に選ぶ。
- ② 「Automatic」または「切」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。

ブラウザーリモートで設定する

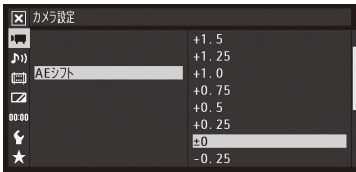
ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影 (ブラウザーリモート)の準備を行っておいってください (☐ 186)。



- ① 「ND Auto」または「ND Off」を押す。
 - 左の画面は、「ND Auto」が選択された状態を示す。

■ 露出を調整する (AEシフト)

AEによって自動的に決められる露出を意図的に補正して、明るめや暗めに撮影できます。補正量は-2段～+2段まで17段階で設定できます。本機がフルオートモードのときは使用できません。



- ① カメラ設定メニュー ▶ 「AEシフト」を順に選ぶ。
- ② いずれかの値を選ぶ ▶ SETを押す。

-2.0、-1.75、-1.5、-1.25、-1.0、-0.75、-0.5、-0.25、±0、
+0.25、+0.5、+0.75、+1.0、+1.25、+1.5、+1.75、+2.0

■ 測光方式を設定する

アイリス、シャッタースピード、ゲインのいずれかがオートの場合、撮影シーンに合わせて測光方式を設定すると、より適正な明るさで撮影することができます。



- ① カメラ設定メニュー ▶ 「測光方式」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。

バックライト： 逆光のシーンを撮影するとき、画面中の暗部をより明るく制御する。

Standard(スタンダード)： 画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。

スポットライト： スポットライトが当たった被写体を撮影するとき、スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。

- 「バックライト」を選ぶと画面に が、「スポットライト」を選ぶと画面に が表示される。



アサインボタンに「バックライト」または「スポットライト」を割り当てると、アサインボタンを押して測光方式を切り換えられます (P.138)。

ホワイトバランスを調整する

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

照明や太陽光などの光源の色温度に応じて、ホワイトバランスを設定することができます。調整のしかたには次の4種類があり、WHITE BAL. (ホワイトバランス) スイッチの各ポジション (A、B、PRESET) にそれぞれ設定して、スイッチで切り換えて使用できます*。

* WHITE BAL. スイッチのポジションによって、設定できる調整方法が異なります (下表)。

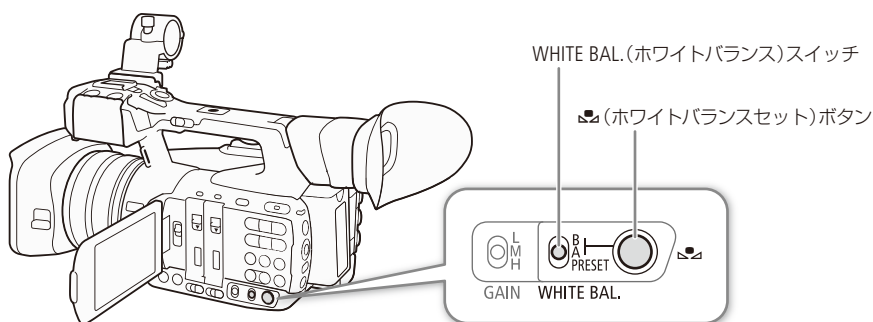
オートホワイトバランス (AWB) : 常に適切なホワイトバランスになるように自動調整する。

プリセット設定 : 「☀ (太陽光)」または「💡 (電球)」のいずれかを選ぶ。

色温度設定 : 2000K ~ 15000Kの範囲で色温度を設定する。

ホワイトバランスセット : 実際に白い紙などを写して設定し、設定値を「セットA」または「セットB」として登録する。

蛍光灯下で撮影するときは、オートホワイトバランスを使うか、ホワイトバランスセットで調整してください。プリセット設定を使うときは、さらに+9 ~ -9の範囲で微調整することができます。



WHITE BAL. スイッチのポジションと使用できる調整方法

調整方法	WHITE BAL. (ホワイトバランス) スイッチのポジション		
	A	B	PRESET
オートホワイトバランス (AWB)	●	●	●
プリセット設定	—	—	●
色温度設定	—	—	●
ホワイトバランスセット	●	●	—





MEMO

- カスタムピクチャーの「Color Matrix」または「White Balance」を設定しているときは、それらの設定がホワイトバランス設定より優先されます。
- 他機能メニュー ▶ 「Custom Function」 ▶ 「ショックレスWB」を「入」にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値がなめらかに変化します (P. 241)。
- リモートコントローラー RC-V100 (別売) のAWBボタン、A / Bボタン、PRESETボタン、📷ボタンを使って、調整することもできます。

■ オートホワイトバランス (AWB) で調整する

常に適切なホワイトバランスになるように自動で調整します。光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスも自動的に調整し直されます。

	<p>1 WHITE BAL.(ホワイトバランス)スイッチをA、B、PRESETのいずれかにする</p>
	<p>2 カメラダイレクト設定に入り、オートに切り換える</p> <ol style="list-style-type: none"> ① SETを押す。 ② ジョイスティックを左右に押して、設定対象をホワイトバランスモードに切り換える。 ③ ジョイスティックを上下に押して、AWBを選ぶ ▶ SETを押す。 <ul style="list-style-type: none"> ● AWBの右に現在の色温度が表示される。



ブラウザーリモートで設定する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影(ブラウザーリモート)の準備を行っておいてください(□ 186)。



- ① ホワイトバランスの調整方法を押す。
- ② 「Auto」を押して、ホワイトバランスモードをオートにする。

MEMO

オートホワイトバランスでうまくいかないとき
 次のような条件で撮影する場合、画面の色が不自然なときは☀️(ホワイトバランスセット)で調整してください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯 / LED照明下での撮影。

● ❶カメラ設定メニュー ▶ 「White Balance」 ▶ 「A」、「B」、「PRESET」のいずれかで、ホワイトバランスモードを切り換えることもできます(□ 226)。さらに、アサインボタンに「WB モード」を割り当てれば、アサインボタンを押してホワイトバランスモードを切り換えることもできます(□ 138)。

■ プリセット設定／色温度設定で調整する

屋外（太陽光）用、または屋内（電球）用にプリセットされた設定を選ぶか、色温度を指定してホワイトバランスを調整します。プリセット設定を選んだときは、+9～-9の範囲で微調整することができます。色温度は、設定範囲が2000K～15000Kで、100K刻みで設定できます。

カメラダイレクト設定で調整する

カメラダイレクト設定の詳細については、58ページをご覧ください。



1 モードをPresetにし、割り当てる調整方法を選ぶ

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「White Balance」 ▶ 「PRESET」を順に選ぶ。
- ② 「モード」 ▶ 「Preset」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ③ 「Preset」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ④ 「太陽光」、「電球」、「Kelvin」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
- ⑤ MENUボタンを押す。



2 WHITE BAL. (ホワイトバランス) スイッチをPRESETにする

- 画面に「☀ (太陽光)」、「💡 (電球)」、「K (色温度)」のいずれかが表示される。



MF2.2 L M0.0dB A1/60



3 「☀ (太陽光)」または「💡 (電球)」を選んだとき必要に応じて微調整する

- ① SETを押してカメラダイレクト設定に入る。
- ② ジョイスティックを左右に押して、設定対象をホワイトバランス（プリセットの微調整）に切り換える。
 - 微調整用の入力エリアが、画面上にオレンジ色で表示される。
- ③ ジョイスティックを上下に押して、調整する。
- ④ SETを押す。
 - 調整値が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。
 - 画面上のオレンジ色の表示が解除される。



MF2.2 L M0.0dB A1/60



4 「K(色温度)」を選んだとき 色温度を設定する

- ① SETを押してカメラダイレクト設定に入る。
- ② ジョイスティックを左右に押して、設定対象をホワイトバランス(色温度調整)に切り換える。
 - 色温度調整用の入力エリアが画面上にオレンジ色で表示される。
- ③ ジョイスティックを上下に押して、調整する。
- ④ SETを押す。
 - 色温度が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。
 - 画面上のオレンジ色の表示が解除される。

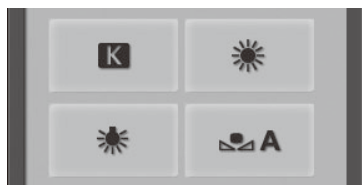
ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影(ブラウザーリモート)の準備を行っておいください(□ 186)。



1 ホワイトバランスの調整方法を選ぶ

- ① ホワイトバランスの調整方法を押す。
- ② 「☀️」、「💡」、「K」のいずれかを選ぶ。



2 「☀️(太陽光)」または「💡(電球)」を選んだとき 必要に応じて微調整する

- ① 調整値を押す。
 - 選択可能な微調整値が表示される。
- ② いずれかの値を選ぶ。
 - 選んだ微調整値が決定され、ブラウザーリモートの画面に表示される。

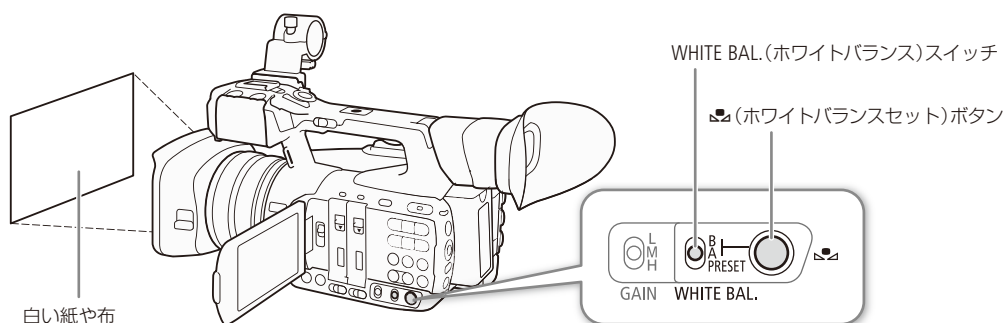


3 「K(色温度)」を選んだとき 色温度を設定する

- ① 色温度の値を押す。
 - 選択可能な色温度が表示される。
- ② いずれかの値を選ぶ。
 - 選んだ色温度が決定され、ブラウザーリモートの画面に表示される。

■ ホワイトバランスセットで調整する

実際に撮影する環境下で白い紙などを写して基準白色を取り込みます。「A」および「B」の2種類の設定を登録できます。



1 WHITE BAL. (ホワイトバランス)スイッチをA、Bのいずれかにする

- 画面に「A」または「AWB」が表示される。



MF2.2 L M0.0dB M1/60



2 カメラダイレクト設定に入り、「A」または「B」に切り換える

- ① SETを押す。
- ② ジョイスティックを左右に押して、設定対象をホワイトバランスモードに切り換える。
- ③ ジョイスティックを上下に押して、「A」または「B」を選ぶ。

登録済みのホワイトバランスセットを選ぶとき

SETを押す。以降の操作は不要。

- 一度も設定を登録していないときは、選んだ「A」 / 「B」が画面上で点滅する。

3 被写体と同じ照明条件の場所に白い紙や布などを置き、画面いっぱい to 写す

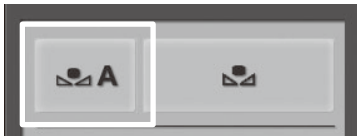


4 基準白色を取り込んで、登録する

- ① (ホワイトバランスセット) ボタンを押す。
 - カメラダイレクト設定から抜け、「A」または「B」が速く点滅する。
 - 調整中は、白い紙または布などを画面いっぱいに写し続ける。
 - 点滅→点灯に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

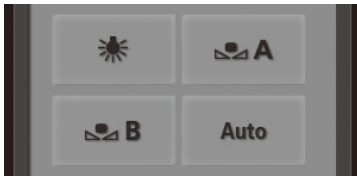
ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影(ブラウザーリモート)の準備を行っておいてください(186)。



1 ホワイトバランスの調整方法を選ぶ

- ① ホワイトバランスの調整方法を押す。
- ② 「A」または「B」を選ぶ。



2 基準白色を取り込んで、登録する

- 一度も登録されていないときは、「A」または「B」がゆっくり点滅する。
- ① 白い紙や布などを画面いっぱいに写し、「A」を押す。
 - 「A」または「B」が早く点滅し、点灯になったら調整完了。



MEMO ホワイトバランスセットで調整するとき

- カメラ設定メニュー ▶ 「Zoom」 ▶ 「モード」を「ノーマル」にしてください。
- 場所や明るさが変わったときは、セットし直してください。
- 光源によっては、ごくまれに「A」が速い点滅→点灯にならない(速い点滅から遅い点滅に変わる)ことがあります。その場合でもオートホワイトバランスより適切に調整されていますので、そのまま撮影できます。

ズームを操作する

CAMERA

MEDIA

MXF

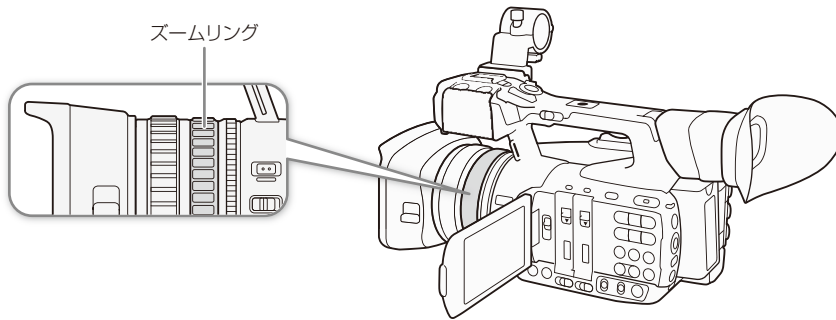
MXF+MP4

MP4

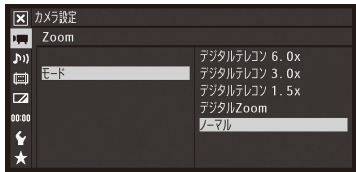
ズームリングまたはズームロッカー（グリップ部／ハンドル部／リモコン）を操作して、光学で20倍までズームできます。デジタルズーム*1を使用すると120倍までズームできます。また、メニューでデジタルテレコン（焦点距離の倍率：約1.5倍、3倍、6倍）*2を選ぶこともできます。

*1 20倍～120倍の範囲は映像をデジタル処理するため、映像が粗くなります。

*2 映像をデジタル処理するため、ズームの全域で映像が粗くなります。



ズームのモードを選ぶ



① **カメラ設定メニュー** ▶ 「Zoom」▶ 「モード」を順に選ぶ。

② いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。

デジタルテレコン 6.0x：焦点距離をテレ側に約6倍、約3.0倍、または1.5倍移動する。

デジタルテレコン 1.5x

デジタルZoom：光学で20倍まで、デジタルで20～120倍のズームが可能。

ノーマル：光学で20倍までズーム可能。



ズーム操作を行うと、ズーム位置の目安となるズームバー*1が画面に表示されます。バーの色が白色の領域は光学ズーム、水色または青色の領域はデジタルズーム*2を表わします。

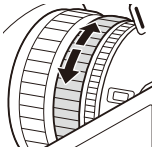
*1 **その他機能メニュー** ▶ 「Custom Function」の「Zoom表示」で数値表示に変更することもできます（□ 242）。

*2 デジタルズーム（後述）のときのみ。

MEMO

- **カメラ設定メニュー** ▶ 「ワイド画角」を「ワイド」に設定すると、ワイド端の焦点距離を短くでき（35mmフィルム換算で約26.8mm）、より広角に撮影できます。アサインボタンに「ワイド画角」を割り当てれば、アサインボタンを押してワイド画角を選択することもできます（□ 138）。
- テレコンバーター TL-H58を装着すると約1.5倍の望遠撮影が、ワイドアタッチメントWA-H58を装着すると約0.75倍の広角撮影ができます（□ 85）。TL-H58とデジタルテレコンを併用することもできます。
- アサインボタンに「デジタルテレコン」を割り当てると、アサインボタンを押してデジタルテレコンの倍率を変更できます。また、アサインボタンに「デジタルZoom」を割り当てると、アサインボタンを押してデジタルズームを入/切できます（□ 138）。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）を装着時にデジタルテレコンを使用すると、RC-V100のEXTENDER（エクステンダー装着）ランプが点灯します。
- **カメラ設定メニュー** ▶ 「コンバージョンレンズ」が「WA-H58」のときは、「デジタルテレコン6.0x / 3.0x / 1.5x」と「デジタルZoom」を選択できません。

■ ズームリングで操作する



ズームリングを回してズームを調整します。ズームスピードは、ズームリングをゆっくり回すと低速になり、速く回すと高速になります。

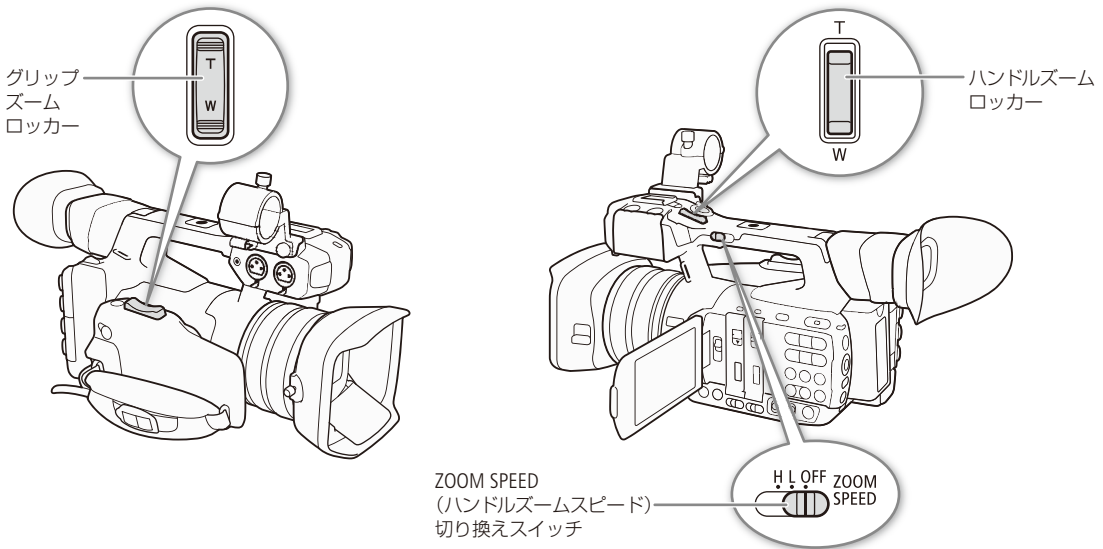


MEMO

ズームリングの操作方向と感度を、▼その他機能メニュー▶「Custom Function」の「Z. Ring方向」および「Z. Ring操作」でそれぞれ設定できます (P. 241)。

■ ズームロッカーまたはリモコンで操作する

グリップ/ハンドルのズームロッカーや付属のリモコン、REMOTE (リモート) 端子に接続したリモートコントローラー RC-V100 (別売) / 市販のリモコンでズームを操作します。



グリップズームロッカーで操作する

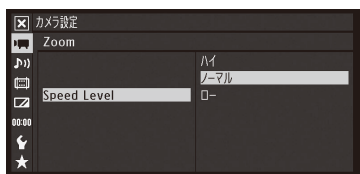


広角にするときはW(ワイド)側を押し、望遠にするときはT(テレ)側を押しします。ズームロッカーの押しかた (操作量) に応じてズーム速度が変わる「可変速」と、一定の速度でズームする「固定」とを切り換えることができ、ズームスピードはメニュー (▼カメラ設定メニューの「Zoom」) の設定の組み合わせで決まります。

グリップズームロッカー操作のズームスピード

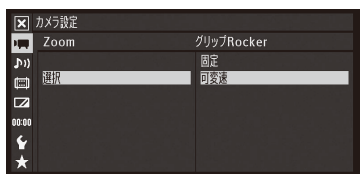
「グリップRocker」		「Speed Level」の設定とワイド端→テレ端の時間		
「選択」の設定	「固定Speed」の設定 (16段階)	ロー	ノーマル	ハイ
固定 (固定速)	1 (最低速)	約4分45秒	約3分	約1分
	16 (最高速)	約4.0秒	約2.5秒	約1.7秒*
可変速	ズームロッカーの押しかた によって可変	約4.0秒～約4分45秒	約2.5秒～約3分	約1.7秒* ～約1分

* ズームスピードが約1.7秒のときは、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがある。



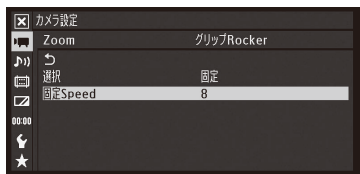
1 スピードレベルを設定する

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「Zoom」 ▶ 「Speed Level」を順に選ぶ。
- ② 「ハイ」、「ノーマル」、「ロー」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。



2 「固定」または「可変速」を選ぶ

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「Zoom」 ▶ 「グリップRocker」 ▶ 「選択」を順に選ぶ。
- ② 「固定」または「可変速」を選ぶ ▶ SETを押す。



3 「固定」の場合 ズーム速度を選ぶ

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「Zoom」 ▶ 「グリップRocker」 ▶ 「固定Speed」を順に選ぶ。
- ② 「1」から「16」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。



MEMO

グリップロッカーのズームスピードが可変速の場合、「ハイSpeed Zoom」(□ 227)を「入」にすると、撮影一時停止中のスピードレベルを一時的に「ハイ」にできます。撮影中はメニューで選んだスピードレベルで動作します。

ハンドルズームロッカーで操作する




広角にするときはW (ワイド) 側を押し、望遠にするときはT (テレ) 側を押します。ズームのしかたは固定速で、ズームスピードはZOOM SPEED (ハンドルズームスピード) 切り換えスイッチとメニュー (カメラ設定メニューの「Zoom」) の設定の組み合わせで決まります。

ハンドルズームロッカー操作のズームスピード


	「ハンドルRocker H」または「ハンドルRocker L」の設定 (16段階)	「Speed Level」の設定とワイド端→テレ端の時間		
		ロー	ノーマル	ハイ
固定 (固定速)	1 (最低速)	約4分45秒	約3分	約1分
	16 (最高速)	約4.0秒	約2.5秒	約1.7秒*

* ズームスピードが約1.7秒のときは、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることもある。



1 スピードレベルを設定する

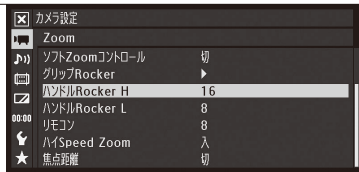
参考 ▶ 前ページの操作1




2 ZOOM SPEED切り換えスイッチの「H」または「L」のズーム速度を設定する

① **カメラ設定メニュー** ▶ 「Zoom」 ▶ 「ハンドルRocker H」または「ハンドルRocker L」を順に選ぶ。

② 「1」から「16」(16段階)のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。





3 ZOOM SPEED切り換えスイッチをHまたはLに切り換える

- ZOOM SPEED切り換えスイッチをOFFに切り換えると、ハンドルズームロッカーを無効にすることができる。

リモコン (付属) やリモートコントローラー RC-V100 (別売) など で操作する

付属のリモコンやREMOTE (リモート) 端子 (46) に接続したリモートコントローラー RC-V100 (別売) / 市販のリモコンを使ってズームを調整します。ズームスピードは使用するリモコンによって異なります。付属のリモコンで操作するときは、ズームボタンを誤操作防止ボタンと同時に押してください。

使用するリモコン	ズームスピードの動作
付属のリモコン	固定速となる。速度は下表に記載。
リモートコントローラー RC-V100 (別売)	RC-V100のZOOMダイヤル操作にて、中央からの回転角度が大きいほど高速になる。
市販のリモコンなど	可変速ズーム機能がないときは固定速。可変速ズーム機能があるときはリモコンの設定に従う。

リモコン (付属)のズームスピード

「ワイヤレスコントローラー」の設定	「Speed Level」の設定とワイド端→テレ端の時間		
	ロー	ノーマル	ハイ
1(最低速)	約4分45秒	約3分	約1分
16(最高速)	約4.0秒	約2.5秒	約1.7秒*

* ズームスピードが約1.7秒のときは、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることもある。

付属のリモコンでズームスピードを切り換えるときは、次の設定を行います。



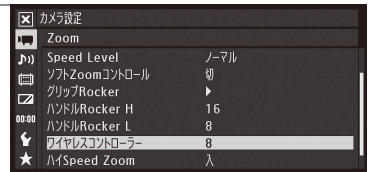
1 スピードレベルを設定する

参考 ▶▶ 82ページの操作1



2 ズーム速度を選ぶ

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「Zoom」 ▶ 「ワイヤレスコントローラー」を順に選ぶ。
- ② 「1」から「16」(16段階)のいずれかを選ぶ ▶ SET を押す。

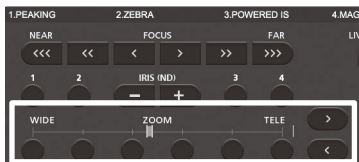


MEMO

リモートコントローラー RC-V100 (別売) を使うとき、RC-V100のZOOM (ズーム) ダイアルを中央から右に回すとテレ側、中央から左に回すとワイド側にズームします (初期状態)。

■ ブラウザーリモートで操作する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影 (ブラウザーリモート) の準備を行っておいてください (186)。



1 ブラウザーリモート画面でいずれかのズーム操作ボタンを押して、ズームを調整する

- ズーム位置表示バー上の、押したボタン付近のズーム位置に調整する。
- ズームスピードは、 カメラ設定メニュー ▶ 「Zoom」 ▶ 「Speed Level」の設定に従う。
- 押したボタンが **X** に変わったときは、**X** を押すと、ズーム調整を中止できる。
- ズーム位置を微調整するときは、「>」ボタン (望遠側) または「<」ボタン (広角側) を押す。

■ ズームの開始／終了時の動作を滑らかにする（ソフトズームコントロール）

グリップ／ハンドルのズームロッカーやリモコン、ブラウザーリモートでズーム操作を行う際、ズーム開始時／終了時の動作を滑らかに制御します。



- ① カメラ設定メニュー ▶ 「Zoom」▶ 「ソフトZoomコントロール」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
 両方：ズーム開始時と終了時の動作を滑らかにする。
 Stop：ズーム終了時の動作を滑らかにする。
 Start：ズーム開始時の動作を滑らかにする。
 切：ソフトズームコントロールを使用しない。

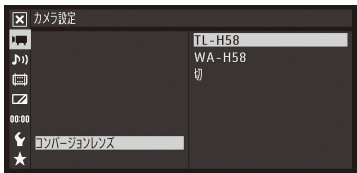
■ 別売のコンバージョンレンズを使う

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

次のコンバージョンレンズ（別売）を本機に取り付けることができます。

	倍率	最短撮影距離
テレコンバーター TL-H58	約1.5倍の望遠撮影	約130 cm(ズーム全域)
ワイドアタッチメントWA-H58	約0.75倍の広角撮影	約60 cm(ズーム全域)

これらのアクセサリを使用するときは、以下の設定を行う必要があります。本体への取り付け方などの詳細については、各アクセサリの説明書も合わせてご覧ください。



1 使用するコンバージョンレンズを選ぶ

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「コンバージョンレンズ」を順に選ぶ。
- ② 「TL-H58」または「WA-H58」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - コンバージョンレンズに応じて、手ブレ補正のしかたや最短撮影距離、画面に表示する距離情報が変更される。
 - コンバージョンレンズを装着しないときは「切」にする。



MEMO

- オートフォーカスのハイスピードAFまたはミディアムAFを使用しているときは、ノーマルAFになります。
- テレコンバーター TL-H58使用時は、広角側でケラレが生じます。
- 「コンバージョンレンズ」を「WA-H58」に設定すると、テレ端がワイド寄りに制限されます。
- アサインボタンに「TL-H58」を割り当てると、アサインボタンを押して「コンバージョンレンズ」の「TL-H58」／「切」を切り換えることができます。同様に「WA-H58」を割り当てると、アサインボタンを押して「WA-H58」／「切」を切り換えることができます(□ 138)。

フォーカスを調整する

CAMERA

MEDIA

MXF

MXF+MP4

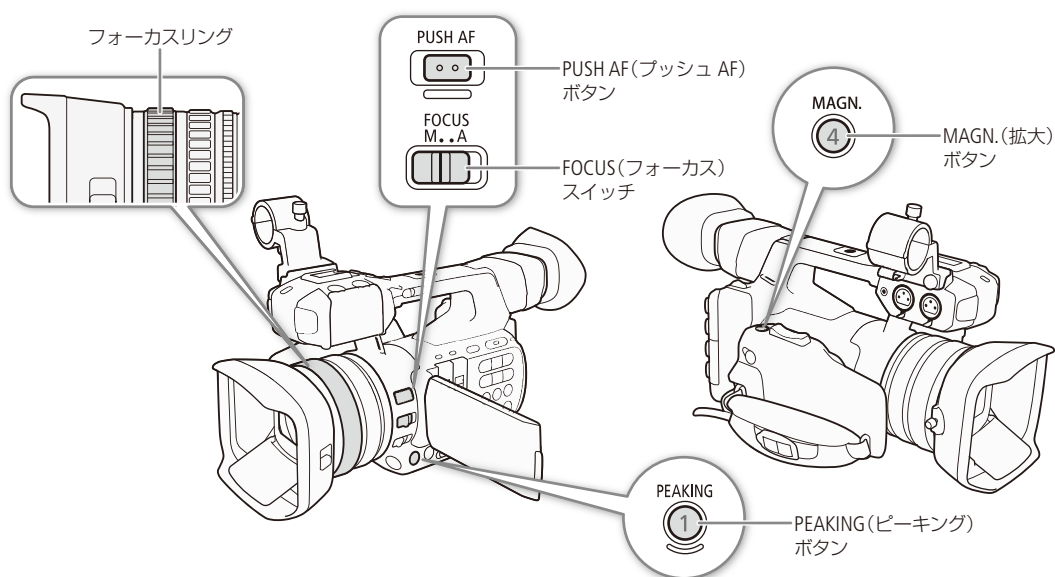
MP4

フォーカス調整のしかたには、次の3種類があります。マニュアルフォーカスで調整中は、ピーキング（輪郭強調）表示や拡大表示などのフォーカスアシスト機能を使うとピントを合わせやすくなります。

オートフォーカス (AF) : 常にフォーカスを自動調整する。AFのスピードは、ハイ、ミディアム、ノーマルの3段階から選べ、検出した顔を優先してフォーカス調整することもできる。フォーカスリング操作（回転端なし）も有効。

マニュアルフォーカス (MF) : フォーカスリングを回すか、ブラウザーリモートのフォーカス操作ボタンを押してフォーカスを調整する。

PUSH AF(プッシュ AF) : マニュアルフォーカスまたはオートフォーカス (AFスピードがノーマル、ミディアム)使用時に、PUSH AFボタンを押している間だけオートフォーカス (AFスピードがハイ)でフォーカスを自動調整する。



■ オートフォーカス (AF)で調整する

TTL方式のオートフォーカスとなり、ファインダーの中央部にある被写体にピントが合うように、フォーカスを常に自動調整します。1cm(ワイド端のとき、レンズ先端から)~∞(無限遠)まで自動的にピント合わせが可能です。オートフォーカス中でもフォーカスリングを回すと、操作している間だけマニュアルフォーカスになります。操作をやめるとオートフォーカスに戻ります。ガラス越しに撮影するときなどに便利です。

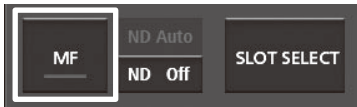


1 FOCUSスイッチをAにする

- 画面に (S.A.F) が表示される。

ブラウザーリモートで操作する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影(ブラウザーリモート)の準備を行っておいてください(□ 186)。



- ① 「MF」を押して、オートフォーカス(AF)とマニュアルフォーカス(MF)を切り換える。
 - オートフォーカスにすると、ボタン上の「MF」の下のバーが灰色になる。

AFのピントの合いかたを選ぶ

- ハイスピードAF(ハイ)： もっとも高速でAF動作を行います。高輝度、夜景などでも効果的です。外部センサーを併用します。
- ミディアムAF(ミディアム)： ハイスピードAFに比べてより滑らかなAF動作を行います。外部センサーを併用します。
- ノーマルAF(ノーマル)： 安定したAF動作を行います。



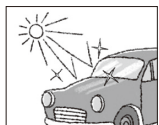
- ① **カメラ設定メニュー** → 「AF Mode」 → 「スピード」を順に選ぶ。
- ② 「ハイ」、「ミディアム」または「ノーマル」を選ぶ ▶ SETを押す。



MEMO

- 晴れた日の屋外など明るいシーンを撮影するときは、絞りが絞り込まれ、小絞りによるボケが生じます。このボケは、テレ側よりワイド側の方が目立ちます(被写体が小さく撮影されるため)。このときは、**カメラ設定メニュー** → 「ND Filter」(□ 226)を「Automatic」にしてください。
- **カメラ設定メニュー** → 「コンバージョンレンズ」が「TL-H58」または「WA-H58」のとき、またはInfraredモードのときは、ハイスピードAF/ミディアムAFを使用できません。このとき、PUSH AFはノーマルAFで動作します。
- フレームレートを29.97Pまたは23.98Pに設定していると、59.94iよりもフォーカスが合うまで若干時間がかかります。スロー&ファーストモーション記録で、撮影フレームレートが60以外のときも同様です。
- 暗い室内などで撮影するときは、絞りが開き、ピントの合う範囲が非常に狭くなります。このため、特に奥行きのある被写体を撮影すると、全体にボケたような画像に見ることがあります。

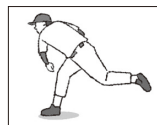
オートフォーカス/プッシュ AFでピントが合いにくいとき



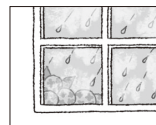
強い光が反射



画面中央に
明暗差がない



動きが速い



水滴が付いた
ガラス越しの撮影



夜景

■ マニュアルフォーカスで調整する

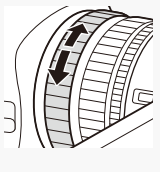
フォーカスリングで調整する

フォーカスリングを回して、手でフォーカス調整を行います。フォーカスリングの回転速度に応じてフォーカスが移動します。



1 FOCUSスイッチをMにする

- 画面にMFが表示される。



2 フォーカスリングを回してピントを合わせる



MEMO

- ズーム操作中に、リングによるフォーカス調整を行うことができます。AFモードのときは、フォーカス調整後にオートフォーカスに戻ります。
- フォーカスリングの操作方向と感度を、☛その他機能メニュー > 「Custom Function」の「F. Ring方向」および「F. Ring操作」でそれぞれ設定できます(□ 241)。

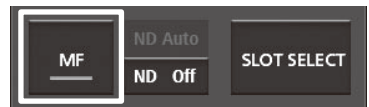
ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影(ブラウザーリモート)の準備を行っておいてください(□ 186)。



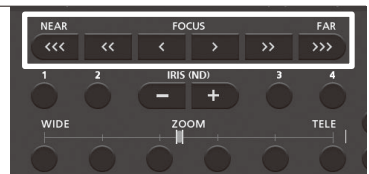
1 「MF」を押して、フォーカスモードをマニュアル(MF)にする

- マニュアルにすると、ボタン上の「MF」の下のバーがオレンジ色になる。



2 いずれかのフォーカス操作ボタンを押して、ピントを合わせる

- NEARのボタン(<、<<、<<<)を押すと至近方向に調整し、FARのボタン(>、>>、>>>)を押すと無限方向に調整します。
- 調整量は押すボタンによって異なり、< / > は小、<< / >> は中、<<< / >>> は大です。



被写体との距離情報について

数値：有限距離
 ∞：無限
 ∞-：超無限

AFモードから切り換えたときとフォーカスリングで操作したときに、被写体との距離情報*が画面に表示（約5秒間）されますので、目安として使用できます。距離の単位（Meters / Feet）は、 その他機能メニュー ▶ 「Custom Function」の「被写体距離単位」で設定できます（ 242）。なお、コンバージョンレンズ（別売）を取り付けると、正しく表示されません。

* 距離情報の精度が低いズーム域では、灰色で表示されます。



MEMO

- ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。
- 電源を入れたままで放置するとピントがボケることがあります。これはレンズとカメラ内部の温度上昇によってピント面がわずかに移動するためです。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）を使うとき、RC-V100のFOCUS（フォーカス）ダイヤルを右に回すと無限方向に、左に回すと至近方向に調整できます（初期状態）。

フォーカスアシスト機能を使う

フォーカスを調整するとき、ピーキング（輪郭強調）表示や拡大表示を使うと、ピントが合わせやすくなります。両方を同時に使うこともできます。また、 その他機能メニュー ▶ 「Custom Function」▶ 「フォーカスアシスト B&W」で、フォーカスアシスト機能を使用中のみ、画面を自動的にモノクロ表示するように設定できます（ 241）。

ピーキング

ピーキングには、ピーキング1とピーキング2があり、メニューで切り換えて使用します。

PEAKING



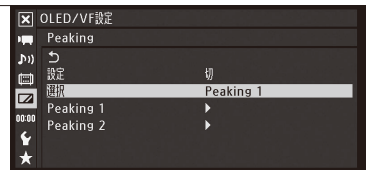
1 PEAKING（ピーキング）ボタンを押す

- 画面に **PEAK1** または **PEAK2** が表示され、画面の映像の輪郭が合焦状態に応じて強調される。
- もう一度、PEAKINGボタンを押すと、ピーキング表示が解除される。
- OLED/VF設定メニュー ▶ 「Peaking」▶ 「設定」でピーキング表示を入/切することもできる。


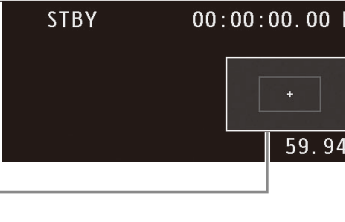



2 ピーキング1またはピーキング2を選ぶ

- ① OLED/VF設定メニュー ▶ 「Peaking」▶ 「選択」を順に選ぶ。
- ② 「Peaking 1」、「Peaking 2」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。



拡大表示

 <p>MAGN. 4</p>	<p>1 MAGN.(拡大)ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none">● 画面に MAGN. が表示され、画面の中心部が約2倍*に拡大される。 * 倍率は有機ELモニターの画面とファインダーで異なる。 また、記録信号形式の解像度によっても異なる。● 拡大領域の位置を示す表示が画面に出る。	
	<p>2 必要に応じて拡大位置を移動させる</p> <p>① ジョイスティックを上下左右に押して、拡大位置を移動させる。</p> <ul style="list-style-type: none">● 拡大領域の中心位置は、上下方向および左右方向にそれぞれ5段階で変更できる。● 拡大位置を中央に戻すときはCANCELを押す。● もう一度MAGN.ボタンを押すと拡大表示が解除される。	



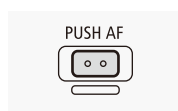
MEMO

- ピーキング表示／拡大表示は画面にのみ表示され、各出力端子から出力される映像には表示されません。また、記録される動画／静止画には影響しません。
- ピーキングの色、ゲイン、周波数は、**OLED/VF設定メニュー** ▶ 「Peaking」 ▶ 「Peaking 1」または「Peaking 2」でそれぞれ設定できます。

有機ELモニターでフォーカス調整するとき

- エッジモニター(□ 115)を表示してピントを合わせやすくすることもできます。
- ピーキングとエッジモニターを同時に表示することができます。このとき、ピーキングのゲイン／周波数は、エッジモニターのゲイン設定によって自動的に設定されます。

PUSH AF(プッシュ AF)で調整する



マニュアルフォーカスまたはオートフォーカスのミディアムAFまたはノーマルAF使用時、PUSH AFボタンを押している間だけ、ハイスピードAFによるフォーカスの自動調整ができます。






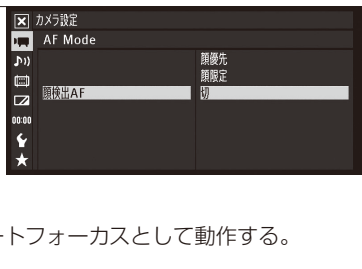

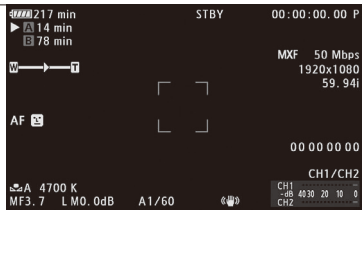
MEMO

- PUSH AF(プッシュ AF)を使用するときは、オートフォーカスのMEMOと「オートフォーカス／プッシュ AFでピントが合いにくいとき」をご確認ください(□ 87)。
- **カメラ設定メニュー** ▶ 「AF Mode」 ▶ 「顔検出AF」が「顔限定」で、顔を検出していないときは、PUSH AFを使用できません。

■ 顔を検出してフォーカスを合わせる（顔検出AF）

AFモード時、人物の顔を検出して自動的にピントを合わせ、被写体が動いても追尾します。複数の人物を検出したときは、主な被写体を自動的に決定し、その人物にピントを合わせます。主な被写体を変更することもできます。顔が検出されないときの動作は次の2種類から選択できます。

- 顔優先： オートフォーカスで、画面中央の被写体にピントを合わせる。
 顔限定： マニュアルフォーカスになる。

	<p>1 顔検出AFをONにする</p> <ol style="list-style-type: none"> ① カメラ設定メニュー ▶ 「AF Mode」 ▶ 「顔検出AF」を順に選ぶ。 ② 「顔優先」または「顔限定」を選ぶ ▶ SETを押す。 <ul style="list-style-type: none"> ● 画面に （顔優先）または （顔限定）が表示される。 ● ここで「切」を選ぶと、顔の検出を行わない。オートフォーカスとして動作する。 	
	<p>2 カメラを人物に向ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 主な被写体と判断した顔に白い枠、その他の顔にグレーの枠が表示される。 <p>複数の人物から特定の人を選ぶとき ジョイスティックを左右に押す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 押すたびに主被写体が切り換わる。 	

MEMO

- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。そのときは「顔検出AF」を「切」にしてください。

顔が検出されない主な例

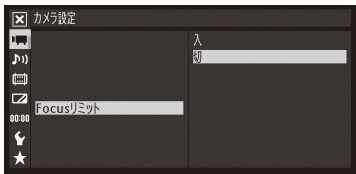
- 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れたりしているとき。

顔検出AFが使用できない場合

- シャッタースピードを1/30秒未満にしているとき（フレームレートが23.98Pのときは、1/24秒未満）。
 - スロー & ファーストモーション記録モードで、撮影フレームレートが24未満のとき。
 - マニュアルフォーカス中にPUSH AFボタンを押したとき。
 - リアルタイムプロキシ転送を使用しているとき。
 - Infraredモードのとき。
- 撮影中、人物の顔を検出すると、そのときの映像（フレーム）に自動的にマークが付加されます（イベントマーク）。イベントマークが付加されたフレームは、ソフトウェアCanon XF Utilityで確認することができます。
 - アサインボタンに「顔検出AF」を割り当てると、アサインボタンを押して設定を切り換えることができます（□ 138）。

■ フォーカスリミットとマクロ撮影

フォーカスリミットを入にすると60cm～∞（テレ～ワイド全域）の範囲でフォーカス操作ができます。マクロ撮影を行うときは、フォーカスリミットを切にします。切にすると1cm（ワイド側）～∞の範囲でマクロ領域を含むフォーカス操作ができます。



- ① カメラ設定メニュー ▶ 「Focusリミット」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ SETを押す。



MEMO

アサインボタンに「Focusリミット」を割り当てると、アサインボタンを押して入／切を切り換えられます（[138](#)）。

手ブレ補正を使う

CAMERA

MEDIA

MXF

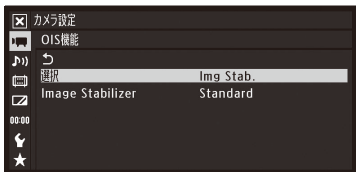
MXF+MP4

MP4

手持ちで撮影するときには手ブレの少ない安定した映像を撮影できます。補正方式は次の2種類があり、撮影のしかたによって選べます。また、静止して望遠撮影するときには、パワードISを使うと大きな手ブレを抑えることができます。

👉 **ダイナミックIS (Dynamic)** : 歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレを補正。ズームを広角側にするほど補正効果大きい。

👉 **スタンダードIS (Standard)** : 静止して手持ちで撮影するときなどの比較的小さな手ブレを補正。自然な映像が撮影できる。



1 手ブレ補正を有効にする

- 1 🗨️カメラ設定メニュー ▶ 「OIS機能」 ▶ 「選択」を順に選ぶ。
- 2 「Img Stab.」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 三脚を使って撮影するときなど、手ブレ補正を使用しないときは②で「切」を選ぶ。
 - 画面に👉または👈が表示される。



2 補正方式を選ぶ

- 1 🗨️カメラ設定メニュー ▶ 「OIS機能」 ▶ 「Image Stabilizer」を順に選ぶ。
- 2 「Dynamic」または「Standard」を選ぶ ▶ SETを押す。

望遠撮影時の大きな手ブレを抑える (パワードIS)



POWERED IS (パワードIS) ボタンを押すと補正方式がパワードISになり、静止して望遠撮影するときの大きな手ブレを抑えることができます。補正効果はズームを望遠側にするほど大きくなります。パンやチルトなどカメラを動かす撮影には向きません。

- パワードISを「入」にすると画面に👉が表示されます。
- もう一度POWERED ISボタンを押すと、メニューで選んだ補正方式に戻ります。
- 🗨️カメラ設定メニュー ▶ 「OIS機能」 ▶ 「選択」が「切」のときでも使用できます。

MEMO

- アサインボタンに「Img Stab.」を割り当てると、アサインボタンを押して🗨️カメラ設定メニュー ▶ 「OIS機能」 ▶ 「選択」の「Img Stab.」 / 「切」を切り換えることができます (138)。
- 手ブレが大きすぎると補正しきれないことがあります。
- ダイナミックIS使用時、大きな手ブレを補正すると画像の周辺の画質が劣化(ゴースト、ひずみ、暗くなるなど)することがあります
- 「ワイド画角」(227)が「ワイド」の場合、「Image Stabilizer」は「Standard」に固定されます。

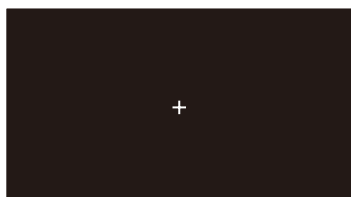
マーカー／ゼブラパターンを表示する

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

撮影時、画面に各種マーカーやゼブラパターンを表示することができます。これらの表示は記録される映像には影響しません。

■ マーカーを表示する

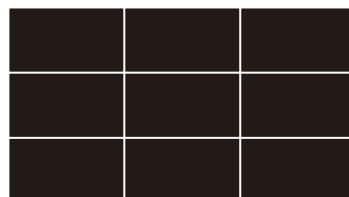
構図を決める際のガイドとして、次の5種類のマーカーを表示することができます。



センターマーカー



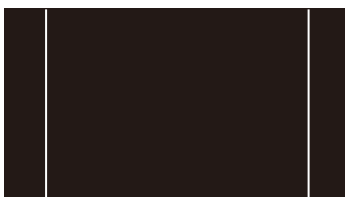
水平マーカー



グリッド



セーフティーゾーンマーカー *1



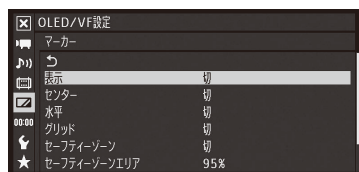
アスペクトマーカー *2

*1 セーフティーゾーンの領域（セーフティーゾーンエリア）を「95%」、「92.5%」、「90%」、「80%」の4つの中から選択できます。

*2 アスペクト比を「2.35:1」、「1.85:1」、「1.75:1」、「1.66:1」、「14:9」、「13:9」、「4:3」の7つの中から選択できます。

マーカー表示を有効にする

マーカー表示を有効にします。ここで有効にしないと、マーカーを選んだだけでは表示されません。

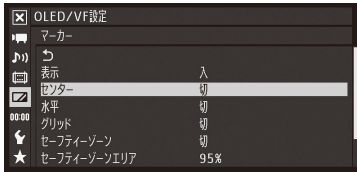


- ① OLED/VF設定メニュー ▶ 「マーカー」 ▶ 「表示」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - マーカーが表示可能になる。
 - マーカー表示をしないときは、ここで「切」を選ぶ。

表示したいマーカーを選ぶ

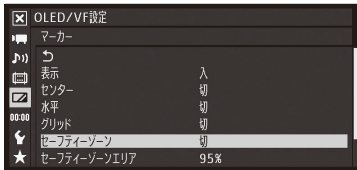
異なるマーカーを同時に表示することができます。ここでまず、表示したいマーカーを選択し、必要に応じて個別の設定をします。

例：センターマーカーとセーフティーゾーンマーカーを選択する場合



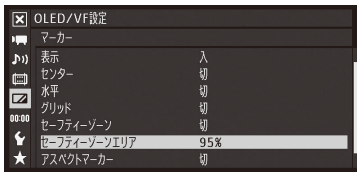
1 表示するマーカー（センターマーカー）を選ぶ

- ① OLED/VF設定メニュー ▶ 「マーカー」 ▶ 「センター」を順に選ぶ。
- ② 「ブラック」または「グレー」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 指定した色のセンターマーカー表示が選択される。
 - センターマーカー表示を解除するときは、ここで「切」を選ぶ。



2 表示するマーカー（セーフティーゾーンマーカー）を選ぶ

- ① OLED/VF設定メニュー ▶ 「マーカー」 ▶ 「セーフティーゾーン」を順に選ぶ。
- ② 「ブラック」または「グレー」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 指定した色のセーフティーゾーンマーカー表示が選択される。
 - セーフティーゾーンマーカーを表示しないときは、ここで「切」を選ぶ。



3 マーカー（セーフティーゾーンマーカー）の個別設定（セーフティーゾーンエリア）を行う

- ① OLED/VF設定メニュー ▶ 「マーカー」 ▶ 「セーフティーゾーンエリア」を順に選ぶ。
- ② セーフティーゾーンの領域を「95%」、「92.5%」、「90%」、「80%」の中から選ぶ ▶ SETを押す。



MEMO

- 他の画面表示を消して、マーカーだけを表示することもできます(□ 54)。
- アサインボタンに「マーカー」を割り当てると、アサインボタンを押してマーカー表示の入／切を切り換えられます(□ 138)。

■ ゼブラパターンを表示する

露出オーバーで白とびするおそれがある領域に、縞状のパターンを表示することができます。ゼブラパターンには「ゼブラ1」と「ゼブラ2」の2種類があり、2つを同時に表示することもできます。

ゼブラ1

設定した輝度レベル±5%の領域にゼブラパターン1を表示する。輝度レベルは6段階（70±5%、75±5%、80±5%、85±5%、90±5%、95±5%）あり、いずれか1つを選択する。

ゼブラ2

設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターン2を表示する。輝度レベルは7段階（70%、75%、80%、85%、90%、95%、100%）あり、いずれかを1つを選択する。

ゼブラ1+ゼブラ2

ゼブラ1とゼブラ2を同時に表示する。両者の表示条件が重なる領域では、ゼブラ1を優先して表示する。

ゼブラパターン表示を入/切する

ZEBRA



ZEBRA(ゼブラ)ボタンを押すと、ゼブラパターン表示を入/切できます。OLED/VF設定メニュー
 ▶「Zebra」▶「設定」で入/切することもできます。

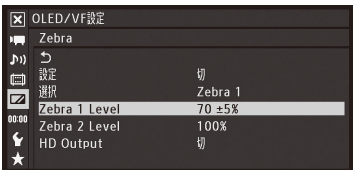
ゼブラパターンを選ぶ

表示するゼブラパターンを選び、輝度レベルを設定します。



1 ゼブラパターンを選ぶ

- ① OLED/VF設定メニュー ▶ 「Zebra」▶ 「選択」を順に選ぶ。
- ② 「Zebra 1」、「Zebra 2」、「Zebra 1&2」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。



2 ゼブラパターンの輝度レベルを設定する

- ① OLED/VF設定メニュー ▶ 「Zebra」▶ 「Zebra 1 Level」または「Zebra 2 Level」を順に選ぶ。
- ② 輝度レベルを選ぶ ▶ SETを押す。



MEMO

ゼブラパターンは、MON.端子*、HDMI OUT端子*に出力することもできます。これらの端子からの出力は、OLED/VF設定メニュー ▶ 「Zebra」▶ 「HD Output」で入/切できます(□232)。* HD出力時のみ。

タイムコードを設定する

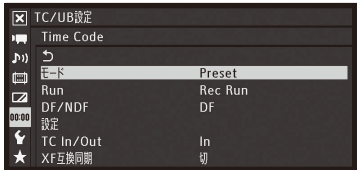
撮影時に内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともに記録メディアに記録されるほか、3G/HD-SDI端子、MON.端子またはTIME CODE端子(□ 101)に出力できます。また、MON.端子、HDMI OUT端子、AV OUT端子に出力される映像にも表示されます。再生時は、記録メディアから読み出したタイムコードを撮影時と同じ各出力端子に出力できます。タイムコードのカウントアップ方式には次の3種類があります。外部のタイムコードジェネレーターに同期することもできます(□ 101)。また、フレームレートが「23.98P」以外のときは、ドロップフレームとノンドロップフレームを選択できます。

- Rec Run (レックラン)： タイムコードは記録時に歩進する。タイムコードの初期値は任意に設定可能。同一のメディアに記録中、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。
- Free Run (フリーラン)： タイムコードは、記録状態に関係なく常に歩進する。初期値は任意に設定可能。
- Regen. (リジエネ)： タイムコードは記録時に歩進する。記録メディアに記録されている最後のタイムコードを読み出し、その続きから歩進する。同一のメディアに記録中、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。

■ カウントアップ方式を選ぶ

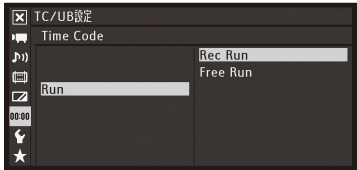
CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

カウントアップ方式は、歩進モード(モード)で「Preset」または「Regen.」を選びます。「Preset」を選んだときは、歩進方法(Run)で「Rec Run」または「Free Run」を選び、任意の初期値を設定します。



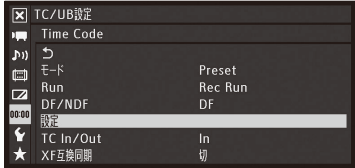
1 歩進モードを選ぶ

- ① 00:00 TC/UB設定メニュー ▶ 「Time Code」 ▶ 「モード」を順に選ぶ。
- ② 「Preset」または「Regen.」を選ぶ ▶ SETを押す。
 Preset： 「設定」で設定した任意のタイムコードから歩進する。
 Regen.： 記録メディアに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。
 ● 「Regen.」を選んだときは、以降の操作は不要。



2 「Preset」を選んだ場合 歩進方法を選ぶ

- ① 00:00 TC/UB設定メニュー ▶ 「Time Code」 ▶ 「Run」を順に選ぶ。
- ② 「Rec Run」または「Free Run」を選ぶ ▶ SETを押す。



3 「Preset」を選んだ場合 任意の初期値を設定する

- ① 00:00 TC/UB設定メニュー ▶ 「Time Code」 ▶ 「設定」を順に選ぶ。
- ② 「セット」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - タイムコードの設定画面が表示され、「時」の桁が選択される。
 - 「リセット」を選びSETを押すと、タイムコードが「00:00:00.00」にリセットされる。「Free Run」を選んでいるときは、リセット後のタイムコードから歩進を続ける。
 - 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。
- ③ ジョイスティックを上下に押しして数値を選ぶ ▶ SETを押す。
- ④ ③の操作を繰り返して、「分」、「秒」、「フレーム」の数値を選ぶ ▶ 「セット」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 「Free Run」を選んでいるときは、この時点で設定値のタイムコードから歩進する。

ドロップフレーム／ノンドロップフレームを切り換える

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

ドロップフレーム (DF) またはノンドロップフレーム (NDF) を切り換えることができます。なお、フレームレートが「23.98P」のときはNDFに固定されます。



- ① 00:00 TC/UB設定メニュー ▶ 「Time Code」 ▶ 「DF/NDF」を順に選ぶ。
- ② 「DF」または「NDF」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - DFとNDFで画面上のタイムコード表示が次のように異なる。
DFのとき 00 : 00 : 00. 00
NDFのとき 00 : 00 : 00 : 00

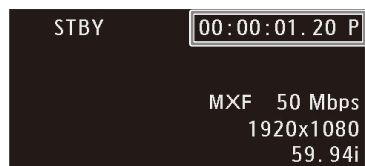
■ タイムコードを保持する (タイムコードホールド)

CAMERA MEDIA **MXF** MXF+MP4 MP4

アサインボタン (□ 138) に「Time Codeホールド」を割り当て、割り当てたアサインボタンを押すと画面に表示されるタイムコードを保持できます*。タイムコード保持中は、画面に「H」が表示されます。なお、保持中でもタイムコードは歩進し、保持を解除すると歩進していたタイムコードが表示されます。

* TIME CODE端子、3G/HD-SDI端子、MON.端子に重畳されるタイムコードはホールドされません。MON.端子、HDMI OUT端子、AV OUT端子の出力映像上に表示されるタイムコードはホールドされます。

タイムコードの表示について



R : Regen.(リジエネ)設定時
P : Rec Run(レックラン)設定時
F : Free Run(フリーラン)設定時
E : タイムコード外部入力時
H : タイムコードホールド時
 表示なし : 再生時



MEMO

- タイムコードのフレームカウントは、フレームレートが23.98Pのときは0～23、それ以外は0～29となります。
- **00:00**TC/UB設定メニュー ▶ 「Time Code」 ▶ 「XF互換同期」を「入」に設定していて、フレームレートが23.98Pの場合、TIME CODE端子から出力されるタイムコードは0～29に振り直されます。
- インターバル記録、フレーム記録、スロー & ファーストモーション記録のときは、「Free Run」は使用できません。また、ブレ記録またはMXF+MP4モードのときは「Free Run」固定となり、カウントアップ方式は設定できません。
- ドロップフレーム、ノンドロップフレームを混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
- 内蔵2次電池が充電されていれば、バッテリーなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。ただし、電源ON時に比べて精度が低下します。
- アサインボタンに「Time Code」を割り当てると、アサインボタンを押して**00:00**TC/UB設定メニュー ▶ 「Time Code」を表示することができます(□ 138)。

ユーザービットを設定する

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

8桁の16進数 (0～9、A～Fの英数字)をユーザービットとして設定し、映像と一緒に記録メディアに記録*されるほか、3G/HD-SDI端子、MON.端子、HDMI OUT端子またはTIME CODE端子にも出力 (□ 104) できます。ユーザービットには、撮影情報や撮影した映像の管理情報など、記録/出力した映像に付加したい情報を自由に設定することができます。また、時刻や日付 (年月日) をユーザービットとして記録/出力することもできます。外部機器からタイムコードと同時にユーザービットを入力しているときは、外部入力したユーザービットを記録*することもできます。

* MXFクリップのみ。

■ 任意の16進数を設定する



1 「設定」を選ぶ

- ① 00:00 TC/UB設定メニュー ▶ 「User Bit」 ▶ 「タイプ」 ▶ 「設定」を順に選ぶ。
- ② 「セット」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - ユーザービットの設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
 - 「リセット」を選びSETを押すと、ユーザービットが「00 00 00 00」にリセットされる。
 - 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。



2 8桁の任意の16進数を入力する

- ① ジョイスティックを上下に押して英数字を選ぶ ▶ SETを押す。
- ② ①の操作を繰り返して、残りの桁の英数字を選ぶ ▶ 「セット」を選ぶ ▶ SETを押す。

■ 時刻または日付を設定する



- ① 00:00 TC/UB設定メニュー ▶ 「User Bit」 ▶ 「タイプ」を順に選ぶ。
- ② 「時刻」または「日付」を選ぶ ▶ SETを押す。

外部機器と同期をとる

MXF | MXF+MP4 | MP4

ゲンロック (GENLOCK) によって、外部の映像機器と本機の映像信号を同期させることができます。外部の同期信号の本機への入力や、本機の同期信号の出力には、GENLOCK/SYNC OUT端子を使います。また、本機のタイムコードを外部入力のタイムコードに同期させることもできます。同じジェネレーターのタイムコードを複数のカメラに入力すれば、マルチカメラ撮影を行うことができます。本機のタイムコードを他のカメラに出力してマルチカメラ撮影を行うこともできます。さらに、撮影／再生時に3G/HD-SDI端子の出力を編集機などに入力して、編集機で同一タイムコードの映像を記録することもできます。

■ 接続のしかた

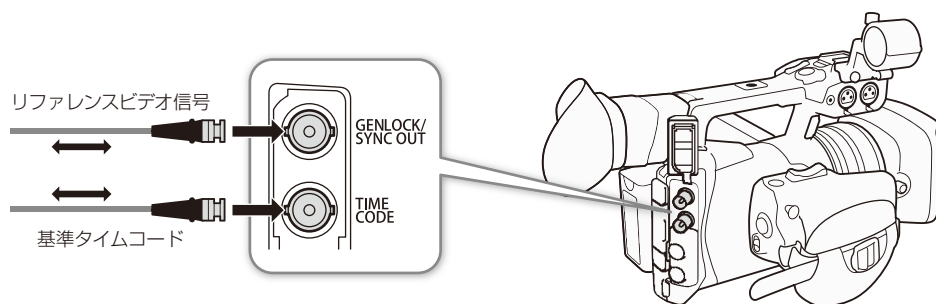
映像信号を同期させるとき

GENLOCK/SYNC OUT端子に下図のように接続して、リファレンスビデオ信号*を入力します。GENLOCK/SYNC OUT端子はメニュー（後述）で端子の機能を「GENLOCK」に切り換えて使用します。

* リファレンスビデオ信号としてHD三値信号の他にアナログ・ブラックバースト信号も入力可能です。

タイムコードを同期させるとき

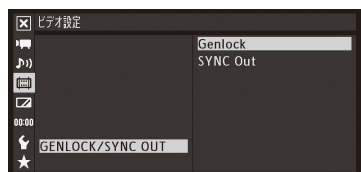
TIME CODE端子に下図のように接続して、タイムコード信号を入力します。TIME CODE端子の入力／出力はメニュー（後述）で切り換えます。



■ 外部のリファレンスビデオ信号に同期する (GENLOCK)

CAMERA | MEDIA

同期信号 (アナログブラックバースト信号または三値信号) をGENLOCK/SYNC OUT端子に入力すると、自動的に内部のV同期／H同期の位相を合わせます。なお、位相差0を中心として、約±0.4Hの範囲でH位相を調整することもできます。



1 GENLOCK/SYNC OUT端子の機能を「Genlock」に設定する

- ① ビデオ設定メニュー ▶ 「GENLOCK/SYNC OUT」を順に選ぶ。
- ② 「Genlock」を選ぶ ▶ SETを押す。



2 H位相を調整する

- ① その他機能メニュー ▶ 「Genlock調整」を順に選ぶ。
- ② -1023から1023の範囲で調整値を選ぶ ▶ 「セット」を選ぶ ▶ SETを押す。



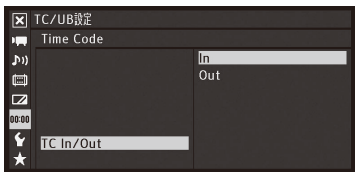
MEMO

- [ビデオ設定メニュー] ▶ 「3G/HD-SDI」を「ダイレクト」に設定すると、記録信号形式の周波数でゲンロックできます。なお、3G/HD-SDI端子の出力が23.98Pのときに、00:00 TC/UB設定メニュー ▶ 「Time Code」▶ 「XF互換同期」を「入」にすると、29.97 Hzまたは59.94 Hzの信号に同期できます。
- 同期可能なGENLOCK信号が入力されると約10秒後に同期が安定します。
- 入力されたGENLOCK信号を検知すると、画面に「Gen」が点滅して表示され、入力信号に本機がロックすると点灯に変わります。
- 不正なGENLOCK信号が入力されると、同期が安定しないことがあります。この場合、タイムコードの記録も乱れることがあります。

外部のタイムコード信号に同期する(タイムコード入力)

CAMERA MEDIA

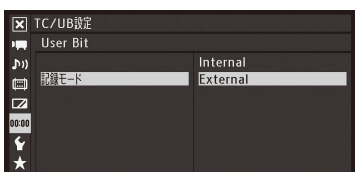
TIME CODE端子に入力されるLTC規格の信号を、タイムコードとして記録メディアに記録します。MXFクリップの場合、同時に入力されるユーザービットも記録できます。なお、TIME CODE端子は、メニューで入力モードに切り換えます。本機のタイムコードのカウントアップ方式(□ 97)が「Free Run(フリーラン)」のときのみ、タイムコードを入力できます。



- ① 00:00 TC/UB設定メニュー ▶ 「Time Code」▶ 「TC In/Out」を順に選ぶ。
- ② 「In」を選ぶ ▶ SETを押す。

外部入力したユーザービットを記録する

タイムコードと一緒に入力されるユーザービットをMXFクリップに記録することができます。



- ① 00:00 TC/UB設定メニュー ▶ 「User Bit」▶ 「記録モード」を順に選ぶ。
- ② 「External」を選ぶ ▶ SETを押す。

MEMO

- 記録信号形式のフレームレートが23.98Pのときは24フレーム信号のタイムコード、その他のフレームレートのときは30フレーム信号のタイムコードを入力できます。なお、00:00TC/UB設定メニュー ▶ 「Time Code」 ▶ 「XF互換同期」を「入」にすると、30フレーム信号のタイムコードを入力できます。
- タイムコードが入力されると本機のタイムコードが同期します。TIME CODE端子からケーブルを外しても、外部ロック状態は保持されます。
- タイムコードが入力されない、または不正な値が入力されているときは、00:00TC/UB設定メニュー ▶ 「Time Code」 ▶ 「モード」と「Run」で設定した内部タイムコードが記録されます。
- DF/NDFは、外部入力されるタイムコードのdropped frame bitになります。

タイムコードの同期が乱れる場合

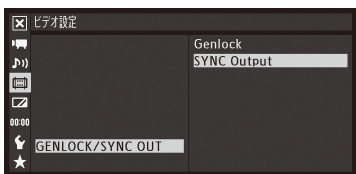
ケーブルを外した状態で次の操作を行うと、タイムコードの同期が乱れます。ケーブルを再度接続すると、正しいタイムコードに復帰します。

- 電源の入/切、メディアモードへの切り換え
- 記録信号形式の変更

リファレンスビデオ信号を出力する

CAMERA MEDIA

GENLOCK/SYNC OUT端子の機能を「SYNC Output」に設定すると、本機のGENLOCK/SYNC OUT端子から同期信号としてリファレンスビデオ信号（HD三値信号）を出力できます。出力される信号は、3G/HD-SDI端子の出力信号形式とメニューの設定（後述）によって決まります。



- ① [VIDEO] ビデオ設定メニュー ▶ 「GENLOCK/SYNC OUT」を順に選ぶ。
- ② 「SYNC Output」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ③ 必要に応じて、[VIDEO] ビデオ設定メニュー ▶ 「SYNCスキャンモード」で、「P」と「PsF」を切り換える。
- ④ 必要に応じて、00:00 TC/UB設定メニュー ▶ 「Time Code」 ▶ 「XF互換同期」の入/切を切り換える（□ 235）。


3G/HD-SDI端子の出力信号形式		SYNC OUT端子		
解像度	フレームレート	撮影時（「XF互換同期」）*1		再生時
		「切」*2	「入」	
1920×1080	59.94 (P/i)	1080/59.94i	1080/59.94i	1080/59.94i
	29.97 (P/PsF)	1080/29.97 (P/PsF)		
	23.98P	1080/23.98 (P/PsF)		
1280×720	59.94P	720/59.94P	720/59.94P	720/59.94P
	29.97P	720/29.97P		
	23.98P	720/23.98P		

*1 メニューで「XF互換同期」の入/切を切り換え可能（□ 235）。

*2 メニューで「P」と「PsF」を切り換え可能（□ 230）。

■ タイムコードを出力する

CAMERA MEDIA

本機のタイムコードを、LTC規格の信号でTIME CODE端子から出力します。その際、ユーザービットも同時に出力されます。なお、TIME CODE端子は、メニューで出力モードに切り換えます。また、3G/HD-SDI端子、MON.端子の出力にはエンベデッドタイムコードが重畳されます (230)。さらに、 ビデオ設定メニュー ▶ 「HDMI Time Code」を「入」にすると、HDMI OUT端子にタイムコードを重畳することもできます (230)。

ユーザービットの出力について

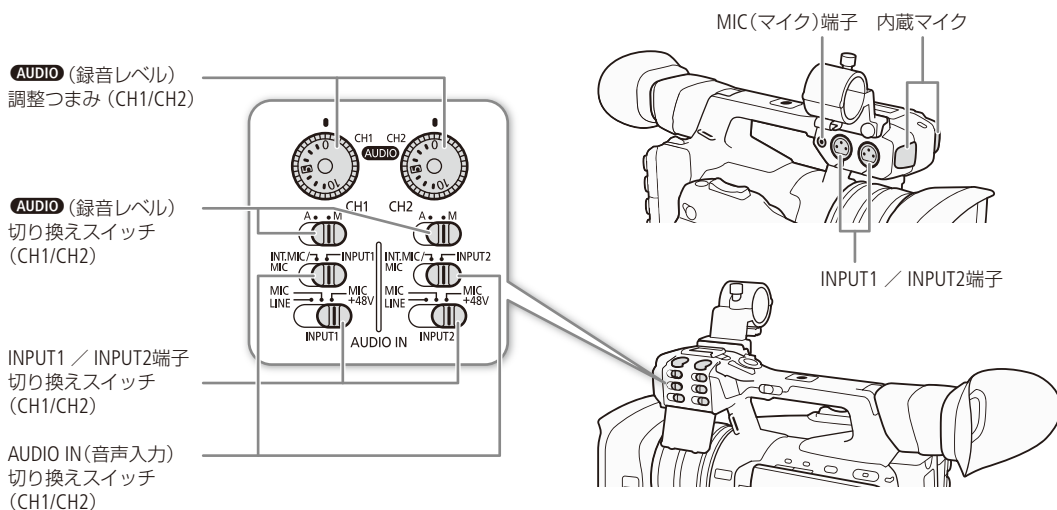
撮影時は設定されているユーザービットが出力され、再生時は映像と一緒に記録されているユーザービットが出力されます (MXFクリップのみ)。フレームレートが23.98Pで撮影する場合、**00:00 TC/UB**設定メニュー ▶ 「User Bit」▶ 「Outputモード」を「プルダウン」にすると、ユーザービットが2:3プルダウン情報*になります。

* フレームレートが23.98Pの映像を、2:3プルダウン方式で59.94i/59.94Pに変換して3G/HD-SDI端子またはMON.端子に出力する場合、変換情報 (2:3プルダウン情報)を出力することにより、入力側の機器はこれを利用して1080/23.98Pに再変換することが可能になります。

音声を記録する

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

MXF動画では4チャンネルまたは2チャンネルのリニアPCM記録方式で、MP4動画では2チャンネルのAAC記録方式で、それぞれ音声を記録／再生できます。サンプリング周波数は48kHzです。収録する音声は、外部マイク (INPUT端子)、外部ライン入力 (INPUT端子)、外部マイク (MIC端子) および内蔵マイクから選びます。また、3G/HD-SDI端子、MON.端子から出力される映像信号には、記録と同じチャンネルの音声信号が重畳されます。この音声信号を外部レコーダーで記録することもできます。



撮影

記録音声と必要な設定

記録チャンネル数と入力音声は、**🔊**オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」内のメニュー設定、AUDIO IN (音声入力) 切り換えスイッチ、MIC (マイク) 端子への外部マイクの接続有無から決まります。

以下の表では、入力音声と記録音声の組み合わせと、必要な設定の概要を示しています。MXFモードとMXF+MP4モードでは、表中のすべての組み合わせを使用可能です。MP4モードでは、2チャンネル記録の表の組み合わせを使用します。MXF+MP4モードで4チャンネル記録をする場合、MP4動画の記録音声はCH1/CH2またはCH3/CH4を選択できます (📖 107)。

2チャンネルで記録するとき

入力音声と記録音声		メニュー設定		AUDIO IN切り換えスイッチ		MIC端子の接続	
CH1	CH2	[4-Channel Input] *1	[CH2 Input] *2	CH1	CH2		
INPUT1端子	INPUT2端子	切 (2)	INPUT2	INPUT1	INPUT2	—	
	INPUT1端子		INPUT1		INPUT2	—	
	内蔵マイク (モノラル)		—		INT.MIC/MIC	無	
	MIC端子 (モノラル)		—		INT.MIC/MIC	有	
内蔵マイク (モノラル)	INPUT2端子		—	INT.MIC/MIC	INT.MIC/MIC	無	
MIC端子 (モノラル)	INPUT2端子		—			INPUT2	有
内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)		—			INT.MIC/MIC	無
MIC端子 (L)	MIC端子 (R)		—			INT.MIC/MIC	有

4チャンネルで記録するとき

入力音声と記録音声				メニュー設定		AUDIO IN切り換えスイッチ		MIC端子の接続
CH1	CH2	CH3	CH4	「4-Channel Input」*1	「CH2 Input」*2	CH1	CH2	
INPUT1端子	INPUT2端子	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)	入 (4)	INPUT2	INPUT1	INPUT2	無
		MIC端子 (L)	MIC端子 (R)					有
	INPUT1端子	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)		INPUT1		無	
		MIC端子 (L)	MIC端子 (R)				有	
内蔵マイク (モノラル)	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)	—		INT.MIC/ MIC	無		
MIC端子 (モノラル)	MIC端子 (L)	MIC端子 (R)	—			有		
内蔵マイク (モノラル)	INPUT2端子	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)		—	INT.MIC/ MIC	INPUT2	無
MIC端子 (モノラル)		MIC端子 (L)	MIC端子 (R)		—			有
内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)	—	INT.MIC/ MIC	INT.MIC/ MIC	無	
MIC端子 (L)	MIC端子 (R)			—			有	

*1 オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「4-Channel Input」の設定 (□ 228)。

*2 オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「CH2 Input」の設定 (□ 228)。



MEMO

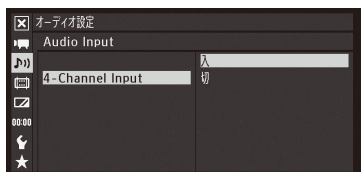
記録チャンネルと入力音声の設定状態は、ステータス画面で確認することができます (□ 248)。

記録チャンネル数を選ぶ

MXF動画は記録チャンネル数を2チャンネルと4チャンネルから選択できます。また、MXF動画を4チャンネルで記録する場合でMP4動画を同時に記録するときは、MP4動画の記録音声を選択できます。

MXF動画を4チャンネルで記録する

MXF | MXF+MP4 | MP4

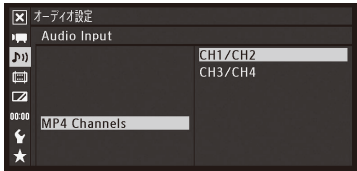


- オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「4-Channel Input」を順に選ぶ。
- 「入」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 画面に「4ch」が表示される。
 - 「切」を選ぶと2チャンネルで記録される。

MP4動画の記録チャンネルを選ぶ

MXF | MXF+MP4 | MP4

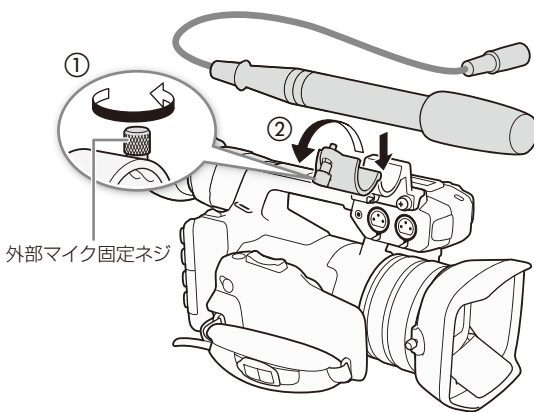
MXF動画の音声を4チャンネルで記録する場合、同時に記録するMP4動画(2チャンネル)の記録チャンネルを選択できます。



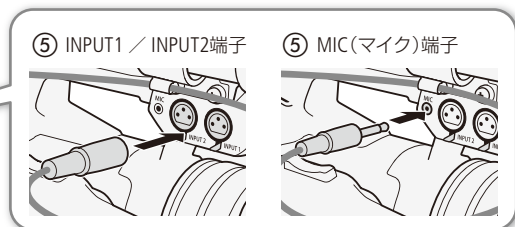
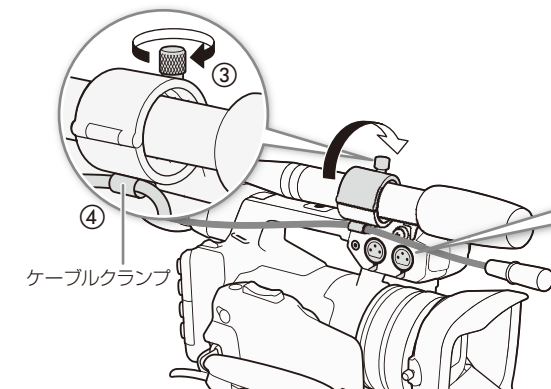
- ① オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「MP4 Channels」を順に選ぶ。
- ② 「CH1/CH2」または「CH3/CH4」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。

外部マイク／外部ライン入力機器を本機に接続する

INPUT端子にはXLRコネクタの外部マイク／外部ライン入力機器を、MIC(マイク)端子にはΦ3.5mmステレオミニプラグの外部マイクをそれぞれ接続できます。外部マイク使用時は、マイクホルダー(□ 31)を本体に取り付けて、マイクをマイクホルダーに固定できます



- 1 マイクのとき 外部マイク固定ねじをゆるめ(①)、外部マイクホルダーを開く(②)
- 2 マイクのとき 外部マイクを取り付けて固定し(③)、ケーブルをクランプにとめる(④)
- 3 外部マイク／外部ライン入力機器のケーブルを本機に接続する(⑤)



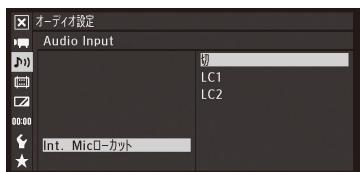
内蔵マイク／外部マイク (MIC端子)の音声を選択する



AUDIO IN (音声入力) 切り換えスイッチのCH1 / CH2をINT.MIC / MICに切り換えます。
MIC (マイク) 端子への外部マイクの接続の有無で、外部マイク (MIC端子) と内蔵マイクが切り換わります。

内蔵マイク／外部マイク (MIC端子)の特性を選ぶ

収録する音に合わせて最適な特性で録音できます。設定は、内蔵マイクと外部マイクで個別に行えます。

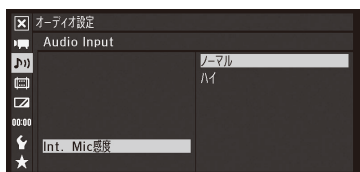


- ① **🔊** オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「Int. Micローカット」または「MICローカット」を順に選ぶ。
- ② 次のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
切： 一般的な音を録音するとき。
LC1*¹： 人の声を中心に録音するとき。
LC2*¹、入*²： 海辺やビルの近くなど風の強いところ、常に風の影響を受ける屋外で撮影する場合に、風の「ボコボコ」という音の影響を低減する。収録する低い音の一部も風の音と一緒に低減される。

*¹ 内蔵マイクのみ。 *² 外部マイク (MIC端子)のみ。

内蔵マイクの感度を選ぶ

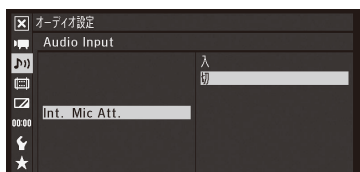
収録する音に合わせて最適な感度で録音できます。



- ① **🔊** オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「Int. Mic感度」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
ノーマル： 通常のレベルの音を録音するとき。
ハイ： より大きな音量 (+6 dB) で録音するとき。

内蔵マイク／外部マイク (MIC端子)のアッテネーターを使う


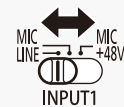
必要に応じてアッテネーターを使用できます (Att.: Attenuator)。設定は、内蔵マイクと外部マイクで個別に行えます。



- ① **🔊** オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「Int. Mic Att.」または「MIC Att.」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - マイク信号にアッテネーター (内蔵マイク：12dB、外部マイク：20dB) がかかる。

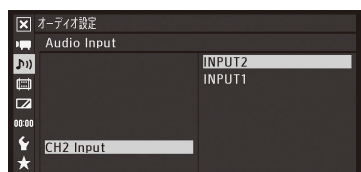
■ 外部マイク (INPUT端子) / 外部ライン入力 (INPUT端子)の音声を選択する

INPUT端子は、2つのチャンネルの音声入力をそれぞれ個別に選択できます。

- 1 AUDIO IN (音声入力) 切り換えスイッチをINPUT1 / INPUT2に切り換える
 
- 2 INPUT端子切り換えスイッチのINPUT1/INPUT2をLINE (ライン) またはMIC (マイク) にする
 
 - ファンタム電源が必要なマイクを使うときはMIC+48Vに切り換える。ファンタム電源をONにするときはマイクを接続してから行い、OFFにするときは接続したまま行う。

CH2に記録する入力音声を選ぶ

CH2に録音する入力音声をINPUT1端子とINPUT2端子から選択できます。CH1にINPUT1端子の音声を記録し、CH2にINPUT1端子の音声のバックアップを記録するときなどに使用します。その場合、CH1 / CH2の録音レベルを独立して設定することもできます。



- ① オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「CH2 Input」を順に選ぶ。
- ② 「INPUT2」または「INPUT1」を選ぶ ▶ SETを押す。
 INPUT2 : INPUT1 / INPUT2端子の入力をそれぞれCH1 / CH2として録音する。
 INPUT1 : INPUT1端子の入力をCH1 / CH2の両方に録音する。

外部マイク (INPUT端子)の入力感度を調整する

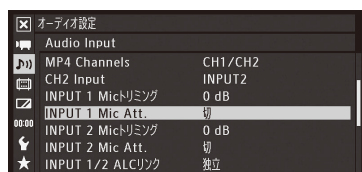
INPUT1 / INPUT2端子切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに機能します。




- ① オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「INPUT1 Micトリミング」または「INPUT2 Micトリミング」を順に選ぶ。
- ② 下記のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
 +12 dB、+6 dB、0 dB、-6 dB、-12 dB

外部マイク (INPUT端子) のアッテネーターを使う

INPUT1 / INPUT2端子切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに機能します (Att. : Attenuator)。



- ①  オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「INPUT1 Mic Att.」または「INPUT2 Mic Att.」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - マイク信号にアッテネーター (20 dB)がかかる。

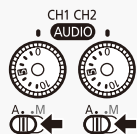



- **ご注意** +48V対応のマイク以外の機器を接続するときは、必ずLINEまたはMICを使用してください。「MIC+48V」のままで使用すると、接続したマイクなどの機器が故障することがあります。
- 「CH2 Input」を「INPUT1」にすると、CH2入力の音声は録音されません。

録音レベルを調整する



CH1 / CH2の録音レベルはチャンネルごとにオート／マニュアルを個別に設定できます。4チャンネル記録時のCH3 / CH4の録音レベルは共通で設定します。CH1とCH2がともに内蔵マイク／外部マイク (MIC端子) を選択しているときは、CH1の設定 (オート／マニュアル、録音レベル) が自動的にCH2に反映されます。

オートで調整する



AUDIO (録音レベル) 切り換えスイッチをA (オート) にすると、そのチャンネル (CH1またはCH2) の録音レベルがオートになり、自動調整されます。4チャンネル記録の場合、 オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「CH3/CH4モード」を「Automatic」にすると、CH3 / CH4の録音レベルがオートになります。

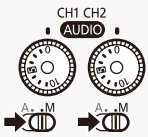
INPUT端子のINPUT1とINPUT2の録音レベル調整を連動させる

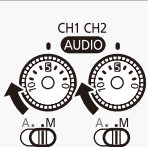
INPUT端子のINPUT1 / INPUT2が同じ音声入力 (外部ライン入力または外部マイク) に設定されている場合、録音レベルをオートに設定すると、INPUT1とINPUT2のレベル調整を連動させることができます。 オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」の「INPUT 1/2 ALCリンク」( 228)で設定します。

マニュアルで調整する



CH1 / CH2の録音レベルをそれぞれ個別に手動調整できます。調整は $-∞$ ~ +18 dBの範囲で行うことができます。調整後、**AUDIO** カバーを閉じることによって、誤操作を防止できます。4チャンネル記録時のCH3 / CH4の録音レベルは共通で設定します。メニューから0 ~ 99の範囲で手動調整します。

CH1 / CH2の録音レベルを調整する

- 

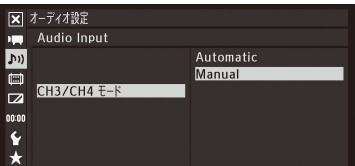
1 AUDIO (録音レベル)切り換えスイッチをM(マニュアル)にする
- 

2 AUDIO (録音レベル)調整つまみを回して、調整する

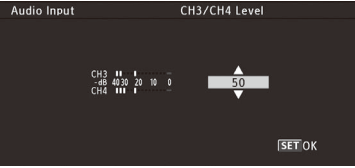
 - つまみの0 ($-∞$) ~ 5 (0 dB) ~ 10 (+18 dB) の範囲でレベルを調整できる。
 - 画面に表示されるオーディオレベルメーターの -18 dB (-20 dBのひとつ右隣り) より右が時々点灯するように調整する。
- 

3 AUDIO カバーを閉じる

CH3 / CH4の録音レベルを調整する

- 

1 録音レベルの調整方法を「Manual」にする

 - ① **🔊**オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「CH3/CH4モード」を順に選ぶ。
 - ② 「Manual」を選ぶ ▶ SETを押す。
- 

2 録音レベルを調整する

 - ① **🔊**オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「CH3/CH4 Level」を順に選ぶ。
 - ② いずれかの値を選んで、録音レベルを調節する。
 - 画面に表示されるオーディオレベルメーターの -18 dB (-20 dBのひとつ右隣り) より右が時々点灯するように調節する。
 - ③ SETを押す。

INPUT端子の音声信号レベルを制限する

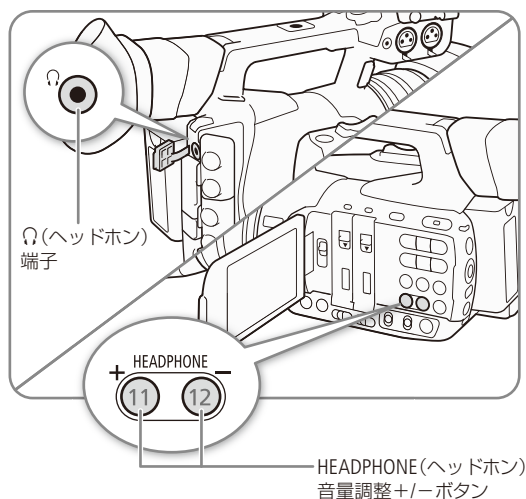
過大な音声入力によるひずみを防止するために、INPUT端子の音声信号レベルを制限することができます。録音レベルをマニュアルで調整するときに、入力レベルが-6 dBFSを超えると自動的に信号レベルを制限してひずみを防止します。CH1とCH2のいずれかがマニュアルレベル調整のときに設定できます。設定は、🎧オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「INPUT 1/2リミッター」(📖 228)で行います。



MEMO

- 録音レベルを調整するときは、ヘッドホンでモニターしながら行うことをおすすめします。オーディオレベルメーター上で適切に表示されていても、入力レベルが過大な場合、音声がひずむことがあります。
- アサインボタンに「Audio Level」を割り当てると、アサインボタンを押してオーディオレベルメーター表示を入/切することができます。

■ ヘッドホンでモニターする



Φ3.5mmステレオミニプラグのヘッドホンをΩ (ヘッドホン) 端子に接続して、収録される音声をモニターできます。音量はHEADPHONE (ヘッドホン) 音量調整 +/- ボタンで調整します。



MEMO

- ヘッドホン音量は、🎧オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Output」 ▶ 「Headphone 音量」で調整することもできます。
- モニターする際、音声を映像に同期させるか、リアルタイムの音声をモニターするかを🎧オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Output」 ▶ 「モニターディレイ」で設定できます。

カラーバー／テストトーンを記録する

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

測定器の調整やモニターの輝度・色相・彩度の調整を行うために、カラーバーを出力／記録することができます。また、同時に1 kHzのテストトーンを出力／記録することもできます。カラーバーとテストトーンは次の端子にも出力されます。

	3G/HD-SDI端子	MON.端子	HDMI OUT端子	AV OUT端子	Ω(ヘッドホン)端子
カラーバー	●	●	●	●	—
テストトーン	●	●	●	●	●

撮影

■ カラーバーを記録する

出力／記録するカラーバーは、SMPTE準拠、ARIB準拠のいずれかをメニューで選べます。



1 カラーバーのタイプを選ぶ

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「カラーバー」 ▶ 「タイプ」を順に選ぶ。
- ② 「SMPTE」、「ARIB」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。



2 カラーバーを表示する

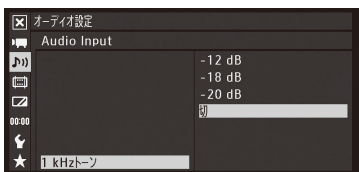
- ① カメラ設定メニュー ▶ 「カラーバー」 ▶ 「表示」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 画面にカラーバーが表示される。
 - START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーを記録できる。
 - 電源を切るかメディアモードに切り換えると、自動的に「切」になる。

MEMO

- カラーバーを使用するときは、カスタムピクチャーを「Off」にするか、カスタムピクチャーの「Other Functions」 ▶ 「Over 100%」を「Through」に設定してください(□ 141)。
- アサインボタンに「カラーバー」を割り当てると、アサインボタンを押して入／切を切り換えられます(□ 138)。
- IPストリーミング(□ 211)を有効にすると、カラーバーは自動的に「切」になります。

■ テストトーンを記録する

テストトーンのレベルは、接続する機器に合わせて-12 dB、-18 dB、-20 dBから選ぶことができます。



- ① オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「1 kHz トーン」を順に選ぶ。
- ② 「-12 dB」、「-18 dB」、「-20 dB」、「切」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選択したレベルのテストトーンが出力される。
 - START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーとテストトーンを記録できる。

波形モニターを表示する

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

画面に波形モニター (Waveform Monitor)、ベクトルスコープ (Vectorscope) を簡易表示できます。また、エッジモニター (Edge Monitor)* を表示することもできます。なお、これら各種モニターは有機ELモニターの画面のみに表示され、ファインダーや各出力端子からの映像には表示されません。

* 映像全体の合焦度合いを波形で表示する機能。カメラモードのみ。

モニター表示を選ぶ



WFM (波形モニター) ボタンを押す。

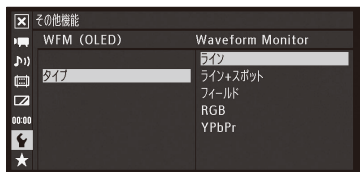
- WFM (波形モニター) ボタンを押すたびにモニター表示が次の順に切り換わる。

切 → 「Waveform Monitor」 (波形モニター) → 「Vectorscope」 (ベクトルスコープ) → 「Edge Monitor」 (エッジモニター) → 切

- 他機能メニュー ▶ 「WFM (OLED)」 ▶ 「設定」でもモニター表示を選ぶことができる。

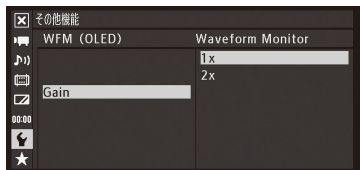
波形モニター (Waveform Monitor) のタイプを選ぶ

波形モニターは5種類のタイプから選ぶことができます。また、波形のゲインを1倍と2倍から選択できます。



1 波形モニターのタイプを選ぶ

- ① 他機能メニュー ▶ 「WFM (OLED)」 ▶ 「Waveform Monitor」 ▶ 「タイプ」を順に選ぶ。
- ② 次のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
ライン： ライン表示する。
ライン+スポット： ライン表示に重ねて、赤枠内の波形を赤色で表示する。
フィールド： フィールド表示する。
RGB： R、G、B信号をパレード表示する。
YPbPr： Y、Pb、Pr信号をパレード表示する。



2 波形のゲインを選ぶ

- ① 他機能メニュー ▶ 「WFM (OLED)」 ▶ 「Waveform Monitor」 ▶ 「Gain」を順に選ぶ。
- ② 「1x」 (1倍) または 「2x」 (2倍) を選ぶ ▶ SETを押す。

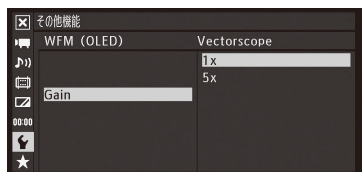
ベクトルスコープ (Vectorscope)のタイプを選ぶ

ベクトルスコープは2種類のタイプから選ぶことができます。また、波形のゲインを1倍と5倍から選択できます。



1 ベクトルスコープのタイプを選ぶ

- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「WFM(OLED)」 ▶ 「Vectorscope」 ▶ 「タイプ」を順に選ぶ。
- ② 次のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
 スポット： ノーマル表示に重ねて、赤枠内の色信号を赤色で表示する。
 ノーマル： ベクトルスコープを表示する。



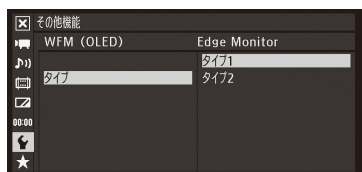
2 波形のゲインを選ぶ

- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「WFM (OLED)」 ▶ 「Vectorscope」 ▶ 「Gain」を順に選ぶ。
- ② 「1x」(1倍)または「5x」(5倍)を選ぶ ▶ SETを押す。

エッジモニター (Edge Monitor)のタイプを選ぶ

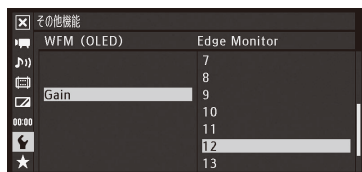
CAMERA MEDIA

エッジモニターは2種類のタイプから選ぶことができます。フォーカスを調整するときに使うと、ピントが合わせやすくなります。フォーカスアシスト機能(ピーキング、拡大表示)と一緒に使うこともできます。



1 エッジモニターのタイプを選ぶ

- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「WFM (OLED)」 ▶ 「Edge Monitor」 ▶ 「タイプ」を順に選ぶ。
- ② 次のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
 タイプ1： 合焦度合いを示す波形を緑色で表示し、さらに画面上の3箇所に表示した赤枠内で検出した波形を赤色で重ねて表示する。
 タイプ2： 波形モニター(ライン+スポット)とエッジモニターを同時に表示する。エッジモニターは、画面全体の合焦度合いを示す波形を青色で、それに重ねて、画面中央赤枠内の合焦度合いを示す波形を赤色で表示します。



2 波形のゲインを選ぶ

- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「WFM(OLED)」 ▶ 「Edge Monitor」 ▶ 「Gain」を順に選ぶ。
- ② 「切」または「1」～「15」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。

ショットマークを付加する

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

MXF動画を撮影中、重要なフレームにショットマークを付加できます。ショットマークを付加しておくと、撮影終了後にメディアモードにおいて、マークをつけたフレームだけをインデックス表示して、目的のフレームをすばやく探すことができます。ショットマークには、ショットマーク1とショットマーク2があり、それぞれ独立して付加できます。メディアモードで、ショットマークを付加／消去することもできます（[□ 169](#)）。

■ 撮影中にショットマークを付加する

撮影中にショットマークを付加するには、あらかじめ、いずれかのアサインボタンにショットマーク1またはショットマーク2を割り当てる必要があります。

例：アサイン5ボタンに「Shot Mark 1追加」を割り当てて、ショットマーク1を付加する場合



1 アサイン5ボタンに「Shot Mark 1追加」を割り当てる

参考 ▶ 「アサインボタンの機能を変更する」([□ 138](#))。



2 撮影中 ショットマーク1を付加する

- ① ショットマーク1を付加したいときに、アサイン5ボタンを押す。
 - 画面に「Shot Mark 1」が表示され、ショットマーク1が付加される。



MEMO

- 1つのクリップに付加できるショットマークは、ショットマーク1とショットマーク2を合わせて100個までです。
- ボタンを押した時点のフレームとショットマークを付加するフレームは、最大0.5秒程度ずれることがあります。
- インターバル記録モードまたはフレーム記録モードで撮影中は、ショットマークを付加できません。
- ショットマークを付加すると、メディアモードのインデックス画面で、クリップサムネイルの横に **1** が表示されます。

OKマーク／チェックマークを付加する

CAMERA MEDIA

MXF MXF+MP4 MP4

カメラモードで最後に撮影したMXF形式のクリップに、OKマークまたはチェックマークを付加することができます。OKマーク／チェックマークを付けておくと、撮影終了後にメディアモードにおいて、マークを付けたクリップだけをインデックス画面に表示することができます。また、OKマークが付加されたクリップは、本機での消去が禁止されるため、重要なクリップを保護することができます。OKマーク／チェックマークは、メディアモードで再生中またはインデックス画面で付加することもできます (□ 162)。

■ 撮影中にOKマーク／チェックマークを付加する

例：アサイン5ボタンに「OK Mark追加」または「Mark追加」を割り当てて、マークを付加する場合



1 アサイン5ボタンに「OK Mark追加」または「Mark追加」を割り当てる

参考 ▶「アサインボタンの機能を変更する」(□ 138)



2 撮影が終了したあと OKマークまたはチェックマークを付加する

- ① アサイン5ボタンを押す。
 - 画面に「OK Mark」が表示され、直前に撮影したクリップにOKマークが付加される。
 - チェックマークのときは、画面に「Mark」が表示される。



MEMO OKマークとチェックマークは、同じクリップに同時に付加することはできません。

メタデータを操作する

CAMERA

MEDIA

MXF

MXF+MP4

MP4

本機で記録したMXFクリップにはメタデータが付加されます。付加されたメタデータは、ソフトウェア Canon XF Utility(以下、XF Utility)で表示して確認したり、検索に使用したりすることができます。設定されるメタデータは、以下のとおりです。設定のしかたは項目によって異なります。

		メタデータ			
		ユーザーメモ	GPS情報	撮影情報	UMID所有権情報
		クリップタイトル、撮影場所、撮影内容		シャッター、ゲインなどの撮影時設定	国コード、組織コード、ユーザーコード
設定	ビデオカメラ	—	●*1	—*2	●
	XF Utility	●	●*3	—	—
	ブラウザリモート	●	●	—	—
参照	XF Utility	●	●	●	—

*1 GPSレシーバー GP-E2(別売)接続時のみ、撮影時に自動的に記録される(□ 121)。

*2 撮影時に自動的に記録される。

*3 記録されたクリップに対してのみ設定可能。

XF Utilityを使ってユーザーメモを設定する

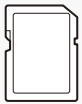
はじめにXF Utilityでユーザーメモの情報を入力してSDカードに保存します。次に、本機でSDカード内のユーザーメモを選んで撮影すると、記録されるクリップにユーザーメモの情報が付加されます。XF Utilityのインストールについては「クリップをパソコンに保存する」(□ 179)を、使いかたについては使用説明書*をご覧ください。

*使用説明書は、ソフトウェアと一緒にパソコンにインストールされます。使用説明書の見かたは182ページをご覧ください。

1 XF Utilityでユーザーメモを設定し、SDカードに保存する

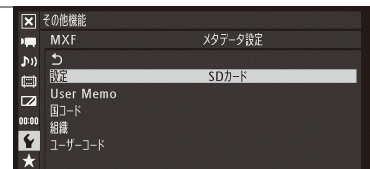
参考 ▶▶ XF Utilityの使用説明書

2 ユーザーメモが保存されているSDカードを本機のSD CARDスロットに入れる



3 メタデータの設定方法を選ぶ

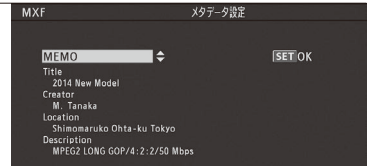
- ① 他機能メニュー ▶ 「MXF」 ▶ 「メタデータ設定」 ▶ 「設定」を順に選ぶ。
- ② 「SDカード」を選ぶ ▶ SETを押す。





4 ユーザーメモファイルを選ぶ

- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「MXF」 ▶ 「メタデータ設定」 ▶ 「User Memo」を順に選ぶ。
- ② ジョイスティックを上下に押して、SDカードに保存されているユーザーメモのファイル名のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
 - 画面に **MEMO** が表示される。
 - 「切」を選ぶと、ユーザーメモはクリップに記録されない。



MEMO

- ユーザーメモを設定して撮影するときは、SDカードを抜かないでください。SDカードを抜くとユーザーメモはクリップに付加されません。
 - XF Utilityを使ってユーザーメモを設定するとき、設定は撮影前に行ってください。CFカードに記録されたクリップのユーザーメモを本機で変更することはできません*。
- * XF Utilityを使用して変更することができます。

■ ブラウザリモートでユーザーメモ／GPS情報を設定する

ブラウザリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで設定できます。ブラウザリモートを使うと、直前に記録したクリップや記録中のクリップ、これから記録するクリップにユーザーメモを付加することができます。また、GPSレシーバー GP-E2 (別売) を接続していないときは、GPS情報 (撮影地の高度／経度／緯度) を手動で設定することもできます。あらかじめリモート撮影 (ブラウザリモート) の準備を行っておいてください (□ 186)。画面の詳細については204ページをご覧ください。





1 ブラウザーリモートからのメタデータ設定を有効にする

- ① 「**(P)**有効化」を押す。
 - 本体で次の操作を行って有効にすることもできる。
 - ☛その他機能メニュー ▶ 「MXF」 ▶ 「メタデータ設定」 ▶ 「設定」 ▶ 「リモート」



2 ユーザーメモ / GPS情報を入力する

- ① 「メタデータ入力」タブを押す。
 - メタデータ入力画面が表示される。
- ② 「クリップタイトル」、「撮影者」、「撮影場所」、「撮影内容」、「GPS情報」をそれぞれ設定する。
 - 各項目の右側の「クリア」を押すと、入力した内容を消去できる



3 ユーザーメモ / GPS情報を本体に転送する

- ① 「直前に上書き」、「次撮影に適用」または「上書き」を押す。
 - 直前に上書き*1：直前に記録したクリップと、これから記録するクリップに設定する。
 - 次撮影に適用：これから記録するクリップに設定する。
 - 上書き*2：撮影中のクリップと、これから記録するクリップに設定する。
 - *1 直前にクリップを記録したときのみ。
 - *2 撮影中のみ。
 - ユーザーメモ / GPS情報の内容がビデオカメラ本体に転送され、押したボタンに応じて設定される。
- ② **(X)**を押す。



MEMO

ブラウザーリモートから入力したメタデータ設定が解除される場合

- 本機の電源をOFF/ONしたとき。
- ☛その他機能メニュー ▶ 「MXF」 ▶ 「メタデータ設定」 ▶ 「設定」で設定方法を切り換えたとき。
- ブラウザーリモートからのメタデータ設定を一端有効にすると、ブラウザーリモート画面で無効にすることはできません。SD カードに保存したユーザーメモを設定するときは、ビデオカメラの☛その他機能メニュー ▶ 「MXF」 ▶ 「メタデータ設定」 ▶ 「設定」を「SDカード」にしてください。
- ブラウザーリモートを使って、リレー記録されたクリップにメタデータを設定する場合、リレー前のクリップにはメタデータは付加されません。

GPS情報を記録する

CAMERA

MEDIA

MXF

MXF+MP4

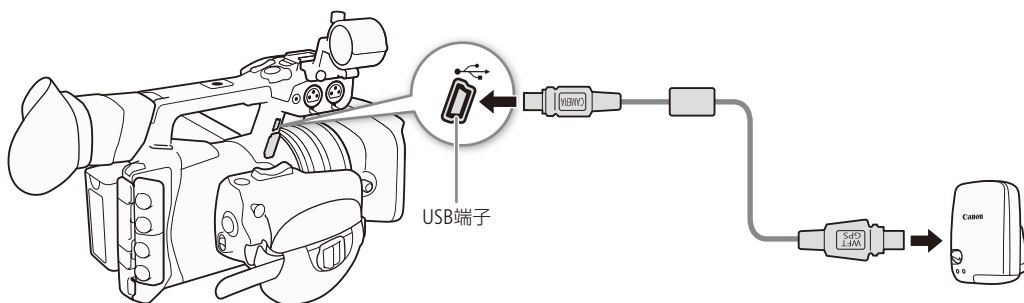
MP4

本機のUSB端子(□15)にGPSレシーバー GP-E2(別売)を接続して撮影すると、MXF動画／MP4動画のクリップまたは静止画にGPSから取得した位置情報(経度、緯度、標高。以下「GPS情報」)を記録できます。MP4動画または静止画には協定世界時(UTC)も記録されます。MXF動画の場合、GPS情報はクリップのメタデータに記録され、Canon XF Utility(□179)で検索に使用することもできます。本機では、GPS情報の記録の有無をメディアモードで確認できます(□161、154、220)。

■ GPSレシーバーを接続する

GP-E2の電源を切り、接続ケーブル*を使って本機のUSB端子に接続します。撮影時は、携帯用ケース*に入れ、本機のグリップベルトまたは腰に取り付けて使用することをお勧めします。GP-E2の取り付け方や詳細については、GP-E2の説明書をご覧ください。

* いずれもGP-E2に付属しています。



■ GPSを有効にする

① GP-E2 電源を入れる。

- GPS機能が有効になる。画面に☒が点滅表示されGPS衛星を探索する。
- 衛星を捕捉すると☒が点灯し、以降に記録するクリップ／静止画にGPS情報が付加される。

日時を自動的に設定する

GPSから取得した時刻情報を使って本機の日時を自動的に設定できます。



① 他機能メニュー → 「GPS自動時刻設定」を順に選ぶ。

② 「入」を選ぶ ▶ SETを押す。

- 以降、GP-E2を接続後、最初に時刻設定可能な衛星捕捉状態になったときに日時を自動設定する。
- 「GPS自動時刻設定」が「入」の場合、他機能メニュー → 「日時設定」は使用できません。
- ブラウザリモートを使用中、自動時刻設定は動きません。

**ご注意**

- GPSレシーバーは、使用する国/地域の法令等の規制に従って使用してください。国/地域によってはGPSの使用などが規制されていることがあります。国外で使用するときは特にご注意ください。
- 電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分ご注意ください。
- 記録されるGPS情報には、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS情報が記録された動画/静止画を他人に渡したり、インターネットなどの不特定多数の人々が閲覧可能な環境に掲載したりするときは、十分ご注意ください。
- GPSレシーバーは、磁石やモーターの近くなど強い磁気を発生する場所には絶対に置かないでください。

**MEMO**

- GPSから取得した位置情報や衛星捕捉状態、信号強度などをステータス画面で確認することもできます(☞ 246)。
- バッテリーなどの電源を交換したときや本機の電源を長時間切ったときは、GPS衛星からの信号の受信に時間がかかることがあります。
- 本機は、GP-E2の次の機能には対応していません。
 - 「自動時刻設定」の「今すぐ実行」
 - 「位置情報の更新間隔」
 - 「電子コンパス」(方位情報)
- 動画から切り取った静止画には、GPS情報は記録されません。

レックレビューで確認する

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

カメラモードで最後に撮影したクリップの映像を再生して確認できます。再生のしかたは、映像をすべて再生するか、最後の4秒のみを再生するかを選択できます。



1 レックレビューの再生範囲を設定する

- ① 左側メニューから「レックレビュー」を選択する。
- ② 「クリップ先頭から」または「最終4 sec」を選ぶ ▶ SETを押す。
クリップ先頭から：クリップの先頭からすべて再生する。
最終4 sec：クリップの最後の4秒間のみを再生する。



INDEX



2 撮影が終了したあと 映像を再生して確認する

- ① INDEX / INDEX ボタンを押す。
 - 画面に「▶ REVIEW」が表示される。
 - 操作1で設定した再生範囲に応じて、直前に撮影した映像が再生される。このとき、映像と一緒に記録された音声は再生されない。
- レックレビューを中止するとき
CANCELを押す。
- レックレビューが終了すると、自動的に撮影一時停止状態 (STBY)に戻る。



MEMO

- 特殊記録(インターバル記録、フレーム記録、スロー & ファーストモーション記録、プレ記録)の各モードやMXF+MP4モードのときは、レックレビューは行えません。
- 撮影中に記録先のCFカードが自動的に切り換わった場合、直後にレックレビューを行うと、新たに記録先となったCFカード内のクリップが再生されます。

ファイル番号をリセットする

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

個々のMP4クリップ／静止画に付けられる番号（ファイル番号）の付けかたを選びます。撮影されたMP4クリップ／静止画は、自動的に100-0001、100-0002、100-0003のように順に番号が付けられ、SDカード内のフォルダーに保存されます。ファイル番号の付けかたには次の2種類があります。通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。

オートリセット：初期化されたメモリーに記録する場合、ファイル番号は常に100-0001から始まる。SDカード内にすでにMP4クリップ／静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。

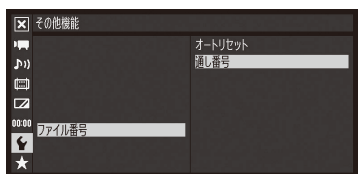
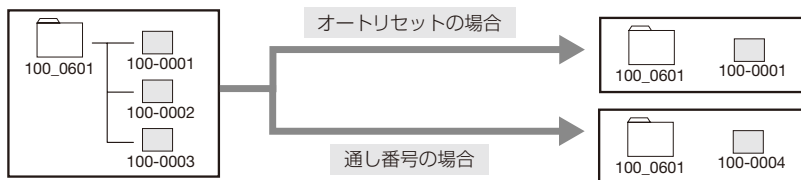
通し番号：ファイル番号は、最後に記録したMP4クリップ／静止画の続き番号から始まる。ただし、SDカードに記録されているファイル番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

ファイル番号は、メモリー内に作られるフォルダーの番号（上3桁）とMP4クリップ／静止画固有の番号（下4桁）を表しています*。1つのフォルダーには500ファイルまでのMP4クリップ／静止画を保存でき、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。*ファイル番号の範囲は、上3桁が100～999、下4桁が0001～9999です。

自動的に作成されるフォルダーの名称は、次のとおりです。

[ファイル番号の上3桁]_mmdd (mmdd:月日)

例：3枚記録したSDカードを、別のSDカードに入れ換えて記録する場合



- ① 他機能メニュー → 「ファイル番号」を順に選ぶ。
- ② 「オートリセット」または「通し番号」を選ぶ ▶ SETを押す。



MEMO

6月1日にMP4クリップ／静止画を記録したSDカードをパソコンで見ると、ファイル番号が「100-0007」のMP4クリップ／静止画は、「DCIM ¥100_0601」というフォルダーの中に「MVI_0007.MP4」または「IMG_0007.JPG」というファイル名で表示されます。

特殊記録を行う

CAMERA MEDIA

次の4種類の特殊記録を行うことができます。

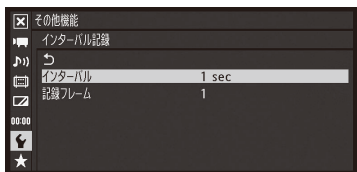
- インターバル記録： あらかじめ設定した記録間隔とフレーム数で、間欠的に記録を行う。自然や植物など動きの少ない被写体を撮影するとき有効。
- フレーム記録： あらかじめ設定したフレーム数分の映像を記録する。クリエイティブな映像を撮影するときなどに有効。
- スロー & ファーストモーション記録： (Slow & Fastモーション) 再生時と異なるフレームレートで記録することにより、再生時にスローモーションやファーストモーションの効果を得る。
- プレ記録： 撮影開始時点の約3秒前から記録することで、撮影開始操作が遅れたときの撮り逃がしを防ぐ。

■ インターバル記録を行う

MXF MXF+MP4 MP4

記録間隔と記録フレーム数をあらかじめ設定して撮影を行うと、間欠的に映像を自動記録できます。記録中、音声は記録されません(ミュート)。

設定する

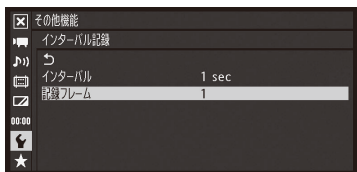


1 記録間隔を設定する

- ① 他機能メニュー ▶ 「インターバル記録」 ▶ 「インターバル」を順に選ぶ。
- ② 次のいずれかの時間を選ぶ ▶ SETを押す。

1 ~ 10秒*、15秒、20秒、30秒、40秒、50秒、1 ~ 10分*

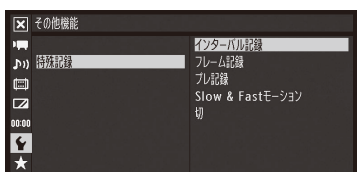
*メニュー上、秒は「sec」、分は「min」と表示する。



2 記録フレーム数を設定する

- ① 他機能メニュー ▶ 「インターバル記録」 ▶ 「記録フレーム」を順に選ぶ。
- ② 次のいずれかの記録フレーム数を選ぶ ▶ SETを押す。

記録信号形式のフレームレート	記録フレーム数
59.94i, 29.97P, 23.98P	1、3、6、9
59.94P	2、6、12



3 インターバル記録を有効にする

- ① 他機能メニュー ▶ 「特殊記録」を順に選ぶ。
- ② 「インターバル記録」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 画面に「INT STBY」(INTが点滅)が表示され、インターバル記録モードになる。

インターバル記録モードで撮影する



1 START/STOPボタンを押す

- 設定した記録間隔おきに、設定したフレーム数分のフレームが、自動的に記録される。
- 前後のタリーランプが点灯し、画面に「●INT REC」が表示される。



2 撮影を停止するとき もう一度START/STOPボタンを押す

- 撮影が終了する。この間に撮影したフレームは、すべて結合して1つのクリップとして記録される。
- 画面に「INT STBY」(INTが点滅)が表示され、前後のタリーランプは消灯する。
- ④その他機能メニュー > 「特殊記録」で、他の特殊記録を選ぶか「切」を選ぶとインターバル記録モードが終了する。

タイムコードについて

カウントアップ方式と歩進

インターバル記録中のタイムコードは、Rec Run (レックラン)またはRegen. (リジェネ)で記録され、記録フレーム数ずつ歩進します。Free Run (フリーラン)またはタイムコード入力している状態でインターバル記録モードにすると、強制的にRec Run (レックラン)に設定され、インターバル記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻ります。

タイムコード出力

タイムコードは、TIME CODE端子または3G/HD-SDI端子、MON.端子のいずれからも出力されません。



MEMO

- フレーム記録、スロー & ファーストモーション記録、プレ記録と同時に使用することはできません。
- インターバル記録モードで撮影中に、記録間隔やフレーム数を変更することはできません。
- クリップの末尾に、インターバル記録モードを終了したときの映像が記録されることがあります。
- 記録信号形式または動画形式を変更すると、インターバル記録モードは解除されます。

■ フレーム記録を行う

MXF MXF+MP4 MP4

記録フレーム数をあらかじめ設定して撮影を行うと、設定したフレーム数分の映像を記録します。記録中、音声は記録されません(ミュート)。撮影時は、本体を三脚などに固定してリモコン(付属)などで操作することをおすすめします。

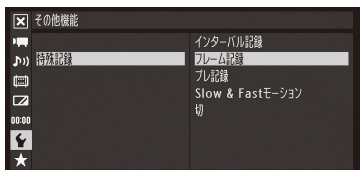
設定する



1 記録フレーム数を設定する

- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「フレーム記録」 ▶ 「記録フレーム」を順に選ぶ。
- ② 次のいずれかの記録フレーム数を選ぶ ▶ SETを押す。

記録信号形式のフレームレート	記録フレーム数
59.94i、29.97P、23.98P	1、3、6、9
59.94P	2、6、12



2 フレーム記録を有効にする

- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「特殊記録」を順に選ぶ。
- ② 「フレーム記録」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 画面に「FRM STBY」(FRMが点滅)が表示され、フレーム記録モードになる。

撮影する



1 フレーム記録モードで撮影する

- ① START/STOPボタンを押す。
 - フレーム記録モードになり、画面に「●FRM REC」が表示されて前後のタリールンプが点灯する。
 - 設定したフレーム数分のフレームが記録され、画面の表示が「●FRM STBY」に変わる。
- ② 撮影したいシーンで①の操作を繰り返し行う。



2 撮影を停止するとき フレーム記録を無効にする

- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「特殊記録」を順に選ぶ。
- ② 「切」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - フレーム記録モードが終了する。この間に撮影したフレームは、すべて結合して1つのクリップとして記録される。
 - 画面に「STBY」が表示され、前後のタリールンプは消灯する。

MEMO

- インターバル記録、スロー & ファーストモーション記録、ブレ記録と同時に使用することはできません。
- フレーム記録モードで撮影中に、記録フレーム数を変更することはできません。
- フレーム記録モードで撮影中のタイムコードは、インターバル記録中と同じ扱いです(126)。
- クリップの末尾に、フレーム記録モードを終了したときの映像が記録されることがあります。
- 記録信号形式または動画形式を変更すると、フレーム記録モードは解除されます。

■ スロー & ファーストモーション記録を行う

MXF | MXF+MP4 | MP4

プログレッシブ方式の記録信号形式に設定しているときは、再生時のフレームレート*1と異なるフレームレート（撮影フレームレート）で記録することができます。再生時のフレームレートより高いフレームレートで撮影し、再生するとスローモーション効果（最低1/2.5倍速）が得られ、再生時のフレームレートより低いフレームレートで撮影し、再生するとファーストモーション効果（最高5倍速*2）が得られます。なお、記録中、音声は記録されません（ミュート）。

*1 記録信号形式で設定しているフレームレート。

*2 MXFモードのとき。

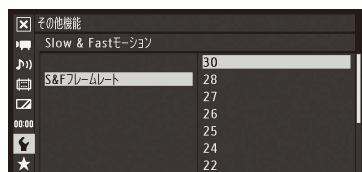
MXF形式の撮影フレームレート

記録信号形式 解像度	撮影フレームレート
1080	12、15、18、20、21、22、24、25、26、27、28、30
720	12、15、18、20、21、22、24、25、26、27、28、30、 32、34、36、40、44、48、54、60

MP4形式の撮影フレームレート

記録信号形式 フレームレート	撮影フレームレート
59.94P	24、30
29.97P	24、60
23.98P	30、60

設定する



1 撮影フレームレートを設定する

- ① 他機能メニュー ▶ 「Slow & Fastモーション」 ▶ 「S&Fフレームレート」を順に選ぶ。
- ② いずれかの撮影フレームレートを選ぶ ▶ SETを押す。



2 スロー & ファーストモーション記録を有効にする

- ① 他機能メニュー ▶ 「特殊記録」を順に選ぶ。
- ② 「Slow & Fastモーション」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - スロー & ファーストモーション記録モードになる。
 - 画面に「S&F STBY」と、設定されているフレームレート（撮影フレームレート／再生フレームレート）が表示される。

スロー & ファーストモーション記録モードで撮影する



1 START/STOPボタンを押す

- 設定した撮影フレームレートで記録される。
- 画面に「●S&F REC」が表示され、前後のタリールンプが点灯する。



2 撮影を停止するとき もう一度START/STOPボタンを押す

- 撮影が終了し、クリップとして記録される。
- 画面に「S&F STBY」が表示され、前後のタリールンプは消灯する。
- ④その他機能メニュー > 「特殊記録」で、他の特殊記録を選ぶか「切」を選ぶとスロー & ファーストモーション記録モードが終了する。



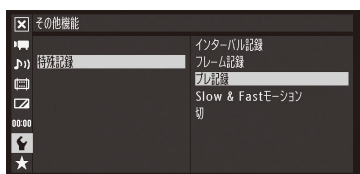
MEMO

- インターバル記録、フレーム記録、ブレ記録、ダブルスロット記録と同時に使用することはできません。
 - スロー & ファーストモーション記録モードで撮影中に、撮影フレームレートを変更することはできません。
 - スロー & ファーストモーション記録モードで撮影中のタイムコードは、インターバル記録中と同じ扱いです(□ 126)。
 - 撮影フレームレートの値が小さいと、記録停止に約1秒程度の時間がかかることがあります。
 - 記録信号形式または動画形式を変更すると、スロー & ファーストモーション記録モードは解除されます。
 - ④その他機能メニュー > 「MXF」 > 「ビットレート/解像度」を「50 Mbps 1920x1080」または「50 Mbps 1280x720」に設定しているときは、スローモーション撮影時にCFカードの空き容量がなくなっても、リレー記録されません。
 - MP4モードの場合、再生時間*で約12時間分記録すると、自動的に停止します。
- * 撮影に要する時間ではない。フレームレートが59.94Pで撮影フレームレートが24 (fps)のときは、約30時間撮影して約12時間分の映像を記録できる。

■ プレ記録を行う

MXF | MXF+MP4 | MP4

プレ記録モードでは、START/STOP (スタート/ストップ) ボタンを押して撮影を開始する約3秒前からの映像と音声を記録することができます。



- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「特殊記録」を順に選ぶ。
- ② 「プレ記録」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 画面に「PRE REC STBY」が表示され、プレ記録モードになる。
- ③ START/STOPボタンを押す。
 - 撮影が開始される。
 - 画面に「●PRE REC」が表示されて、タリールンプが点灯する。
- ④ 撮影を停止するとき もう一度START/STOPボタンを押す。
 - 撮影開始約3秒前からの映像が記録される。
 - 画面に「PRE REC STBY」が表示され、タリールンプは消灯する。



MEMO

プレ記録のタイムコードについて

プレ記録中のタイムコードは、Free Run (フリーラン) または外部入カタイムコードで記録されます。タイムコードの記録は、撮影開始操作の約3秒前から行われます。Rec Run (レックラン) またはRegen. (リジェネ) に設定しているときにプレ記録モードにすると、強制的にFree Run (フリーラン) に設定されるか、または外部のタイムコードにロックしているときは、外部入カタイムコードになります。プレRecを解除すると、元のカウントアップ方式に戻ります。

- スロー & ファーストモーション記録、インターバル記録、フレーム記録と同時に使用することはできません。
- 記録信号形式または動画形式を変更すると、プレ記録モードは解除されます。

MXF動画とMP4動画を同時に記録する


CAMERA MEDIA **MXF** MXF+MP4 MP4

動画形式をMXF+MP4モードにすると、MXF動画とMP4動画を同時に記録できます。MXF動画はSTART/STOPボタンで撮影開始／停止を行います。MP4動画の撮影開始／停止は、MXF動画と同時に行うか、MXF動画と独立して操作するかを選択できます。前者を「MP4同時記録」、後者を「MP4バックアップ記録」と呼びます。MP4同時記録では、MXF動画と同じ記録操作でMP4動画を記録できます。一方、MP4バックアップ記録では、MP4動画を常時記録することにより大切な撮影の撮り逃しを防ぐことができます。なお、MP4動画の「ビットレート/解像度」は、「3 Mbps 640×360」か、MXFの「ビットレート/解像度」に応じて自動的に設定するかを選択します。

MXF動画／MP4動画の記録信号形式

MXF動画			MP4動画						
			MXF+MP4モード時の「ビットレート/解像度」*						
			MXF連動			3 Mbps 640x360			
ビットレート	解像度	フレームレート	ビットレート	解像度	フレームレート	ビットレート/解像度	フレームレート		
50 Mbps	1920×1080	59.94i	35 Mbps	1920×1080	59.94P	3 Mbps / 640×360	29.97P		
		29.97P							
		23.98P	24 Mbps					23.98P	
	59.94P	1280×720			9 Mbps				29.97P
	29.97P		17 Mbps					23.98P	
	23.98P								
35 Mbps	1920×1080	59.94i	35 Mbps	1920×1080	59.94P	3 Mbps / 640×360	29.97P		
		29.97P							
		23.98P	24 Mbps					23.98P	
	59.94i	1280×720			9 Mbps				29.97P
	59.94P		17 Mbps					23.98P	
	29.97P								
25 Mbps	1440×1080	59.94i	35 Mbps	1920×1080	59.94P	3 Mbps / 640×360	29.97P		
		29.97P							
		23.98P	24 Mbps					23.98P	
	59.94P	1280×720			9 Mbps				29.97P
	29.97P		17 Mbps					23.98P	
	23.98P								

* 他機能メニュー ▶ 「MP4」 ▶ 「ビットレート/解像度」の設定。



1 動画形式を「MXF(CF)+MP4(SD)」にする (56)

- 画面に「MXF」が表示され、タイムコードがFree Runで歩進する。

MP4 STBY
00:11:00.28 [F]

MXF 50 Mbps
 1920x1080
 29.97P



2 MP4動画のビットレート/解像度を選ぶ

- ① 他機能メニュー → 「MP4」 → 「ビットレート/解像度」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ。

MXF連動： MXF動画のビットレート/解像度に応じて自動的に決定される設定にする。
3 Mbps 640×360： 3 Mbps 640×360にする。



3 MP4動画記録の操作方法を選ぶ

- ① 他機能メニュー → 「MP4」 → 「記録操作」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ → SETを押す。

START/STOPボタン：

START/STOPボタンによるMXF動画の撮影開始/停止と同時に記録開始/停止する。
MP4同時記録のときの設定。

アサインボタン：

他機能メニュー → 「MP4」 → 「Start/Stop」の「Start」 / 「Stop」で撮影開始/停止を行う。「MP4 Start/Stop」を割り当てたアサインボタンを押して操作することもできる (138)。MP4バックアップ記録のときの設定。

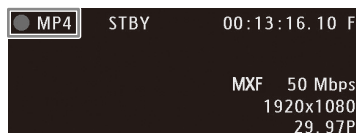
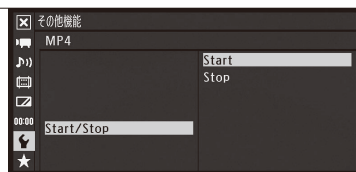


操作3で「アサインボタン」を選んだときの操作 (MP4バックアップ記録)



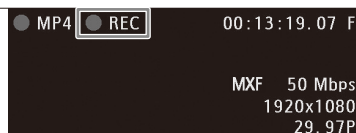
4 MP4動画の撮影を開始する

- ① 他機能メニュー → 「MP4」 → 「Start/Stop」を順に選ぶ。
- ② 「Start」を選ぶ → SETを押す。
 - タリランプが点灯し、画面に「●MP4」が表示されて、MP4動画の撮影が始まる。
 - 「MP4 Start/Stop」を割り当てたアサインボタンを押して操作することもできる。



5 START/STOPボタンを押す

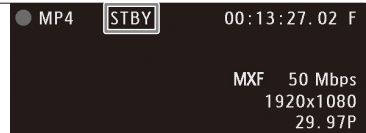
- MXF動画の撮影が始まる。画面の「STBY」が「●REC」に変わる。





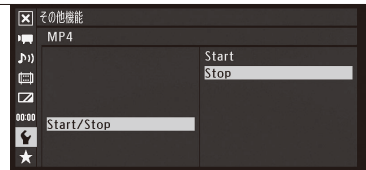
6 もう一度START/STOPボタンを押す

- MXF動画のクリップがCFカードに記録され、画面の「●REC」が「STBY」に変わる。
- 必要に応じて、操作5～6を繰り返してMXF動画の撮影を行う。このときMP4動画は継続して記録される。



7 MP4動画の撮影を停止する

- ① ④ 其他機能メニュー ▶ 「MP4」 ▶ 「Start/Stop」を順に選ぶ。
- ② 「Stop」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - タリールンプが消灯しMP4動画のクリップがSDカードに記録される。
 - 「MP4 Start/Stop」を割り当てたアサインボタンを押して操作することもできる。



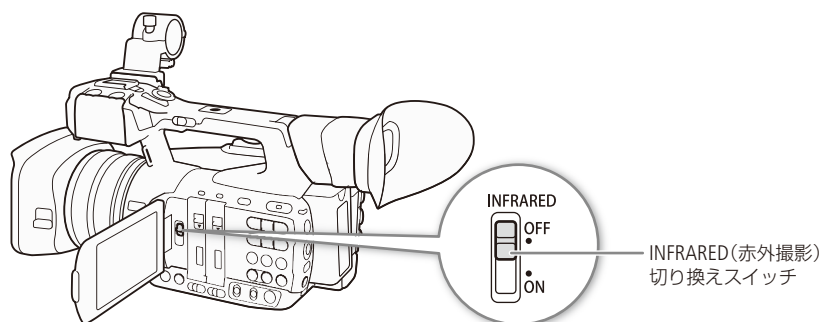
MEMO

- 記録中いずれかのメモリーカードの空き容量がなくなった場合、MP4同時記録時はすべてのカードの記録を停止し、MP4バックアップ記録時は容量のないカードのみ記録を停止します。
- 本機能は、インターバル記録、フレーム記録、スロー & ファーストモーション記録、プレ記録、リアルタイムプロキシ転送と同時に使用できません。
- 撮影中のタイムコードは、Free Run（フリーラン）で記録されます。

赤外撮影 (INFRARED) を行う

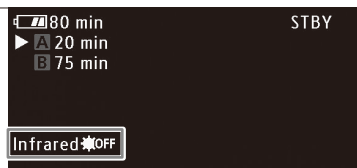
CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

Infrared(赤外撮影)モードを使うと、通常の撮影に比べて近赤外線の受光感度が上がるため、暗い撮影シーンでも明るく撮影できます。また、赤外ライトを使えば、より明るく撮影できます。なお、撮影する映像の高輝度部分の色は、白または緑から選択できます。



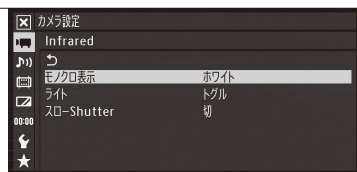
1 INFRARED (赤外撮影) 切り換えスイッチをONにする

- Infraredモードになり、画面に「Infrared」が表示される。
- OLEDモニターの角度を垂直位置に戻すと操作しやすくなる。



2 高輝度部分の色を選択する

- ① **カメラ設定メニュー** ▶ 「Infrared」 ▶ 「モノクロ表示」を順に選ぶ。
- ② 「ホワイト」または「グリーン」を選ぶ ▶ SETを押す。



3 必要に応じて 赤外ライトを点灯する

- ① **カメラ設定メニュー** ▶ 「Infrared」 ▶ 「ライト」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
トグル：「IRライト」を割り当てたアサインボタンを押して、赤外ライトの入/切を切り換える。
常時入：赤外ライトを常に点灯させる。
常時切：赤外ライトは点灯しない。



- 「トグル」を選んだとき
アサインボタン (138) に「IRライト」を割り当てたあと、アサインボタンを押す。
- 赤外ライトが点灯し、画面に **★** が表示される (消灯時は **★OFF**)。



MEMO

InfraredモードをONにしたとき

- ゲイン、シャッタースピード、アイリスはオートに固定され、NDフィルターは使用されない。
 - AGCリミット、測光方式、AEシフト、ホワイトバランス、カスタムピクチャーは使用できない。
 - フォーカスがマニュアルのときにInfraredモードをONにすると、Infraredモードへの移行時に、いったんオートフォーカスが動作するため、合焦状態が変わる。このときは、ピントを確認してください。
- 光源の種類によっては、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなる場合があります。
 - 赤外撮影時は近赤外光の感度を大幅にアップしているため、赤外撮影に切り換える際には強い光、熱源をレンズに向けないでください。強い光、熱源が被写体内にある状態で赤外撮影に切り換える際には、レンズを遮光した状態での切り換えを推奨します。
 - アサインボタンに「IR モノクロ表示」を割り当てると、アサインボタンを押して高輝度部分の色を切り換えられます(☞ 138)。

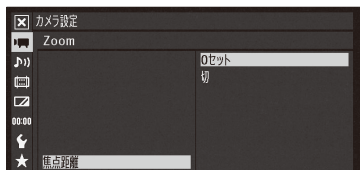
焦点距離ガイドを使う

CAMERA MEDIA

本機を2台使用して3D撮影を行う際のアシスト機能です。0にセットしたズーム位置を基準とし、ズーム操作に応じて変わる焦点距離位置を数値として表示する機能で、全焦点距離位置を202ステップで表示します。

1 2台のカメラを設置する

- ① 2台のカメラを並行に並べて設置する。
- ② 2台のカメラの画角を、ズームのテレ側で合わせる。



2 焦点距離ガイドの基準ズーム位置を設定する

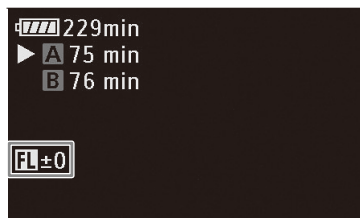
- ① カメラ設定メニュー ▶ 「Zoom」 ▶ 「焦点距離」を順に選ぶ。
- ② 「0セット」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ③ MENUボタンを押す
 - 画面に「FL ±0」(焦点距離ガイド)が表示される。

焦点距離ガイド表示を消すとき

- ②で「切」を選ぶ ▶ SETを押す。

3 ズーム位置を変える

- ① 2台のカメラのズームを操作する。
 - 焦点距離ガイドの値を2台のカメラで合わせると、2台のカメラの焦点距離をほぼ同じにすることができる。



MEMO

焦点距離ガイドは3D撮影アシスト機能です。撮影時は目視による画角の確認も合わせて行ってください。

- 基準ズーム位置をズームのテレ側で設定すると、焦点距離ガイドをより正確に表示できます。
- 本機能によって2台のビデオカメラの画角が一致することを保証するものではありません。

デジタルズーム、デジタルテレコンについて

- 「0セット」を行うとデジタルテレコンとデジタルズームは解除され、ズームモードはノーマル(光学のみ)になる。
- デジタルズームを使用中(ズーム位置がデジタルズーム領域内)に「0セット」を行うと、ズーム位置が光学ズームのテレ端に移動する。

4 カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する ... 138

カスタムピクチャーを使用する 141

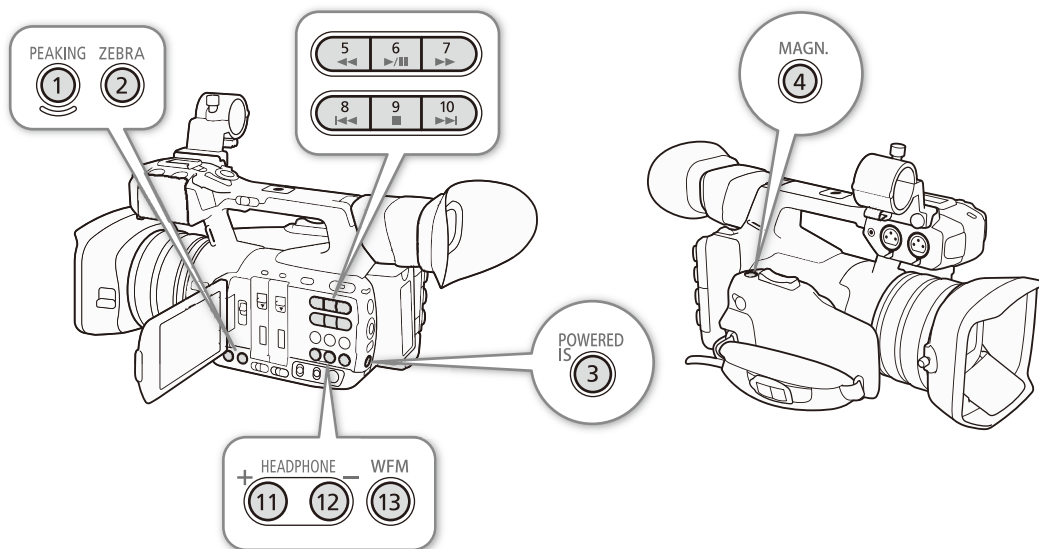
機能や表示をカスタマイズする 151

設定データの保存と読み出し 152

アサインボタンの機能を変更する

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

本機には13個のアサインボタンがありますので、使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。



No.1 ~ No.4およびNo.11 ~ No.13のアサインボタンには、初期設定でそれぞれのボタン名の機能が割り当てられています。No.5 ~ No.10のアサインボタンはカメラモードのときのみ使用できます。

アサインボタンには次の機能を割り当てることができ、カメラモードとメディアモードでそれぞれ個別に設定できます。使用可能な機能は、下表のようにモードによって異なります。

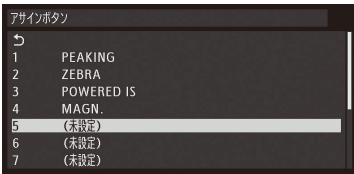
機能名	内容	CAMERA	MEDIA
Img Stab.	手ブレ補正の入/切を切り換える。	●	
POWERED IS*	パワードISの入/切を切り換える。	●	
Focusリミット	フォーカスリミットの入/切を切り換える。	●	
顔検出AF	顔検出AFの顔優先/顔限定/切を切り換える。	●	
バックライト	測光方式のバックライトの入/切を切り換える。	●	
スポットライト	測光方式のスポットライトの入/切を切り換える。	●	
デジタルZoom	デジタルズームの入/切を切り換える	●	
デジタルテレコン	デジタルテレコンの入/切を切り換える。押すたびに1.5x → 3.0x → 6.0x → OFF(ノーマル)が切り換わる	●	
ワイド画角	ワイド画角のワイド/ノーマルを切り換える。	●	
Gainモード	ゲインのモード (Automatic / Manual) を切り換える。	●	
Shutterモード	シャッタースピードのモード (Automatic / Manual) を切り換える。	●	
Shutterステップ	シャッターステップを切り換える。	●	
WBモード	ホワイトバランスのモード (AWB / セットまたはAWB / Preset) を切り換える。	●	
PEAKING	ピーキングの入/切を切り換える。	●	
ZEBRA	ゼブラパターン表示の入/切を切り換える。	●	

機能名	内容	CAMERA	MEDIA
WFM	モニター表示を切り換える。押すたびに、波形モニター → ベクトルスコープ → エッジモニター (カメラモードのみ) → OFFが切り換わる。	●	●
MAGN.	拡大表示の入/切を切り換える。	●	
TL-H58	コンバージョンレンズのTL-H58 /切を切り換える。	●	
WA-H58	コンバージョンレンズのWA-H58 /切を切り換える。	●	
カラーバー	カラーバーの入/切を切り換える。	●	
IR モノクロ表示	Infraredモードのモノクロ表示のホワイト/グリーンを切り換える。	●	
IRライト	Infraredモードの赤外ライトの入/切を切り換える。 (☑ カメラ設定メニュー ▶ 「Infrared」 ▶ 「ライト」が「トグル」のときのみ)	●	
マーカー	マーカーの入/切を切り換える。	●	
OLED設定	OLED設定メニューを表示する。	●	●
VF設定	VF設定メニューを表示する	●	●
OLED/VFモノクロ	画面のモノクロ表示の入/切を切り換える。	●	●
オンスクリーン表示	端子からの出力映像に画面表示を重畳する/しないを切り換える。切り換えは、HD出力とSD出力を同時に行う。	●	●
MP4 Start/Stop	MXF+MP4モードにおける、MP4動画の撮影開始/停止を行う。アサインボタン1～4だけに割り当て可能。また ☑ その他機能メニュー ▶ 「MP4」 ▶ 「記録操作」が「アサインボタン」のときのみ使用可能。	●	
MP4 FTP転送*	直前に撮影したMP4クリップをFTP転送キューに追加する。	●	
Shot Mark 1追加	ショットマーク1を付加する。	●	●
Shot Mark 2追加*	ショットマーク2を付加する。	●	●
OK Mark追加	OKマークを付加する。	●	●
☑ Mark追加	チェックマークを付加する。	●	●
Time Code	00:00 TC/UB設定メニュー ▶ 「Time Code」を表示する。	●	
Time Codeホールド*	画面に表示されるタイムコード値を保持/保持解除を切り換える。	●	●
HEADPHONE +	ヘッドホンの音量を大きくする。	●	●
HEADPHONE -	ヘッドホンの音量を小さくする。	●	●
モニター Channels	Ω (ヘッドホン)端子から出力される音声のチャンネルを切り換える。押すたびに出力チャンネルが切り換わる。	●	●
Audio Level	オーディオレベルメーター表示の入/切を切り換える。	●	●
ワイヤレスコントローラー	リモコン (付属)の入/切を切り換える。	●	●
Photo*	静止画を記録する。	●	●
Status*	ステータス画面を表示する。	●	●
マイメニュー	マイメニューを表示する。	●	
Media初期化	Media初期化メニューを表示する。	●	●
ユーザー設定*	任意のメニュー項目を表示する。	●	●

* アサインボタンだけの機能

機能を変更する

例：アサイン5ボタンに「Shot Mark 1追加」を割り当てる場合



- ① ⏏️ その他機能メニュー ▶ 「アサインボタン」 ▶ 「5」を順に選ぶ。
- ② 「Shot Mark 1追加」を選ぶ ▶ SETを押す。

「ユーザー設定」を選んだとき

- メニューが青色に変わり、割り当てるメニュー項目を選ぶ画面になる。ジョイスティックで任意のメニュー項目を選ぶ ▶ SETを押す。
- 「ユーザー設定」が選んだメニュー項目の名称（先頭に★が付く）に変わる。



MEMO

- アサインボタンに割り当てられた機能は、ステータス画面で確認できます (□ 246)。
- ⏏️ その他機能メニュー ▶ 「リセット」 ▶ 「アサインボタン」で、アサインボタンの割り当てを初期状態に戻すことができます (□ 236)

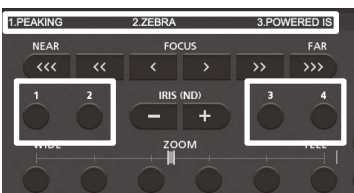
アサインボタンに割り当てた機能を使う



必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用します。アサインボタンを押すと、画面に機能の詳細項目を選ぶメニューが表示されることがあります。そのときは、ジョイスティックを上下に押して項目を選び、SETを押します。

ブラウザーリモートで操作する

アサインボタン1～4は、ブラウザーリモートを使ってリモートで操作できます。あらかじめリモート撮影（ブラウザーリモート）の準備を行っててください (□ 186)。



- ① アサイン1ボタン～アサイン4ボタンのいずれかを押す。
 - 各アサインボタンに割り当てた機能を、ブラウザーリモートの画面上で確認できます。



MEMO

アサインボタンに「Shutterステップ」を割り当てても、ブラウザーリモートからは使用できません。

カスタムピクチャーを使用する

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

撮影条件に合わせる、意図的に効果をつけるなど画質を調整するためのさまざまな設定を行うことができます。調整した設定値はカスタムピクチャーファイルとして本機やSDカードに保存し、必要に応じて再利用できます。また、カスタムピクチャーを設定して撮影すると、カスタムピクチャーファイルをMXFクリップと一緒にCFカードに保存することができます*。

カスタムピクチャーファイルは、本機に9セット、SDカードに20セット保存でき、本機とSDカードまたはCFカードとの間で相互にコピーすることができます。

* MXFクリップと一緒に保存しないようにすることもできます (□ 145)。なお、MP4クリップ/静止画と一緒に保存できません。

機能分類	機能	設定項目	□
光の階調に関わるグループ	ガンマ	Gamma	146
	ブラックガンマ	Black Gamma	147
	マスターペDESTAL	Black – Master Pedestal	146
	マスターブラック	Black – Master Black	
	ニー	Knee	147
	セットアップ	Other Functions – Setup Level	150
	オーバー 100%	Other Functions – Over 100%	
輪郭やノイズに関わるグループ	シャープネスレベル	Sharpness – Level	148
	シャープネス水平帯域	Sharpness – H Detail Freq.	
	シャープネスHVバランス	Sharpness – HV Detail Bal.	
	シャープネスリミット	Sharpness – Limit	
	ニーアパーチャー	Sharpness – Knee Aperture	
	輝度適応シャープネス	Sharpness – Level Depend	
	コアリングレベル	Sharpness – Coring – Level	
	輝度適応コアリング	Sharpness – Coring – D-Ofst / D-Curve / D-Depth	
	イングリーディエント・レシオ	Sharpness – Ingredient Ratio	149
	ノイズリダクション	Noise Reduction	
	スキンディテール	Skin Detail	
	セレクトティブNR	Selective NR	
	S/N優先	Other Functions – S/N Priority	
色の方向性、強さ、変換に関するグループ	ローキーサチュレーション	Low Key Satur.	147
	ニーサチュレーション	Knee – Saturation	147
	カラーマトリックス	Color Matrix	149
	カラーゲイン	Color Matrix – Gain	
	色相	Color Matrix – Phase	
	ホワイトバランス	White Balance	149
	カラーコレクション	Color Correction	150

 MEMO SDカードまたはCFカードに保存したカスタムピクチャーファイルは、XF205のみで使用可能です。

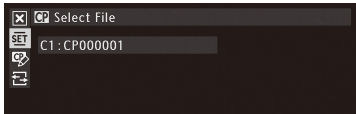
■ カスタムピクチャーファイルを選ぶ

撮影に使用するカスタムピクチャーファイルを選択します。あらかじめ、画質設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておく、リストから選ぶだけで希望の画質に調整することができます。カスタムピクチャーファイルの編集／登録、名称変更、プロテクト、コピーを行うときも、その対象となるカスタムピクチャーファイルを選びます。



1 CPメニューを表示する

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「Custom Picture」を順に選ぶ。
 - CP (カスタムピクチャー) メニューが表示される。カスタムピクチャーが選択されているときは、その名前が、選択されていないときは「Off」が表示される。



2 Select File)を選ぶ

- ① カーソルを上下に移動させて Select File)を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 本機とSDカードに保存されているカスタムピクチャーファイルが選択可能になる。
 - C1 ~ C9が本機の、SD1 ~ SD20がSDカードのカスタムピクチャーファイルを表わす。



3 カスタムピクチャーファイルを選ぶ

- ① いずれかのカスタムピクチャーファイルを選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選んだカスタムピクチャーファイルに登録されている設定に調整される。
カスタムピクチャーを使用しないとき 「Off」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ② MENUボタンを押す。
 - CPメニューが消え、選んだカスタムピクチャーファイルの番号 (「CP XX」または「CXX」) が画面に表示される

プリセットされたカスタムピクチャーについて

初期状態では、C8とC9にシーン設定値がプリセットされています。このカスタムピクチャーファイルは、プロテクトされているため、変更するときはプロテクトを解除する必要があります。

	用途
C8 : S/N Pri.	S/N優先画質にする。
C9 : Wide DR	広いダイナミックレンジを持つガンマと、ガンマに合わせたカラーマトリックスを適用する設定。



MEMO リモートコントローラー RC-V100(別売)を使うとき

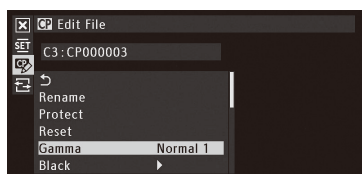
- リモートコントローラー RC-V100 (別売) のCUSTOM PICT.ボタンを押して、CP (カスタムピクチャー) メニューを表示することもできます。
- カスタムピクチャーファイルを選んでいないか、プロテクトしたカスタムピクチャーファイルを選んでいると、カスタムピクチャーの設定をRC-V100から調整できません(□ 150)。
- RC-V100を接続中、SD1 ~ SD20は使用できません。SD1 ~ SD20のいずれかを選択中にRC-V100を接続すると、自動的に「Off」に切り換わります。SDカードに入っているカスタムピクチャーファイルを使うときは、あらかじめ本機のカスタムピクチャーファイルに置き換えて使用してください(□ 144)。

- RC-V100で画質の調整を行うと、選択中のカスタムピクチャーファイルの設定が変更／登録されます。大切なカスタムピクチャーファイルはSDカードにコピーし、変更しても良いカスタムピクチャーファイルを選んでから、RC-V100で調整してください。

■ カスタムピクチャーファイルを登録する

撮影時に良く使う画質調整設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておくこと、次に使用するとき、リストから選ぶだけで同じ設定を簡単に再現できます。

1 カスタムピクチャーファイルを選ぶ



2 画質調整の設定を行う

参考 ▶ 「カスタムピクチャーの設定項目」(P.146)

例：Gammaを「Cine 1」に設定する場合

- ① (Edit File) ▶ 「Gamma」を順に選ぶ。
- ② 「Cine 1」を選ぶ ▶ SETを押す。

設定を初期設定に戻すとき

- ① 「Reset」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「Normal」、「Wide DR」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。




3 カスタムピクチャーファイルの名前を設定する

- ① 「Rename」(名前変更)を選ぶ ▶ SETを押す。
 - Rename画面が表示され、一番左の文字の背景がオレンジ色になる。
- ② ジョイスティックを上下に押して文字を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 文字は、英数字、記号が使用できる。
- ③ ②の操作を繰り返して、名前を入力する ▶ 「Set」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - カスタムピクチャーファイルの名前が決定される。
- ④ MENUボタンを押す。

カスタムピクチャーファイルをプロテクトする

必要に応じて、カスタムピクチャーファイルをプロテクトすることができます。



- ① プロテクトするカスタムピクチャーファイルを選ぶ。
- ② CPメニュー ▶ (Edit File) ▶ 「Protect」を順に選ぶ。
- ③ 「Protect」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - CPメニュー上のカスタムピクチャーファイル名にが表示される。

■ カスタムピクチャーファイルをコピーする

カスタムピクチャーファイルを本機とSDカードとの間で相互にコピーすることができます。コピーの方法は、現在選んでいるカスタムピクチャーファイルが本機かSDカードかによって異なります。

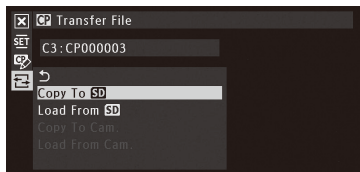
Copy To **SD** : 現在のカスタムピクチャーファイル (本機) をSDカードにコピーする。新規に追加するか、既存のカスタムピクチャーファイルを上書きするかを選ぶことができる。

Load From **SD** : 現在のカスタムピクチャーファイル (本機) をSDカードのカスタムピクチャーファイルで上書きする。

Copy To Cam. : 現在のカスタムピクチャーファイル (SDカード) を本機にコピーする。コピー先として選んだ既存のカスタムピクチャーファイルが上書きされる。

Load From Cam. : 現在のカスタムピクチャーファイル (SDカード) を本機のカスタムピクチャーファイルで上書きする。

現在のカスタムピクチャーファイル (本機) をSDカードにコピーする



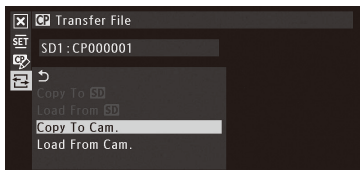
- ① 本機内のカスタムピクチャーファイルを選ぶ。
- ② **SET** (Transfer File) ▶ 「Copy To **SD**」を順に選ぶ。
- ③ SDカード内のコピー先となるカスタムピクチャーファイルまたは「New File」*を選ぶ ▶ SETを押す。
* SDカード内のカスタムピクチャーファイルが20セット未満のときは、「New File」が表示される。
- ④ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 現在のカスタムピクチャーファイル (本機) がSDカードにコピーされる。
 - 「New File」を選んだときは、自動的に最後に追加される。
- ⑤ SETを押す。
- ⑥ MENUボタンを押して、CPメニューを閉じる。

現在のカスタムピクチャーファイル (本機) をSDカードのカスタムピクチャーファイルで置き換える



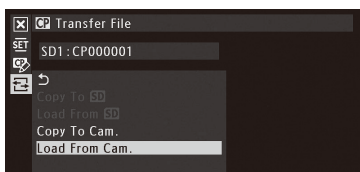
- ① 本機内のカスタムピクチャーファイルを選ぶ。
- ② **SET** (Transfer File) ▶ 「Load From **SD**」を順に選ぶ。
- ③ SDカード内のコピー元となるカスタムピクチャーファイルを選ぶ ▶ SETを押す。
- ④ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 現在のカスタムピクチャーファイルが置き換わる。
- ⑤ SETを押す。
- ⑥ MENUボタンを押して、CPメニューを閉じる。

現在のカスタムピクチャーファイル (SDカード) を本機にコピーする



- ① SDカード内のカスタムピクチャーファイルを選ぶ。
- ② (Transfer File) > 「Copy To Cam.」を順に選ぶ。
- ③ 本機内のコピー先となるカスタムピクチャーファイルを選ぶ > SETを押す。
- ④ 「OK」を選ぶ > SETを押す。
 - 現在のカスタムピクチャーファイル (SDカード) が本機にコピーされる。
- ⑤ SETを押す。
- ⑥ MENUボタンを押して、CPメニューを閉じる。

現在のカスタムピクチャーファイル (SDカード) を本機のカスタムピクチャーファイルで置き換える



- ① SDカード内のカスタムピクチャーファイルを選ぶ。
- ② (Transfer File) > 「Load From Cam.」を順に選ぶ。
- ③ 本機内のコピー元となるカスタムピクチャーファイルを選ぶ > SETを押す。
- ④ 「OK」を選ぶ > SETを押す。
 - 現在のカスタムピクチャーファイルが置き換わる。
- ⑤ SETを押す。
- ⑥ MENUボタンを押して、CPメニューを閉じる。

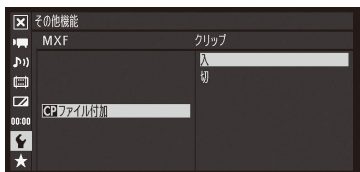


MEMO

記録したクリップと一緒に保存されているカスタムピクチャーファイルを、本機にコピーすることもできます (□ 166)。

■ カスタムピクチャーファイルをクリップと一緒に保存する

調整を行った画質設定で撮影すると、カスタムピクチャーファイルがMXFクリップと一緒に保存されます。クリップと一緒に保存したカスタムピクチャーファイルは、本機にコピーして再利用することができます (□ 166)。



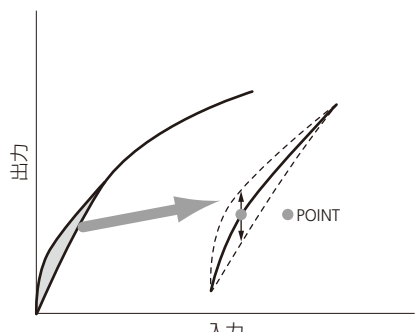
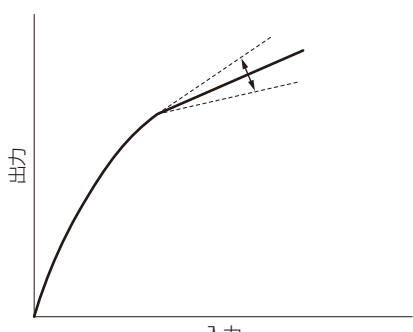
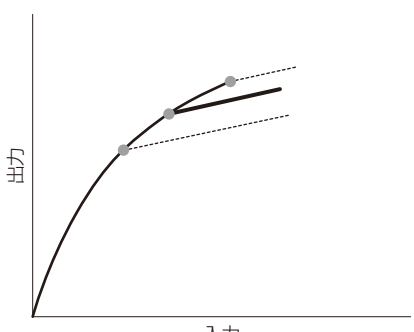
- ① その他機能メニュー > 「MXF」 > 「クリップ」 > 「 ファイル付加」を順に選ぶ。
- ② 「入」または「切」を選ぶ > SETを押す。

■ カスタムピクチャーの設定項目

カスタムピクチャーで設定できる項目について説明します。初期設定は太字*で記載しています。

* カスタムピクチャーファイルの選択 (CPメニュー ▶ Select File) で「Off」を選んだときも太字の内容に設定されます。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Rename	カスタムピクチャーファイル名		カスタムピクチャーファイルの名前を英数字8文字で設定する。
Protect	—	Protect、Unprotect	現在のカスタムピクチャーファイルをプロテクトする。
Reset	—	Normal 、 S/N Pri.、 Wide DR	現在のカスタムピクチャーファイルの設定を、初期設定に戻す。 Normal：標準的な初期設定に戻す。 S/N Pri.：S/N優先の初期設定に戻す。 Wide DR：Wide DRプリセットの初期設定に戻す。
Gamma(ガンマ) ガンマカーブを選択する	—	Normal 1 、 Normal 2、 Normal 3、 Normal 4、 Cine 1、 Cine 2、 Wide DR	画面全体のテイストを決めるガンマカーブを8種類から選択する。 Normal 1～Normal 4は、TVモニターで見ることを前提にしたガンマ。Normal 2は、Normal 1に対して高輝度部をより明るく撮影でき、Normal 3 (ITU-R BT.709) とNormal 4は、順にNormal 2に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。Cine 1は、映画に近い質感や階調が得られるようなガンマ。Cine 2は、Cine 1に対してさらにソフトなコントラストで、映画表現に適したガンマ。Wide DRは、広いダイナミックレンジを確保しつつ、TVモニター出力を前提にしたガンマ。
			<p>The image contains two graphs illustrating Gamma curves. The left graph, titled 'Gamma', shows several curves: Normal 1 (solid), Normal 2 (dashed), Normal 3 (dotted), Normal 4 (dash-dot), Cine 1 (long-dashed), and Cine 2 (short-dashed). An arrow points from Normal 1 to Normal 4. The right graph shows Normal 1 (solid) and Wide DR (dashed) curves. Both graphs have '出力' (Output) on the vertical axis and '入力' (Input) on the horizontal axis.</p>
Black(ブラック) 黒のレベル、黒の色かぶりを調整する	Master Pedestal	±50(±0)	黒のレベルを調整する。値を高くするほど画像の暗い部分が明るくなり、コントラストが弱くなる。マイナスの値にすると、黒が沈む。
	Master Black Red Green Blue	±50(±0) ±50(±0) ±50(±0)	黒の色かぶりをRGB個別に補正する。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Black Gamma (ブラックガンマ) 低輝度部のガンマを補正する ※ Gammaで「Wide DR」を選択時は無効。	Level	±50(±0)	低輝度部のガンマを補正する。Level(基準ガンマからの高さ)、Range(幅)、Point(頂点の位置)の調整があり、各設定値を変えることで、図の範囲内で黒側のガンマカーブを調整する。 Black Gamma 
	Range	-20 ~ 50(±0)	
	Point	-20 ~ 50(±0)	
Low Key Satur. (ローキーサチュレーション)	Enable	On、Off	Onにすると、低輝度領域で色の濃い／薄いを調整できる。
	Level	±50(±0)	EnableがOnのとき、低輝度領域の色の濃さ・薄さを設定する。
Knee(ニー) ニー(高輝度部に圧縮をかける機能)を調整する ※ Gammaで「Cine 1」、 「Cine 2」、 「Wide DR」を選択時は無効。	Enable	On、Off	高輝度部分に圧縮をかけて、とびの発生を抑える。AutomaticをOnにすると、白とびを抑えるように自動的にニーをかけ、Offにするとニーのかけかたを手動で調整できる。手動調整するときは、Slope(ニーの傾き)、Point(ニーポイント)、Saturation(ニーポイントより上の高輝度部における色の濃さ・薄さ)の各設定値で調整する。
	Automatic	On、Off	
	Slope	-35 ~ 50(±0)	
	Point	50 ~ 109(95)	
	Saturation	±10(±0)	
	Knee Slope		
	Knee Point		

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Sharpness (シャープネス) 出力信号、記録信号の輪郭強調を設定する	Level	-10 ~ 50 (±0)	輪郭強調のレベルを調整する。
	H Detail Freq.	±8 (±0)	水平の輪郭強調の中心周波数を設定する。値を大きくするほど周波数が高くなり、輪郭強調は細くなる。
	Coring Level D-Ofst D-Curve D-Depth	-30 ~ 50 (±0) 0 ~ 50 0 ~ 8 ±4 (±0)	輪郭強調によって発生するノイズ成分を低減する (コアリング)。Level (コアリングのレベル) を大きくすると、微細な輪郭が強調されなくなり、ノイズを低減できる。また、輝度に応じてコアリングのレベルを変えることもできる (輝度適応コアリング)。最低輝度のコアリングレベルをD-Ofst (レベルディバインド-オフセット) で、LevelからD-Ofstまでの変化のしかたをD-Curve (レベルディバインド-カーブ) で設定する。D-Depth (レベルディバインドデプス) は倍率で、D-Ofstに掛け合わせることで輝度適応コアリングのレベルが決定される。D-Depthをプラスにすると、低輝度部のコアリングレベルが上がり、マイナスにすると低輝度部のコアリングレベルが下がる。
	HV Detail Bal.	±8 (±0)	輪郭強調の水平成分と垂直成分の比率を調整する。値を大きくすると垂直成分が大きくなり、値を小さくすると水平成分が大きくなる。
	Limit	±50 (±0)	輪郭強調の大きさを制限するレベルを調整する。
	Knee Aperture Gain Slope	0 ~ 9 0 ~ 3 (1)	ニーポイントより輝度が高い領域だけに輪郭強調をかける。Gainは輪郭強調の強さを、Slopeは輪郭強調の傾きを0 (なし)、1 (急) ~ 3 (なだらか) の4段階で設定する。Gammaで「Cine 1」、「Cine 2」、「Wide DR」を選択時は無効。
	Level Depend Level Slope Offset	0 ~ 50 0 ~ 3 0 ~ 50	低輝度部分の輪郭強調を弱める。Levelは処理対象の低輝度部分の輝度を設定する。Slopeは低輝度と高輝度部との間の傾きを0 (なし)、1 (急) ~ 3 (なだらか) の4段階で設定する。Offsetは低輝度部の輪郭強調のレベルを設定し、値を大きくするほど低輝度部の輪郭強調が弱められる。
	Ingredient Ratio	±50 (0)	輪郭強調信号の混合比率を変えることでジャギーの抑圧と解像度のバランスをとることができる。値を大きくすると解像感重視、値を小さくするとジャギー抑圧重視の設定となる。
Noise Reduction (ノイズリダクション) 一般的なノイズを低減する回路の設定を変更する	—	Automatic 、 Off 、1 ~ 12	ノイズを低減するノイズフィルターを選択する。自動調整 (Automatic) と手動調整 (1 ~ 12) がある。手動調整は、数値が大きくなるほど、ノイズ低減効果が大きくなる。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Skin Detail (スキンドイテール) 肌色部分のノイズを低減して肌を美しく撮影するための設定を行う	Effect Level	Off , Low, Middle, High	肌色を検出して、きれいな肌を演出するためのフィルターを調整する。調整のレベルは、3段階で設定でき、Highがもっとも強く調整される。
	Hue	±16(±0)	検出する肌色の設定は、Hue(色相)、Chroma(彩度)、Area(色相の幅)、Y Level(輝度レベル)をそれぞれ調整する。調整中、設定した肌色部分を検出すると、有機ELモニターまたはファインダー上にゼブラパターンで表示する。
	Chroma	0～31(16)	
	Area	0～31(16)	
	Y Level	0～31(16)	
Selective NR (セレクトィブNR) 特定の色域を検出してノイズを低減する設定を行う	Effect Level	Off , Low, Middle, High	特定の色を検出して、その色の範囲を美しく演出するためのフィルターを調整する。調整のレベルは、3段階で設定でき、Highがもっとも強く調整される。
	Hue	0～31(0)	検出する色の設定は、Hue(色相)、Chroma(彩度)、Area(色相の幅)、Y Level(輝度レベル)をそれぞれ調整する。調整中、設定した色部分を検出すると、有機ELモニターまたはファインダー上にゼブラパターンで表示する。
	Chroma	0～31(16)	
	Area	0～31(16)	
	Y Level	0～31(16)	
Color Matrix (カラーマトリックス) 映像の色調を調整する	Select	Normal 1 、Normal 2、Normal 3、Normal 4、Cine 1、Cine 2、Wide DR	色調をNormal 1～4、Cine 1～2、Wide DRの7種類から選択する(通常はGammaと同じ設定にする)。選択した色調をより細かく調整するために、カラーゲイン、色相、マトリクスを設定できる。
	Gain	±50(±0)	色の濃さを調整する。
	Phase	±18(±0)	色相を調整する。
	R-G	±50(±0)	シアンからグリーン、レッドからマゼンタの色調を調整する。
	R-B	±50(±0)	シアンからブルー、レッドからイエローの色調を調整する。
	G-R	±50(±0)	マゼンタからレッド、グリーンからシアンの色調を調整する。
	G-B	±50(±0)	マゼンタからブルー、グリーンからイエローの色調を調整する。
	B-R	±50(±0)	イエローからレッド、ブルーからシアンの色調を調整する。
	B-G	±50(±0)	イエローからグリーン、ブルーからマゼンタの色調を調整する。
	White Balance (ホワイトバランス) ホワイトバランスのシフト量を調整する	R Gain	±50(±0)
B Gain		±50(±0)	青色の濃淡を調整する。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Color Correction (カラーコレクション) 特定の範囲の色調を補正する	Select Area	Off , Area A、Area B、Area A&B	補正する色の範囲をAエリアとBエリアの2種類設定できる。補正は、「Aエリアのみ」、「Bエリアのみ」、「Aエリア／Bエリア両方」を選択できる。
	Area A Setting Phase Chroma Area Y Level	0 ～ 31 0 ～ 31 (16) 0 ～ 31 (16) 0 ～ 31 (16)	補正する色の範囲 (Aエリア)を設定する。Phase(色相)、Chroma(彩度)、Area(色相の幅)、Y Level(輝度レベル)をそれぞれ設定する。
	Area A Revision Level Phase	±50 (±0) ±18 (±0)	Aエリアの色の補正量を設定する。Levelは色の濃さ、Phaseは色相の補正量を設定する。
	Area B Setting Phase Chroma Area Y Level	0 ～ 31 0 ～ 31 (16) 0 ～ 31 (16) 0 ～ 31 (16)	補正する色の範囲 (Bエリア)を設定する。Phase(色相)、Chroma(彩度)、Area(色相の幅)、Y Level(輝度レベル)をそれぞれ設定する。
	Area B Revision Level Phase	±50 (±0) ±18 (±0)	Bエリアの色の補正量を設定する。Levelは色の濃さ、Phaseは色相の補正量を設定する。
	Other Functions (その他) 上記の категорияに属さないものを調整する	Setup Level	±50 (±0)
Over 100%		Through 、Clip、Press	100%を超える信号の出力のしかたを設定する。Throughは信号をそのまま出力する。Clipは白レベルを100%でクリップする。Pressは108%までの信号全体を100%に圧縮する。
S/N Priority		On、 Off	OnにするとS/Nを優先した画質になる。



MEMO

- リモートコントローラー RC-V100(別売) を接続すると、次の項目をRC-V100から調整できます。このとき、本機では調整できません。
 - BlackのMaster Pedestal、Master Black Red / Blue
 - Black GammaのLevel
 - KneeのSlope*、Point*
 - SharpnessのLevel
 - White BalanceのR Gain / B Gain
- * KneeのEnableがOnのときのみ。

機能や表示をカスタマイズする

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

カメラモードで使用する機能をカスタマイズする「カスタムファンクション」と、撮影中の画面の表示項目をカスタマイズする「カスタムディスプレイ」とがあります。撮影スタイルや目的に合わせて、より使いやすいように設定することができます。設定した内容は、他のメニュー設定とともに設定データとしてSDカードに保存したり、SDカードから読み出して再利用したりすることができます (P.152)。設定のしかたは通常のメニュー操作と同じです。

■ カスタムファンクションで設定できる項目

設定内容の詳細は、メニュー一覧の その他機能メニュー ▶ 「Custom Function」 (P.241) をご覧ください。

設定項目	内容
ショックレスGain	ゲインを切り換えたときのゲイン変化の速さを設定する。
ショックレスWB	ホワイトバランスを切り換えたときの色温度の変化をなめらかにする。
AEレスポンス	AEの応答性を設定する。
Irisリミット	絞りの最大値 (設定可能F値) を制限する。
I. Ring方向	アイリスリングの操作方向を設定する。
F. Ring方向	フォーカスリングの操作方向を設定する。
Z. Ring方向	ズームリングの操作方向を設定する。
F. Ring操作	フォーカスリングの感度を設定する。
Z. Ring操作	ズームリングの感度を設定する。
フォーカスアシストB&W	フォーカスを調整時、ピーキング (PEAKING) または拡大表示 (MAGN.) を使うときに、画面を自動的にモノクロにするかどうかを設定する。
被写体距離単位	マニュアルフォーカス時に表示する被写体との距離情報の単位を設定する。
Zoom表示	ズーム表示のしかた (ズームバー、数値) を設定する。
スキャンリバーブ記録	記録する映像を上下左右、上下、左右のいずれかに反転させるかどうかを設定する。
表示文字記録	画面上に表示されている文字やアイコンなどを映像と一緒に記録 (表示文字記録) するかどうかを設定する (MXFクリップのみ)。

■ カスタムディスプレイで設定できる項目

カスタマイズ可能な表示項目については、「撮影時の画面表示」 (P.52) を、設定内容の詳細は、 OLED/VF設定メニュー ▶ 「Custom Display 1」または「Custom Display 2」 (P.233) をご覧ください。

設定データの保存と読み出し

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

メニューやカスタムピクチャーで行った各種の設定情報を設定データとしてSDカードに保存することができます。設定データは、必要に応じて本機に読み出して再利用できます。複数のカメラを同じ設定にするときに便利です。

■ 設定データをSDカードに保存する

メニュー設定やカスタムピクチャーを設定データとしてSDカードに保存します。



- ① ④ その他機能メニュー → 「メニュー / CP 設定保存」 → 「SDへ保存」を順に選ぶ。
- ② 「メニュー」または「メニュー + CP」を選ぶ → SETを押す。
メニュー： メニュー設定のみ。
メニュー + CP： メニュー設定とカスタムピクチャー（本機に保存されている9セット）。
- ③ 「OK」を選び、SETを押す。
 - 現在のメニュー設定やカスタムピクチャーが、設定データとしてSDカードに保存される。
- ④ SETを押す。

■ 設定データをSDカードから読み込む

SDカードに保存されている設定データを読み込んで本機に設定します。



- ① ④ その他機能メニュー → 「メニュー / CP 設定保存」 → 「SDから読み出し」を順に選ぶ。
- ② 「メニュー」または「メニュー + CP」を選ぶ → SETを押す。
メニュー： メニュー設定のみ。
メニュー + CP： メニュー設定とカスタムピクチャー。
- ③ 「OK」を選び、SETを押す。
 - メニュー設定やカスタムピクチャーが、SDカードから読み込んだ設定データの内容に設定される。
 - 設定データが本機に読み込まれたあと、画面が一度消え、本機が再起動する（メニューは消える）。



MEMO

保存されない設定

- ④ その他機能メニュー → 「ネットワーク設定」 → 「接続設定」の「暗号化キー」
- ④ その他機能メニュー → 「ネットワーク設定」 → 「ブラウザ用設定」 → 「ユーザー設定」の「パスワード」
- ④ その他機能メニュー → 「ネットワーク設定」 → 「FTP転送設定」 → 「FTPサーバー設定」の「パスワード」
- 設定データをSDカードから読み込むとき、本機にプロテクトされたカスタムピクチャーファイルがあっても、上書きされません。
- XF205の設定データのみ読み込み可能です。

再生

クリップを再生する.....	154
クリップを操作する.....	159

クリップを再生する

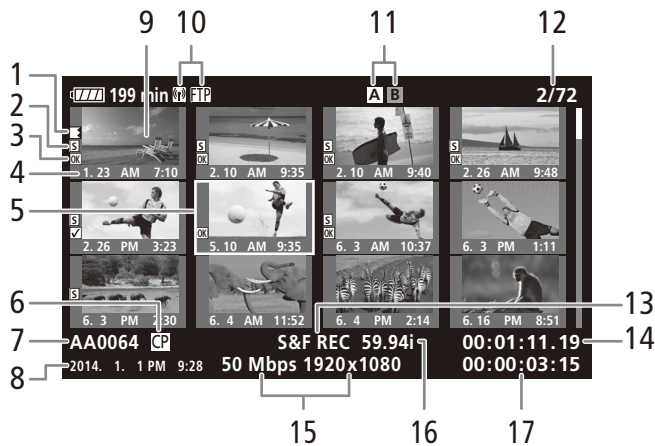
CAMERA MEDIA

ここでは、撮影した映像（クリップ）の再生について説明します。外部のモニターに接続して再生するときは、「接続」(☐ 171)をご覧ください。

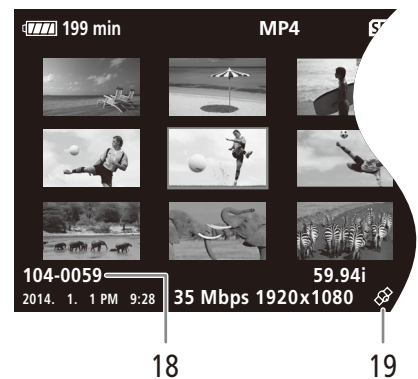
■ MXFインデックス画面／MP4インデックス画面

POWER(電源)スイッチをMEDIAにする(☐ 25)と本機がメディアモードで起動し、メモリーカードに記録されているクリップ(MXFクリップ／MP4クリップ)のサムネイル(縮小画)がインデックス画面に表示されます(MXFインデックス画面／MP4インデックス画面)。

MXFインデックス画面



MP4インデックス画面



6～7、11～16には、選択しているクリップの情報が表示されます。

- 1 リレー記録マーク*1
 - 記録中にメディアが切り換わった場合、切り換わり前後のクリップに表示される。
- 2 ショットマーク*1
 - ショットマーク1またはショットマーク2が付加されているときに表示される。
- 3 OKマーク／チェックマーク*1
 - OKマークまたはチェックマークが付加されているときに表示される。
- 4 収録日(月日)と記録開始時間*1
- 5 カーソル(オレンジ色の枠)
- 6 カスタムピクチャー*1
 - カスタムピクチャーファイルと一緒に記録されているときのみ表示される。
- 7 クリップ名*1
- 8 収録日(年月日)と記録開始時間
- 9 クリップのサムネイル
 - サムネイルとしてクリップの代表画が表示される。代表画は変更することもできる(☐ 170)。
- 10 ネットワーク接続状態／FTPファイル転送
- 11 記録メディア
 - MXFインデックス画面では、現在選択しているCFカードをハイライト表示する。
- 12 クリップ番号／クリップ総数
- 13 特殊撮影情報*1
 - 特殊撮影(インターバル記録、フレーム記録、スロー&ファーストモーション記録、ブレ記録)で記録されたクリップのときに、そのモード名が表示される。
- 14 代表画のタイムコード
- 15 ビットレートと解像度
- 16 撮影フレームレート* / フレームレート
 - * スロー&ファーストモーション記録で記録したクリップのみ。
- 17 記録時間
- 18 ファイル番号*2
- 19 GPS情報マーク*2(☐ 121)

*1 MXFインデックス画面のみ

*2 MP4インデックス画面のみ。

CFカードを切り換える (MXFクリップ)

両方のCFカードスロットにCFカードを入れているときは、SLOT SELECT(スロット選択)ボタンを押して、再生するCFカードを切り換えることができます(□43)。

インデックス画面を切り換える

インデックス画面に表示する内容を選んで、インデックス画面を切り換えることができます。次の4種類のインデックス画面に切り換えることができます。

Mark Index(OKマークインデックス画面) :

選択中のCFカードに記録されているMXFクリップのうち、OKマークが付加されたクリップのみを表示する。

Mark Index(チェックマークインデックス画面) :

選択中のCFカードに記録されているMXFクリップのうち、チェックマークが付加されたクリップのみを表示する。

MP4 Index(MP4インデックス画面) :

SDカードに記録されているMP4クリップのみを表示する。

Photo Index(静止画インデックス画面) :

SDカードに記録されている静止画のみを表示する。

INDEX



1 INDEX(インデックス)ボタンを押す

- インデックスメニューが表示される。



2 ジョイスティックを上下に押して、切り換えたいインデックス画面を選ぶ ▶ SETを押す

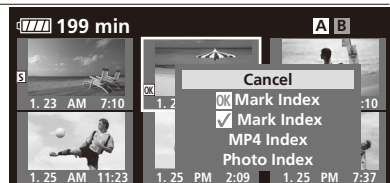
- 選んだインデックス画面に切り換わる。

切り換えを中止するとき

CANCELを押す。

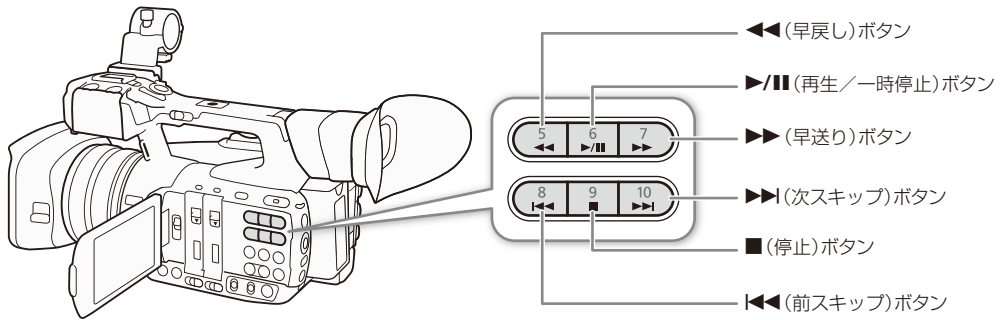
MXFインデックス画面に戻るとき

INDEX(インデックス)ボタンを押す。



再生する

インデックス画面で選んだクリップを、各種再生操作ボタンを使って再生します。ジョイスティックガイドに従ってジョイスティックで操作することもできます。



1 ジョイスティックを上下左右に押して、クリップを選ぶ

- ジョイスティックを操作すると、インデックス画面のカーソル（オレンジ色の枠）が移動するので、再生したいクリップに合わせる。



2 (再生/一時停止)ボタンを押す

- 再生が始まる。
- 再度、(再生/一時停止)ボタンを押すと再生一時停止となる。
- 選んだクリップの再生が終わると、自動的に次のクリップが再生される。最後のクリップの再生が終わると、最後のクリップの最終フレームで再生一時停止となる。

再生を終えるとき

- (停止)ボタンを押す。



注意 アクセスランプが点灯/点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

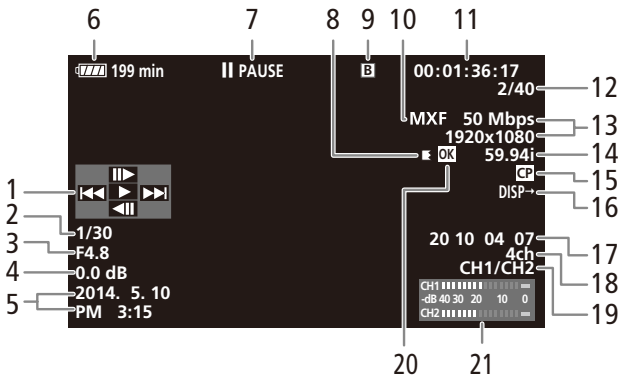
- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- アクセスしているCFカードスロットまたはSDカードスロットのカードカバーを開けない。



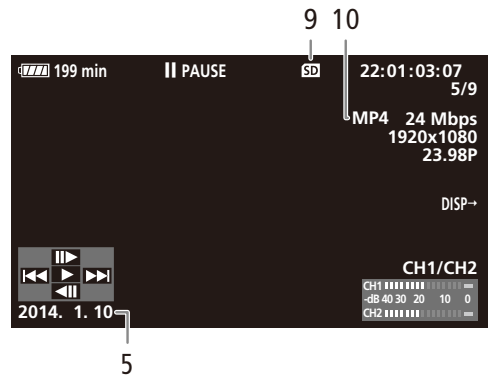
MEMO クリップが切り換わるときに映像と音声途切れることがあります。

再生時の画面表示

MXFクリップ



MP4クリップ



- 1 ジョイスティックガイド ▶▶ 158
- 2 シャッタースピード*2 ▶▶ 59
- 3 F値*2 ▶▶ 69
- 4 ゲイン*2 ▶▶ 65
- 5 収録日と記録開始時間*1
- 6 バッテリー残量の目安 ▶▶ 52
- 7 再生状況
 - ▶ PLAY 再生中
 - || PAUSE 再生一時停止中
 - ▶▶ コマ送り
 - ◀◀ コマ戻し
 - F FWD x5 ▶▶ 早送り (5倍速)
 - F FWD x15 ▶▶ 早送り (15倍速)
 - F FWD x60 ▶▶ 早送り (60倍速)
 - ◀◀ F REV x5 早戻し (5倍速)
 - ◀◀ F REV x15 早戻し (15倍速)
 - ◀◀ F REV x60 早戻し (60倍速)
- 8 リレー記録*3 ▶▶ 43

● リレー記録が発生したクリップに表示される。リレーが発生したときの位置によって、**■** (先頭)、**■** (中間)、**■** (終端)がある。

- 9 記録メディア ▶▶ 39、41、43
- 10 動画形式 ▶▶ 56
- 11 タイムコード ▶▶ 97
- 12 クリップ番号/クリップ総数
- 13 ビットレートと解像度 ▶▶ 56
- 14 撮影フレームレート* /フレームレート ▶▶ 56
 - * スロー&ファーストモーション記録で記録したクリップのみ。
- 15 カスタムピクチャー*3 ▶▶ 141
 - カスタムピクチャーファイルが一緒に記録されているクリップのとき表示される。
- 16 画面表示出力 ▶▶ 176
- 17 ユーザービット*3 ▶▶ 100
- 18 音声4チャンネル*3 ▶▶ 106
- 19 音声出力チャンネル ▶▶ 177
- 20 OKマーク/チェックマーク*3 ▶▶ 162
- 21 オーディオレベルメーター

*1 **☑** OLED/VF設定メニュー ▶ 「メタデータ表示」 ▶ 「日付/時刻」が「入」のときに表示される。MP4クリップは日付のみ。

*2 **☑** OLED/VF設定メニュー ▶ 「メタデータ表示」 ▶ 「カメラデータ」が「入」のときに表示される (MXFクリップのみ)。

*3 MXFクリップのみ。

さまざまな再生

早送りや早戻し、コマ送り、スキップ再生などの再生方法があります。操作は、再生操作ボタンを使うか、ジョイスティックガイドに従ってジョイスティックで行います。ジョイスティックガイドは、DISP. (ディスプレイ) ボタンを押して表示を入/切できます。また、リモコン (付属) を使って、ジョイスティックと同様に操作することもできます。

機能	操作	ボタン		ジョイスティック	説明
		本体	リモコン		
早送り*1	再生中に	▶▶	▶▶	▶▶	押すたびに再生速度が約5倍→約15倍→約60倍に切り換わる。*2
早戻し*1	再生中に	◀◀	◀◀	◀◀	
コマ送り	一時停止中に	—	▶	▶▶▶	押すたびに1コマ進む。押し続けると連続してコマごとに進む。
コマ戻し*3	一時停止中に	—	◀	◀◀◀	押すたびに1コマ戻る。押し続けると連続してコマごとに戻る。
スキップ再生	再生中に	▶▶▶	▶	▶▶▶	次のクリップの先頭から再生。
	再生中に	◀◀◀	◀	◀◀◀	現在のクリップの先頭から再生。
	再生中に 2回押す	◀◀◀	◀	◀◀◀	前のクリップの先頭から再生。

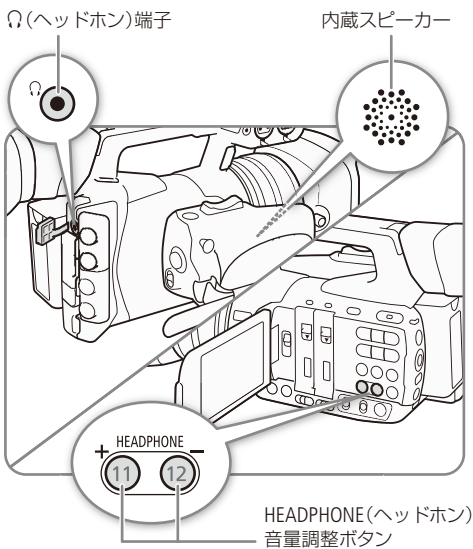
*1 操作中、画面が乱れることがあります。 *2 画面に出る倍速表示は目安です。

*3 コマの間隔はコマ送りのときより長くなり、解像度/フレームレートが720/59.94PのMXFクリップのときは0.2秒、それ以外のときは0.5秒です。

MEMO

- 特殊再生中は音声が聞こえません。
- 早送りや早戻し中に▶▶/◀◀ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

音声を聞く



通常の再生中は、音声をヘッドホンまたは内蔵スピーカー (モノラル) で聞くことができます。ヘッドホン端子にヘッドホンを接続すると内蔵スピーカーはOFFになります。音声は、3G/HD-SDI端子、MON.端子、HDMI OUT端子、AV OUT端子にも出力されます (173)。

ヘッドホンの音量を調整する

HEADPHONE (ヘッドホン) 音量調整ボタンで調整します。

オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Output」 ▶ 「Headphone音量」で調整することもできます。


内蔵スピーカーの音量を調整する

内蔵スピーカーの音量は、オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Output」 ▶ 「Speaker音量」で調整できます。


MEMO モニターするチャンネルの選択については、「音声出力チャンネルを選ぶ」(177)をご覧ください。

クリップを操作する

CAMERA MEDIA

クリップ単位の操作や情報表示を行うときは、クリップメニューを使用します。クリップメニューは動画の各種インデックス画面で表示することができ、それぞれの画面に応じた機能を選ぶことができます。また、すべてまたは選んだクリップに対する操作は、 その他機能メニューから行うことができます。

■ クリップメニュー一覧

メニュー項目	内容	インデックス画面					📖
		MXF	OK / チェック マーク	ショット マーク	エクス バンド	MP4	
Cancel	クリップメニューを消す。	●	●	●	●	●	—
クリップ情報表示	クリップの詳細情報画面を表示する。	●	●				161
<input checked="" type="checkbox"/> Mark追加	OKマークを付加する。	●*1					162
<input checked="" type="checkbox"/> Mark消去	OKマークを消去する。		●*2				163
<input checked="" type="checkbox"/> Mark追加	チェックマークを付加する。	●*1					162
<input checked="" type="checkbox"/> Mark消去	チェックマークを消去する。		●*3				163
クリップコピー	クリップを別のCFカードにコピーする。	●	●*2				164
クリップ消去	クリップを消去する。	●	●*3				165
消去	MP4クリップを消去する					●	165
FTP転送	クリップをFTPで転送する。	●				●	209
Shot Mark	ショットマーク1またはショットマーク2が付加されたフレームだけをショットマークインデックス画面に表示する。	●	●				167
Shot Mark 1	ショットマーク1が付加されたフレームだけをショットマークインデックス画面に表示する。	●	●				
Shot Mark 2	ショットマーク2が付加されたフレームだけをショットマークインデックス画面に表示する。	●	●				
エクスパンドクリップ	エクスパンドクリップインデックス画面に切り換える。	●	●				168
User Memo消去	クリップに付加されているユーザーメモ / GPS情報を消去する。	●	●				166
 ファイルコピー	カスタムピクチャーファイルを本機にコピーする。	●	●				166
Shot Mark 1追加 / Shot Mark 1消去	ショットマーク1を付加 / 消去する。			●*4	●*4		169
Shot Mark 2追加 / Shot Mark 2消去	ショットマーク2を付加 / 消去する。			●*4	●*4		
表示間隔+	エクスパンドクリップインデックス画面で、時間間隔をより粗くする。				●		168
表示間隔-	エクスパンドクリップインデックス画面で、時間間隔をより細かくする。				●		
一時停止	選んだフレームの再生一時停止状態にする。			●	●		—
代表画設定	フレームをクリップの代表画に設定する。			●	●		170

*1 クリップにOKマーク / チェックマークが既に付加されているときは、「消去」になる。 *2 OKマークインデックス画面のみ。

*3 チェックマークインデックス画面のみ。 *4 ショットマークの付加状態によって、表示される項目が変わる。

■ クリップメニューで操作する

例：MXFインデックス画面でクリップにOKマークを付加する場合



1 操作するクリップを選ぶ



2 SETを押す

- クリップメニューが表示される。選択できる機能は、表示している画面や選択しているクリップによって変わる。



3 OKマークを付加する

- ① 「**OK** Mark追加」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選択したクリップにOKマークが付加され、サムネイルの左に**OK**が表示される。



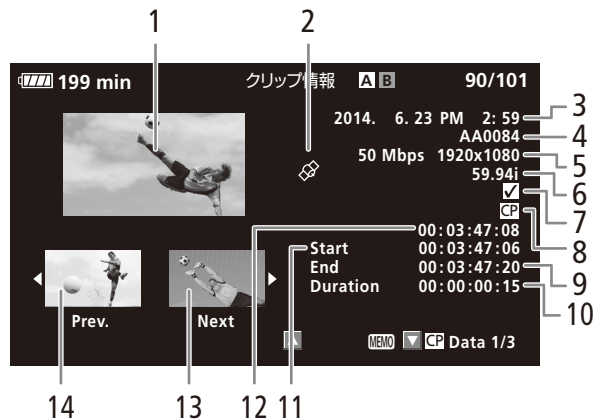
ご注意

アクセスランプが赤色に点灯／点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- アクセスしているCFカードスロットまたはSDカードスロットのカードカバーを開けない。

■ クリップの詳細情報を表示する

クリップメニューで「クリップ情報表示」を選択すると、MXFクリップの詳細情報が表示されます。クリップ情報画面でジョイスティックを左右に押すと、前/次のクリップに移動します。CANCELを押すと元の画面に戻ります。



- 1 選択しているクリップのサムネイル (縮小画)
- 2 GPS情報マーク (📍 121)
- 3 撮影開始日時
- 4 クリップ名
- 5 ビットレートと解像度
- 6 特殊記録情報/フレームレート
 - 特殊記録されたクリップのときは、「INT REC」、「FRM REC」、「S&F REC」、「PRE REC」のいずれかが表示される。
 - スロー & ファーストモーション記録で記録したクリップのときは、フレームレートの表示が「撮影フレームレート/再生フレームレート」になる。
- 7 OKマーク/チェックマーク/ショットマーク/リレー記録マーク
- 8 カスタムピクチャー
- 9 記録終了フレームのタイムコード
- 10 収録時間
- 11 記録開始フレームのタイムコード
- 12 表示されているクリップの代表画のタイムコード
- 13 次のクリップのサムネイル
- 14 前のクリップのサムネイル

クリップに付加されているユーザーメモを表示する



クリップ情報画面でジョイスティックを上を押すと、クリップに付加されているユーザーメモを表示することができます。ジョイスティックを下を押すと、クリップ情報画面に戻ります。

Title	2014 New Model
Creator	M. Tanaka
Location	Shimomaruko Ohta-ku Tokyo
Description	MPEG2 LONG GOP/4:2:2/50 Mbps

クリップと一緒に記録されているカスタムピクチャーファイルを表示する



カスタムピクチャーファイルと一緒に記録されているクリップのときは、クリップ情報画面でジョイスティックを下に押すと、カスタムピクチャーの設定内容を表示することができます。設定内容は3つの画面に分かれており、下に押すたびに「**CP** Data 1/3」→「**CP** Data 2/3」→「**CP** Data 3/3」→「**MEMO**」→「クリップ情報画面」のように切り換わります。

■ OKマーク／チェックマークを付加する

MXFクリップにOKマーク／チェックマークを付加しておくと、OKマーク／チェックマークが付加されたクリップだけをインデックス画面に表示することができます。また、OKマークが付加されたクリップは、本機での消去が禁止されるため、重要なクリップを保護することができます。

再生中にOKマーク／チェックマークを付加する

再生中のクリップにOKマーク／チェックマークを付けることができます。



1 アサイン13ボタンに「**OK** Mark追加」または「**✓** Mark追加」を割り当てる

参考 ▶「アサインボタンの機能を変更する」(P.138)。



2 再生中 または 再生一時停止中 アサイン13ボタンを押す

- 「**OK** Mark」が表示され、OKマークが付加される。
- チェックマークのときは、「**✓** Mark」が表示される。
- 再生中にOKマーク／チェックマークを付加すると再生一時停止になる。
- OKマークを付加したクリップには、インデックス画面で**OK**が、チェックマークを付加したクリップには、インデックス画面で**✓**が表示される。

インデックス画面でOKマーク／チェックマークを付ける

インデックス画面で選択したクリップにOKマークまたはチェックマークを付けることができます。



- ① マークを付けるクリップを選ぶ。
- ② クリップメニュー→「**OK** Mark追加」または「**✓** Mark追加」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選択したクリップにOKマークが付加され、サムネイルの左に**OK**が表示される。
 - 「**✓** Mark追加」を選んだときは、チェックマークが付加され、サムネイルの左に**✓**が表示される。



MEMO

- MXFインデックス画面やクリップの再生中／再生一時停止中に、「 Mark追加」または「 Mark追加」を割り当てたアサインボタンを押して、OKマーク／チェックマークを付加することもできます。
- OKマークとチェックマークは同じクリップに同時に付加することができないため、OKマークが付加されたクリップにチェックマークを付加すると、OKマークは解除されます。チェックマークが付加されたクリップにOKマークを付加したときも同様に、チェックマークが解除されます。

■ OKマーク／チェックマークを消去する

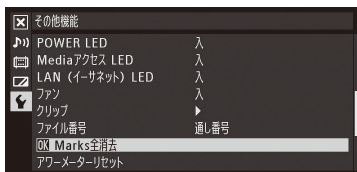
1つのクリップのOKマーク／チェックマークを消去する

すでにOKマークまたはチェックマークが付加されたMXFクリップから、OKマークまたはチェックマークを消去することができます。



- ① マークを消去するクリップを選ぶ。
- ② クリップメニュー ▶ 「 Mark消去」または「 Mark消去」を順に選ぶ。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選択したクリップのOKマークまたはチェックマークが消去される。

すべてのクリップのOKマークをまとめて消去する



- ① 左下の機能メニュー ▶ 「 OK Marks全消去」を順に選ぶ。
- ② 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選択中のCFカードに記録されているすべてのクリップから、OKマークが消去される。
- 中止するとき
CANCELを押す。
- ③ SETを押す。

■ クリップをコピーする

CFカードに記録されたMXFクリップを、もう一方のスロットのCFカードにコピーすることができます。コピー先のCFカードには同じクリップ名でコピーされます。

1つのクリップをコピーする

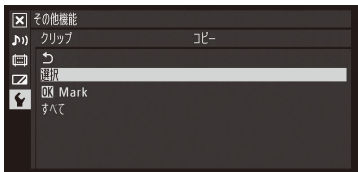


- ① コピーするクリップを選ぶ
- ② クリップメニュー ▶ 「クリップコピー」を順に選ぶ。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選択したクリップがもう一方のCFカードスロットのCFカードにコピーされる。

中止するとき CANCELを押す。
- ④ SETを押す。

クリップをまとめてコピーする

OKマークを付加したクリップや選択したクリップ、すべてのクリップをまとめてコピーすることができます。



- ① ① その他機能メニュー ▶ 「クリップ」 ▶ 「コピー」を順に選ぶ。
- ② 「選択」、「OK Mark」、「すべて」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。

「選択」を選んだとき

 - ① コピーするクリップを選ぶ ▶ SETを押す。
 - 最大100クリップ選択できる。
 - ② ①を繰り返し、コピーするクリップをすべて選ぶ。
 - ③ MENUボタンを押す。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - インデックス画面内のコピー対象のクリップが、もう一方のスロットのCFカードにまとめてコピーされる。

中止するとき CANCELを押す。
- ④ SETを押す。



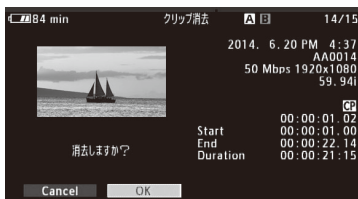
MEMO

- CFカードカバーが開いていると、コピーは行えません。
- コピー先のCFカードに同じクリップ番号*のクリップがあるときは、次に大きなクリップ番号のクリップ名に変更されます。 * クリップ名の下4桁の数字。

■ クリップを消去する

MXFクリップまたはMP4クリップを消去することができます。OKマークが付加されたMXFクリップは消去できません。消去するときは、先にOKマークを消去する必要があります。

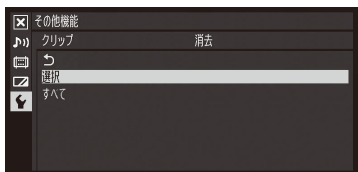
1つのクリップを消去する



- ① 消去するクリップを選ぶ。
- ② クリップメニュー ▶ 「クリップ消去」または「消去」を順に選ぶ。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選択したクリップが消去される。
 - OKマークが付加されたクリップは消去されない。
 - クリップの消去は中止できない。
- ④ SETを押す。

クリップをまとめて消去する

選択したクリップやすべてのクリップをまとめて消去することができます。



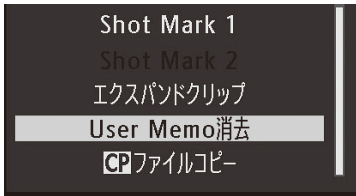
- ① ① その他機能メニュー ▶ 「クリップ」 ▶ 「消去」を順に選ぶ。
- ② 「選択」、「すべて」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。

「選択」を選んだとき

- ① 消去するクリップを選ぶ ▶ SETを押す。
 - 最大100クリップ選択できる。
 - ② ①を繰り返し、消去するクリップをすべて選ぶ。
 - ③ MENUボタンを押す。
 - ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - インデックス画面内の消去対象のクリップが消去される。
 - OKマークが付加されたMXFクリップは消去されない。
- 中止するとき CANCELを押す。
- ④ SETを押す。

クリップに付加されているユーザーメモ／GPS情報を消去する

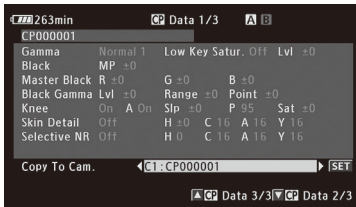
選択したMXFクリップに付加されているユーザーメモ／GPS情報を消去することができます。



- ① ユーザーメモ／GPS情報を消去するクリップを選ぶ。
- ② クリップメニュー ▶ 「User Memo消去」を順に選ぶ。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選択したクリップに付加されているユーザーメモ／GPS情報が消去される。

カスタムピクチャーファイルをコピーする

選択したMXFクリップと一緒に記録されているカスタムピクチャーファイルを、本機にコピーすることができます。



- ① カスタムピクチャーファイルが記録されている（CPが表示されている）クリップを選ぶ。
- ② クリップメニュー ▶ 「CP ファイルコピー」を順に選ぶ。
 - CP Data 1/3画面に切り換わり、カスタムピクチャーの設定内容が表示される。
 - ジョイスティックを上下に押すと、CP Data 2/3画面またはCP Data 3/3画面に切り換わり、その他の設定内容が表示される。
- ③ ジョイスティックを左右に押して、コピー先のカスタムピクチャーファイルを選ぶ ▶ SETを押す。
 - 「C1」～「C9」からコピー先を選ぶ。
- ④ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選択したクリップと一緒に記録されているカスタムピクチャーファイルがコピーされる。
- ⑤ SETを押す。



- プロテクトされたカスタムピクチャーファイルをコピー先を選択することはできません。
- カスタムピクチャーファイルのC8とC9は初期状態ではプロテクトされています。

■ ショットマークインデックス画面を表示する

MXFクリップにショットマーク（1または2）が1つ以上付加されている場合、ショットマークが付加されているフレームだけを抜き出して、インデックス画面に表示することができます。ショットマークインデックス画面では、選択したフレームから再生する、選択したフレームにショットマークを付加・消去する、選択したフレームをクリップの代表画に設定する、などの操作を行うことができます。ショットマーク画面インデックスには、「Shot Mark（ショットマーク1と2の両方）」、「Shot Mark 1（ショットマーク1のみ）」、「Shot Mark 2（ショットマーク2のみ）」の3種類の表示方法があります。



1 ショットマークが付加されているフレームのタイムコード



- ① ショットマークインデックス画面を表示するクリップを選ぶ。
- ② クリップメニュー ▶ 「Shot Mark」、「Shot Mark 1」、「Shot Mark 2」のいずれかを順に選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選んだクリップのショットマークインデックス画面が表示され、メニューで選んだショットマーク種別のフレームだけが、サムネイル表示される。

元のインデックス画面に戻るとき

INDEX(インデックス)ボタンまたはCANCELを押す。

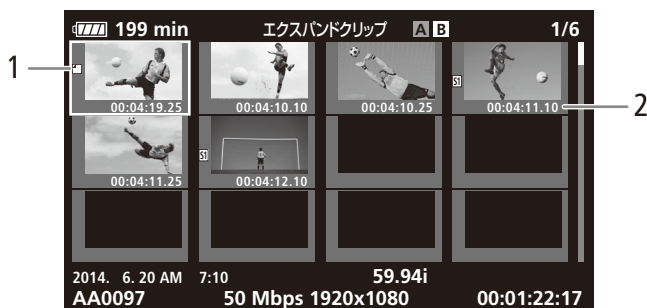


MEMO

ショットマークインデックス画面から再生すると、ショットマークインデックス画面は解除されます。再生停止後は、ショットマークインデックス画面を表示する前のインデックス画面に戻ります。

■ エクスパンドクリップインデックス画面を表示する

MXFクリップを一定の時間ごとに分割してインデックス画面に表示することができます。収録時間の長いクリップの中から目的のフレームをすばやく探したいときに便利です。分割の時間間隔は、メニューで、「表示間隔-」または「表示間隔+」を指定することで変更できます。エクスパンドクリップインデックス画面では、選択したフレームから再生する、選択したフレームにショットマークを付加・消去する、選択したフレームをクリップの代表画に設定する、などの操作を行うことができます。



- 1 代表画アイコン（代表画に設定されているフレームに表示される）
- 2 サムネイルを表示しているフレームのタイムコード



- ① エクスパンドクリップインデックス画面を表示するクリップを選ぶ。
- ② クリップメニュー → 「エクスパンドクリップ」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選んだクリップのエクスパンドクリップインデックス画面が表示される。
- ③ 必要に応じて、クリップメニュー → 「表示間隔-」または「表示間隔+」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 時間間隔が、より細かくまたはより粗くなる。

元のインデックス画面に戻るとき

INDEX(インデックス)ボタンまたはCANCELを押す。



MEMO

エクスパンドクリップインデックス画面から再生すると、エクスパンドクリップインデックス画面は解除されます。再生停止後は、エクスパンドクリップインデックス画面を表示する前のインデックス画面に戻ります。

■ ショットマークを付加／消去する

メディアモードで、MXFクリップの重要なフレームにショットマーク（1または2）を付けることができます。ショットマークは、再生中や再生一時停止中に、「Shot Mark1追加」または「Shot Mark2追加」を割り当てたアサインボタンを押すと付加できます。また、ショットマークインデックス画面またはエキスパンドクリップインデックス画面でサムネイル表示されているフレームに、ショットマーク（1または2）を付加したり、付加されているショットマークを消去したりすることもできます。

再生中にショットマークを付加する

例：アサイン3ボタンに「Shot Mark 1追加」を割り当てて、ショットマーク1を付加する場合



1 アサイン3ボタンに「Shot Mark 1追加」を割り当てる

参考 ▶ 「アサインボタンの機能を変更する」(□ 138)。



2 再生中 または 再生一時停止中

ショットマーク1を付加したいフレームでアサイン3ボタンを押す

- 「Shot Mark 1」が表示され、ショットマーク1が付加される。
- 再生中にショットマークを付加すると再生一時停止になる。
- ショットマークを付加したクリップには、インデックス画面で **3** が表示される。

インデックス画面でショットマークを付加する

例：「ショットマーク2」を付加する場合



- ① ショットマークインデックス画面またはエキスパンドクリップインデックス画面でフレーム（サムネイル）を選ぶ。
- ② クリップメニュー ▶ 「Shot Mark 2追加」を順に選ぶ。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選んだフレームに対して、ショットマーク2が付加され、サムネイルの左に **2** が表示される。



MEMO

- ショットマーク1は、リモコン(付属)のSHOT1ボタンを押して付加することもできます。
- 1つのクリップに付加できるショットマークは、ショットマーク1とショットマーク2を合わせて100個までです。
- ボタンを押した時点のフレームとショットマークを付加するフレームは、最大0.5秒程度ずれることがあります。

インデックス画面でショットマークを消去する

例：「ショットマーク1」を消去する場合



- ① ショットマークインデックス画面またはエキスパンドクリップインデックス画面でフレーム（サムネイル）を選ぶ。
- ② クリップメニュー ▶ 「Shot Mark 1消去」を順に選ぶ。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選んだフレームに付加されているショットマーク1が消去される。
 - ショットマークを消去したことにより、そのフレームが、現在表示しているショットマークインデックス画面の表示条件を満たさなくなったときは、インデックス画面に表示されなくなる（例：ショットマーク1のインデックス画面で、ショットマーク1を消去したときなど）。

クリップの代表画を設定する

ショットマークインデックス画面またはエキスパンドクリップインデックス画面で選択したフレームを、MXFクリップの代表画に設定することができます。



- ① ショットマークインデックス画面またはエキスパンドクリップインデックス画面でフレーム（サムネイル）を選ぶ。
- ② クリップメニュー ▶ 「代表画設定」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選んだフレームが、そのクリップの代表画に設定され、サムネイルの左に□が表示される。



MEMO

先頭以外のフレームを代表画に設定しても、MXFインデックス画面でクリップを再生するときは先頭フレームから再生されます。

接 続

出力信号形式	172
外部モニターを接続する	173
音声出力を選択する	177
クリップをパソコンに保存する.....	179

出力信号形式

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

3G/HD-SDI端子、MON.端子、HDMI™ OUT端子、AV OUT端子からの出力は、記録・再生の映像信号形式とメニューの設定によって切り換わります*。SD出力時の表示方式はメニューで選択できます(□ 176)。

* HDMI OUT端子の場合は、接続した外部モニターの能力によって変わります。

撮影時の記録信号形式と出力信号形式

記録信号形式と各端子から出力される信号形式は、次の表のとおりです。

記録信号形式		3G/HD-SDI端子		MON.端子*2*3		HDMI OUT端子*3			AV OUT端子*3
解像度	フレームレート	「3G/HD-SDI」*1		「MON.」*4		「MON.」*4			SD出力
		「ダイレクト」	「互換」	「HD」*5	「SD」	「HD」*5	「SD」	「切」*6	
1920×1080	59.94P*7	1080/59.94P	1080/59.94i	1080/59.94i	480/59.94i	1080/59.94P*9	480/59.94i	1080/59.94P*9	480/59.94i
	59.94i*8	1080/59.94i		1080/59.94i					
	29.97P	1080/29.97P	1080/29.97PsF	1080/29.97PsF		1080/59.94i		1080/59.94i 480/59.94P	
	23.98P	1080/23.98P	1080/59.94i	1080/59.94i					
1280×720	59.94P	720/59.94P	720/59.94P	720/59.94P	480/59.94i	720/59.94P	480/59.94i	720/59.94P 480/59.94P	480/59.94i
	29.97P	720/29.97P							
	23.98P	720/23.98P							

*1 □ビデオ設定メニュー>「3G/HD-SDI」の設定(□ 174)。

*2 HD、SD、出力なしをメニューで切り換え可能(□ 174)。

*3 画面表示を重畳可能(□ 176)。

*4 □ビデオ設定メニュー>「MON.」の設定(□ 174)。

*5 ゼブラパターンを出力可能(□ 95)。

*6 接続したモニターの能力に応じて出力信号が自動的に切り換わる。

*7 MP4形式のみ。

*8 MXF形式のみ。

*9 □ビデオ設定メニューの「3G/HD-SDI」が「互換」以外でかつ、「HDMI」が「+1920x1080 59.94P」のときのみ(□ 230)。

再生時の出力信号形式

動画形式	再生信号形式		3G/HD-SDI端子	MON.端子*1*2		HDMI OUT端子*2			AV OUT端子*2
	解像度	フレームレート		「MON.」*3		「MON.」*3			SD出力
				「HD」	「SD」	「HD」	「SD」	「切」*4	
MXF	1920×1080	59.94i	1080/59.94i	1080/59.94i	480/59.94i	1080/59.94i	480/59.94i	1080/59.94i 480/59.94P	480/59.94i
		29.97P 23.98P							
	1280×720	59.94P	720/59.94P	720/59.94P	480/59.94i	720/59.94P	480/59.94i	720/59.94P 480/59.94P	480/59.94i
		29.97P 23.98P							
MP4	1920×1080	59.94P	1080/59.94P	1080/59.94i	480/59.94i	1080/59.94P*5	480/59.94i	1080/59.94P*5 1080/59.94i 480/59.94P	480/59.94i
		1280×720 640×360				1080/59.94i			

*1 HD、SD、出力なしをメニューで切り換え可能(□ 174)。

*2 画面表示を重畳可能(□ 176)。

*3 □ビデオ設定メニュー>「MON.」の設定(□ 174)。

*4 接続したモニターの能力に応じて出力信号が自動的に切り換わる。

*5 □ビデオ設定メニューの「HDMI」が「+1920x1080 59.94P」のときのみ(□ 175)。

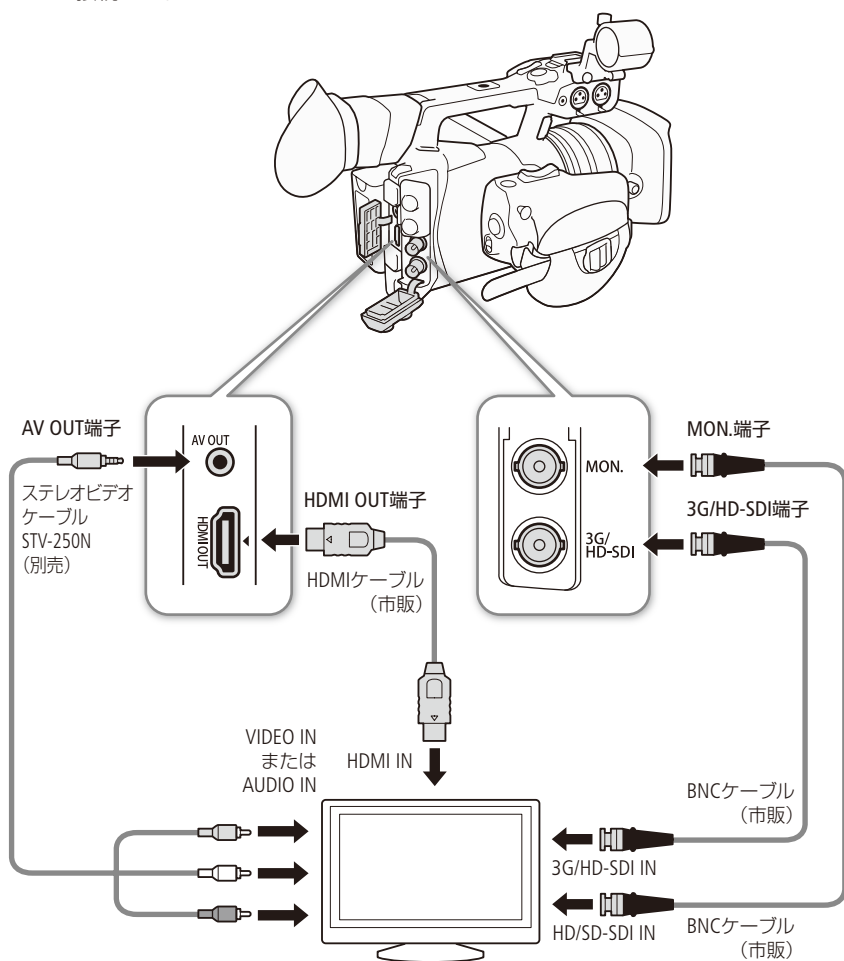
外部モニターを接続する

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

撮影・再生映像を外部モニターに表示するときは、外部モニターに応じて使用する端子を決めて本機と外部モニターを接続したあと、使用する端子の出力信号形式をメニューで設定します（参考▶「出力信号形式」(P.172)）。映像は、各映像出力端子に同時に出力することができます。

■ 接続のしかた

本機と外部モニターを接続します。



MEMO

ACアダプターを使って、コンセントにつないで使うことをおすすめします。


接
続

3G/HD-SDI端子を使用する

3G/HD-SDI端子から出力される映像信号には、オーディオ信号（2または4チャンネル）とタイムコード信号が重畳されます。3G/HD-SDI端子を使用するときは、メニューで有効にします。3G/HD-SDI端子を使用しないときは無効にしておく、バッテリーの持ちが良くなります。



1 3G/HD-SDI端子を有効にする

- ①  ビデオ設定メニュー ▶ 「3G/HD-SDI」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。

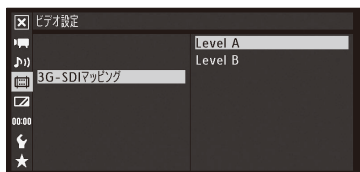
ダイレクト： 記録信号形式と同じ信号形式で出力する。

互換： 一般的な外部モニターと互換性の高い信号形式で出力する。


切： SDI出力を行わない。

- メディアモードのときは、「入」(SDI出力を行う)と「切」から選ぶ。

SDI出力を使用しないとき
「切」を選ぶ。




2 1080/59.94P形式で出力するとき 3G/HD-SDI端子の出力信号のマッピング方式を選ぶ


- ①  ビデオ設定メニュー ▶ 「3G-SDIマッピング」を順に選ぶ。
- ② 「Level A」または「Level B」を選ぶ ▶ SETを押す。

- SMPTE ST 425-1規格のLevel AまたはLevel Bに準拠した信号が出力される。


MON.端子を使用する

MON.端子から出力される映像信号には、オーディオ信号（2ch、4ch）とタイムコード信号が重畳されます。MON.端子を使用するときは、メニューで有効にします。MON.端子の出力に画面表示を重畳することもできます（ 176）。MON.端子を使用しないときは無効にしておく、バッテリーの持ちが良くなります。




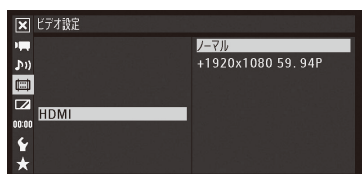
- ①  ビデオ設定メニュー ▶ 「MON.」を順に選ぶ。
- ② 「HD」または「SD」を選ぶ ▶ SETを押す。



SDI出力を使用しないとき
「切」を選ぶ。

- ③ 「SD」を選んだとき SD出力の表示方式を選ぶ（ 176）

■ HDMI OUT端子を使用する


HDMI OUT端子を使用すると、映像と音声（2チャンネル）をデジタル信号で出力することができます。HDMI OUT端子の出力信号は、 ビデオ設定メニューの「3G/HD-SDI」、「MON.」および「HDMI」の設定によって変わります。なお、「MON.」が「切」のときは、接続した外部モニターの能力に合わせて、自動的に切り換わります。HDMI OUT端子の出力に画面表示を重畳することもできます（[176](#)）。



- ① 1920×1080 59.94Pを出力するとき  ビデオ設定メニュー ▶ 「3G/HD-SDI」を「ダイレクト」または「切」に設定する。
- ② 必要に応じてMON.端子の出力設定を行う（[174](#)）
- ③  ビデオ設定メニュー ▶ 「HDMI」を順に選ぶ。
- ④ いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
ノーマル： 1920×1080 / 59.94P出力を行わない。
+1920x1080 59.94P： 1920×1080 / 59.94P出力を可能にする。



MEMO

- SD出力の表示方式は、メニューで選択できます（[176](#)）。
- HDMI OUT端子は出力専用です。他の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、他の端子を使って接続してください。
-  ビデオ設定メニュー ▶ 「HDMI」を「+1920x1080 59.94P」に設定して、1920×1080 59.94Pの映像を出力中は、メニューや画面表示が重畳されません。またカメラモードや再生モードの再生中では映像のみ、MP4 / 静止画インデックス画面ではクリップ / 静止画のサムネイルのみ表示されます。

■ AV OUT端子を使用する

AV OUT端子からは、ダウンコンバートされたSDアナログコンポジット信号を出力します。また、AV OUT端子からは音声も出力されます。AV OUT端子から出力される映像の表示方式（[176](#)）は、「レターボックス」、「スクイーズ」、「サイドクロップ」のいずれかをメニューで選択できます。







MEMO

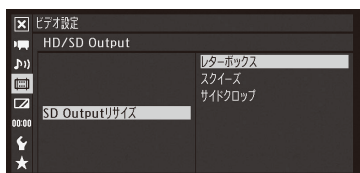
モニターがビデオID-1方式に対応していれば、自動的にワイド画面（16:9）に切り換わります。


SD出力時の表示方式を選ぶ

アスペクト比が16:9のHD映像を4:3のSD映像にダウンコンバートして、MON.端子、HDMI OUT端子、AV OUT端子から出力するときの表示方式には次の3種類があり、メニューで選択します。

元のHD映像 (16:9)	レターボックス	スクイーズ	サイドクロップ
			
	映像を縦横等倍で縮小し、上下に黒い帯を追加して4:3にする。	16:9の映像を左右方向に縮小して4:3にする*。	16:9の映像の両端を切り取って4:3にする

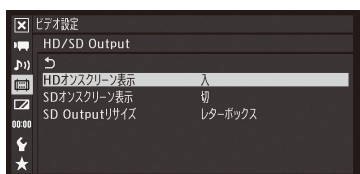
* 接続した外部モニターが16:9のときは、正常なアスペクト比で出力される。




- ①  ビデオ設定メニュー → 「HD/SD Output」 ▶ 「SD Outputリサイズ」を順に選ぶ。
- ② 「レターボックス」、「スクイーズ」、「サイドクロップ」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。

出力映像に画面表示を重畳する

MON.端子、HDMI OUT端子、AV OUT端子から出力される映像に画面表示を重畳することができます。重畳する／しないは、HD出力とSD出力を個別に設定できます。なお、この設定は、記録メディアに記録される映像には影響しません。



- ①  ビデオ設定メニュー ▶ 「HD/SD Output」 ▶ 「HDオンスクリーン表示」または「SDオンスクリーン表示」を順に選ぶ。
 - ② 「入」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 画面に **DISP** が表示される*。
- * カメラモードでは、 OLED/VF設定メニュー ▶ 「Custom Display 2」 ▶ 「Output Display」が「入」のときのみ表示される。



- SD出力時の表示方式が「サイドクロップ」のときは、「SDオンスクリーン表示」の設定にかかわらず、画面表示は重畳されません。
- アサインボタンに「オンスクリーン表示」を割り当てると、アサインボタンを押して「HDオンスクリーン表示」と「SDオンスクリーン表示」を同時に切り換えることができます。(□ 138)

音声出力を選択する

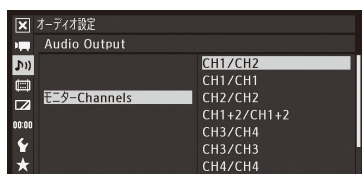
3G/HD-SDI端子、MON.端子、HDMI OUT端子、AV OUT端子、🔊(ヘッドホン)端子から音声を出力できます。AV OUT端子、🔊(ヘッドホン)端子から出力される音声は、チャンネルなどを選択できます。またAV OUT端子から出力される音声はレベルを2段階から選択できます。MXF動画を4チャンネルの音声で記録しているときの、HDMI OUT端子の出力チャンネルを選択することもできます。

■ 音声出力チャンネルを選ぶ

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

AV OUT端子 / 🔊(ヘッドホン)端子の出力チャンネルを選ぶ

AV OUT端子、🔊(ヘッドホン)端子から出力される音声のチャンネルを選択することができます。



- ① 🎧オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Output」 ▶ 「モニター Channels」を順に選ぶ。
- ② 次のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。

設定値	出力音声	
	L	R
CH1/CH2	CH1	CH2
CH1/CH1	CH1	CH1
CH2/CH2	CH2	CH2
CH1+2/CH1+2	CH1 + CH2 (ミックス)	CH1 + CH2 (ミックス)
CH3/CH4*	CH3	CH4
CH3/CH3*	CH3	CH3
CH4/CH4*	CH4	CH4
CH3+4/CH3+4*	CH3 + CH4 (ミックス)	CH3 + CH4 (ミックス)
CH1+3/CH2+4*	CH1 + CH3 (ミックス)	CH2 + CH4 (ミックス)

* 音声4チャンネルのMXF動画を記録/再生しているときのみ。

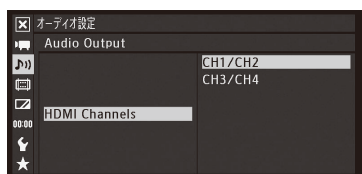
- 画面のオーディオレベルメーターの上に、選択した出力チャンネルが表示される。

MEMO アサインボタンに「モニター Channels」を割り当てると、アサインボタンを押して出力チャンネルを切り換えられます (138)。

HDMI OUT端子の出力チャンネルを選ぶ

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4


HDMI OUT端子は2チャンネルの音声を出力できます。音声4チャンネルのMXF動画を記録/再生するときのHDMI OUT端子の出力チャンネルはメニューで選択可能です。

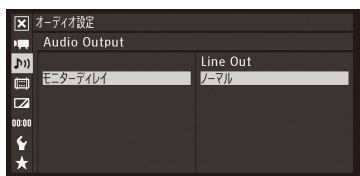



- ① 🎧オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Output」 ▶ 「HDMI Channels」を順に選ぶ。
- ② 「CH1/CH2」または「CH3/CH4」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。

映像と音声のタイミングを選ぶ（モニターディレイ）

CAMERA MEDIA **MXF** MXF+MP4 MP4

AV OUT端子、（ヘッドホン）端子から出力される音声について、映像とタイミングを合わせて遅延させるかどうかを設定することができます。



- ①  オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Output」 ▶ 「モニターディレイ」を順に選ぶ。
- ② 次のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
 Line Out：映像とタイミングを合わせるために、音声信号を遅延させて出力する。
 ノーマル：リアルタイム（ディレイなし）で音声を出力する。映像と音声が少しズレが生じる。

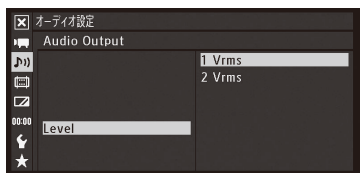



MEMO モニターディレイの設定にかかわらず、記録される映像と音声は同期されます。

AV OUT端子の音声出力レベルを選ぶ


CAMERA MEDIA **MXF** MXF+MP4 MP4

AV OUT端子から出力される音声の出力レベルを選択することができます。2 Vrmsにすると、出力レベルが6 dB上がります。



- ①  オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Output」 ▶ 「Level」を順に選ぶ。
- ② 「1 Vrms」または「2 Vrms」を選ぶ ▶ SETを押す。



MEMO （ヘッドホン）端子の出力レベルは変わりません。

クリップをパソコンに保存する

CAMERA MEDIA

記録したクリップをパソコンに取り込む場合、動画形式によって使用するソフトウェアが異なります。MXFクリップを取り込むときは、Canon XF UtilityまたはCanon XF Plugin*を、MP4クリップを取り込むときは、付属のソフトウェアData Import Utility(□ 183)をそれぞれ使用します。

* Avid社またはApple社のノンリニア編集ソフトウェア用のプラグインです。

■ MXFクリップをパソコンに保存する

MXF MP4

Canon XF UtilityとCanon XF Pluginの概要は次のとおりです。これらのソフトウェアは、キヤノンのホームページからダウンロードしてインストールします。ソフトウェアの動作環境および最新の情報については、キヤノンのホームページをご覧ください。ソフトウェアの使いかたの詳細については、各ソフトウェアの使用説明書（後述）をご覧ください。

Canon XF Utility

パソコンへの保存、クリップの確認・再生・管理を行う簡易ブラウザ。

Avid社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグイン

- Canon XF Plugin 64 for Avid Media Access (Windows用 / Mac OS用)

Avid Media Accessに対応したノンリニア編集ソフトウェアMedia Composer (Windows / Mac OS) / NewsCutter (Windows)から、CFカード内またはパソコンに保存したクリップを直接読み込むことができる。

Apple社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグイン

- Canon XF Plugin for Final Cut Pro (Mac OS用)

- Canon XF Plugin for Final Cut Pro X (Mac OS用)

ノンリニア編集ソフトウェアApple Final Cut Pro / Final Cut Pro Xから、CFカード内またはパソコンに保存したクリップを直接読み込むことができる。

インストール／アンインストールのしかた (Windows)

Windows/パソコンを使用する場合について、インストールのしかた／アンインストールのしかたを説明します。OSはWindows 7を例に説明しています。お使いのパソコンのOSによっては操作が異なることがあります。OSのヘルプなどをご参照ください。

インストールする

1 ダウンロードした「xuw-****.zip」*をダブルクリックして解凍する

* 接頭辞「xuw」はCanon XF Utilityの場合です。Avid社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグインでは、「xpmw」となります。以降の操作でも同様に置き換えてお読みください。

- 「xuw-****」フォルダーができ、その中に「xuw***.exe」ができる。

2 「xuw***.exe」をダブルクリックする

- 実行している他のソフトウェアの終了を促すメッセージが表示される。

3 実行中の他のソフトウェアを終了して、「OK」をクリックする

- 使用許諾画面が表示される。

4 使用許諾契約書に同意してインストールする場合は、「はい」をクリックする

- インストールが開始され、終了すると「インストールが正常に終了しました」が表示される。

5 「次へ」をクリック→「完了」をクリックする

Canon XF Utilityをアンインストールする

1 次のメニューを選択する

スタートメニュー ▶ すべてのプログラム ▶ Canon Utilities ▶ Canon XF Utility ▶ Canon XF Utility
アンインストール

- アンインストールの確認画面が表示される。

2 「はい」をクリックする

- アンインストールが開始され、完了すると「アンインストールが成功しました」が表示される。

3 「OK」をクリックする

Canon XF Plugin 64 for Avid Media Access / Canon XF MPEG2 Decoderをアンインストールする

1 コントロールパネルから、「プログラムのアンインストール」または「プログラムと機能」をクリックする

- インストールされているプログラムが一覧表示される。

2 アンインストールするソフトウェア名を選択する

3 「アンインストール」または「アンインストールと変更」をクリックする

4 画面の指示に従って操作する

Canon XF Plugin 64 for Avid Media Access使用説明書をアンインストールする

1 次のメニューを選択する

スタートメニュー ▶ すべてのプログラム ▶ Canon Utilities ▶ [プラグイン名*] ▶
[プラグイン名*] 使用説明書 アンインストール

* Canon XF Plugin 64 for Avid Media Access

- アンインストールの確認画面が表示される。

2 「はい」→「OK」をクリックする

インストール／アンインストールのしかた (Mac OS)

Mac OSが搭載されたパソコンを使用する場合について、インストールのしかた／アンインストールのしかたを説明します。

インストールする

1 ダウンロードした「xum-****.dmg.gz」*をダブルクリックして解凍する

* 接頭辞「xum」はCanon XF Utilityの場合です。Avid社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグインでは「xpmm」、Apple社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグインでは「xpfm」となります。以降の操作でも同様に置き換えてお読みください。

- 「xum-****.dmg」ができる。

2 「xum-****.dmg」をダブルクリックする

- デスクトップにディスクアイコン「xum***」が表示される。

3 「xum***」をダブルクリック → 「XUMInstaller」をダブルクリックする

- 実行している他のソフトウェアの終了を促すメッセージが表示される。

4 実行中の他のソフトウェアを終了して、「OK」をクリックする

- 使用許諾画面が表示される。

5 使用許諾契約書に同意してインストールする場合は、「はい」をクリックする

- インストールが開始され、終了すると「インストールが正常に終了しました」が表示される。

6 「次へ」をクリック → 「完了」をクリックする

アンインストールする

アンインストールするソフトウェアに対応するファイル／フォルダーをゴミ箱にドラッグ&ドロップする。

ソフトウェア	対応するファイル／フォルダー
Canon XF Utility	アプリケーションフォルダーの「Canon Utilities」の下の「Canon XF Utility」
Canon XF Plugin for Final Cut Pro	/ Library / Application Support / ProApps / MIO / RAD / Plugins / CanonXF.RADPlug
Canon XF Plugin for Final Cut Pro X	/ Library / Application Support / ProApps / MIO / RADPlugins / CanonXF64.RADPlug
Canon XF Plugin 64 for Avid Media Access	/ Library / Application Support / ProApps / Avid / AVX2_Plug_ins / AMA / MVP_CanonXF64.avx
Canon XF MPEG2 Decoder	/ Library / QuickTime / XFMpeg2Dec.component
ノンリニア編集ソフトウェア用プラグインの使用説明書	アプリケーションフォルダーの「Canon Utilities」の下の[プラグイン名*] * Canon XF Plugin for Avid Media Access、 Canon XF Plugin 64 for Avid Media Access、 Canon XF Plugin for Final Cut Pro、 Canon XF Plugin for Final Cut Pro Xのいずれか。

ソフトウェアの使用説明書を見る

ソフトウェアの詳細な使いかたについては、各ソフトウェアの使用説明書(PDF)をご覧ください。使用説明書はソフトウェアと一緒にパソコンにインストールされます。Windowsの場合、OSはWindows 7を例に説明しています。お使いのパソコンのOSによっては操作が異なることがあります。OSのヘルプなどをご参照ください。

Canon XF Utilityの使用説明書を見る

次の方法で使用説明書を見ることができます。Canon XF Utilityを起動し、ヘルプメニュー ▶ 「使用説明書を見る」を順に選んでも、使用説明書を見ることができます。

Windowsの場合

Windowsのスタートメニュー ▶ すべてのプログラム ▶ Canon Utilities ▶ Canon XF Utility ▶ Canon XF Utility 使用説明書 ▶ 「言語名」を順に選ぶ。

Macの場合

アプリケーションフォルダーの下のCanon Utilities / Canon XF Utility / Manual / [言語名のフォルダー] 内のPDFファイルをダブルクリックする。

ノンリニア編集ソフトウェア用プラグインの使用説明書を見る

次の方法で使用説明書を見ることができます。

Windowsの場合

Windowsのスタートメニュー ▶ すべてのプログラム ▶ Canon Utilities ▶ [プラグイン名*] ▶ [プラグイン名*] 使用説明書 ▶ 「言語名」を順に選ぶ。

* Canon XF Plugin 64 for Avid Media Access

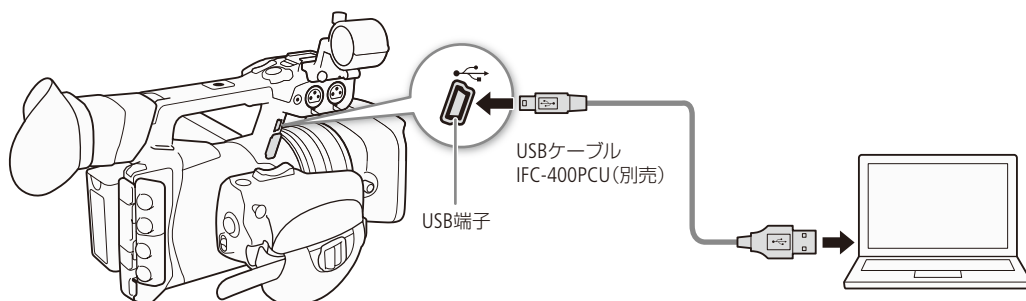
Macの場合


アプリケーションフォルダーの下のCanon Utilities / [プラグイン名*] / Manual / [言語名のフォルダー] 内のPDFファイルをダブルクリックする。

* Canon XF Plugin for Final Cut Pro、Canon XF Plugin for Final Cut Pro X、Canon XF Plugin 64 for Avid Media Accessのいずれか。

本機とパソコンを接続する

本機とパソコンをUSBケーブル(別売)で接続してクリップを取り込むときは、次のように操作します。



	1	本機 ACアダプターをつなぐ
	2	本機 MEDIAモードで電源を入れる
	3	本機とパソコンをつなぐ

■ MP4クリップをパソコンに保存する MXF MP4

Data Import Utilityの概要は次のとおりです。このソフトウェアに関するの最新の情報については、キヤノンのホームページをご覧ください。

ソフトウェアData Import Utilityを使ってできること

- MP4クリップをパソコンに取り込む。
- 4GBごとに分割されたMP4クリップを1つのファイルに結合して、パソコンに取り込む。

インストールする前に


ソフトウェアをインストールする前に、Data Import Utilityの取扱説明書（PDFファイル）*をご覧くださいのうえ、Data Import Utilityでできることの詳細と動作環境をご確認ください。

* ソフトウェアディスクの[¥Manual ¥Japanese] フォルダの中に収納されています。



ご注意 付属のソフトウェア Data Import Utilityで、カードリーダー／パソコンのカードスロットを使用してクリップをパソコンに取り込む前に、他社製の編集用ソフトウェアなどでカード内のファイルを参照したり操作したりしないでください。Data Import Utilityでクリップをパソコンに取り込めないことがあります。

インストールと使いかたについて

Data Import Utilityのインストール手順や使いかたの詳細については、Data Import Utilityの取扱説明書（PDFファイル）をご覧ください。USBケーブルで本機とパソコンを接続するときは、「本機とパソコンを接続する」（ 182）をご覧ください。

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

ネットワーク

- ネットワークの接続設定をする... 186
- ネットワーク機器でリモート
撮影する (ブラウザリモート) 198
- モバイル機器にプロキシ映像を記
録する (リアルタイムプロキシ転送) ... 205
- クリップをFTPで転送する
(FTPファイル転送) 207
- 映像をストリーミング送信する
(IPストリーミング) 211
- Webブラウザで再生 / 保存
する (ブラウザプレビュー) 214

ネットワークの接続設定をする

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

Wi-Fiまたは LAN端子を使って本機をネットワークに接続すると、以下のネットワーク機能を使用することができます。ここでは、ネットワークの接続設定のしかたについて説明します。ネットワークへの接続は、各ネットワーク機能を有効にしたときに行われます。ネットワークの接続設定の詳細は、それぞれ、「Wi-Fiで接続する」(□ 187)、「有線LANで接続する」(□ 194)で説明します。また、ネットワークの接続設定は本機に5つまで保存でき、ネットワーク環境に合わせて切り換えて使用できます。選択している接続設定の詳細はステータス画面で確認できます (□ 246)。選択している接続設定の内容を変更することもできます (□ 196)。

ネットワーク機能と接続方式

機能名	概要	有線LAN	Wi-Fi		□
			インフラストラクチャー*1	カメラアクセスポイント*2	
ブラウザーリモート	ネットワーク機器から本機をリモート操作して撮影する。	●	—	●	198
リアルタイムプロキシ転送	モバイル機器でプロキシ映像を記録する。	—	—	●	205
FTPファイル転送	撮影したクリップをネットワーク機器にFTP*3で転送する。	●	●	●	207
IPストリーミング	映像と音声をネットワーク経由で、映像伝送装置(デコーダー)にストリーミング送信する。	●	●	●	211
ブラウザープレビュー	撮影したMP4動画を、ネットワーク機器のブラウザーで再生/保存する。	●	—	●	214

*1 アクセスポイントを介してWi-Fiに接続する通信方式。

*2 本機がアクセスポイントの働きをして、Wi-Fi機器と直接接続する方式。

*3 ネットワークに接続した機器間でファイルを転送するための通信規約。File Transfer Protocolの略。

ネットワーク機能を使用する前に

本書は、ネットワーク機器およびWi-Fiのアクセスポイントの設定が完了し、正しく動作していることを前提に説明しています。アクセスポイントの設定方法については、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。

● ネットワークの接続の設定を行うには、ネットワーク (Ethernet) およびWi-Fiの設定方法に関する十分な知識が必要です。ネットワークの設定方法については、弊社ではサポートできませんので、あらかじめご了承ください。

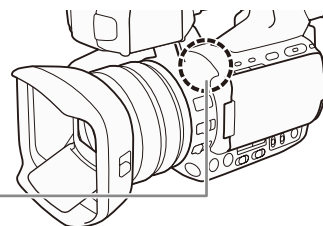


ご注意

- ネットワーク機能を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行った結果生じた損害、および本ネットワーク機能を使用した結果生じた損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- セキュリティで保護されていない無線LANやネットワーク環境に接続することは避けてください。お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。



- Wi-Fi接続するときや接続中は、内蔵ワイヤレスアンテナ付近を手などで覆わないでください。通信電波がさえぎられ、Wi-Fiの通信状態が悪くなります。
- ネットワーク機能を使用中は、CFカードカバー／SDカードカバーを開けないでください。



ワイヤレスアンテナ (内蔵)

Wi-Fiで接続する

無線ネットワーク接続について

本機は、Wi-Fi認証を受け(右のロゴマークがある)、無線LAN規格IEEE802.11a / b / g / nに対応するアクセスポイント*1に接続できます。Wi-Fiへの接続方法については、お使いのWi-Fiネットワーク環境によって仕様や制限事項が異なります。また、セキュリティで保護されていないWi-Fiネットワーク環境に接続すると、お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する恐れがあります。十分、ご注意ください。Wi-Fiネットワークに接続するには次の5つの方法があります。



WPS(プッシュボタン方式) *2 :

パスワードなどの入力が必要な最も簡単な接続方法です。この方法で接続するとき、お使いのアクセスポイントがWPS用のボタンを備えていることを、あらかじめご確認ください。

WPS(PINコード方式) *2 :

WPS用のボタンを備えていないアクセスポイントでも、PINコードを使って接続できるものがあります。接続は自動的に行われますが、アクセスポイントの設定画面を操作して、WPS機能を動作させるための一定の知識が必要です。詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください。

アクセスポイント検索 :

WPS*2に対応していないアクセスポイントに接続するときなどに、周囲のアクセスポイントを検索して接続できます。

手動設定 :

ステルス機能を有効にしているアクセスポイントに接続するときや、さまざまな設定を手動で行うときに使います。手動設定には、Wi-Fiやネットワークに関する知識が必要です。

カメラアクセスポイント :

屋外などアクセスポイントのない環境で、ビデオカメラとWi-Fi対応機器を直接接続します。ビデオカメラがアクセスポイントの働き*3をするので、Wi-Fi対応機器側はアクセスポイントに接続するのと同じ操作で接続できます。

*1 「無線親機」、「無線LAN親機」、「無線LANルーター」など、メーカーによって名称が異なることがあります。

*2 WPSは、Wi-Fi Protected Setupの略で、アクセスポイントへの接続とセキュリティの設定を簡単に行うための規格です。

*3 ビデオカメラと無線LAN対応機器間の通信を行うのみで、市販のアクセスポイントの機能とは異なります。

WPSで接続する

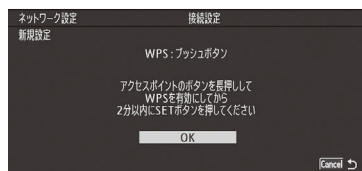
WPSのプッシュボタン方式またはPINコード方式で接続します。プッシュボタン方式では、アクセスポイントのWPS用ボタンを押すことで、ビデオカメラとアクセスポイントを簡単に接続することができます。PINコード方式では、ビデオカメラの画面に表示される8桁の識別番号（PINコード）を、アクセスポイントの設定画面に設定して接続します。周囲に複数のアクセスポイントが稼動している状況でも、比較的接続しやすい方式です。

プッシュボタン方式の場合



1 本機 「WPS：プッシュボタン」を選ぶ

- ① 他機能メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「接続設定」 ▶ 「新規設定」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「Wi-Fi」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ③ 「インフラストラクチャー」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ④ 「WPS：プッシュボタン」を選ぶ ▶ SETを押す。



2 アクセスポイント WPS用のボタンを長押ししてWPSを起動する

- 長押しの時間はアクセスポイントによって異なります。必ず、アクセスポイントの説明書をご覧になってから操作を行い、アクセスポイントがWPS起動状態になったことを確認してください。
- 操作3に進む。

PINコード方式の場合



1 本機 「WPS：PINコード」を選ぶ

- ① 他機能メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「接続設定」 ▶ 「新規設定」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「Wi-Fi」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ③ 「インフラストラクチャー」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ④ 「WPS：PINコード」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 7～8秒すると画面にPINコードが表示される。



2 アクセスポイント WPS(PINコード方式)の設定画面*に、操作1で表示されたPINコードを入力してWPSを起動する

- * 多くのアクセスポイントは、Webブラウザから設定します。
- アクセスポイントの操作については、アクセスポイントの説明書をご覧ください。

3 本機 操作2から2分以内にSETを押す

- アクセスポイントへの接続を開始する。
- 「接続中です」の画面が出ているときにSETまたはCANCELを押すと、接続を中止する。
- 接続が完了すると、IP アドレス取得方法選択画面が表示される。

4 本機 TCP/IP設定 (193)を行う

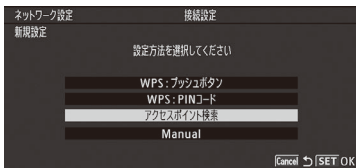


MEMO 周囲に複数のアクセスポイントが稼働していると、WPS(プッシュボタン方式)でうまく接続できないことがあります。このときは、WPS(PINコード方式)またはアクセスポイント検索で接続してください。

アクセスポイントを検索して接続する

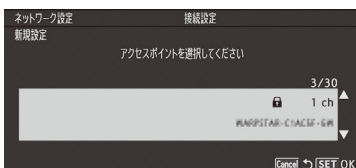
ビデオカメラが周囲のアクセスポイントを自動的に検出します。検出されたアクセスポイントの一覧から接続するアクセスポイントを選び、暗号化キーを入力して接続します。

アクセスポイントを選ぶ



1 アクセスポイント検索を選ぶ

- ① 他機能メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「接続設定」 ▶ 「新規設定」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「Wi-Fi」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ③ 「インフラストラクチャー」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ④ 「アクセスポイント検索」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 周囲のアクセスポイントが検索され、見つかったアクセスポイントのSSIDと暗号化状態などの情報が表示される。

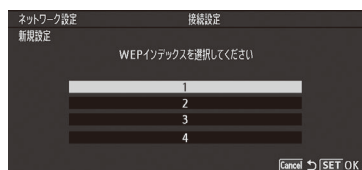


2 アクセスポイントを選ぶ

- ① ジョイスティックを上下に押して、接続するアクセスポイントのSSIDを選ぶ ▶ SETを押す。

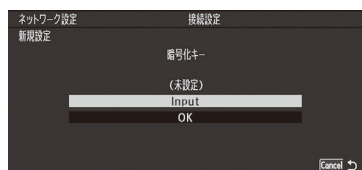
暗号化キーを入力する

アクセスポイントに設定されている暗号化キーを設定します。設定されている暗号化キーについては、アクセスポイントの説明書をご覧ください。なお、ネットワークの管理者にお問い合わせください。なお、アクセスポイントの認証方式/暗号化方式が「オープン/暗号化なし」のときは、操作3のみ行います。



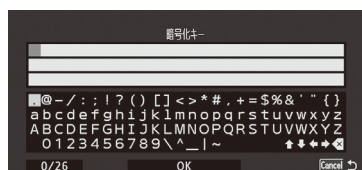
1 暗号化方式が「WEP」または「共有キー」のとき

WEPインデックスを選びSETを押す



2 暗号化キーを入力する

- ① 「Input」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 有機ELモニターにキーボード画面が表示される。
- ② ジョイスティックを上下左右に押して、下側の入力エリアで文字を選びSETを押す。
 - 選んだ文字が上側の入力エリアに表示され、数秒後に◆に変わる。
 - 上側の入力エリアのカーソルを移動するには↑/↓/←/→を、1文字消去するには✖を使用する。
- ③ ②の操作を繰り返して、上側の入力エリアに暗号化キーを入力する。
- ④ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ⑤ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - IPアドレス取得方法選択画面が表示される。



3 TCP/IP設定 (193)を行う



MEMO 暗号化キーに使用可能な文字と文字数

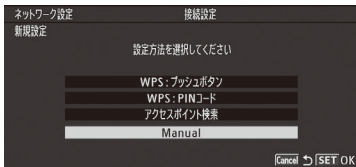
暗号化キー	ASCII文字列*1	16進数*2
64ビットWEP	5文字	10文字
128ビットWEP	13文字	26文字
AES / TKIP	8 ~ 63文字	64文字

*1 0 ~ 9、a ~ z、A ~ Zおよび記号。

*2 0 ~ 9、a ~ f、A ~ F。

手動設定で接続する

手動設定でアクセスポイントへの接続設定をします。画面の案内に従って、ウィザード形式で操作します。



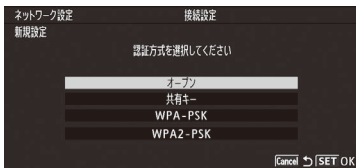
1 手動設定を選ぶ

- ① 他機能メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「接続設定」 ▶ 「新規設定」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「Wi-Fi」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ③ 「インフラストラクチャー」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ④ 「Manual」を選ぶ ▶ SETを押す。



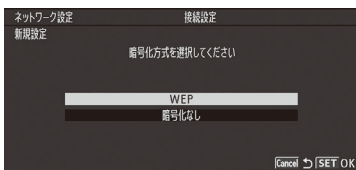
2 SSIDを入力する

- ① 「Input」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「暗号化キーを入力する」(□ 190)の操作2の②～⑤と同じ要領でSSIDを入力する。



3 認証方式を選ぶ

- ① 「オープン」、「共有キー」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。



4 暗号化方式を選ぶ

認証方式に「オープン」を選んだとき

- ① 「WEP」または「暗号化なし」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 「WEP」を選んだときは、操作5に進む。
 - 「暗号化なし」を選んだときは、操作6に進む。

認証方式に「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を選んだとき

- ① 「TKIP」または「AES」を選ぶ ▶ SETを押す。

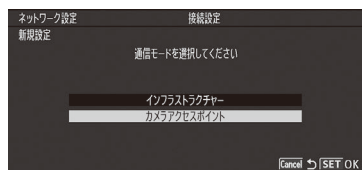
5 暗号化キーを入力する

- ① 「暗号化キーを入力する」(□ 190)の操作1～2を行う。
 - IPアドレス取得方法選択画面が表示される。

6 TCP/IP設定 (□ 193)を行う

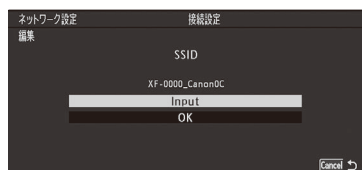
カメラアクセスポイントで接続する

初期状態では、接続設定の1番目にカメラアクセスポイントの設定 (SSID、暗号化キーなど) が保存されています。接続設定の1番を選択 (□ 195) して、ネットワーク設定ステータス画面で設定内容を確認すれば、すぐにWi-Fi対応機器から接続できます。別のカメラアクセスポイントを新規に設定するときは、以下の手順で操作します。



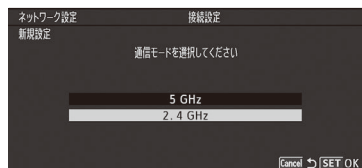
1 カメラアクセスポイントを選ぶ

- ① 他機能メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「接続設定」 ▶ 「新規設定」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「Wi-Fi」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ③ 「カメラアクセスポイント」を選ぶ ▶ SETを押す。



2 SSIDを入力する

- ① 「Input」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「暗号化キーを入力する」(□ 190)の操作2の②～⑤と同じ要領でSSIDを入力する。
 - 入力したSSIDは接続時に必要となるため、メモしておく。



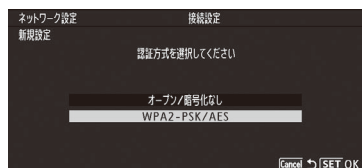
3 通信モードを選ぶ

- ① 「5 GHz」または「2.4 GHz」を選ぶ ▶ SETを押す。



4 チャンネルを選ぶ

- ① チャンネルを選ぶ ▶ SETを押す。
 - 操作3で選んだ通信モードによって、選択できるチャンネルが異なる。



5 認証方式と暗号化方式を選ぶ

- ① 「オープン/暗号化なし」または「WPA2-PSK/AES」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 「オープン/暗号化なし」を選んだときは、操作7に進む。
 - 「WPA2-PSK/AES」を選んだときは、操作6に進む。

6 暗号化キーを入力する

- ① 「暗号化キーを入力する」(□ 190)の操作2と同じ要領で暗号化キーを入力する。
 - 入力した暗号化キーは接続時に必要となるため、メモしておく。
 - IPアドレス取得方法選択画面が表示される。

7 TCP/IP設定 (□ 193)を行う

TCP/IPを設定する

ここでは、はじめにTCP/IPの設定を行い、次にネットワーク設定を保存します。TCP/IPの設定内容の詳細については、ネットワーク管理者またはネットワークに詳しい方にお問い合わせください。



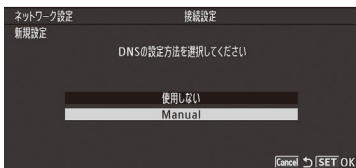
1 IPアドレスの取得方法を選ぶ

- ① いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
Automatic：自動で設定する。
Manual：IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で設定する。



2 「Manual」を選んだとき IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力する

- ① ジョイスティックを上下に押し、1番目の数字を選び、SETを押す。
● カーソルが2番目の数字に移動する。
- ② ①の操作を繰り返して、4つの数字をすべて設定する。
- ③ カーソルが一番右の「セット」にある状態で、SETを押す。
● IPアドレスが設定される。
- ④ IPアドレスと同じ要領でサブネットマスクとデフォルトゲートウェイを入力する。



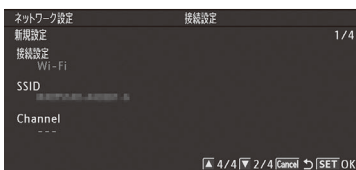
3 「Manual」を選んだとき DNSの設定方法を選ぶ

- カメラアクセスポイントで接続するときは、操作3～4は不要。操作5に進む。
- ① いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
使用しない：DNSを使用しない。
Manual：DNSサーバーを手動で設定する。
● 「使用しない」を選んだときは、操作5に進む。



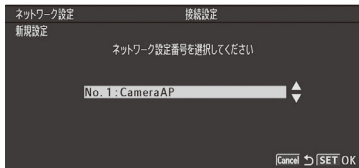
4 操作3で「Manual」を選んだとき 優先／代替DNSサーバーを入力する

- ① 操作2の①～③と同じ要領で、優先DNSサーバーを入力する。
- ② 同じ要領で、代替DNSサーバーを入力する。



5 設定内容を確認する

- ① ジョイスティックを上下に押し、確認画面を切り換え、設定内容を確認する。
- ② SETを押す。

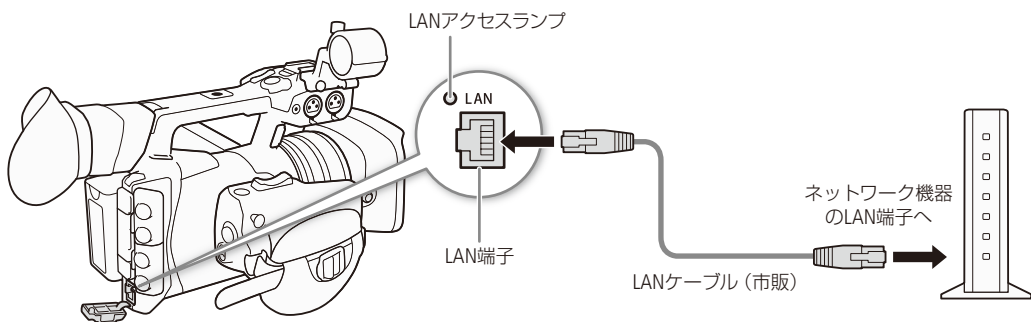


6 設定を保存する

- ① ジョイスティックを上下に押してネットワーク設定番号を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 「No. 1」を選んで保存すると、初期状態で保存されているカメラアクセスポイント設定が上書きされる。
- ② 必要に応じて、「暗号化キーを入力する」(☞ 190)の操作2の①～⑤と同じ要領で「ネットワーク設定名」を入力する。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - ネットワークの設定が保存される。選んだ設定番号にネットワーク設定が保存されている場合、新しい設定で上書きされる。
 - ネットワークの設定は5つまで保存できる。
- ④ SETを押す。

■ 有線LANで接続する

本機のLAN端子とネットワーク機器をLANケーブル(市販)で接続し、本機をネットワークに接続する方法です。LANケーブルには、ギガビット対応でシールド性能の高い、カテゴリ5e以上のSTP(Shielded Twisted Pair)ケーブルを使用してください。



1 本機とネットワーク機器をLANケーブルで接続する



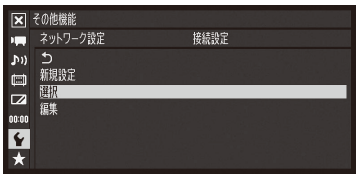
2 有線LANを選ぶ

- ① 他機能メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「接続設定」 ▶ 「新規設定」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「イーサネット」を選ぶ ▶ SETを押す。

3 TCP/IP設定(☞ 193)を行う

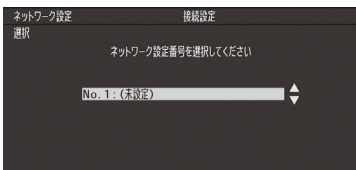
■ ネットワーク接続設定を選ぶ

保存されているネットワーク接続設定から1つを選んで、ネットワークへの接続を簡単に行うことができます。ネットワークの新規設定を行った直後は、新規設定したネットワーク設定番号が自動的に選択されるため、この操作を行う必要はありません。



1 「選択」を選ぶ



- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「接続設定」を順に選ぶ。
- ② 「選択」を選ぶ ▶ SETを押す。






2 ネットワーク設定番号を選ぶ

- ① ジョイスティックを上下に押して番号を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 初期状態で保存されているカメラアクセスポイントを使用するときは、「No. 1」を選ぶ。
 - この後、メニューでネットワーク機能を有効にすると、実際に接続を開始する。接続状態は、接続方式に応じたネットワーク接続アイコンで確認できる。ネットワーク機能を無効にすると、ネットワーク接続アイコンは消える。



インフラストラクチャーのとき


- ネットワークへの接続処理中は、画面に (黄色)が表示され、接続が完了すると (白色)に変わる。

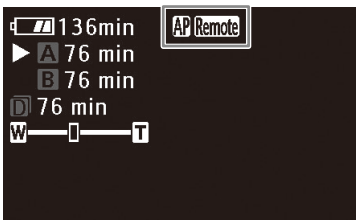
カメラアクセスポイントのとき

- 接続準備中は画面に (黄色)が表示され、Wi-Fi対応機器から接続可能な状態になると (白色)に変わる。
- ① Wi-Fi対応機器 「カメラアクセスポイントで接続する」( 192)で設定したSSIDと暗号化キーを入力して本機に接続する。

有線LANのとき

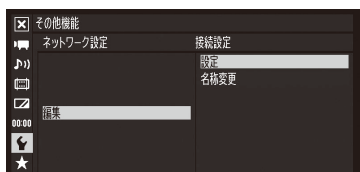
- ネットワークへの接続処理中は、画面に (黄色)が表示されてLANアクセスランプが点滅*する。接続が完了すると、画面の が白色に変わり、LANアクセスランプが点灯*する。

* 点灯しないようにすることもできます ( 237)。



■ ネットワーク接続設定を変更する

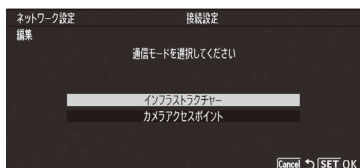
現在、選んでいるネットワーク接続設定の内容を変更することができます。設定変更は手動で行いますので、Wi-Fiやネットワークに関する知識が必要です。ネットワーク機能を無効にし、ネットワーク接続アイコンが消えてから操作してください。



1 「編集」を選ぶ

- ① 他機能メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「接続設定」 ▶ 「編集」を順に選ぶ。
- ② 「設定」を選ぶ ▶ SETを押す。

Wi-Fiの接続設定を選んでいるとき



2 通信モードを選ぶ

- 通信モード選択画面が表示される。
- ① 「インフラストラクチャー」または「カメラアクセスポイント」を選ぶ ▶ SETを押す。

3 接続設定を変更する

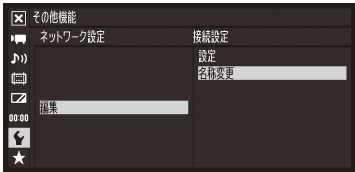
「インフラストラクチャー」を選んだとき
「手動設定で接続する」(☐ 191)の操作2～6と同じ要領で設定する。

「カメラアクセスポイント」を選んだとき
「カメラアクセスポイントで接続する」(☐ 192)の操作2～7と同じ要領で設定する。

有線LANの接続設定を選んでいるとき

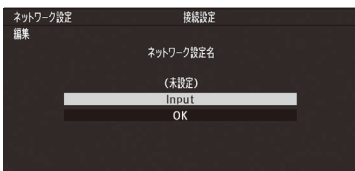
2 TCP/IP設定 (☐ 193)を行う

ネットワーク接続設定の名前を変更する



1 「名称変更」を選ぶ

- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「接続設定」 ▶ 「編集」を順に選ぶ。
- ② 「名称変更」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - ネットワーク設定名編集画面が表示される。



2 ネットワーク設定名を入力する

- ① 「Input」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「暗号化キーを入力する」(□ 190)の操作2の②～⑤と同じ要領でネットワーク設定名を入力する。

ネットワーク機器でリモート撮影する (ブラウザーリモート)

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

Wi-FiまたはLAN端子(□ 17)を使って本機をネットワークに接続すれば、ネットワークに接続した機器*1のWebブラウザーから本機をリモートで操作して、動画を撮影することができます(ブラウザーリモート)。撮影時は、ライブビューによる画角の確認、さまざまな撮影設定*2、メタデータ設定*3が可能なほか、記録メディアやバッテリーの残量、タイムコードの確認を行うことができます。

*1 OS、Webブラウザーなどの情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

*2 ホワイトバランス、ゲイン、シャッタースピード、F値、フォーカス、ズームなど。

*3 MXF動画のみ。

設定する

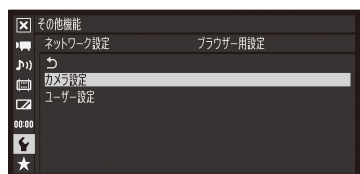
ネットワーク機器からブラウザーリモートにアクセスするために必要なカメラ設定や、ブラウザーリモートにログインするために必要なユーザー設定は、初期設定が保存されています。設定の内容(カメラID、ユーザー名、パスワードなど)は、ネットワーク設定ステータス画面で確認できます。これらの設定は必要に応じて変更することもできます。

カメラ設定を変更する

ネットワークに接続した機器のWebブラウザーからブラウザーリモートにアクセスするとき使用するポート番号とカメラIDを設定します。

ポート番号：HTTPプロトコルのポート番号。通常は80を使用し、必要に応じて変更します。

カメラID：ビデオカメラ固有の文字列を設定しておく、ブラウザーリモートの画面にカメラIDが表示されるので、制御対象のビデオカメラを識別することができます。



1 「カメラ設定」を選ぶ

- ① その他機能メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「ブラウザー用設定」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「カメラ設定」を選ぶ ▶ SETを押す。



2 ポート番号を選ぶ

- ① ジョイスティックを上下に押し、Port No.の1番目の数字を選び、SETを押す。
 - カーソルが2番目の数字に移動する。
- ② ①の操作を繰り返して、5つの数字をすべて設定する。
- ③ カーソルが一番右の「セット」にある状態で、SETを押す。



3 カメラIDを入力する

- ① 「暗号化キーを入力する」(□ 190)の操作2の①～④と同じ要領でカメラIDを8文字までで入力する。
- ② 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを2回押す。

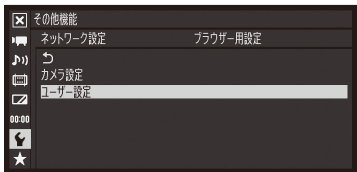
ユーザー設定を変更する

ネットワークに接続した機器のWebブラウザーからブラウザーリモートにアクセスするときの認証に使用するユーザー名とパスワードを設定します。ユーザーには次の3種類があり、用途に応じて1ユーザー（Full Controlのみ）か複数ユーザー（Camera ControlとMeta Control）かを選択できます。

Full Control： 詳細操作画面、メタデータ入力画面、簡易操作画面のすべてにアクセス可能。

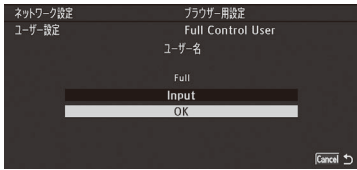
Camera Control： 詳細操作画面のみにアクセスできる。カメラの制御を行うユーザー用。

Meta Control： メタデータ入力画面のみにアクセスできる。メタデータの入力を行うユーザー用。



1 「ユーザー設定」を選ぶ

- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「ブラウザー用設定」 ▶ 「ユーザー設定」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「1名(Full Control)」または「2名(Camera/Meta)」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。



2 ユーザー名とパスワードを入力する

- ① 「暗号化キーを入力する」(☑ 190)の操作2の①～④と同じ要領でFull ControlまたはCamera Controlのユーザー名とパスワードを入力する。
- ② 操作1で「2名」を選んだとき ①の操作を繰り返して、Meta Controlのユーザー名とパスワードをすべて入力する。
 - ユーザー名とパスワードが設定済みのときは、「OK」▶ SETを押して次に進む。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを2回押す。

■ ブラウザーリモートを起動する

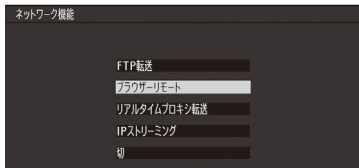
パソコンや携帯端末などネットワークに接続した機器*1のWebブラウザー*2からブラウザーリモートを起動します。現在のブラウザー用設定の詳細は、ステータス画面で確認できます(☑ 252)。

*1 カメラアクセスポイントで接続した機器を含む。OS、Webブラウザーなどの情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

*2 JavaScript(ジャバスクリプト)に対応し、Cookie(クッキー)が有効になっている必要があります。

1 本機 ネットワークの接続設定を選ぶ(☑ 195)

- Wi-Fiのカメラアクセスポイントまたは有線LANを使用する。



2 ブラウザーリモートを選ぶ

- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「ネットワーク機能」 ▶ 「ブラウザーリモート」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
 - ネットワークに接続され、接続方法に応じたアイコンが表示される (□ 195)。カメラアクセスポイントのときは、Wi-Fi対応機器から本機に接続する。
 - ブラウザーリモートの接続準備が完了すると、Remoteが黄色から白色に変わる。



3 本機 本機のIPアドレスを確認する

- ① 「STATUS」を割り当てたアサインボタンを押す (□ 138)。
- ② ジョイスティックを上下に押して「Network Settings 4/12」ステータス画面に切り換える。
- ③ 「IP Address」(IPアドレス)の設定内容を確認する。
- ④ 再度、STATUSを割り当てたアサインボタンを押して、ステータス画面を閉じる。

4 パソコンなど Webブラウザを起動する



5 パソコンなど URLを入力する

- ① URLの入力欄に次のように入力して、アクセスする。

入力例 「http://xxx.xxx.xxx.xxx:nnn/」

操作1で確認したビデオカメラのIPアドレス 198ページで設定したポート番号 (80のときは省略可能)



6 パソコンなど ユーザー名とパスワードを入力する

- 「ユーザー設定」(□ 199)の設定に応じて、ログインするユーザーの「ユーザー名」と「パスワード」を入力する。
- ① 名前 (またはユーザー名)入力欄に、ユーザー名を入力する。
 - ② パスワード入力欄にパスワードを入力する。
 - ③ 「ログイン」を選ぶ。
 - ブラウザーリモートの画面が表示される。
 - ブラウザーリモートに接続中は、ブラウザーリモート画面の●●●●が、順に点灯→順に消灯を繰り返す。
 - ユーザー名とパスワードが不明のときは、ビデオカメラの管理者にお問い合わせください。

※ ログイン認証画面の例です。
表示される画面はWeb ブラウザーによって異なります。



Full Controlユーザーでログインした場合の画面例

7 パソコンなど カメラIDを確認する

- ログインしたユーザーに応じたブラウザーリモート画面が起動し、画面中央*にカメラIDが表示される。
* 詳細操作／簡易操作画面のとき。メタデータ入力画面では画面下部に表示される。
- ① 表示されたカメラID がリモート撮影に使用するカメラのIDであることを確認する。



8 パソコンなど 言語を変更する

- ▼を押して表示されるリストから、ブラウザーリモートの表示言語を選ぶ。

9 本機 撮影後、ブラウザーリモートを終了する

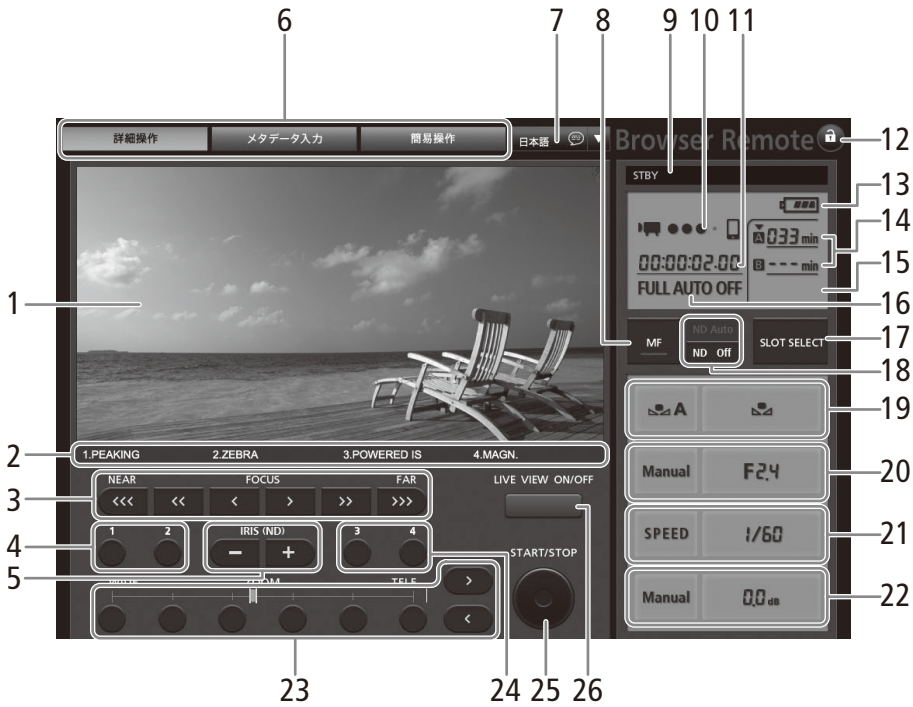
- ① 他機能メニュー ▶ 「ネットワーク機能」 ▶ 「切」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 画面のRemoteが消え、ブラウザーリモートが無効になる。

MEMO

- ビデオカメラに「Camera ID」を設定していない場合、カメラIDはブラウザーリモート画面に表示されません。
- ネットワーク環境や通信状態によっては、ライブビューの表示や各種設定などに遅延が発生することがあります。
- カラーバーの表示中は、ライブビュー表示がOFFになります。

詳細操作画面 (Full Control / Camera Control)

パソコンやタブレットなど画面が比較的大きい機器を使ってリモート撮影するときは、「詳細操作」画面を使えば、ブラウザリモートで制御可能なすべての操作を行うことができます。撮影時の各設定項目の詳細については、ビデオカメラの使用説明書をご覧ください。



詳細操作画面


- | | |
|---|---|
| 1 ライブビュー映像表示エリア | 9 撮影状態 |
| 2 アサインボタンに割り当てた機能* | 10 ブラウザーリモート接続状態表示* |
| 3 FOCUS(フォーカス調整)ボタン | 11 タイムコード* |
| 4 アサイン1ボタン/アサイン2ボタン | 12 (キーロック) ボタン
● ブラウザーリモートの操作ボタンをロックする。 |
| 5 IRIS (ND)(アイリス調整) ボタン | 13 バッテリー残量の目安* |
| 6 画面切り換えタブ (Full Controlのみ)
● 「詳細操作」、「メタデータ入力」、「簡易操作」の各画面を切り換える。(Full Controlのみ) | 14 CFカード状態/撮影可能時間 (分) |
| 7 言語選択 | 15 SDカード状態/撮影可能時間 (分) |
| 8 MF(フォーカスモード切り換え)ボタン | 16 フルオートモード状態* / Infraredモード状態* |
| | 17 SLOT SELECT(スロット選択)ボタン |

- 18 ND Auto / ND Offボタン
- 19 ホワイトバランス
- 20 F値
- 21 シャッタースピード
- 22 ゲイン
- 23 ZOOM(ズーム)ボタン

- 24 アサイン3ボタン/アサイン4ボタン
- 25 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン
- 26 LIVE VIEW ON/OFF(ライブビュー)ボタン

* 現在の設定を表示する。ブラウザーリモートで変更することはできない。

簡易操作画面 (Full Control)

スマートフォンなど画面が小さい機器を使ってリモート撮影するときは、「簡易操作」画面を使用します。簡易操作画面では、ズームの調整、START/STOP(スタート/ストップ)、アサインボタン(1～4)、LIVE VIEW(ライブビュー)のON/OFF、 (キーロック)のみ行うことができます。



1 「簡易操作」タブを選ぶ

- 簡易操作画面が表示される。



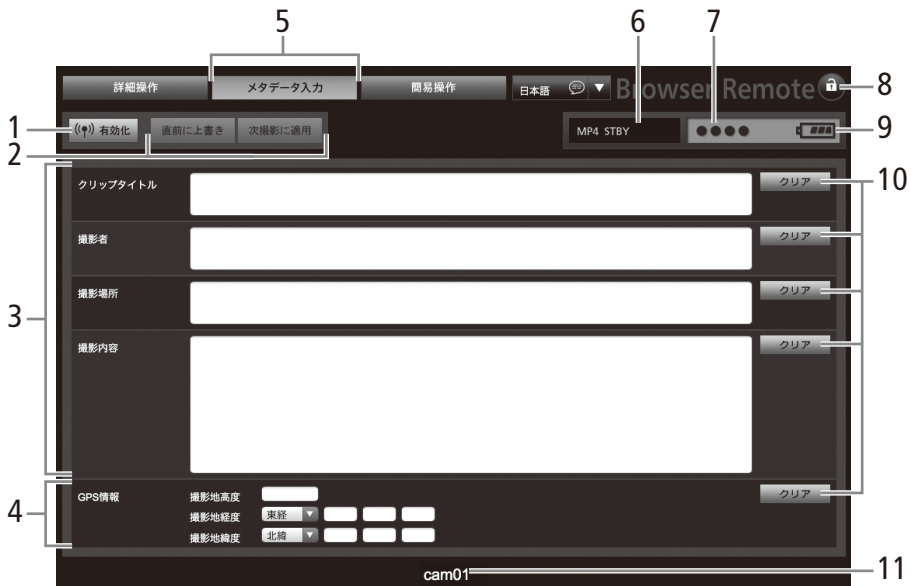
メタデータ入力画面（Full Control / Meta Control）

パソコンなどのネットワーク機器のブラウザーリモート画面からメタデータを設定することができます。設定可能なメタデータには、ユーザーメモ（クリップタイトル、撮影者、撮影場所、撮影内容）とGPS情報（撮影地の高度／経度／緯度）があります。



1 Full Controlユーザーのとき「メタデータ入力」タブを選ぶ

- メタデータ入力画面が表示される。



1 (P)有効化ボタン

- ブラウザーリモートからのメタデータ設定を有効にする。

2 メタデータ設定操作ボタン

3 ユーザーメモ入力エリア

4 GPS情報入力エリア

5 メタデータ入力タブ

6 撮影状態

7 ブラウザーリモート接続状態*

8 (キーロック)ボタン

- ブラウザーリモートの操作ボタンをロックする。

9 バッテリー残量の目安*

10 クリアボタン

- 入力した内容をクリアする。

11 カメラID*

- * 現在の設定を表示する。ブラウザーリモートで変更することはできない。

モバイル機器にプロキシ映像を記録する (リアルタイムプロキシ転送)

CAMERA

MEDIA

MXF

MXF+MP4

MP4

本機の映像(プロキシ映像*1)をモバイル機器にリアルタイムで転送し、モバイル機器側で記録することができます。記録したMP4動画をモバイル機器から編集スタジオに転送すれば、即時性が求められる取材現場からの速報映像に利用できます。また、モバイル機器で操作して、ビデオカメラ側に記録することもできます。モバイル機器(iOSまたはAndroid™)には、対応アプリCameraAccess plus*2のインストールが必要です。

*1 1.5 Mbps 640×360 / 29.97PのMP4動画。

*2 株式会社ピクセラから、アップル社のApp StoreまたはGoogle™社のGoogle Play™を通じて無料で提供されるソフトウェア(アプリ)です。

CameraAccess plusの主な機能

- ビデオカメラのライブ映像をモバイル機器の画面で確認
- 録画開始/停止操作(映像をモバイル機器またはビデオカメラに記録)
- ズーム操作

1 モバイル機器 アプリCameraAccess plusをインストールする

App Store:
[http://appstore.com/
cameraaccessplus](http://appstore.com/cameraaccessplus)



Google Play™:
[http://play.google.com/
store/apps/details?id=jp.
co.pixela.cameraaccessplus](http://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.pixela.cameraaccessplus)



- 2回目から、この操作は不要。



2 本機 Wi-Fi(カメラアクセスポイント)の接続設定を選ぶ(195)



3 本機 リアルタイムプロキシ転送を選ぶ

- ① 他機能メニュー>「ネットワーク機能」>「リアルタイムプロキシ転送」を順に選ぶ>SETを押す。
 - 画面に「動作中」が表示され、リアルタイムプロキシ転送モードになる。

- 本機の操作は、POWERスイッチとSET/CANCELボタンを押す操作以外は行えない。

ネットワーク機能

FTP転送
フラグザリモート
リアルタイムプロキシ転送
IPストリーミング
切

4 モバイル機器 本機に接続する(195)

5 モバイル機器 CameraAccess plusを起動して撮影する

- ① 操作1でインストールしたアプリCameraAccess plusを起動する。
- ② 宅内モードの「開始」を選ぶ。
- ③ 画面上で操作して撮影する。



6 本機 リアルタイムプロキシ転送を終了する


- ① SETを押す。



MEMO

- リアルタイムプロキシ転送で記録するときの撮影設定は、フルオートモードの設定に加え、フォーカスはオート（顔検出AFはOFF）に、ズームはノーマル（光学のみ）に固定されます。また、ブレ記録がONになります。

リアルタイムプロキシ転送が使用できない場合

- 記録信号形式のフレームレートが23.98Pのとき。
- 特殊記録（ 125）が「切」以外するとき。
- 本機への記録開始／停止時に、モバイル機器の画面に表示される映像が一時的に途切れます。
- CameraAccess plusの詳細については、株式会社ピクセラのホームページをご覧ください。
<http://pixela.jp/cjcap>



クリップをFTPで転送する (FTPファイル転送)

本機で撮影した動画を、FTPサーバーに直接転送することができます。カメラモードでは、撮影直後のMP4クリップをFTPサーバーに転送できます。メディアモードでは、本機に記録されているMXFクリップやMP4クリップ、静止画をFTPサーバーにまとめて転送できます。以下では、FTPサーバーがあらかじめ起動され、正しく動作していることを前提に説明しています。

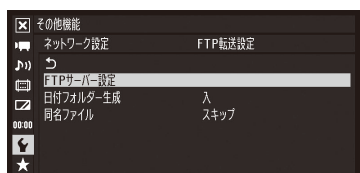
FTP転送の準備をする

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

転送先となるFTPサーバーに接続するための設定や、転送先のフォルダー生成や同名ファイルの扱いなどの詳細設定を行います。

FTPサーバーの設定を行う

クリップ／静止画の転送先となるFTPサーバーに接続するための情報として、FTPサーバー名 (IPアドレスまたはホスト名)、ポートNo.、ユーザー名、パスワード、転送先となるフォルダーの場所 (ディレクトリパス) などを設定します。設定内容の詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



1 「FTPサーバー設定」を選ぶ

- ① その他機能メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「FTP転送設定」 ▶ 「FTPサーバー設定」を順に選ぶ ▶ SETを押す。



2 FTPサーバー名、ユーザー名、パスワード、転送先フォルダーを入力する

- ① 「暗号化キーを入力する」(190)の操作2の②～⑤と同じ要領でFTPサーバーを入力する。
 - カメラアクセスポイントで接続するときはこの設定を使用しないが、任意の文字を入力する。
- ② ①と同様に、ユーザー名、パスワード、転送先フォルダーを入力する。



3 ポートNo.を入力する

- ① 「Input」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 198ページの操作2と同じ要領でFTPポートを入力する。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。



4 FTPの通信モードを選ぶ

- ① いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
 - 入： パッシブモードで通信する。ファイアウォールの内側からFTP転送を行うときなどに使用する。
 - 切： アクティブモードで通信する。通常はこのモードを使用する。

5 FTPサーバー設定を保存する

- ① 「OK」を選ぶ ▶ SETを2回押す。

詳細設定を行う

転送先に日付のフォルダーを自動的に作成するかどうかや、同名ファイルがあったときの動作を設定します。



1 「日付フォルダー生成」を選ぶ

- ① 他機能メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「FTP転送設定」 ▶ 「日付フォルダー生成」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「入」または「切」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 「入」にすると、FTPサーバーの転送先フォルダーに日付のフォルダー（「YYYYMMDD ¥HHMMSS」）を自動的に作成し、その中にファイルを転送する。



2 「同名ファイル」を選ぶ

- ① 他機能メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「FTP転送設定」 ▶ 「同名ファイル」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
 - スキップ： 転送先に同じ名前のファイルがあるとき、そのファイルを転送しない。
 - 上書き： 転送先に同じ名前のファイルがあっても、上書きする。



MEMO 現在のFTP転送設定の詳細は、ステータス画面で確認できます（[□ 252](#)、[253](#)）

撮影直後のMP4クリップを転送する

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

撮影直後のMP4クリップをFTPサーバーに転送することができます。あらかじめアサインボタン（[□ 138](#)）に「MP4 FTP転送」を割り当てておき、FTP転送機能を有効にしてから、撮影直後にアサインボタンを押します。すると、直前に撮影したクリップがFTP転送キューに登録され、順次FTPサーバーに転送されます。転送はバックグラウンド処理で行われるため、撮影しながら転送できます。転送中にメディアモードに切り換えても転送は続きます。なお、FTP転送キューには、5つまでのクリップを同時に登録できます。


例：アサイン5ボタンに「MP4 FTP転送」を割り当てて、クリップのFTP転送キューに登録する場合



1 アサイン5ボタンに「MP4 FTP転送」を割り当てる（[□ 138](#)）



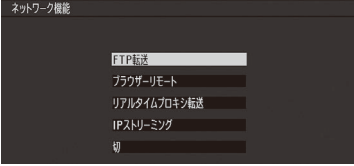
2 ネットワークの接続設定を選ぶ（[□ 195](#)）


- 

3 FTP転送を有効にする

① ④ その他機能メニュー ▶ 「ネットワーク機能」 ▶ 「FTP転送」を順に選ぶ ▶ SETを押す。


 - ネットワークに接続され、接続方法に応じたアイコンが表示される (☐ 195)。カメラアクセスポイントのときは、Wi-Fi対応機器から本機に接続する。
 - 画面に**FTP**が表示され、FTP転送モードになる。





4 MP4クリップの撮影直後に、アサイン5ボタンを押す

 - 直前に記録したクリップがFTP転送キューに追加され、順次FTPサーバーに転送される。
 - 画面の**FTP**の右に転送キューに登録した (転送が完了していない) クリップ数が表示される。



5 転送を終了するとき、FTP転送を無効にする

① ④ その他機能メニュー ▶ 「ネットワーク機能」 ▶ 「切」を順に選ぶ ▶ SETを押す。

 - 画面の**FTP**が消え、FTP転送モードが終了する。
- ## ■ クリップ／静止画を転送する
- CAMERA MEDIA MXF MP4 Photo
- CFカードに記録されたMXFクリップまたはSDカードに記録されたMP4クリップ／静止画のファイルを、FTPサーバーに転送します。以下の操作は、クリップの場合で説明していますが、静止画のときも同様です。
- ネットワーク
- ### 1つのクリップ／静止画を転送する
-
- ① ネットワークの接続設定を選ぶ (☐ 195)
 - ② 転送するクリップを選ぶ
 - ③ クリップメニュー ▶ 「FTP転送」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
 - ④ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - ネットワークに接続され、接続方法に応じたアイコンが表示される (☐ 195)。カメラアクセスポイントのときは、Wi-Fi対応機器から本機に接続する。
 - FTPサーバーとの接続が完了すると画面に**FTP**が表示され、選択したクリップのファイルが転送される。

転送を中止するとき CANCELを押す。

 - 転送が終了すると、画面の**FTP**が消える。

⑤ SETを押す。
- 209

クリップ／静止画をまとめて転送する



- ① ネットワークの接続設定を選ぶ (☞ 195)
- ② 転送するクリップがあるインデックス画面を出す (☞ 155)
- ③ ④ その他機能メニュー → 「クリップ」または「静止画」 → 「FTP転送」を順に選ぶ → SETを押す。
- ④ 「選択」、「すべて」のいずれかを選ぶ → SETを押す。

「選択」を選んだとき

- ① 転送するクリップを選ぶ → SETを押す。
- ② ①を繰り返し、転送するクリップをすべて選ぶ。
- ③ MENUボタンを押す
- ⑤ 「OK」を選ぶ → SETを押す。

- ネットワークに接続され、接続方法に応じたアイコンが表示される (☞ 195)。カメラアクセスポイントのときは、Wi-Fi対応機器から本機に接続する。
- FTPサーバーとの接続が完了すると画面にFTPが表示され、表示しているインデックス画面内のクリップのファイルが転送される。有線LANで接続した場合、転送中はLANアクセスランプが速く点滅する。

転送を中止するとき

- CANCELを押す。
- 現在のファイルの転送が終了後、FTP転送が中止される。
 - 転送が終了すると、画面のFTPが消える。

- ⑥ SETを押す。



- **ご注意** ● ファイル転送中は、次のことを守ってください。通信が中断され、転送先に不要なファイルが残ることがあります。
- CFカードカバー／SDカードカバーを開けない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- 転送先に不要なファイルが残っているときは、内容を十分に確認してから、削除してください。



- **MEMO** ● アクセスポイントの性能や設定、通信状態によっては、ファイルの転送に時間がかかることがあります。

映像をストリーミング送信する

(IPストリーミング)

CAMERA

MEDIA

MXF

MXF+MP4

MP4

本機をネットワークに接続して、ネットワーク経由で映像伝送装置のデコーダー（以下「デコーダー」と記載）*1またはパソコン*2に、本機の映像と音声（2ch）*3をストリーミング送信します。ライブ中継に利用できるほか、ネットワーク環境が低速な取材現場からでも速報映像を送信することができます。

*1 対応するデコーダーについてはキヤノンのホームページなどでご確認ください。

*2 ストリーミング映像の受信に対応したパソコン用ソフトウェアが必要です。

*3 MXF動画の音声は4チャンネルの場合、送信するチャンネルはメニューで選択可能。

送信できる映像と音声の信号形式

映像			音声	
ビットレート*	解像度	フレームレート	形式	ビットレート
9 Mbps 4 Mbps	1280×720	29.97P	MPEG-2 AAC	128 Kbps
1.5 Mbps	640×360			

* ビットレートの方式はVBR(可変)です。

ストリーミング送信の準備をする

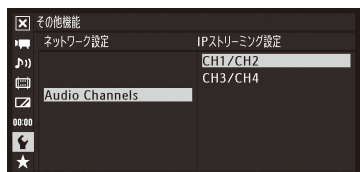
送信する映像のビットレートや解像度、プロトコルなど、ストリーミング送信に必要な設定を行います。

基本的な送信設定を行う



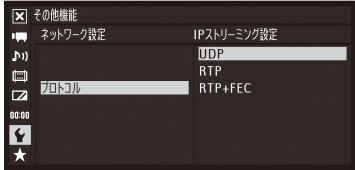
1 ビットレートと解像度を選ぶ

- ① その他機能メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「IPストリーミング設定」 ▶ 「ビットレート/解像度」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。



2 音声の出力チャンネルを選ぶ

- ① その他機能メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「IPストリーミング設定」 ▶ 「Audio Channels」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。



3 トランスポートプロトコルを選ぶ

- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「IPストリーミング設定」 ▶ 「プロトコル」を順に選ぶ。
 - ② いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
 - UDP： 高速な伝送を重視し、信頼性／順序性を保証しない。喪失／遅延パケットは無視する。
 - RTP： 動画／音声のインターネット配信の標準的な方式。喪失／遅延パケットは無視する。
 - RTP+FEC： RTPによる伝送に、エラー訂正（FEC）*の制御を行うことにより、受信側で喪失／破損パケットをリカバリーする。Wi-Fiでストリーミング送信するときなどに使用する。
- * FECによるエラー訂正制御に対応するデコーダーまたはパソコン用ソフトウェアが必要。



4 ストリーミング送信先のIPアドレスとポート番号を入力する

- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「IPストリーミング設定」 ▶ 「送信先設定」を順に選ぶ。
 - 「TCP/IPを設定する」(□ 193)の操作2と同じ要領で以下の操作を行う。
- ② IPアドレスを入力して「セット」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ③ 必要に応じてポート番号を変更して、「セット」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - ポート番号は、通常は初期設定のまま使用する。
- ④ 「OK」を選ぶ ▶ SETを2回押す。

エラー訂正制御の設定を行う（プロトコルに「RTP+FEC」を選んだとき）



1 必要に応じて、FECの packets 用のポート番号を変更する

- ポート番号は、通常は初期設定のままの使用をおすすめします。
- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「IPストリーミング設定」 ▶ 「FEC設定」を順に選ぶ。
 - 「TCP/IPを設定する」(□ 193)の操作2と同じ要領で以下の操作を行う。
 - ② ポート番号を入力して「セット」を選ぶ ▶ SETを押す。



2 必要に応じて、FECの値を変更する

- FECの値は、通常は初期設定のまま使用する。
- ① 値を入力して「セット」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - ② 「OK」を選ぶ ▶ SETを2回押す。

受信側のデコーダーまたはパソコンの設定をする

受信側のデコーダーまたはパソコンをネットワークに接続し、必要な設定を行ってください。デコーダーまたはパソコンの受信用ソフトウェアの詳細については、それぞれの説明書などをご覧ください。

■ ストリーミング送信を行う

1 受信側のデコーダーまたはパソコン ストリーミング受信の待機状態にする

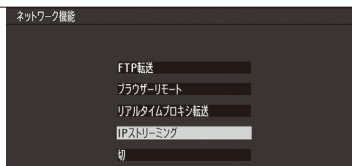


2 ネットワークの接続設定を選ぶ (□ 195)



3 IPストリーミングを有効にする

- ① ④ その他機能メニュー ▶ 「ネットワーク機能」 ▶ 「IPストリーミング」を順に選ぶ。
 - ネットワークに接続され、接続方法に応じたアイコンが表示される (□ 195)。
 - 画面に「 IP」が表示され、映像／音声のストリーミング送信が始まる。
 - START/STOPボタンを押して、ストリーミング送信と同時に本機に記録することもできる (MXF動画のみ)。
 - ④ その他機能メニュー ▶ 「ネットワーク機能」を「切」にすると、送信が終了して画面の「 IP」が消える。



MEMO

- IPストリーミングは、受信側の状態にかかわらず、映像・音声データを送信します。また、送信するデータは暗号化されません。IPアドレスを正しく設定し、受信側のデコーダーが正しく受信できることをあらかじめ確認してください。
- ネットワーク環境や通信状態によっては、パケットの喪失や遅延が発生することがあります。
- MXF動画のフレームレートが23.98Pのときは、IPストリーミングを使用できません。
- IPストリーミング送信を連続して12時間行くと、一旦停止したあと自動的に再開します。

Webブラウザで再生／保存する

(ブラウザプレビュー)

CAMERA MEDIA **MXF** MP4 Photo

MP4動画や静止画を、スマートフォンやタブレット、パソコンなどのWebブラウザで再生したり保存したりすることができます*。

* お使いの機器、OS、ブラウザや録画モードによっては、再生や保存ができないことがあります。動作を確認したOS、ブラウザなどの詳細情報については、キヤノンのホームページをご覧ください。

	<p>1 本機 MP4インデックス画面または静止画インデックス画面に切り換える</p>
	<p>2 本機 ネットワークの接続設定を選ぶ (□ 195)</p> <ul style="list-style-type: none">● Wi-Fiのカメラアクセスポイントまたは有線LANを使用する。
	<p>3 必要に応じて、ポート番号を設定する</p> <ol style="list-style-type: none">① 「カメラ設定を行う」(□ 198)の操作1～2を行う。② 「OK」を選ぶ ▶ SETを2回押す。
	<p>4 本機 ブラウザープレビューを選ぶ</p> <ol style="list-style-type: none">①  その他機能メニュー ▶ 「ブラウザプレビュー」を順に選ぶ ▶ SETを押す。<ul style="list-style-type: none">● ネットワークに接続される (□ 195)。カメラアクセスポイントのときは、Wi-Fi対応機器から本機に接続する。● 画面に「動作中」が表示され、ブラウザプレビューモードになる。● 本機の操作は、POWERスイッチとSET／CANCELボタンを押す操作以外は行えない。
	<p>5 ネットワーク機器 Webブラウザを起動し、URLを入力する</p> <p>  <input data-bbox="1039 1290 1244 1329" type="text" value="http://192.168.0.80/"/></p> <ol style="list-style-type: none">① 本機の画面に表示されているURLを入力する。<ul style="list-style-type: none">● ブラウザープレビューの画面が表示される。● 操作3でポート番号を設定したときは、URLとポート番号をを次のように入力する。 例： http://192.168.0.80:XX (「XX」がポート番号)



6 ネットワーク機器 MP4動画または静止画を選んで再生する

動画と静止画を切り換えるとき

[SD]MP4]または[SD]📷]をタッチ→MP4または📷をタッチする。

- ① 一覧から再生する画像をタッチする。
- ② 画像をタッチする。
 - 選択した動画または静止画が再生される。
- ③ 📺をタッチすると、一覧画面に戻る。

ネットワーク機器に保存するとき（iOS機器以外）

- ①のあと、📌をタッチする。



7 本機 ブラウザープレビューを終了する

- ① SETを押す。
 - ブラウザープレビューモードが終了する。



MEMO

- 本機と同時に接続できる機器は1台のみです。
- データ容量が4GBを超えるクリップは、ネットワーク機器には複数のファイルとして認識されます。

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

静止画

静止画を記録する	218
静止画を再生する	220
静止画を操作する	222

静止画を記録する

カメラモードで撮影中または撮影一時停止中に、静止画をSDカードに記録することができます*。また、メディアモードで動画の再生一時停止中に、動画から静止画を切り取ることもできます。記録される静止画のサイズは次のとおりです。

カメラモードで静止画を記録する場合：

動画の解像度が1920×1080のとき	1920×1080
動画の解像度が1440×1080のとき	1920×1080
動画の解像度が1280×720のとき	1280×720

動画から静止画を切り取る場合： 1920×1080

* 1920×1080の場合、記録できる枚数は1GBのSDカードに約670枚です。

■ カメラモードで静止画を記録する

CAMERA MEDIA MXF MXF+MP4 MP4

撮影中または撮影一時停止中に静止画をSDカードに記録することができます。静止画を記録するときは、アサインボタンに「Photo」を割り当てて使用するか、リモコン（付属）のPHOTOボタンを使用します。

例：アサイン3ボタンに「Photo」を割り当てて、静止画を記録する場合



1 アサイン3ボタンに「Photo」を割り当てる

参考 ▶▶ 「アサインボタンの機能を変更する」(□ 138)。



2 動画撮影中 動画撮影一時停止中 静止画を記録する

- ① アサイン3ボタンを押す。
 - 「SD」と記録可能枚数が表示され、静止画がSDカードに記録される。
 - 記録中はSDカードアクセスランプが点灯する。

■ 記録した動画から静止画を切り取る

CAMERA MEDIA MXF MP4

メディアモードで、動画の再生一時停止中に、動画から静止画を切り取ることができます。静止画を記録するときは、アサインボタンに「Photo」を割り当てて使用するか、リモコン（付属）のPHOTOボタンを使用します。

例：アサイン3ボタンに「Photo」が割り当てられている場合



1 クリップを再生する

- ① 静止画の切り取りを行うクリップを選ぶ。
- ② ▶/|| (再生／一時停止) ボタンを押して、クリップを再生する。
- ③ 静止画を切り取りたいフレームで、再度 ▶/|| (再生／一時停止) ボタンを押す。
 - 再生一時停止状態になる。



2 静止画を記録する

- ① アサイン3ボタンを押す。
 - 「[Ⓜ]」と記録可能枚数が表示されて、静止画がSDカードに記録される。
 - 記録中はSDカードアクセスランプが点灯する。
- ② ■ ボタンを押して、クリップの再生一時停止を解除する（インデックス画面に戻る）。



ご注意

SDカードアクセスランプが点灯／点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- SDカードを取り出さない。



MEMO

静止画を記録するときは、SDカードの誤消去防止ツマミの「LOCK」を解除してください。

静止画を再生する

CAMERA MEDIA

SDカードに記録した静止画を再生することができます。静止画を再生するときは、メディアモードで画面を静止画インデックス画面に切り換えます。

■ 静止画インデックス画面を表示する

静止画を再生するときは、メディアモードで静止画インデックス画面に切り換えます。

-  1 POWER(電源)スイッチをMEDIAにする
-  2 INDEX(インデックス)ボタンを押す
 - インデックスメニューが表示される。
-  3 静止画インデックス画面を選ぶ
 - ① ジョイスティックを上下に押して、「Photo Index」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 静止画インデックス画面に切り換わる。

元のインデックス画面に戻るとき
INDEX(インデックス)ボタンを押す。





1 静止画のサムネイル

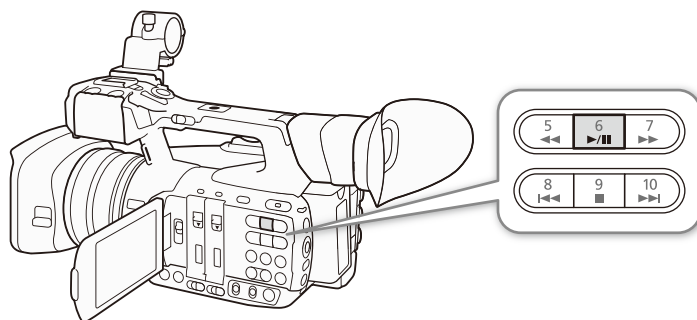
2 ネットワーク接続状態／FTPファイル転送

3 GPS情報マーク (📖 121)

4 記録日時 (年月日、時刻)

再生する

静止画インデックス画面で選んだ静止画を再生します。再生には各種再生操作ボタンを使用します。ジョイスティックで操作することもできます。



1 ジョイスティックを上下左右に押して、再生する静止画を選ぶ

- ジョイスティックを操作すると、インデックス画面上的カーソル（オレンジ色の枠）が移動するので、再生したい静止画に合わせる。



2 ▶/|| (再生/一時停止) ボタンを押す

- 静止画が再生される（1枚表示される）。

前の静止画/次の静止画に移動するとき

◀◀を押すと前の静止画に、▶▶を押すと次の静止画に移動する。

- ジョイスティックを左右に押して、前後の静止画に移動することもできる。

撮影日付などの撮影情報の表示をON/OFFするとき

DISP.(ディスプレイ) ボタンを押す。

再生を終える（インデックス画面に戻る）とき

- (停止) ボタンを押す。



ご注意

- SDカードアクセスランプが点灯/点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - SDカードを取り出さない。



MEMO

- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
 - 本機以外の製品で記録したとき。
 - パソコンで作成や加工をしたとき。
 - パソコンでファイル名を変更したとき。

静止画を操作する

CAMERA MEDIA

静止画単位の操作を行うときは、静止画メニューを使用します。静止画メニューは静止画インデックス画面、静止画再生画面で表示することができ、それぞれの画面に応じた機能を選ぶことができます。静止画メニューの操作は、クリップメニューと同様です(□ 160)。「FTP転送」については、「クリップ/静止画を転送する」(□ 209)をご覧ください。

■ 静止画を消去する

不要な静止画を1枚ずつ、またはまとめて消去できます。

静止画再生中に消去する



- ① 静止画再生中 静止画メニュー ▶ 「消去」を順に選ぶ。
- ② 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 再生中の静止画が消去される。
- ③ SETを押す。

静止画インデックス画面で静止画を消去する



- ① 消去する静止画を選ぶ。
- ② 静止画メニュー ▶ 「消去」を順に選ぶ。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 選択した静止画が消去される。
- ④ SETを押す。

静止画をまとめて消去する

選択した静止画やすべての静止画をまとめて消去することができます。



- ① ほか機能メニュー ▶ 「静止画」 ▶ 「消去」を順に選ぶ。
- ② 「選択」、「すべて」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。

「選択」を選んだとき

- ① 消去する静止画を選ぶ ▶ SETを押す。
- ② を繰り返し、消去する静止画をすべて選ぶ。
- ③ MENUボタンを押す。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - インデックス画面内の消去対象の静止画が消去される。

中止するとき CANCELを押す。

- ④ SETを押す。

❗ **ご注意** 一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。

メニュー一覧

CAMERA MEDIA

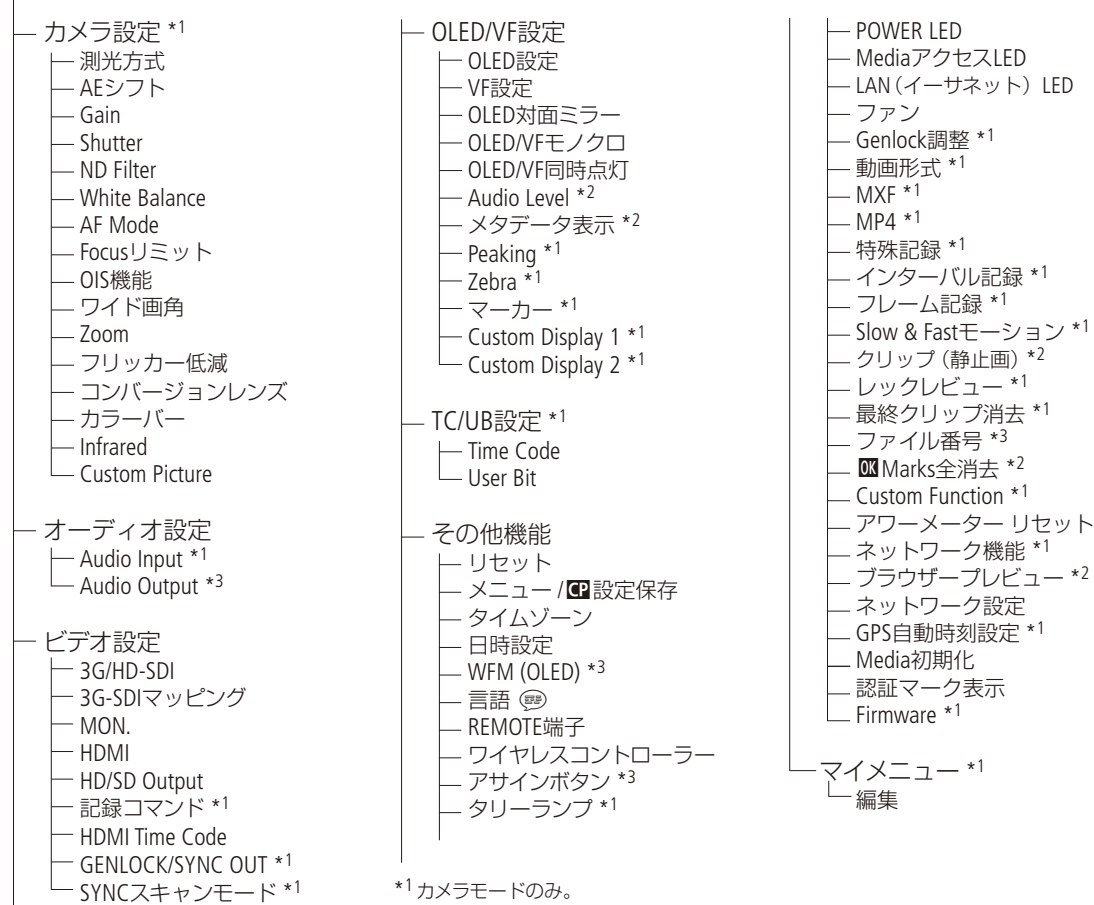
本機のさまざまな機能をメニューによって設定することができます。ここではメニューの階層と設定項目の詳細について説明します。メニュー設定の基本操作については「メニューで設定を変える」(P.27)をご覧ください。

■ メニューの階層

MENUボタンを押すと、画面左側に次のメニューのアイコンが表示されます。

📷	カメラ設定メニュー：	ゲインやシャッターなど撮影に関する設定を行う。	▶▶ P.225
🎧	オーディオ設定メニュー：	音声の入出力に関する設定を行う。	▶▶ P.228
📺	ビデオ設定メニュー：	映像出力に関する設定を行う。	▶▶ P.230
📺	OLED/VF設定メニュー：	有機ELモニターやファインダーに関する設定を行う。	▶▶ P.231
🕒	TC/UB設定メニュー／User Bit設定メニュー：	タイムコードやユーザービットに関する設定を行う。	▶▶ P.235
🔧	その他機能メニュー：	その他、上記以外の設定を行う。	▶▶ P.236
★	マイメニュー：	よく使うメニュー項目を登録する。	▶▶ P.244

MENU



*1 カメラモードのみ。
 *2 メディアモードのみ。画面によっては表示されないことがある。
 *3 メディアモードでは、画面によっては表示されないことがある。

■ メニューの設定項目

各メニューで設定できる項目の機能と設定値について説明します。初期設定は太字で記載しています。メニューの項目は、他の機能の設定状態によっては表示されなかったり、使用できなかったりすることがあります。

カメラ設定メニュー		CAMERA MEDIA		
設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	📖
測光方式		バックライト、 Standard 、 スポットライト	絞りを自動調整するときの測光方式を設定する。 バックライト： 逆光時の暗部をより明るく制御する。 Standard： 画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。 スポットライト：スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。	73
AEシフト		+2.0、+1.75、 +1.5、+1.25、 +1.0、+0.75、 +0.5、+0.25、 ±0 、-0.25、-0.5、 -0.75、-1.0、 -1.25、-1.5、 -1.75、-2.0	絞りを自動調整するときの明るさ目標値を設定して、17段階で露出補正を行う。	73
Gain	L、M、H モード	Automatic、 Manual	ゲインのモードを設定する。 Automatic： ゲインをオートで調整する。 Manual： ゲインをマニュアルで調整する。	65
	AGCリミット	切/27 dB 、0 dB ~ 26 dB(1 dB刻み)	AGCがONの場合、ゲインの最大値を制限するときの最大値を設定する。	66
	Manual	詳細設定、 33.0 dB、27.0 dB、 24.0 dB、21.0 dB、 18.0、15.0 dB、 12.0 dB、9.0 dB、 6.0 dB、3.0 dB、 0.0 dB、-3.0 dB、 -6.0 dB	GAIN(ゲイン)スイッチをIにしたときのゲインを設定する。詳細設定は、-6.0 ~ 27.0 dBの範囲を0.5 dB刻みで設定できる。 初期値は、L、M、Hでそれぞれ、0.0 dB、6.0 dB、12.0 dBとなる。	65

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	📖
Shutter	モード	Automatic、 Manual	シャッタースピードのモードを設定する。 Automatic： シャッタースピードをオートで調整する。 Manual： シャッタースピードをマニュアルで調整する。	59
	Manual	スピード、 アングル、 クリアスキャン、 スロー	シャッタースピードのモードを設定する。 スピード： 秒数で設定。 アングル： 開角度で設定。 クリアスキャン： 周波数で設定。 スロー： フレームレートより低速のシャッタースピードを秒数で指定。	
	Shutterステップ	ノーマル、 ファイン	シャッタースピード設定時の刻み幅を選ぶ。ファインにすると、最大1/256段刻みで調整できる。	
ND Filter		Automatic、 切	Automaticにすると、F値がF4.0になったときに、NDフィルターが自動で挿入され、1/2、1/4、1/8の順で自動的に切り換わる。	72
White Balance	B	AWB、 セット	WHITE BAL.スイッチのBの調整方法をオート (AWB)またはホワイトバランスセット (B)で選ぶ。	74
	A	AWB、 セット	WHITE BAL.スイッチのAの調整方法をオート (AWB)またはホワイトバランスセット (A)で選ぶ。	
	PRESET モード	AWB、 Preset	WHITE BAL.スイッチのPRESETの調整方法をオート (AWB)またはプリセット設定 (Preset)で選ぶ。	
	Preset	太陽光、 電球、 Kelvin	ホワイトバランスをプリセット設定で調整するか色温度設定で調整するときに、使用する調整方法を選ぶ。 太陽光： 屋外 (太陽光) 電球： 屋内 (電球) Kelvin： 色温度設定	
AF Mode	スピード	ハイ、 ミディアム、 ノーマル	オートフォーカスのピントの合いかた (スピード)を設定する。 ハイ： ハイスピードAF。外部センサーを併用して高速でAF動作を行う。 ミディアム：ハイに比べてより滑らかなAF動作を行う。 ノーマル： 安定したAF動作を行う。	87
	顔検出AF	顔優先、 顔限定、 切	顔検出AFの動作を選ぶ。 顔優先： 顔未検出時はAF動作。 顔限定： 顔未検出時はMF動作。	91
Focusリミット		入、 切	フォーカスリミットを入/切する。 入： 60 cm ~ ∞ (テレ~ワイド全域)の範囲でフォーカス調整できる。 切： 1 cm (ワイド側) ~ ∞の範囲でフォーカス調整できる。	92
OIS機能	選択	Img Stab、 切	Img Stab.にすると、手ブレ補正が有効になる。	93
	Image Stabilizer	Dynamic、 Standard	手ブレ補正の方式を選ぶ。 Dynamic： 歩きながらの撮影など。 Standard： 静止して手持ちで撮影するときなど。	

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	
ワイド画角		ワイド、 ノーマル	ワイドにすると、ワイド端の焦点距離を短くし、より広角に撮影できる (35mmフィルム換算で約26.8 mm)。	80
Zoom	モード	デジタルテレコン 6.0x、 デジタルテレコン 3.0x、 デジタルテレコン 1.5x、 デジタルZoom、 ノーマル	ズームのモードを選ぶ。 デジタルテレコン6.0x / 3.0x / 1.5x : 焦点距離が約6倍、3倍、1.5倍になる (デジタルズーム)。 デジタルZoom : 光学ズームの領域 (20倍) を超えると自動的にデジタルズームに切り換わり、最高120倍までのズームが可能。 ノーマル : 光学ズーム (20倍) のみ。	80
	Speed Level	ハイ、 ノーマル 、ロー	ズームをハンドル/グリップのロッカーまたはリモコンで操作するときのスピードレベルを設定する。	81
	ソフトZoomコントロール	両方、Stop、Start、 切	ズームの開始、終了または両方の動作を滑らかにする。	85
	グリップRocker 選択	固定、 可変速	グリップロッカーのズーム操作を固定 (固定速) と可変速で切り換える。	81
	固定Speed	1 ~ 16 (8)	「グリップRocker」が「固定」のときに、固定速のズームスピードを16段階から選ぶ。	
	ハンドルRocker H、 ハンドルRocker L	1 ~ 16 (Hのとき : 16 Lのとき : 8)	ZOOM SPEED (ハンドルズームスピード) 切り換えスイッチをHまたはLにしたときのズームスピード (固定速) を16段階から選ぶ。	82
	ワイヤレスコントロール	1 ~ 16 (8)	リモコン (付属) のズームスピード (固定速) を16段階から選ぶ。	83
	ハイSpeed Zoom	入、 切	入にすると、グリップロッカーが可変速の場合、撮影一時停止中に、グリップロッカーの「Speed Level」を強制的に「ハイ」にする。	81
焦点距離	0セット、 切	本機を2台使用して3D撮影を行う際のアシスト機能として、ズーム操作に応じて変わる焦点距離位置を数値で表示する。 0セット : 現在のズーム位置を基準ズーム位置に設定し、焦点距離ガイドを表示する。 切 : 焦点距離ガイドを表示しない。	136	
フリッカー低減		Automatic、 切	Automaticにすると、蛍光灯のフリッカーを自動的に検知して補正する。	64
コンバージョンレンズ		TL-H58、 WA-H58、 切	テレコンバーター TL-H58 (別売) またはワイドコンバーター WA-H58 (別売) を取り付けるときに設定すると、それぞれに適した手ブレ補正/距離表示が行われる。AFモードは自動的にノーマルAFになる。	85
カラーバー	表示	入、 切	入にすると、カラーバーを表示する。	113
	タイプ	SMPTE 、ARIB	カラーバーのタイプを選ぶ。	

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	📖
Infrared	モノクロ表示	ホホワイト、 グリーン	高輝度部の色を白と緑から選ぶ。	134
	ライト	トグル、 常時入、 常時切	IRライトの点灯のしかたを選ぶ トグル： Infrared切り換えスイッチを押すたびに入／切する 常時入： Infraredモードにすると自動的に点灯する。 常時切：常に消灯する。	
	スロー Shutter	入、切	入にすると、Infraredモードのスローシャッターが有効になる。	
Custom Picture	📄 Select File 📄 Edit File 📄 Transfer File		カスタムピクチャーを設定する。	141

🎵 オーディオ設定メニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	📖
Audio Input*1	4-Channel Input	入、切	入にすると、MXF動画の音声は4チャンネルで記録される。	106
	CH3/CH4モード	Automatic、 Manual	MXF動画の音声を4チャンネルで記録する場合、CH3/CH4の録音レベルの調整方法を選ぶ。 Automatic：自動的に調整する。 Manual：手動で調整する。	111
	CH3/CH4 Level	0 ~ 99(50)	「CH3/CH4モード」が「Manual」のとき、録音レベルを手動で調整する。	
	MP4 Channels	CH1/CH2、 CH3/CH4	MXF動画の音声を4チャンネルで記録する場合、同時に記録するMP4動画の音声チャンネルを選ぶ。	106
	CH2 Input	INPUT2、 INPUT1	チャンネル2として記録する入力音声を選ぶ。 INPUT2： INPUT1をCH1に、INPUT2をCH2に録音する。 INPUT1： INPUT1をCH1 / CH2の両方に録音する	109
	INPUT1 Mic トリミング INPUT2 Mic トリミング	+12 dB、+ 6dB、 0 dB、-6 dB、 -12 dB	外部マイク (INPUT1端子 / INPUT2端子)の入力感度を調整する。	109
	INPUT1 Mic Att. INPUT2 Mic Att.	入、切	入にすると、外部マイク (INPUT1端子 / INPUT2端子)のアッテネーター (20 dB)がかかる。	110
	INPUT 1/2 ALCリンク	連動、 独立	録音レベルをオートで調整する場合、連動にすると、INPUT1 / INPUT2端子の録音レベル調整を連動させることができる。	110
	INPUT 1/2 リミッター	入、切	INPUT1 / INPUT2端子の録音レベルをマニュアルで調整する場合、入にすると過大な音声入力によるひずみを防止できる。	112
	MIC Att.	入、切	入にすると、外部マイク (MIC端子) にアッテネーター (20 dB)がかかる。	108
	MICローカット	入、切	外部マイク (MIC端子)の特性を選ぶ。入にすると、風の影響を受ける屋外で撮影するとき、風によるノイズを低減する。	108

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	
Audio Input* ¹	Int. Mic Att.	入、切	入にするとマイク信号にアッテネーター (12 dB)がかかる。	108
	Int. Micローカット	切、 LC1、 LC2	内蔵マイクの特性を選ぶ。 切：一般的な音を録音するとき。 LC1：人の声を中心に録音するとき。 LC2：風の影響を受ける屋外で撮影するとき。風によるノイズを低減する。	
	Int. Mic感度	ノーマル、 ハイ	内蔵マイクの感度を選ぶ。 ノーマル：通常のレベルの音を録音するとき。 ハイ：より大きな音量で録音するとき。	
	1 kHz トーン	-12 dB、-18 dB、 -20 dB、切	カラーバーと同時にテストトーンを出力するときに設定する。	113
Audio Output* ²	モニターディレイ	Line Out、 ノーマル	映像と音声のタイミングを合わせるかどうかを選ぶ。 ノーマル：リアルタイム (ディレイなし)で音声を出力する。 Line Out：映像とタイミングを合わせるために、音声信号を遅延させて出力する。	178
	モニター Channels	CH1/CH2、 CH1/CH1、 CH2/CH2、 CH1+2/CH1+2 CH3/CH4*、 CH3/CH3*、 CH4/CH4*、 CH3+4/CH3+4*、 CH1+3/CH2+4*	音声を出力するチャンネルを選ぶ。 CH1/CH2：出力音声のLにCH1を、RにCH2を割り当てる。 CH1/CH1：出力音声のLとRの両方にCH1を割り当てる。 CH2/CH2：出力音声のLとRの両方にCH2を割り当てる。 CH1+2/CH1+2：出力音声のLとRの両方にCH1とCH2をミックスした信号を割り当てる。 CH3/CH4：出力音声のLにCH3を、RにCH4を割り当てる。 CH3/CH3：出力音声のLとRの両方にCH3を割り当てる。 CH4/CH4：出力音声のLとRの両方にCH4を割り当てる。 CH3+4/CH3+4：出力音声のLとRの両方にCH3とCH4をミックスした信号を割り当てる。 CH1+3/CH2+4：出力音声のLにCH1とCH3をミックスした信号を、RにCH2とCH4をミックスした信号を、それぞれ割り当てる。 * 4ch記録のときのみ。	177
	HDMI Channels	CH1/CH2、 CH3/CH4	MXF動画の4チャンネルの音声のうち、HDMI OUT端子から出力するチャンネルを選ぶ。	177
	Level	1 Vrms、 2 Vrms	AV OUT端子の音声出力レベルを選ぶ。2 Vrmsにすると出力レベルが6 dB上がる。	178
	Headphone音量	切、1 ~ 15 (8)	ヘッドホンのボリュームを調整する。	112
	Speaker音量* ³	切、1 ~ 15 (8)	スピーカーの音量を調整する。	158

*¹カメラモードのみ。

*²メディアモードでは、画面によっては表示されないことがある。

*³メディアモードのみ。画面によっては表示されないことがある。

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	📖
3G/HD-SDI*1		ダイレクト、 互換、 切	3G/HD-SDI端子に出力する信号を選ぶ。 ダイレクト：記録信号形式と同じ信号形式。 互換：一般的な外部モニターと互換性の高い信号形式	174
3G/HD-SDI*2		入、切	入にすると、3G/HD-SDI端子に信号を出力する。	
3G-SDIマッピング		Level A、 Level B	3G/HD-SDI端子から1080/59.94P形式の信号を出力するときの、出力信号のマッピング方式を選ぶ。SMPTE ST 425-1規格のLevel AまたはLevel Bに準拠した信号が出力される。	
MON.		HD、 SD、 切	MON.端子に出力する信号を選ぶ。 HD：HD-SDI出力。 SD：SD-SDI出力。 切：MON.端子から信号を出力しない。	174
HDMI		ノーマル、 +1920x1080 59.94P	HDMI OUT端子に出力する信号を選ぶ。 「+1920x1080 59.94P」にすると、通常のHDMI出力信号に加えて、1080/59.94Pの信号も出力可能になる。	175
HD/SD Output	HDオンスクリーン表示	入、切	入にすると、HD出力に画面表示を重畳する。	176
	SDオンスクリーン表示	入、切	入にすると、SD出力に画面表示を重畳する。	
	SD Outputリサイズ	レターボックス、 スクイーズ、 サイドクロップ	HD映像（16:9）をSD出力するときの表示方式を選ぶ。 レターボックス：上下に黒い帯を追加して4:3にする。 スクイーズ：左右方向に縮小して4:3にする。 サイドクロップ：両端を切り取って4:3にする。	176
記録コマンド*1		入、切	入にして、本機と他機を3G/HD-SDI端子またはHDMI OUT端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作（START/STOPボタンの操作）と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができる。	50
HDMI Time Code		入、切	入にすると、HDMI OUT端子にタイムコードを重畳する。	104
GENLOCK/SYNC OUT*1		Genlock、 SYNC Output	GENLOCK/SYNC OUT端子の機能を選ぶ。GenlockにするとGENLOCK端子として、SYNC OutにするとSYNC OUT端子として動作する。	101
SYNCスキャンモード*1		P、 PsF	SYNC OUT端子から出力する同期信号の走査方式を選ぶ。 00:00 TC/UB設定メニュー ▶ 「Time Code」 ▶ 「XF互換同期」が「切」のときのみ選択可能。	103

*1カメラモードのみ。

*2メディアモードのみ。画面によっては表示されないことがある。

OLED/VF設定メニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	
OLED設定	明るさ	-99 ~ 99(±0)	有機ELモニターの画面の明るさを調整する。	33
	コントラスト	-99 ~ 99(±0)	有機ELモニターの画面のコントラストを調整する。	
	カラー	-20 ~ 20(±0)	有機ELモニターの画面のカラーを調整する。	
	シャープネス	1 ~ 4(2)	有機ELモニターの画面のシャープネスを調整する。	
	輝度アップ	入、切	入にすると、有機ELモニターの画面の輝度を上げる。	
	カラーバランス			
	R-B連動調整	-25 ~ 25(±0)	レッド (R)とブルー (B)を連動させて、有機ELモニターのカラーバランスを調整する。	
	R微調整	-25 ~ 25(±0)	有機ELモニターのレッド (R)を微調整する。	
	B微調整	-25 ~ 25(±0)	有機ELモニターのブルー (B)を微調整する。	
VF設定	明るさ	-99 ~ 99(±0)	ファインダーの明るさを調整する。	
	コントラスト	-99 ~ 99(±0)	ファインダーのコントラストを調整する。	
	カラー	-20 ~ 20(±0)	ファインダーのカラーを調整する。	
	シャープネス	1 ~ 4(2)	ファインダーのシャープネスを調整する。	
	バックライト	ノーマル、明るい	ファインダーのバックライトの明るさを選ぶ。	
OLED対面ミラー		入、切	入にすると、有機ELモニターの映像が左右に反転する	33
OLED/VFモノクロ		入、切	入にすると、有機ELモニターとファインダーの画面がモノクロ表示になる。	34
OLED/VF同時点灯		入、切	入にすると、有機ELモニターとファインダーを同時に使用できる。	33
Audio Level *2		入、切	入にすると、オーディオレベルメーターを表示する。	-
メタデータ表示 *2	日付/時刻	入、切	入にすると、MXFクリップの再生中に日付/時刻を、MP4クリップの再生中に日付を表示する。	157
	カメラデータ	入、切	入にすると、MXFクリップの再生中にカメラデータ (シャッタースピード、F値、ISO感度/ゲイン)を表示する。	
Peaking*1	設定	入、切	入にすると、「選択」で選んだピーキングが表示される。	89
	選択	Peaking 1、Peaking 2	表示するピーキングの種類を選ぶ。	
	Peaking 1			
	カラー	ホワイト、レッド、イエロー、ブルー	ピーキング1の色を選ぶ。	
	Gain	切、1 ~ 15(8)	ピーキング1のゲインを選ぶ。	
	周波数	1 ~ 4(2)	ピーキング1の周波数を選ぶ。	

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	📖
Peaking* ¹	Peaking 2			89
	カラー	ホワイト、レッド、イエロー、ブルー	ピーキング2の色を選ぶ。	
	Gain	切、1 ~ 15(15)	ピーキング2のゲインを選ぶ。	
	周波数	1 ~ 4(1)	ピーキング2の周波数を選ぶ。	
Zebra* ¹	設定	入、切	入にすると、「選択」で選んだゼブラパターンが表示される。	96
	選択	Zebra 1 、 Zebra 2、 Zebra 1&2	表示するゼブラパターンの種類を選ぶ。 Zebra 1： 設定した輝度レベル±5%の領域にゼブラパターンを表示する。 Zebra 2： 設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターンを表示する。 Zebra 1&2：ゼブラパターン1と2を同時に表示する。	
	Zebra 1 Level	70 ±5% 、75 ±5%、 80 ±5%、85 ±5%、 90 ±5%、95 ±5%	ゼブラパターン1の輝度レベルを6段階から選ぶ。	
	Zebra 2 Level	70%、75%、80%、 85%、90%、95%、 100%	ゼブラパターン2の輝度レベルを7段階から選ぶ。	
	HD Output	入、切	入にすると、ゼブラパターンがHD/SD SDI端子、HDMI OUT端子、SYNC OUT端子に出力される。	
マーカー* ¹	表示	入、切	すべてのマーカーの表示を入/切する。	94
	センター	ブラック、 グレー、切	センターマーカーの色を選ぶ。切にするとセンターマーカーは表示されない。	
	水平	ブラック、 グレー、切	センターマーカーの色を選ぶ。切にするとセンターマーカーは表示されない。	
	グリッド	ブラック、 グレー、切	グリッドの色を選ぶ。切にするとグリッドは表示されない。	
	セーフティゾーン	ブラック、 グレー、切	セーフティゾーンの色を選ぶ。切にするとセーフティゾーンは表示されない。	
	セーフティゾーンエリア	80%、90%、 92.5%、 95%	セーフティゾーンのエリアを選ぶ。	
	アスペクトマーカー	ブラック、 グレー、切	アスペクトマーカーの色を選ぶ。切にするとアスペクトマーカーは表示されない。	
	アスペクト比	4:3、13:9、14:9、 1.66:1、1.75:1、 1.85:1、 2.35:1	アスペクトマーカーのアスペクト比を選ぶ。	

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	
Custom Display 1*1	Zoom位置	常時 入、 ノーマル、 切	ズーム位置の表示のしかたを選ぶ。 常時 入： 常に表示する。 ノーマル：操作時のみ表示する。	52
	測光方式	入、切	入にすると、測光方式がバックライトまたはスポットライトのときに、それぞれ  または  アイコンを表示する。	
	Custom Picture	入、切	入にすると、  (カスタムピクチャー) アイコンを表示する。	
	ND Filter	入、切	入にすると、ND  、ND  または ND  を表示する。	
	Focus Mode	入、切	入にすると、  などのフォーカスモードアイコンを表示する。	
	被写体距離	常時 入、 ノーマル、 切	被写体距離の表示のしかたを選ぶ。 常時 入： 常に表示する。 ノーマル：操作時のみ表示する。	
	Full Auto	入、切	入にすると、 Full Auto (フルオート) を表示する。	
	Infrared	入、切	入にすると、Infrared  または Infrared  OFF を表示する。	
	White Balance	入、切	入にすると、ホワイトバランスの設定を表示する。	
	Exposure	入、切	入にすると、露出バーを表示する。	
	Iris	入、切	入にすると、アイリスの設定 (F値) を表示する。	
	Gain	入、切	入にすると、ゲインの設定を表示する。	
	Shutter	入、切	入にすると、シャッタースピードの設定を表示する。	
	コンバージョン レンズ	入、切	入にすると TL または WD を表示する。	
	デジタルテレコン	入、切	入にすると、 1.5x 3.0x 6.0x (倍率) アイコンを表示する。	
	Peaking	入、切	入にすると、 PEAK1 / PEAK2 (ピーキング) アイコンを表示する。	
	Magnification	入、切	入にすると、 MAGN (拡大表示) アイコンを表示する。	
OIS機能	入、切	入にすると  /  /  (手ブレ補正) アイコンを表示する。		
Custom Display 2*1	バッテリー残量	警告、 ノーマル、 切	バッテリー残量の表示のしかたを選ぶ。 警告： 警告時のみ表示する。 ノーマル：常に表示する。	52
	記録可能時間	警告、 ノーマル、 切	残りの記録可能時間を表示する。 警告： 警告時のみ表示する。 ノーマル：常に表示する。	
	記録モード	入、切	入にすると、撮影状態 (記録モード) を表示する。	
	Genlock	入、切	入にすると、 Gen (ゲンロック) アイコンを表示する。	
	Time Code	入、切	入にすると、タイムコードを表示する。	
	インターバルカ ウンター	入、切	入にすると、インターバル記録のカウントダウン表示を行う。	


設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	📖
Custom Display 2*1	静止画記録可能枚数	警告、 ノーマル、 切	SDカードの状態表示のしかたを選ぶ。 警告： 警告時のみ表示する。 ノーマル： 常に表示する。	
	温度/ファン	入、切	入にすると、内部温度が高くなったときに🔥(高温警告)アイコンを表示する。また、👉その他機能メニュー→「ファン」が「Automatic」の場合、冷却ファンの回転中に🌀(ファン)アイコンを表示する。	
	動画形式	入、切	入にすると、📺 / 📺 (動画形式)アイコンを表示する。	
	ビットレート/解像度	入、切	入にすると、ビットレートと解像度を表示する。	
	フレームレート	入、切	入にすると、フレームレートを表示する。	
	表示文字記録	入、切	入にすると、📄 (表示文字記録)アイコンを表示する。	
	ワイヤレスコントローラー	入、切	入にした場合、👉その他機能メニューの「ワイヤレスコントローラー」を「切」に設定して、リモコン(付属)から操作すると、📶 (ワイヤレスコントローラー)アイコンを表示する。	
	Output Display	入、切	入にすると、映像を出力する端子に画面表示を重畳することを示す📺 (画面表示出力)アイコンを表示する。	
	記録コマンド	入、切	入にすると、記録コマンド状態を表示する。	
	User Memo	入、切	入にすると、📄 (ユーザーメモ)アイコンを表示する。	
	User Bit	入、切	入にすると、ユーザービットを表示する。	
	モニターChannels	入、切	入にすると音声出力チャンネルを表示する。	
	Audio Level	入、切	入にすると、オーディオレベルメーターと🔊 (オーディオリミッター)アイコンを表示する。	
	4-Channel Input	入、切	入にすると、📺 (音声4ch入力)アイコンを表示する。	
	ネットワーク機能	入、切	入にすると、📶 / 📶 / 📶 (ネットワーク接続)アイコンや、📶 / 📶 (ネットワーク機能)を表示する。	
	GPS	入、切	入にすると、📶 (GPS)アイコンを表示する。	
日付/時刻	日付/時刻、 時刻、日付、切	日時の表示のしかたを選ぶ。		

*1 カメラモードのみ。

*2 メディアモードのみ。画面によっては表示されないことがある。

00:00 TC/UB設定メニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	
Time Code	モード	Preset、 Regen.	タイムコードのカウントアップ方式を選ぶ。 Preset：「設定」で設定した任意のタイムコードから歩進する。 Regen.：メディアに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。	97
	Run	Rec Run、 Free Run	モードがPresetのときに歩進方法を選ぶ。 Rec Run：記録時に歩進する。 Free Run：記録に関係なく常に歩進する。	
	DF/NDF	DF、 NDF	ドロップフレーム (DF) またはノンドロップフレーム (NDF) を切り換える。なお、フレームレートが23.98PのときはNDFに固定される。	98
	設定	セット、リセット	タイムコードの初期値を設定する。	97
	TC In/Out	In、 Out	TIME CODE端子の入力 (In) と出力 (Out) を切り換える。	102
	XF互換同期	入、 切	外部機器と同期するときの、タイムコード入出力、リファレンスビデオ信号出力 (Sync Out)、Genlockの動作モードを選ぶ。 入：XFシリーズ互換モード。記録信号形式が23.98Pの場合、タイムコードは30フレーム信号を入出力し、Genlockは29.97 Hzまたは59.94 Hzの信号に同期可能となる。リファレンスビデオ信号は59.94i (59.94P) で出力する。この設定はXF105またはXF305と同期するとき使用する。 切：標準モード。記録信号形式が23.98Pの場合、タイムコードは24フレーム信号を入出力し、Genlockは23.98 Hzの信号に同期可能*となる。リファレンスビデオ信号は3G/HD-SDI端子の出力と同じ周波数の信号を出力する。XF205またはCINEMA EOS SYSTEMのカメラと同期するとき使用する。 *  ビデオ設定メニュー > 「3G/HD-SDI」が「ダイレクト」のときのみ。	101
User Bit	記録モード	Internal、 External	記録するユーザービットを選ぶ。 Internal：本機で設定したユーザービット。 External：外部入力したユーザービット。	102
	Outputモード	固定値、 プルダウン	出力するユーザービットを選ぶ。 固定値：設定したユーザービット。 プルダウン：2:3プルダウン情報。	104
	タイプ	設定、 時刻、 日付	ユーザービットを設定する。 設定：8桁の16進数を任意に入力する。 時刻：ユーザービットに時間を設定する。 日付：ユーザービットに日付を設定する。	100

👉 その他機能メニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	📖
リセット	全設定	Cancel、OK	アワーマーターを除く本機の設定を初期状態に戻す。	—
	カメラ設定*1	Cancel、OK	ホワイトバランス、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、カメラ設定メニュー、カスタムピクチャーの各設定を初期状態に戻す。	—
	アサインボタン*3	Cancel、OK	アサインボタンの機能割り当て設定を初期状態に戻す。	138
メニュー/CP設定 保存	SDへ保存	メニュー、 メニュー+CP	メニュー： メニュー設定のみをSDカードに保存する。 メニュー+CP： メニュー設定とカスタムピクチャーファイル（本機に保存されている9セット）をSDカードに保存する。	152
	SDから読み出し	メニュー、 メニュー+CP	メニュー： メニュー設定のみをSDカードから本機に読み込む。 メニュー+CP： メニュー設定とカスタムピクチャーファイル（本機に保存されている9セット）をSDカードから本機に読み込む。	
タイムゾーン		UTC -12:00 ～+14:00 (UTC+09:00)	タイムゾーンを設定する。	—
日時設定	日付/時刻	日付・時間	日付と時間を設定する。	26
	日時スタイル	YMD、YMD/24H、 MDY、MDY/24H、 DMY、DMY/24H	日時の表示のしかたを選ぶ。	
WFM (OLED)*3	設定	WFM、 VS、 Edge Mon.*1、 切	映像信号を確認するモニターの表示を選ぶ。 WFM： 波形モニターを表示する。 VS： ベクトルコープを表示する。 Edge Mon.： エッジモニターを表示する。	114
	Waveform Monitor タイプ	ライン、 ライン+スポット、 フィールド、RGB、 YPbPr	波形モニターのタイプを選ぶ。	
	Gain	1x、2x	波形モニターの波形のゲインを選ぶ。	
	Vectorscope タイプ	スポット、ノーマル	ベクトルスコープのタイプを選ぶ。	115
Gain	1x、5x	ベクトルスコープのゲインを選ぶ。		

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	
WFM (OLED)* ³	Edge Monitor* ¹ タイプ	タイプ 1、 タイプ 2	エッジモニターのタイプを選ぶ。 タイプ 1：水平方向の全体のエッジ成分とスポット (3箇所)のエッジ成分を重ねて、水平方向の位置を合わせて表示する。 タイプ 2：波形モニターとエッジモニターを同時に画面右下に表示する。	115
	Gain	切、1～15(12)	エッジモニターの波形のゲインを選ぶ。	
言語 (🗨)		日本語、English	表示されるメニューやメッセージなどの言語を選ぶ。	—
REMOTE端子		RC-V100、 Standard	RC-V100：リモートコントローラー RC-V100(別売)を接続するときを選ぶ。 Standard：RC-V100以外のリモコン (市販)を接続するときを選ぶ。	46
ワイヤレスコントローラー		入、切	入にすると、リモコン (付属)が有効になる。	45
アサインボタン* ³	1	PEAKING	(未設定)、Img Stab.、POWERED IS、Focusリミット、顔検出AF、バックライト、スポットライト、デジタルZoom、デジタルテレコン、ワイド画角、Gainモード、Shutterモード、Shutterステップ、WBモード、PEAKING、ZEBRA、WFM、MAGN.、TL-H58、WA-H58、カラーバー、IRモノクロ表示、IRライト、マーカー、OLED設定、VF設定、OLED/VFモノクロ、オンスクリーン表示、MP4 Start/Stop*、MP4 FTP転送、Shot Mark 1追加、Shot Mark 2追加、 <input checked="" type="checkbox"/> Mark追加、 <input checked="" type="checkbox"/> Mark追加、Time Code、Time Codeホールド、HEADPHONE +、HEADPHONE -、モニター Channels、Audio Level、ワイヤレスコントローラー、Photo、Status、マイメニュー、Media初期化、ユーザー設定 * 1～4だけに割り当て可能。	138
	2	ZEBRA		
	3	POWERED IS		
	4	MAGN.		
	5	(未設定)		
	6	(未設定)		
	7	(未設定)		
	8	(未設定)		
	9	(未設定)		
	10	(未設定)		
	11	HEADPHONE +		
	12	HEADPHONE -		
	13	WFM		
タリーランプ* ¹	前部	入、切	入にすると、撮影中に前部タリーランプが点灯する。	48
	後部	入、切	入にすると、撮影中に後部タリーランプが点灯する。	
POWER LED		入、切	入にすると、本機の起動中に電源ランプが点灯する。	25
MediaアクセスLED		入、切	入にすると、CFカード / SDカードにアクセスしたときに、CFカードアクセスランプ / SDカードアクセスランプが点灯する。	40、 41
		入、切	入にすると、有線LANによるネットワーク接続が完了したときに点灯する。	195

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	📖
ファン*1		入、 Automatic	冷却ファンの動作のしかたを選ぶ。 入： 常に低速で回転する（パワーセーブモード時は停止）。 Automatic： 撮影一時停止中（パワーセーブモードを含む）には高速で回転し、撮影中（画面に●RECが表示中）は自動的に停止する。ただし、撮影中でも、内部温度が上昇（🔴（赤色）が出る）すると、自動的に高速で回転する（画面に🔴FANが出る）。内部温度が十分下がると、再び停止する。	55
Genlock調整*1		-1023 ~ 1023 (000)	ゲンロックのH位相を、位相差0を中心として約±0.4Hの範囲で調整する。	101
動画形式*1		MXF(CF)、 MXF(CF)+MP4 (SD)、 MP4 (SD)	動画形式を選ぶ。 MXF(CF)： MXF形式 MXF(CF)+MP4 (SD)： MXF形式とMP4形式 MP4 (SD)： MP4形式	56、 131
MXF*1	ビットレート/解像度	50 Mbps 1920x1080、 50 Mbps 1280x720、 35 Mbps 1920x1080、 35 Mbps 1440x1080、 35 Mbps 1280x720、 25 Mbps 1440x1080	ビットレートと解像度を選ぶ。	56
	フレームレート	59.94i、59.94P、 29.97P、23.98P	フレームレートを選ぶ。「ビットレート/解像度」の設定によって選択できるフレームレートが異なる。	
	リレー記録	入、切	リレー記録の入/切を切り換える。	43
	ダブルスロット記録	入、切	ダブルスロット記録の入/切を切り換える。	
クリップ				
	タイトル設定	AA ~ ZZ、 00 ~ 99	記録したMXFクリップに付けられるクリップ名を構成する上2桁の英字（大文字）または数字を設定する。	50
	番号設定	セット、 リセット	記録したMXFクリップに付けられるクリップ名を構成する下4桁の数字を設定する。 セット： 設定した数字を初期値に設定する。 リセット： 0001にリセットする。	
	📁 ファイル付加	入、切	入にすると、MXFクリップと一緒にカスタムピクチャーファイルが保存される。	145

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	
MXF*1	メタデータ設定*1 設定	リモート、 SDカード	メタデータの設定方法を選ぶ。 リモート：ブラウザーリモートから設定する。 SDカード：XF Utilityを使って設定し、SDカードに保存したメタデータ（ユーザーメモ）を使用する。	118
	User Memo	切、 ファイル選択	SDカードに記録されているユーザーメモファイルを選ぶ。 切にすると、ユーザーメモは記録されない。	
	国コード	4文字の文字列	国コードとして、ISO-3166-1で定義している短縮文字を左詰めで入力する。 使用可能文字：A～Z、0～9、+、-、:、スペース	
	組織	4文字の文字列	各組織で運用する組織コード*を入力する。 * 組織コードは、SMPTE登録局に申請後、取得して初めて使用できるものです。取得していないときは「0000」を入力してください。 使用可能文字：A～Z、0～9、+、-、:、スペース	
	ユーザーコード	4文字の文字列	ユーザーの識別用のコードを入力する*。 * 運用の方法は、ユーザーに任されていますが、組織コードに「0000」を入力したときは、入力しないでください。 使用可能文字：A～Z、0～9、+、-、:、スペース	
MP4*1	ビットレート/解像度 (MP4モードのとき)	35 Mbps 1920x1080、 24 Mbps 1920x1080 、 17 Mbps 1280x720、 9 Mbps 1280x720	ビットレートと解像度を選ぶ。	56
	ビットレート/解像度 (MXF+MP4モードのとき)	MXF連動、 3 Mbps 640x360	MXFクリップと同時に記録するMP4クリップの、ビットレートと解像度を選ぶ。MXFクリップのビットレート/解像度に応じて自動的に決定する（MXF連動）か、3 Mbps 640x360で記録するかを選択できる。	131
	フレームレート	29.97P 、 23.98P	ビットレートが24 Mbpsまたは9 Mbpsのときのフレームレートを選ぶ。その他のビットレートのときは、59.94Piに固定され、選択できない。	57
	記録操作	START/STOPボタン 、 アサインボタン	「動画形式」が「MXF(CF)+MP4 SD 」のときの、MP4動画の記録操作を選ぶ。 START/STOPボタン：MXF動画と同時に記録する。 アサインボタン：「MP4 Start/Stop」を割り当てたアサインボタンまたはメニューで操作する。	131
	Start/Stop	Start、 Stop	MP4動画の記録開始（Start）、停止（Stop）を操作する。「記録操作」が「アサインボタン」のときに使用可能。	

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	📖
特殊記録* ¹		インターバル記録*、 フレーム記録*、 プレ記録、 Slow & Fastモーション、 切	特殊記録モードを選ぶ。 * MXFモード時のみ。	
インターバル記録* ¹	インターバル	1 ~ 10、15、20、30、 40、50 sec、1 ~ 10 min	インターバル記録の記録時間間隔を選ぶ。	125
	記録フレーム	59.94i、29.97P、 23.98P時： 1、3、6、9 59.94P時： 2、6、12	インターバル記録の記録フレーム数を選ぶ。	
フレーム記録* ¹	記録フレーム	59.94i、29.97P、 23.98P時： 1、3、6、9 59.94P時： 2、6、12	フレーム記録の記録フレーム数を選ぶ。	126
Slow & Fastモーション* ¹	S&Fフレームレート	MXFモード： 解像度1080時： 12、15、18、20、 21、22、24、25、 26、27、28、 30 解像度720時： 12、15、18、20、 21、22、24、25、 26、27、28、30、 32、34、36、40、 44、48、54、 60 MP4モード： 24、30、60	スロー & ファーストモーション記録の撮影フレームレートを選ぶ。MXF形式のときは解像度によって、MP4形式のときは記録信号形式のフレームレートによって、それぞれ選択できる撮影フレームレートが異なる。	128
クリップ (静止画) * ²	消去	選択、 すべて	現在選択している記録メディアのクリップ/静止画を消去する。選択したクリップ/静止画、またはすべてのクリップ/静止画をまとめて消去可能。	165、 222
	コピー	選択、 📌 Mark、 すべて	現在選択しているCFカードのMXFクリップを、もう一方のCFカードにコピーする。選択したクリップまたはすべてのクリップをまとめてコピー可能。	164
	FTP転送	選択、 すべて	現在選択している記録メディアのクリップ/静止画をFTPで転送する。選択したクリップ/静止画、またはすべてのクリップ/静止画をまとめて転送可能。	209

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	
レックレビュー*1		クリップ先頭から、 最終4 sec	レックレビューで再生する範囲を選ぶ。 クリップ先頭から： クリップの先頭からすべて。 最終4 sec： クリップの最後の4秒間のみ。	123
最終クリップ消去*1		Cancel、 OK	実行を選び、SETを押すと、最後に記録したクリップを消去する。	—
ファイル番号*3		オートリセット、 通し番号	静止画番号の付けかたを選ぶ。 オートリセット： オートリセット。ファイル番号は100-0001またはSDカード内に記録されているMP4動画または静止画の続きの番号になる。 通し番号： ファイル番号は最後に記録したMP4動画または静止画の続きの番号になる。	124
☒ Marks全消去*2		Cancel、 OK	実行を選びSETを押すと、現在選択しているCFカードのMXFクリップに付加されている☒マークをすべて消去する。	163
Custom Function*1	ショックレス Gain	ハイ、ノーマル、 ロー、切	ゲインスイッチでゲインを切り換えたときの、ゲイン変化の速さを設定する。	65
	ショックレスWB	入、切	入にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値をなめらかに変化させる。	74
	AEレスポンス	ハイ、ノーマル、 ロー	絞りを自動調整するときのAEの応答性を選ぶ	69
	Irisリミット	入、切	入にすると、絞り（設定可能F値）の最大値をF8.0に制限する。	72
	I. Ring方向	リバース、 ノーマル	アイリスリングの操作方向を設定する。	70
	F. Ring方向	リバース、 ノーマル	フォーカスリングの操作方向を設定する。	88
	Z. Ring方向	リバース、 ノーマル	ズームリングの操作方向を設定する。	81
	F. Ring操作	ハイ、ノーマル、 ロー	フォーカスリングの感度を設定する。	88
	Z. Ring操作	ハイ、ノーマル、 ロー	ズームリングの感度を設定する。	81
	フォーカスアシストB&W	両方、 Magnify、 Peaking、 切	フォーカスアシスト機能（ピーキング、拡大表示）を使うときに、画面を自動的にモノクロにするかどうかを設定する。 記録される映像や外部出力には影響しない。 Magnify：拡大表示を使用時に画面をモノクロにする。 Peaking：ピーキングを使用時に画面をモノクロにする。 両方： 拡大表示またはピーキングを使用時に画面をモノクロにする。	89

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	📖
Custom Function*1	被写体距離単位	Meters、 Feet	マニュアルフォーカス時に表示する被写体距離の単位を選ぶ。	89
	Zoom表示	バー、 ナンバー	ズーム位置表示のしかたを選ぶ。 バー：ズームバーと指標で表示。 ナンバー：0～99*の数値で表示。 * カメラ設定メニュー>「コンバージョンレンズ」が「WA-H58」のときは0から81、デジタルズームのときは0～149の数値。	80
	スキャンリバース記録	両方、垂直、水平、 切	映像を反転させて記録する。反転のしかたは、両方（上下左右反転）、垂直（上下反転）、水平（左右反転）の3種類から選べる。	33
	表示文字記録	入 MXF、 切	入 MXF にすると、画面上に表示している文字やアイコンなどを映像に重ねて記録する（MXF動画のみ）。	—
アワーメーターリセット		Cancel、 OK	ビデオカメラ本体の使用時間として、購入時からの使用時間と、最後にこの設定でリセットしたときからの使用時間とがある。アワーメーターリセットでは、最後にリセットしたときからの使用時間をリセットする。	250
ネットワーク機能*1		FTP転送、 ブラウザーリモート、 リアルタイムプロキシ転送、 IPストリーミング、 切	使用するネットワーク機能を選ぶ。機能を選ぶとネットワークに接続する。 FTP転送： 撮影した動画／静止画をFTPサーバーに転送する。 ブラウザーリモート： ネットワーク機器からリモート撮影する。 リアルタイムプロキシ転送： プロキシ映像をモバイル機器でリアルタイムに記録する。 IPストリーミング： 本機の映像と音声をストリーミング送信する。	199、 205、 208、 211
ブラウザープレビュー*2			ブラウザープレビューが有効になり、ネットワークに接続する。	214
ネットワーク設定	接続設定			
	新規設定		ネットワークの接続設定を行う。設定は5つまで保存可能。	186
	選択	No. 1～No. 5	あらかじめ保存したネットワークの接続設定（No.1～No.5）から、使用する設定を選ぶ。	195
	編集	設定、 名称変更	現在選んでいるネットワークの接続設定を変更する。 設定：選択している接続設定に応じて、SSID、認証方式、IPアドレスなどのネットワーク設定を行う。 名称変更：ネットワークの接続設定の名前を変更する。	196

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	
ネットワーク設定	ブラウザ用設定 カメラ設定		カメラ設定を変更する。 Port No. : ネットワークに接続した機器のWebブラウザから本機に接続するとき使用するポート番号を設定する。 Camera ID : ビデオカメラ固有の文字列を設定する。	198
	ユーザー設定	1名(Full Control)、 2名(Camera/Meta)	ログインできるユーザーを選択し、選択したユーザーのユーザー名とパスワードをそれぞれ設定する。設定した情報は、ブラウザリモートで、ネットワーク機器のWebブラウザから本機にアクセスするときに入力する。 1名(Full Control) : 全画面の操作ができるFull Controlユーザーのみログイン可能。 2名(Camera/Meta) : Camera ControlユーザーとMeta Controlユーザーのみログイン可能。Camera Controlユーザーは撮影時のカメラ設定を行う詳細操作画面のみ、Meta Controlユーザーはメタデータ入力画面のみ操作できる。	
FTP転送設定	FTPサーバー設定		FTPサーバー名、ユーザー名、パスワード、転送先フォルダー、ポートNo.、通信モードを設定する。	207
	日付フォルダー生成	入、切	入を選ぶと、FTP転送を行ったときにFTPサーバーに日付フォルダーを作成する。	
	同名ファイル	スキップ、 上書き	転送先に同じ名前のファイルがあるときの動作を選ぶ。 スキップ： そのファイルを転送しない。 上書き： 同名ファイルを上書きする。	
IPストリーミング設定	ビットレート/解像度	9 Mbps 1280x720、 4 Mbps 1280x720、 1.5 Mbps 640x360	送信する映像のビットレートと解像度を選ぶ。	211
	Audio Channels	CH1/CH2、 CH3/CH4	MXF動画の4チャンネルの音声のうち、IPストリーミングの送信チャンネルを選ぶ。	
	プロトコル	UDP、RTP、 RTP+FEC	トランスポートプロトコルを選ぶ。	
	送信先設定		送信先のIPアドレスとポート番号を設定する。	
	FEC設定		FECのバケット用のポート番号、FECの値を設定する。	
GPS自動時刻設定*4		入、切	入にすると、GPSから得られる時刻情報を使って、本機の「日付/時刻」を自動的に設定する。	121

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	📖
Media初期化	CF A	Cancel、OK	CF Aスロットに入っているCFカードを初期化する。	42
	CF B	Cancel、OK	CF Bスロットに入っているCFカードを初期化する。	
	SDカード 完全初期化、 高速初期化	Cancel、OK	SD CARD(SDカード)スロットに入っているSDカードを初期化する。	
認証マーク表示			本機が対応している認証マークの一部を表示する。	—
Firmware*1		バージョン番号	ファームウェアのバージョン。	—

*1 カメラモードのみ。

*2 メディアモードのみ。画面によっては表示されないことがある。

*3 メディアモードでは、画面によっては表示されないことがある。

*4 GPSレシーバー GP-E2(別売)接続時のみ。

★ マイメニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目1 / 2	設定値	内容	📖
編集	登録	Cancel、OK	任意のメニュー項目を登録する。	29
	並べ換え	Cancel、OK	マイメニュー内で、選択したメニュー項目を並べ換える。	30
	消去	Cancel、OK	マイメニュー内の選択したメニュー項目を消去する。	
	設定初期化	Cancel、OK	マイメニュー内のすべてのメニュー項目を消去する。	


10


その他

ステータス画面を表示する.....	246	アクセサリ紹介.....	274
トラブルシューティング.....	255	主な仕様.....	275
エラーメッセージ.....	261	索引.....	281
安全上のご注意.....	266	保証書と修理対応.....	290
取り扱い上のご注意.....	268	修理について.....	291
日常のお手入れ.....	273		

ステータス画面を表示する

CAMERA MEDIA

撮影や再生に関する様々な設定内容や状態をステータス画面に表示して確認することができます。ステータス画面は、外部モニター（ 173）に出力することもできます。次にあげるステータス画面を表示することができます。なお、ステータス画面ではすべて英語で表示されます。

ステータス画面の名称	表示内容	動作モード		
		カメラ	メディア	
カメラ	ゲイン、アイリス、シャッタースピードなどの撮影設定。	●	—	247
アサインボタン	アサインボタン設定。2つの画面からなる。	●	●*1	247
オーディオ	オーディオ設定。	●	●	248
メディア	記録メディア（CFカード、SDカード）の状態。	●	●	248
ビデオ	ビデオ出力端子の設定や特殊記録の設定。	●	●	249
メタデータ	ユーザーメモの設定。2つの画面からなる。	●	—	249
バッテリー／使用時間	バッテリーの残量・寿命や本体の使用時間。	●	●	250
カスタムピクチャー *2	カスタムピクチャーの設定。3つの画面からなる。	●	—	250
ネットワーク設定	ネットワークの設定。12個の画面からなる。	●	●	251
GPS情報表示	GPSから取得した情報。GPSレシーバー GP-E2（別売）接続時のみ。	●	—	254

*1 画面によっては表示されないことがある。

*2 カスタムピクチャーファイルを選択しているときのみ。

操作のしかた

ここでは、ステータス画面の表示のしかた、確認したい画面への切り換えかた、ステータス画面の消しかたを説明します。

例：アサイン13ボタンに「Status」を割り当てて、操作する場合



1 アサイン13ボタンに「Status」を割り当てる（ 138）



2 アサイン13ボタンを押す

- ステータス画面が表示される。
- 最後にステータス画面を消したときの画面が表示される。



3 ジョイスティックを上下に押す

- 下に押すと次の画面に、上に押すと前の画面に、ステータス画面が切り換わる。



4 アサイン13ボタンを再度押す

- ステータス画面が消える。
- MENU（メニュー）ボタンを押してもステータス画面が消え、メニューが表示される。

■ カメラステータス画面 CAMERA MEDIA

ゲイン、ホワイトバランス、フォーカス、ズームなどの撮影設定を表示します。

カメラステータス画面1

1	Camera 1/2	1/26
2	Gain	L 0.0 dB M 6.0 dB H 12.0 dB
3	AGC Limit	L Off/27 dB M Off/27 dB H Off/27 dB
	White Balance	B AWB A Set PRESET Daylight Speed High Face AF Off
4	AF Mode	
5	Focus Limit	Off

- 1 ゲイン ▶▶ 65
- 2 AGCリミット ▶▶ 66
- 3 ホワイトバランス ▶▶ 74
- 4 AFモード(スピード、顔検出AF) ▶▶ 86
- 5 フォーカスリミット ▶▶ 92

カメラステータス画面2

	Camera 2/2	2/26
1	Zoom	Speed Level Normal Soft Zoom Control Off Grip Rocker Variable Constant Speed 8 Handle Rocker H 16 Handle Rocker L 8 Wireless Controller 8 High-Speed Zoom On
2	Flicker Reduction	Off

- 1 ズーム ▶▶ 80
スピードレベル
ソフトズームコントロール
グリップロッカー/固定スピード
ハンドルロッカーH/L
ワイヤレスコントローラー
ハイスピードズーム
- 2 フリッカー低減 ▶▶ 64

■ アサインボタンステータス画面 CAMERA MEDIA

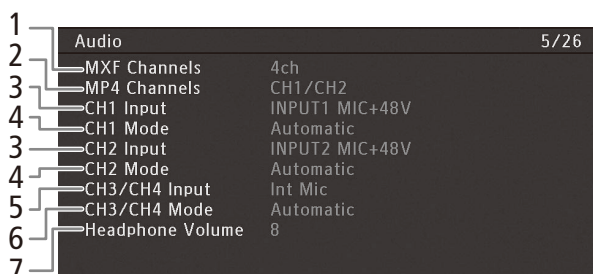
アサインボタンに割り当てられている機能の一覧を表示します。

Assignable Buttons 1/2		3/26
1	PEAKING	アサインボタン1～8 ▶▶ 138
2	ZEBRA	
3	POWERED IS	
4	MAGN.	
5	(NONE)	
6	(NONE)	
7	(NONE)	
8	(NONE)	
Assignable Buttons 2/2		4/26
9	(NONE)	アサインボタン9～13 ▶▶ 138
10	(NONE)	
11	HEADPHONE +	
12	HEADPHONE -	
13	WFM	

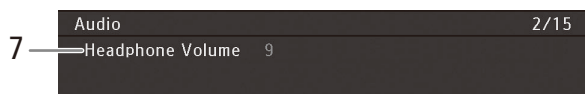
* アサインボタン5～10は、カメラモードのみ。

オーディオステータス画面 CAMERA MEDIA

音声の記録、入出力などオーディオ関係の設定内容を表示します。

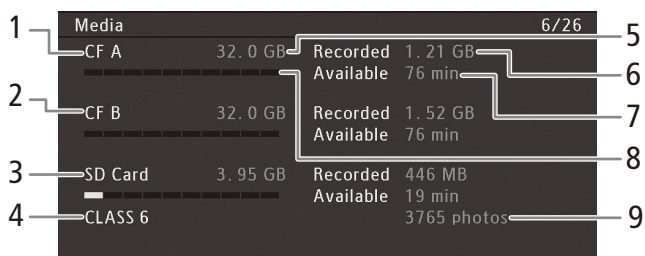


- 1 MXF記録チャンネル数 ▶ 106
- 2 MP4記録チャンネル数 ▶ 107
- 3 CH1 / CH2入力音声 ▶ 105
- 4 CH1 / CH2録音レベルモード ▶ 111
- 5 CH3/CH4入力音声 ▶ 105
- 6 CH3/CH4録音レベルモード ▶ 111
- 7 ヘッドホン音量 ▶ 112



メディアステータス画面 CAMERA MEDIA

2つのCFカードスロットとSDカードスロットの記録メディアの状態を表示します (38)。



- 1 CFカードA
- 2 CFカードB
- 3 SDカード
- 4 SDカードのスピードクラス
- 5 カードの総容量
- 6 カードの使用量
- 7 カードの記録可能時間
- 8 カードの使用量の目安
- 9 SDカードの静止画記録可能枚数

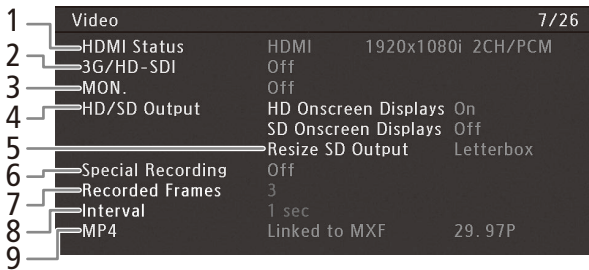


MEMO

カードによっては、CFカードまたはSDカードの総容量が、カードに記載の容量より少なく表示されることがあります。

■ ビデオステータス画面 CAMERA MEDIA

ビデオ出力端子の設定内容を表示します。特殊記録モードのときは、特殊記録のモードと設定内容についても表示します。



- 1 HDMI OUT端子の出力状態 ▶ 175
- 2 3G/HD-SDI端子 ▶ 174
- 3 MON.端子 ▶ 174
- 4 HD/SDオンスクリーン表示 ▶ 176
- 5 SD出力の表示方式 ▶ 176
- 6 特殊記録 ▶ 125
- 7 インターバル記録／フレーム記録の記録フレーム数 ▶ 125、126
- 8 インターバル記録の記録間隔 ▶ 125
- 9 MP4動画の記録信号形式 (MXF+MP4モード時) ▶ 131

■ メタデータステータス画面 CAMERA MEDIA

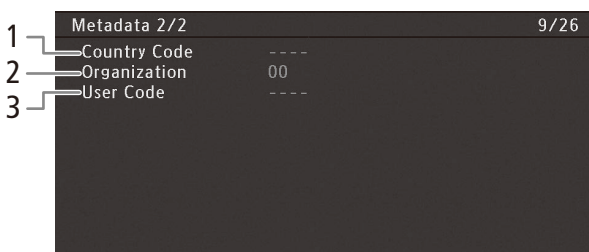
ユーザーメモ (クリップタイトル、撮影者、撮影場所、撮影内容)や国コード、組織コードなどを表示します (118)。

メタデータ1画面の表示内容



- 1 ユーザーメモファイルのファイル名
- 2 クリップのタイトル
- 3 撮影者
- 4 撮影場所
- 5 撮影内容

メタデータ2画面の表示内容

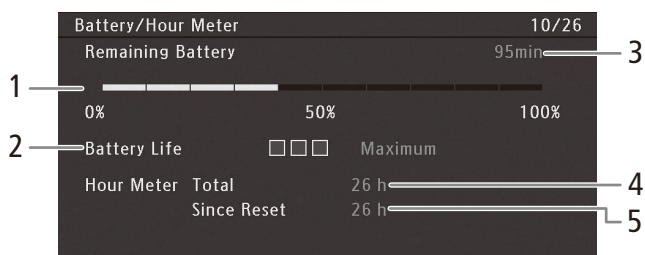


- 1 国コード ▶ 239
- 2 組織 ▶ 239
- 3 ユーザーコード ▶ 239

■ バッテリー／使用時間ステータス画面

CAMERA MEDIA

バッテリーの残量や寿命を表示します。また、本体のご購入時からの使用時間と、最後にリセットしたときからの使用時間を表示します。



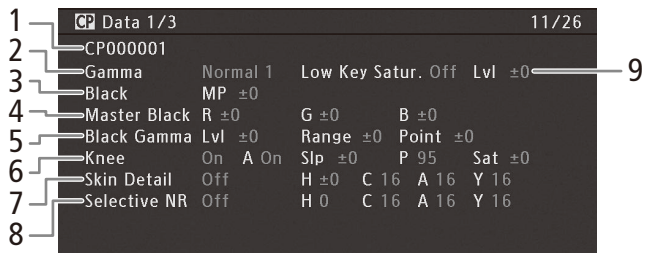
- 1 バッテリーの残量 ▶▶ 24
- 2 バッテリーの寿命
- 3 撮影可能時間 ▶▶ 279
- 4 購入時からの使用時間 ▶▶ 242
- 5 リセット後の使用時間 ▶▶ 242

■ カスタムピクチャーステータス画面

CAMERA MEDIA

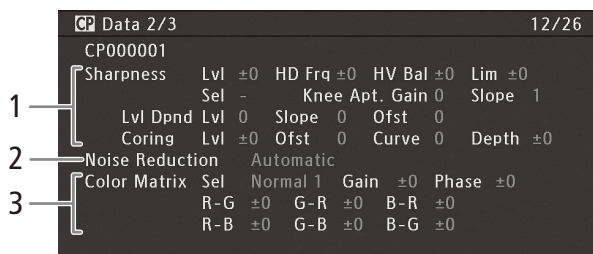
現在選択しているカスタムピクチャーファイルの設定内容を表示します。

カスタムピクチャー 1画面の表示内容



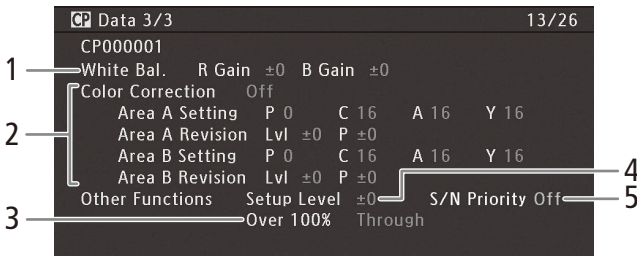
- 1 カスタムピクチャーファイル名 ▶▶ 146
- 2 ガンマ ▶▶ 146
- 3 ブラック ▶▶ 146
- 4 マスターブラック ▶▶ 146
- 5 ブラックガンマ ▶▶ 147
- 6 ニー ▶▶ 147
- 7 スキンディテール ▶▶ 149
- 8 セレクティブNR ▶▶ 149
- 9 ローキーサチュレーション ▶▶ 147

カスタムピクチャー 2画面の表示内容



- 1 シャープネス ▶▶ 148
- 2 ノイズリダクション ▶▶ 148
- 3 カラーマトリックス ▶▶ 149

カスタムピクチャー 3画面の表示内容

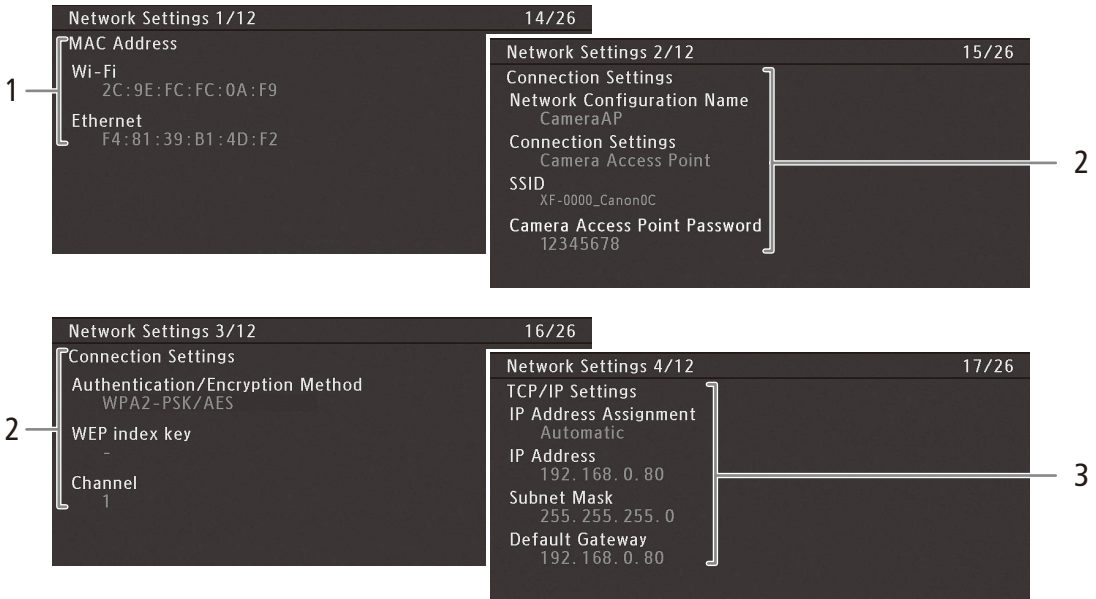


- 1 ホワイトバランス ▶▶ 149
- 2 カラーコレクション ▶▶ 150
- 3 オーバー 100% ▶▶ 150
- 4 セットアップレベル ▶▶ 150
- 5 S/N優先 ▶▶ 150

■ ネットワーク設定ステータス画面

CAMERA MEDIA

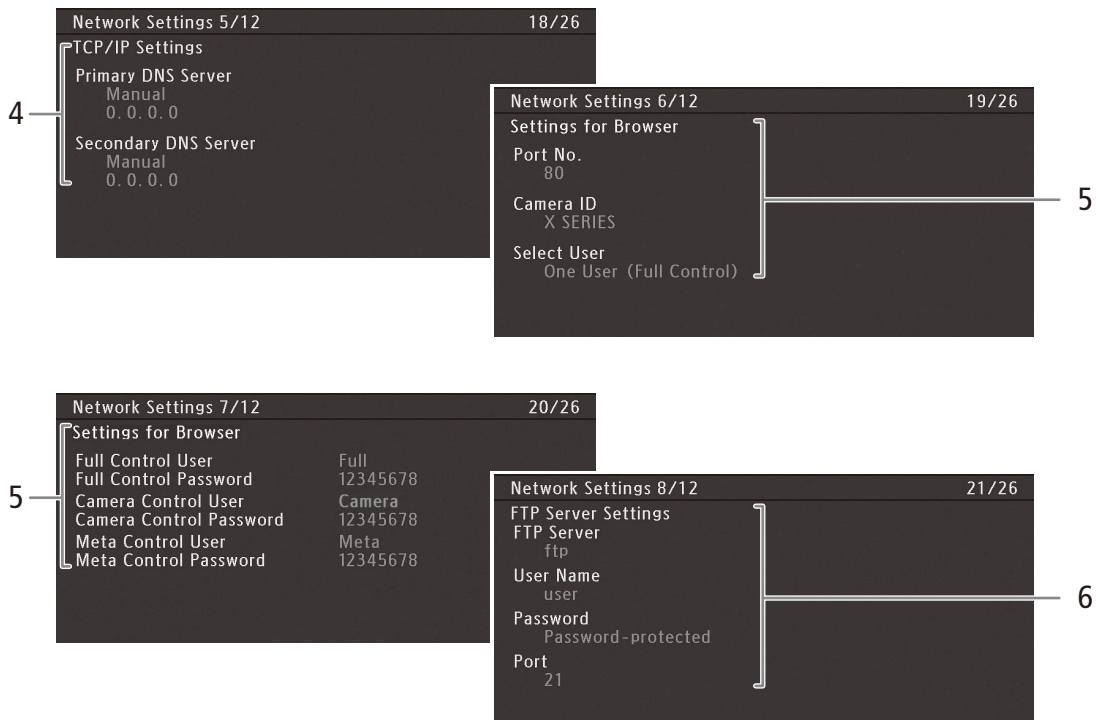
ネットワーク関係の設定内容を表示します。



- 1 MACアドレス (Wi-Fi, Ethernet)
- 2 接続設定 ▶▶ 186
 - ネットワーク設定名
 - 接続方法
 - SSID
 - カメラアクセスポイントのパスワード*
 - 認証/暗号化方式
 - カメラアクセスポイントのチャンネル

- 3 TCP/IP設定 ▶▶ 193
 - IPアドレスの取得方法
 - IPアドレス
 - サブネットマスク
 - デフォルトゲートウェイ

* 初期設定のみ内容が表示される。



4 TCP/IP設定

優先DNSサーバー（設定方法、IPアドレス）
代替DNSサーバー（設定方法、IPアドレス）

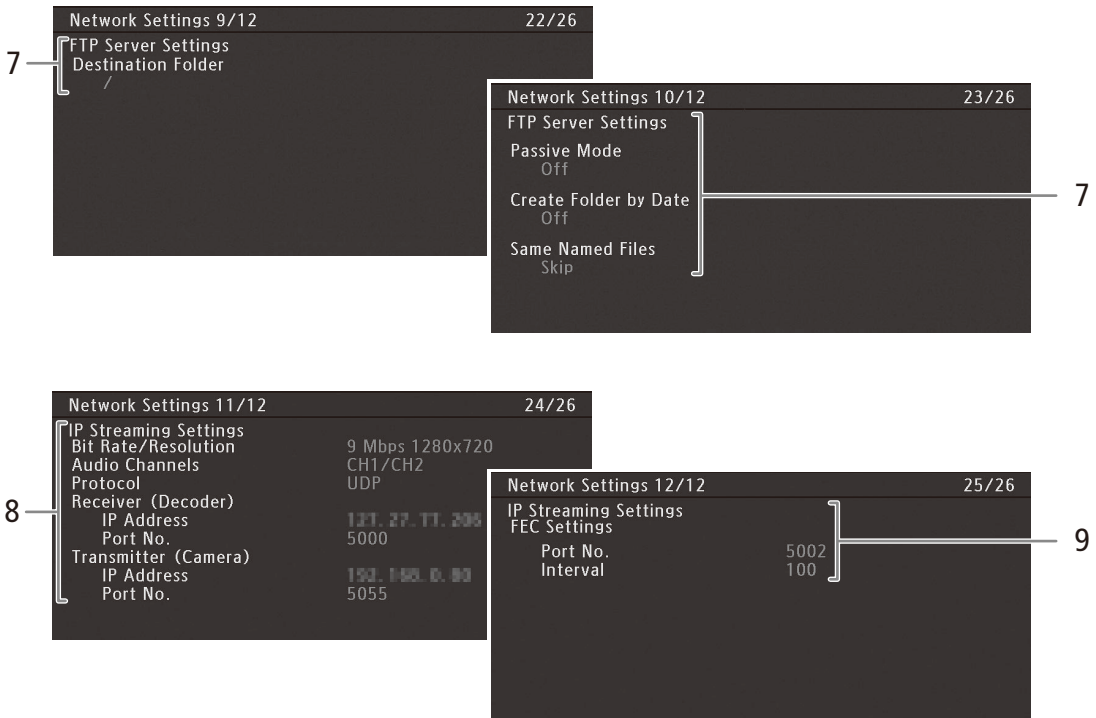
5 ブラウザー用設定 ▶ 198

ポート番号
カメラID
Full Controlのユーザー名とパスワード*
Camera Controlのユーザー名とパスワード*
Meta Controlのユーザー名とパスワード*

* 初期設定のみ内容が表示される。

6 FTP転送設定 ▶ 207

FTPサーバー名
ユーザー名
パスワード設定の有無
ポート



7 FTP転送設定 ▶ 207

- 転送先フォルダー
- パッシブモード
- 日付フォルダー生成
- 同名ファイル

8 IPストリーミング設定 ▶ 195

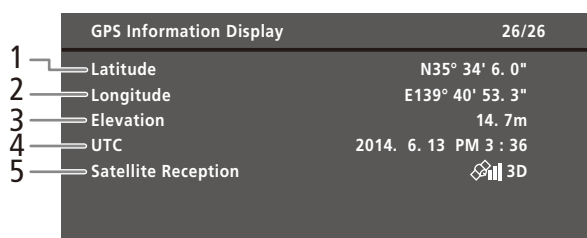
- ビットレート/解像度
- オーディオチャンネル
- プロトコル
- 送信先設定 (IPアドレス、ポート番号)
- カメラ設定 (IPアドレス、ポート番号)

9 FEC (エラー訂正) 設定

■ GPS情報表示ステータス画面

CAMERA MEDIA

GPSレシーバー GP-E2(別売)を接続しているときは、GPSから取得した位置情報などを表示することができます (121)。



- 1 経度
- 2 緯度
- 3 標高
- 4 UTC(協定世界時)
- 5 衛星捕捉状態、信号強度

トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、カメラ修理受付センター (☎ 291)にご相談ください。

■ 電源

こんなときは	どうするの？	☎
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。 	22
起動直後に電源が自動的に切れる	● 本機で使用できないバッテリー／電源カブラーを取り付けた。本機に対応するバッテリーに交換する。	274
バッテリーが充電できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーの温度が0℃未満になったかまたは40℃を超えている。0℃未満のときはバッテリーを温めてから、40℃を超えたときは放置して40℃以下になってから、充電を開始する。 ● 周囲の温度が0℃～40℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 	22
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	● バッテリーの寿命の可能性がある。バッテリーステータス画面でバッテリーの寿命を確認し、寿命がないときは、新しいバッテリーを購入する。	250



■ 撮影中

こんなときは	どうするの？	☎
START/STOPボタンを押しても録画しない。	● ハンドルのSTART/STOPボタンのロックレバーが🔒側になっている。ロックを解除する。	49
START/STOPボタンを押した時点と、記録されたクリップの始めと終わりの時点が異なる。	● START/STOPボタンを押してから、録画の開始／終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—
ピントが合わない。	<ul style="list-style-type: none"> ● オートフォーカスでフォーカスを調整するとき、被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ● ファインダーの視度が合っていない。視度調整レバーで画面がはっきり見えるように調整する。 ● レンズやハイスピードAF用外部センサーが汚れているのでお手入れする。 	88 32 273
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
動画の「● REC」／「STBY」または「● MP4」／「MP4」の切り換えに時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。別のメモリーカードと入れ換えるか、クリップをバックアップしてメモリーカードを初期化する。	38 179 42
動画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。メモリーカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、メモリーカードを初期化する。	179 42
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使い続けると熱くなることもあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	291

再生中

こんなときは	どうするの？	📖
MXFクリップの消去ができない。	● OKマークが付加されたMXFクリップは、本機では消去できない。OKマークを消去してからクリップを消去する。	163
クリップの消去に時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。クリップをバックアップしてメモリーカードを初期化する。	179 42
MP4クリップ／静止画が消せない。	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。 ● 他機でプロテクトされた静止画は、本機では消去できない。	41 —
クリップをコピーできない。	● コピー先となるCFカードの空き容量が足りないか、または記録可能なMXFクリップ数(999個)を超えた。CFカードの不要なクリップを消すか、別のCFカードと入れ換える。	165 39

表示やランプ

こんなときは	どうするの？	📖
画面に🔴(赤色)が出る。	● バッテリーが消費しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	22
画面に🔴が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—
タリーランプが点灯しない。	● ④その他機能メニュー ▶ 「タリーランプ」で、「前部(前部タリーランプ)」または「後部(後部タリーランプ)」を「入」にする。	237
タリーランプが速く点滅する。	 (1秒に4回の点滅) ● バッテリーが消費している。十分に充電されたバッテリーと交換する。 ● CF AとCF B、またはSDカードに空き容量がない。別のメモリーカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。 ● システムエラーが発生している。電源を入れなおしても解決しないときは、故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	22 38 165 291
タリーランプがゆっくり点滅する。	 (1秒に1回の点滅) ● CF AとCF Bを合わせた空き容量が少なくなっている。記録中でないスロットのCFカードを別のカードと入れ換える。 ● SDカードの空き容量が少なくなっている。別のSDカードと入れ換える。	38 39 41
画面に🔴(赤色)が出る。	● SDカードエラー。SDカードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、MP4クリップ／静止画をバックアップしてSDカードを初期化する。	41 42
撮影を中断しても、CFカードアクセスランプまたはSDカードアクセスランプが赤く点灯している。	● 撮影したクリップをメモリーに書き込んでいる。故障ではない。	—
画面で🔴が点滅し続ける。	● メディアモードでGPSレシーバー GP-E2(別売)を接続した。GP-E2を取り外し、カメラモードで接続する。	121
画面でGen.が点滅し続ける	● 本機がロック(GENLOCK)できない同期信号が入力された。00:00 TC/UB設定メニュー ▶ 「Time Code」 ▶ 「XF互換同期」を変更するか、入力信号を変更する。	235

■ 画面や音

こんなときは	どうするの？	📖
有機ELモニターの画面が暗い。	● <input checked="" type="checkbox"/> OLED/VF設定メニュー ▶ 「OLED設定」の「明るさ」で調整する。一時的に明るくするときは、「輝度アップ」で明るくすることもできる。	33
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	22
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。それでも解決しないときは、 👉 その他機能メニュー ▶ 「リセット」 ▶ 「全設定」を行う。Hour Meter(リセット後の使用時間)を除く本機の設定が初期状態に戻る。	22 236
画面にノイズが出る。	● 磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い時期や電波が発生する場所から離れて本機を使用する。	—
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。故障ではない。👉 カメラ設定メニューの「フリッカー低減」を「Automatic」にするか、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると軽減することがある。電源周波数が50 Hzのときは1/50秒*または1/100秒を、60 Hzのときは1/60秒または1/120秒を設定する。 * フレームレートによっては選択できない。	59
音声記録されない。	● AUDIO IN (音声入力)切り換えスイッチが正しく切り換えられていない。 ● INPUT端子にファンタム電源が必要な外部マイクを取り付けたときに、INPUT1 / INPUT2端子切り換えスイッチを「MIC + 48V」に切り換えていない。 ● MIC端子に接続している外部マイクの電源が入っていないか、または電池が切れている。	105 109 —
音声極端に小さい。	● AUDIO (録音レベル)切り換えスイッチを「M(マニュアル)」にしていて、録音レベルをしばっている。または、4 ch記録時に、👉 オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「CH3/CH4モード」を「Manual」に設定して、「CH3/CH4 Level」(録音レベル)の値が小さすぎる。画面のオーディオレベルメータで確認しながら適正なレベルに調整する。 ● マイクのアッテネーターを「入」にしている。アッテネーターを「切」にする。	110 110 108
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● 大きな音の近く(打上げ花火やコンサートなど)で撮影すると、このようになることがある。マイクアッテネーターを使うか、録音レベルを手動で調整する。	110 108 110
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	● スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 ● ヘッドホンははずす。	158

■ アクセサリー

こんなときは	どうするの？	📖
メモリーカードが入らない。	● CFカードはCFカードスロットに、SDカードはSDカードスロットにそれぞれ正しい向きで入れる。	39 41

こんなときは	どうするの？	📖
CFカードに動画を記録できない。	● 対応しているCFカードを確認する。	38
	● はじめて使用するとき、CFカードを本機で初期化する。	42
	● CFカードに空き容量がないか、または記録可能なクリップ数(999個)を超えた。CFカードの不要なクリップを消すか、別のCFカードと入れ換える。	165
		39
SDカードにMP4動画／静止画を記録できない。	● 対応しているSDカードを確認する。	38
	● はじめて使用するとき、SDカードを本機で初期化する。	42
	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。	41
	● SDカードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なMP4動画／静止画を消す。	222
	● ファイル番号が最大になったため、MP4動画／静止画をカードに記録できない。🔗その他機能メニュー>「ファイル番号」を「オートリセット」にして、新しいSDカードを入れる。	124
メモリーカードへの書き込み／読み出しが遅くなった。	● 記録や消去を繰り返すとこのようになることがある。メモリーカードに記録されている動画／静止画をバックアップしたあと、メモリーカードを初期化する。	179
		42
リモコン(付属)が動作しない。	● 🔗その他機能メニューの「ワイヤレスコントローラー」を「入」にする。	45
	● リモコンの電池を交換する。	
リモートコントローラー RC-V100(別売)または市販のリモコンが動作しない。	● 🔗その他機能メニュー>「REMOTE端子」を、RC-V100のときは「RC-V100」に、市販のリモコンのときは「Standard」に設定する。	46
	● 本機の電源を切ってリモコンを再接続したあと、本機の電源を入れる。	—
	● カスタムピクチャーファイルを選んでいないと、RC-V100からカスタムピクチャーの設定を調整できない。カスタムピクチャーファイル(C1～C9のいずれか)を選ぶ。	141

■ 他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用するとき、テレビやアンテナケーブルからACアダプターを離す。	—
再生しても、外部モニターに映像が出ない。	● 本機と外部モニターとの接続が正しく行われていない。ケーブルの接続を確認する。	173
	● 外部モニターの設定を、接続した端子に切り換える。	—
HDMIケーブルで接続しているとき、外部モニターに映像や音が出ない。	● HDMIケーブルを抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。	—
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。	—
	● パソコンの別のUSB端子につなぐ。	
	● MXFインデックス画面またはMP4インデックス画面を表示中にUSB接続を行う。	

■ ネットワーク接続

ネットワーク接続に関するトラブルについては、ここで説明する内容をご確認ください。お使いのネットワーク機器の説明書も合わせてご覧ください。

はじめに確認してください

- アクセスポイントやパソコンなどのネットワーク機器と本機の電源は入っていますか？
- ネットワークの設定が完了し、正しく動作していますか？
- パソコンなどのネットワーク機器は、本機と同じネットワークに正しく接続していますか？
- Wi-Fi接続の場合、本機をアクセスポイントまたはパソコンなどWi-Fi対応機器から見通しの良い場所に置いていますか？

こんなときは	どうするの？	📖
アクセスポイントに接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● Wi-Fi接続をするとき、アクセスポイントでステルス機能を有効にしていると、本機からアクセスポイントを検出できない。「手動設定」で接続するか、アクセスポイントのステルス機能を無効にする。 ● 保存しておいたメニュー設定を本機に読み込むと、暗号化キーとパスワードが解除される。再度、ネットワーク設定を行う。 ● 電波状況が悪いが、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。 	— 186 260
Wi-Fiのカメラアクセスポイントで、本機に接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機的全設定をリセットすると、ネットワーク設定が解除される。再度、設定を行う。 ● 電波状況が悪いが、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。 	186 260
有線LANに接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● LANケーブルには、カテゴリ 5e以上のSTPケーブルを使用する。 ● 別のLANケーブルで接続する。 ● 本機的全設定をリセットすると、ネットワーク設定が解除される。再度、設定を行う。 ● 本機と接続しているネットワーク機器が正しく動作しているか確認する。100BASE-Tで通信するときはギガビットに対応したネットワーク機器を使用する。 	— — 194 —
LANアクセスランプが赤色に点灯した後、消灯する	● LANケーブルが抜けたか、接続先のネットワーク機器と通信できない。LANケーブルの接続とネットワーク機器を確認する。	—
ブラウザープレビューが起動できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 📌その他機能メニュー ▶ 「ブラウザープレビュー」でブラウザープレビューを有効にする。 ● ネットワーク機器のWebブラウザーに入力したURLが間違っている。本機の画面に表示されているURLを入力する。 ● SDカードカバーが開いているか、SDカードが入っていない。動画／静止画が記録されたSDカードを入れ、カバーを閉める。 	214 214 41
ブラウザーリモートが起動できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 📌その他機能メニュー ▶ 「ネットワーク機能」 ▶ 「ブラウザーリモート」でブラウザーリモートを有効にする。 ● ネットワーク機器のWebブラウザーに入力したURLが間違っている。本機のNetwork Settings 4/12で本機のIPアドレスを確認し、URLを入力する。 ● ユーザー名とパスワードが間違っている。本機に設定したユーザー名とパスワードを入力する。 	199 251 199

こんなときは	どうするの？	📖
ネットワーク機器のWebブラウザで、ブラウザリモートまたはブラウザプレビューの画面が正しく表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ブラウザリモート／ブラウザプレビューが対応していないOSやWebブラウザを使用した。キヤノンのホームページで動作環境を確認する。 ● Webブラウザの設定で、CookieとJavaScriptが無効になっているときは、有効にする。 	—
Wi-Fi対応機器のブラウザプレビュー画面で、動画がスムーズに再生されない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電波状況が悪いか、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。 ● 通信状態によっては、動画がスムーズに再生されないことがある。 ● 本機を有線LANでネットワークに接続する。 	260 — 194

Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法

ここでは、Wi-Fi接続に関する注意点と、トラブル発生時の一般的な対応方法を説明します。Wi-Fiを使用しているときに「通信速度が遅くなる」、「接続が途切れる」などの現象が起きたときには、以下の例を参考に対応してください。

アクセスポイントの設置場所について

- Wi-Fiを室内で使用するときは、本機を使用する部屋に設置してください。
- 本機との間に人や遮蔽物が入らない、見通しの良い場所に設置してください。
- 本機にできるだけ近付けて設置してください。特に、雨天の屋外で使用すると、電波が雨に吸収されて接続が途切れることがあります。

周囲の電子機器について

- 周囲にある電子機器の影響（電波の干渉）で通信速度が遅くなるときは、5 GHz帯の電波を使用するか、チャンネルを変更すると、問題を解消できることがあります。
- IEEE 802.11b/g/nの無線LANでは、電子レンジやコードレス電話機、ワイヤレスマイク、Bluetooth機器などと同じ2.4 GHz帯の電波を使用します。このため、周囲にこれらの機器があると通信速度が遅くなります。
- 本機と同じ周波数帯を使用するアクセスポイントが近くで稼働していると、通信速度が遅くなります。

本機やアクセスポイントを複数台使用するとき

- 同一ネットワーク内の機器のIPアドレスが重複しないようにしてください。
- 同じアクセスポイントにXF205を2台以上接続すると、通信速度が遅くなります。
- IEEE 802.11b/gまたはIEEE 802.11n (2.4 GHz帯)のアクセスポイントを複数台使用するときは、電波干渉を少なくするため、無線LANのチャンネルの間隔を、「1、6、11」、「2、7、12」、「3、8、13」のように4チャンネル分空けてください。5 GHz帯の電波を使用するIEEE 802.11a/nが使用可能なときは、IEEE 802.11a/nに切り換え、異なるチャンネルを設定してください。

エラーメッセージ

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。ネットワーク機能使用時のメッセージについては264ページをご覧ください。なお、メッセージの冒頭に、「CFA」、「CF B」、「SD」などが表示されることがあります。これは、エラーが発生した記録メディアを表わします。

メッセージ	原因と対処	□
空き容量がありません	<ul style="list-style-type: none"> ● メモリーカードに空き容量がない。別のメモリーカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。 ● CF A(CF B)に空き容量がないため記録を開始できない。もう一方のスロットに切り換えてから撮影する。 	38 165 43
空き容量がわずかです	<ul style="list-style-type: none"> ● CF AとCF Bを合わせた空き容量が少なくなっている。記録中でないスロットのCFカードを別のカードと入れ換える。 ● SDカードの空き容量が少なくなっている。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。 	39 41 165
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOOK側になっているため、カードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	41
画像がありません	● SDカードに静止画が記録されていない。静止画を記録してから再生する。	218
カバーがあいています	● カメラモードに切り換えたとときに、CFカードカバーまたはSDカードカバーが開いていた。メモリーカードを入れたらカードカバーを閉じる。	39 41
管理ファイルエラー 記録できません	● MXFクリップの管理情報に書き込みできないため、記録できない。他の機器でCFカード内のファイルを操作すると、このようになることがある。CFカードに記録されているMXFクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。	179 42
記録できません	● 管理情報が壊れた*1か、またはエンコーダーにエラーが発生したため、MXFクリップを記録できない。電源を入れなおしてカードを出し入れするか、別のCFカードと入れ換える。それでも解決しないときは、カメラ修理受付センターにご相談ください。	39 291
記録を中止しました		
クリップがありません	● メモリーカードにクリップが記録されていない。クリップを記録してから再生する。	48
クリップ数がいっぱいです	<ul style="list-style-type: none"> ● 記録中のCFカードがMXFクリップ数の上限(999個)に達した。もう一方のスロットに切り換えるか、別のCFカードと入れ換える。 ● ダブルスロット記録時に、両CFカードのクリップ数がいっぱいでは記録できない。 	43 39 —
このカードでは動画記録できないことがあります	● SDスピードクラスに対応していないカードまたはスピードクラス2 / 4のSDカードを入れた。SDスピードクラス6または10のカードを使用する。	38
このクリップは修復が必要です 修復しますか？	● 記録中に停電したなどMP4クリップの情報に不具合があるため、修復を行う必要がある。修復を行うときは、「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。	44
再生できない画像です	● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした静止画は再生できないことがある。	—
再生できません	● 管理情報が壊れた*1か、またはデコーダーにエラーが発生したため、再生できない。電源を入れなおしてカードを出し入れする。それでも解決しないときは、カメラ修理受付センターにご相談ください。	39 291
サポートしていない管理情報は消去されます	● キヤノン製の他の業務用ビデオカメラで初期化したCFカードを入れると、このようになることがある。CFカードの内容を確認する。	—
システムエラー	● 電源を入れなおしても解決しないときは、故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	291
修復できませんでした	● CF A(CF B)を修復できなかった。カードに記録されているMXFクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。	179 42

*1 破損した管理情報は修復できません。また、管理情報が破損したCFカード / MXFクリップを、ソフトウェア (Canon XF Utilityまたはノンリニア編集ソフトウェア用プラグイン) で読み込むことはできません。

メッセージ	原因と対処	📖
操作は無効です	<ul style="list-style-type: none"> ● 次にあげる無効な操作を行った。 <ul style="list-style-type: none"> • ショットマークを同じフレームに付加しようとした。 • OKマーク、チェックマークを同じクリップに付加しようとした。 • フレーム記録モードまたはインターバル記録モードのときにショットマークを付加しようとした。 • 特殊記録モードで撮影した直後にレックレビューを行おうとした。 • メモリーカードが入っていないときに、START/STOPボタン操作、またはMXF+MP4モードのMP4動画の記録操作を行った。 	—
パソコンで安全な取りはずしをするまでは ● USBケーブルをぬかないでください ● 電源をはずさないでください	● メディアモードで、本機をUSBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作はできない。本機のメモリーカード内のデータが破損しないよう、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。	—
バッテリー情報を取得できません このバッテリーを使用しますか？	<ul style="list-style-type: none"> ● キヤノンのインテリジェントリチウムイオンバッテリー以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 ● キヤノンのインテリジェントリチウムイオンバッテリーを使用しているときは、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。 	— 291
バッテリーパックを取り換えてください	● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	22
バッファオーバーです 記録を中止しました	<ul style="list-style-type: none"> ● メモリーカードの書き込み速度が遅いため、記録を中断した。推奨のメモリーカードを入れる。 ● スロー&ファーストモーション記録を行うときはClass 10のカードを使用する。 	38
非対応メディアです	● 容量が512MB未満か、またはUDMA非対応のためCF A(CF B)を使用できない。別のカードと入れ換える。	39
ファイル名が作成できません	● フォルダー番号やファイル番号が最大になった。👉その他機能メニュー ▶ 「ファイル番号」を「オートリセット」にしてカードを初期化するか、MP4動画または静止画をすべて消す。	124 42 165
ファンエラー	● 冷却ファンが故障した可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	291
1クリップの記録上限です 記録を停止しました	<ul style="list-style-type: none"> ● 1つのMXFクリップ中に記録できる映像ファイルの数*2が上限に達したため、記録を停止した。 <p>*2 記録中、映像ファイルのサイズが2 GBに達すると自動的に新しいファイルに記録し、最大99個まで記録できる。なお、スローモーション撮影時の映像ファイルサイズは1 GBとなる。</p>	—
50.00 Hzで記録されています CF A(CF B)のデータの確認と初期化をお勧めします	● CF A(CF B)内のMXFクリップがPAL方式で記録されている。CFカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。	42
CF A(CF B) (CF A / CF B) (🔒)にアクセス中です 取り出さないでください	● メモリーカードにアクセス中に、カードカバーをあけた。カードカバーを閉める。	39 41
CF A(CF B)にエラーが発生しました	● CF A(CF B)を認識できないか、またはアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。	39

メッセージ	原因と対処	📖
CF A(CF B)のデータの確認と初期化をお勧めします	<ul style="list-style-type: none"> ● 次の理由によりCF A(CF B)を使用できない。カードに記録されているMXFクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。 <ul style="list-style-type: none"> • CFカードに異常があるため、記録・再生できない。 • CFカードの情報が取得できない。 • パソコンなど他の機器で初期化されている。 • CFカード内にパーティションが設定されている。 	179 42
CF A(CF B)は修復が必要です修復しますか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 記録中に停電したなどCFカード内の情報に不具合があるため、修復を行う必要がある。修復を行うときは、「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。 	44
CF A→CF B (CF B→CF A)切り換えました	<ul style="list-style-type: none"> ● リレー記録またはスロット切り換え操作 (SLOT SELECTボタンを押す)により、記録先がCF AからCF B(CF BからCF A)に切り換わった。 	—
CF A→CF B (CF B→CF A)まもなく切り換えます	<ul style="list-style-type: none"> ● CF A(CF B)の空き容量が少なくなったため、リレー記録によって、約1分後に記録先スロットが切り換わる。 	—
CFスロット切り換えできません	<ul style="list-style-type: none"> ● 撮影中など、CFスロットの切り換えができないときにSLOT SELECT(スロット選択)ボタンを押した。撮影終了後にCFスロットを切り換える。 ● MP4モードのときにSLOT SELECT(スロット選択)ボタンを押した。 	43
INFRARED ON/OFFが切り換わりましたフォーカスを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> ● INFRARED(赤外線撮影)切り換えスイッチを切り換えると、ピントがずれることがある。フォーカスを確認する。 	86
SDカードを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> ● マルチメディアカードまたは64MB以下のSDカードを入れた。推奨のカードを入れる。 	38
	<ul style="list-style-type: none"> ● SDカードにエラーがあり、記録や再生ができない。SDカードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。 	41
Shot Markエラー	<ul style="list-style-type: none"> ● ショットマークが付加できなかった。カメラモードの場合、再度試みて解決しないときは、撮影終了後にメディアモードで行う。メディアモードの場合、再度試みて解決しないときは、一度電源を入れなおして、再度行う。 	169
Shot Markがありません	<ul style="list-style-type: none"> ● ショットマークインデックス画面で、クリップのショットマークを消去したことによって、ショットマークが付加されたクリップがなくなった。INDEX(インデックス)ボタンを押してMXFインデックス画面に戻る。 	155
Shot Mark数オーバー	<ul style="list-style-type: none"> ● ショットマーク数*が最大になったため、付加できない。 * ショットマーク1とショットマーク2で合計100個まで。 	—
UDMA 4以上のメディアをお使いください	<ul style="list-style-type: none"> ● UDMA 4未満のCFカードが入っている。UDMA 4以上のカードを推奨します。 	38
Zoom駆動音が記録されることがあります	<ul style="list-style-type: none"> ● 撮影中にズーム操作を行うと、ズームレンズの動作音が記録されることがある。ズーム操作は撮影一時停止中に行う。 	—
SD のデータの確認と初期化をお勧めします	<ul style="list-style-type: none"> ● 他機で初期化したSDカードを入れた。本機で初期化する。 	42
<input checked="" type="checkbox"/> Markエラー	<ul style="list-style-type: none"> ● チェックマーク (OKマーク)が付加できなかった。カメラモードの場合、再度試みて解決しないときは、メディアモードで行う。メディアモードの場合、再度試みて解決しないときは、一度電源を入れなおして、再度行う。 	162
<input checked="" type="checkbox"/> Markエラー		

■ ネットワーク機能使用時

インフラストラクチャーの場合は、お使いのアクセスポイント（無線親機）の説明書も合わせてご覧ください。

メッセージ	原因と対処	📖
アクセスポイントが見つかりませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ● アクセスポイント検索を実行したが見つからなかった。アクセスポイントが正常に動作しているか確認して、もう一度接続を行う。 ● アクセスポイントのステルス機能を有効にしていると、見つからない。ステルス機能を無効にする。 ● アクセスポイントのMACアドレスフィルタリングを有効にしていると見つからないことがある。ビデオカメラのNetwork Settings 1/12ステータス画面で本機のMACアドレスを確認し、アクセスポイントに設定する。 	— — 251
カードカバーが開いたためネットワーク機能を停止します。 接続できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワーク機能がカードにアクセス中に、カードカバーが開けられた。ネットワーク機能を中止し、ネットワーク接続を切断する。 ● アクセスポイントなどのネットワーク機器に接続できなかった。 ● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。 	— 260
ファイル転送は完了していません	<ul style="list-style-type: none"> ● 前回使用時、FTPファイル転送中に電源が切られた。もう一度ファイル転送を行う。 	207
複数のアクセスポイントが検出されました もう一度操作してください	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のWi-Fi機器がWPSのプッシュボタン方式で接続を行っている。しばらくしてから操作するか、「WPS：PINコード」または「アクセスポイント検索」で接続する。 	189
転送するファイルがありません	<ul style="list-style-type: none"> ● 転送対象のファイルはすべて転送済みである。 	—
ネットワーク機能が正しく動作していません	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワーク機能にハードウェアエラーが発生した。本機の電源を入れ直す。それでも解決しないときは、カメラ修理受付センターにご相談ください。 	291
ネットワーク接続が切れました	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワーク接続中に、接続先のアクセスポイントまたはパソコンなどのネットワーク機器に異常が発生した。接続先を確認して、もう一度、接続を行う。 ● 通信状態が悪くなったため無線ネットワークの接続が切断された。しばらく待つ、または、周囲にある電子機器を停止するか、それらから離れて、もう一度、接続する。 	— 260
ネットワーク設定を確認してください	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークに接続できない。ネットワークの接続設定を確認する。 	251
ワイヤレスマイクロホン接続中はWi-Fiを使用できません	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機にワイヤレスマイクロホンWM-V1を接続していると、Wi-Fi機能を同時に使用できない。本機からWM-V1を取り外し、WM-V1の電源を切る。 	—
FTPサーバーが見つかりません	<ul style="list-style-type: none"> ● FTPサーバーが見つからなかった。本機のFTPサーバー設定を確認する。 	251
FTPサーバーにファイルを転送できません	<ul style="list-style-type: none"> ● FTPサーバーにファイルを転送できなかった。FTPサーバーの記憶装置（ハードディスクなど）に空き容量があるか確認する。 	—
FTPサーバーにフォルダーを生成できません	<ul style="list-style-type: none"> ● FTPサーバーにフォルダーを作成できなかった。FTPサーバーのアクセス権限を確認する。 	—
FTPサーバーにログインできません	<ul style="list-style-type: none"> ● FTPサーバーにログインできなかった。本機のFTPサーバー設定の「ユーザー名」と「パスワード」を確認する。 	251
FTP通信中にエラーが発生しました ファイル転送は完了していません	<ul style="list-style-type: none"> ● FTPファイル転送中に、通信エラーが発生した。ネットワーク機器と本機の電源を入れ直し、再度FTP転送を行う。 	—
IP アドレスが重複しています	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機と同じIPアドレスの機器が、同一ネットワーク内にあった。IPアドレスが重複している他機、または本機のIPアドレスを変更する。 	196

メッセージ	原因と対処	📖
IP アドレスを取得できませんでした	● DHCP サーバーを使用していないときは、Wi-Fi接続を「手動設定」で行い、IP アドレスを「マニュアル」で設定する。	191
	● DHCP サーバーを確認する。 ・DHCP サーバーは、電源が入っていて正常に動作しているか。 ・DHCP サーバーに割り当てられるアドレスに余裕はあるか。	—
	● DNS サーバーを使用していないときは、DNS アドレスを「0.0.0.0」に設定する。	193
	● 使用するDNS サーバーと同じIP アドレスを本機に設定する。	196
	● DNS サーバーを確認する。 ・DNS サーバーは、電源が入っていて正常に動作しているか。 ・DNS サーバーにIP アドレスと、そのアドレスに対応する名前が正しく設定されているか。	—
	● ゲートウェイ機能を持つアクセスポイントを使用しているときは、本機を含むすべてのネットワーク機器に、正しいゲートウェイアドレスを設定する。	193
LANケーブルが接続されていません	● 有線LANで接続時に、LANケーブルが接続されていなかった。本機またはネットワーク機器のLAN端子にケーブルが接続されていることを確認する。	—
Mediaを確認してください	● FTPファイル転送中にメモリーカードエラーが発生した。転送元のメモリーカードを確認し、再度FTP転送を行う。	—
Wi-Fiの暗号化キーが違います	● 認証方式に「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を選んだとき、または暗号化方式にWEPを選択したときに、入力した暗号化キー（WEPキー）の文字数／桁数が正しくない。英数字で入力するときは、5文字（64bit時）または13文字（128bit時）で、16進数で入力するときは、10桁（64bit時）または26桁（128bit時）で入力する。	190
Wi-Fiの暗号方式が違います	● 本機とアクセスポイントの認証／暗号化方式が異なる。本機をアクセスポイントの設定に合わせる。	186
Wi-Fiの認証ができませんでした	● アクセスポイントへの認証ができなかった。アクセスポイントの認証／暗号化方式を確認して、本機のWi-Fi設定をやり直す。	—
Wi-Fiの認証方式が違います	● 本機とアクセスポイントの認証／暗号化方式が異なる。本機をアクセスポイントの設定に合わせる。	—
WPSで接続できませんでした	● アクセスポイントの暗号化方式がWEPに設定されている。WPSで接続する場合、暗号化方式がWEPのアクセスポイントには接続できない。アクセスポイントの暗号化方式を変更するか、WPS以外の接続方法で接続する。	—
WPSで接続できませんでした もう一度操作してください	● WPS起動後に2分経過したため、アクセスポイントに接続できなかった。もう一度、WPS接続を行う。	—
	● WPS（プッシュボタン方式）で接続するときは、あらかじめアクセスポイントの説明書をご覧になり、アクセスポイントがWPS起動状態になるまで、WPSのボタンを押してください。	—

ネットワーク機器の画面に表示されるメッセージ

メッセージ	原因と対処	📖
A User is already accessing the server. Try again later. [Retry]	● 他のネットワーク機器が、すでにビデオカメラに接続している。他機の接続を解除してから「Retry」をタッチする。	—

安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落として壊した
- 内部に水や異物が入った



バッテリーを外して、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、カメラ修理受付センター（☎ 291）にお問い合わせください。

⚠ 警告 死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。

▶ 火災 感電 けが

雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。

▶ 感電



ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。

▶ 感電

ぬらさない。▶ 火災 感電 やけど

降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は特に気をつける。



禁止

液漏れしたバッテリーは使用しない。

▶ 皮膚の損傷 失明 発火

液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

分解や改造をしない。

▶ 発熱 感電 火災 けが



強い衝撃や振動を与えない。

▶ 火災 やけど けが

ストラップ使用時は特に注意する。有機ELモニターやレンズは割れるとけがの原因。



禁止

電源コードについて次のことを守る。

▶ 火災 感電

- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重いものを載せない



バッテリーやコイン型リチウム電池を熱しない、火中投入しない。▶ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。

▶ やけど けが

ショートして、高熱や液漏れのおそれあり。

充電中、長時間にわたる接触をしない。

▶ 低温やけど

海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC/ACコンバーターなどの電源につながらない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。▶ 火災 感電 けが

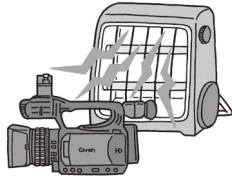
油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。

▶ 火災 感電 やけど

内部にほこりや水などが入るおそれあり。



直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。



▶ 火災 やけど けが
発熱や破裂のおそれあり。



禁止

病院などの医療機関内、および医療用電気機器の近くで使用しない。▶ 事故
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれあり。

航空機内で使用しない。▶ 事故
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれあり。

運転中に使用しない。▶ 交通事故

不安定な場所に置かない。

▶ けが
落下、転倒のおそれあり。



乳幼児の手の届くところに置かない。

▶ 感電 けが

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。

▶ 火災
内部に熱がこもるおそれあり。



禁止



強制

指定された機器を使う。▶ 火災 感電 けが

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。▶ 火災

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

▶ 火災 感電

コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く。▶ 火災 感電

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。▶ 火災

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。▶ けが 交通事故

⚠ 注意 傷害、物的損害を負うおそれがある内容です。

コイン型リチウム電池を金属ピンセットなどでつかまない。▶ やけど
発熱の恐れあり。

使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は使用しない。▶ 事故
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となることがある。

コード類は、つまずかないように配置する。▶ けが
足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下するおそれあり。

バッテリー、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは脱落しないように確実に取り付ける。▶ けが

バッテリーやコンバージョンレンズなどを取り外すときは、落とさないように気をつける。▶ けが

心臓ペースメーカーを装着している場合は、装着部位より22cm程度以上離して使用する。
電波により機器類の動作に影響をあたえるおそれあり。



禁止



強制



強制

取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

■ ビデオカメラ本体

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。レンズにホコリや砂が付くのを防ぐため、使用後は、ホコリなどの少ない場所でレンズフードを外してレンズキャップを取り付けてください。また、水滴が付いたときは乾いたきれいな布で、潮風にあたったときは固くしぼったきれいな布で、よくふき取ってください。万一、本機が水に濡れてしまったときは、早めにカメラ修理受付センター（☎ 291）にご相談ください。

強い磁気の発生する場所では使わない

磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ったりすることがあります。



強い光源にレンズやファインダーを向けない

ビデオカメラやファインダーを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けしないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。特に三脚を使用しているときやショルダーストラップを使って持ち運ぶときは、本体またはファインダーの角度を変えて直射日光が入らないようにしてください。本機を使用しないときは、レンズフードを外してレンズキャップを取り付けてください。

有機ELモニターの画面を...

つかんでもちあげない → 有機ELモニターの接合部が破損することがあります。
無理に閉じない → 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。



Wi-Fi機能について

本製品のうち、外国為替、および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

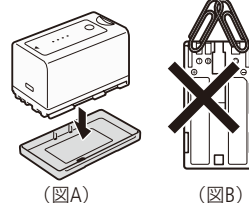
■ バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

保管するときは端子カバーを使う

バッテリーを持ち運ぶときや保管するときは、必ず端子カバーを取り付けてください（図A）。金属などでショートすると高熱や液漏れ、破損の原因となります（図B）。



正しく残量表示されないときは

バッテリーをフル充電してください。ただしバッテリーを高温度で長時間使ったり、フル充電後に放置したりすると、正しく表示されないことがあります。使用回数が多いバッテリーも正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃～30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り換えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。



充電済みバッテリーパックの見分けかた

ショート防止用端子カバーには□の穴があり、バッテリーに取り付けるときの向きによって□の穴から見える色が異なります。これを利用して端子カバーを取り付ければ、充電済みバッテリーを見分けることができます。

海外で使用するときは

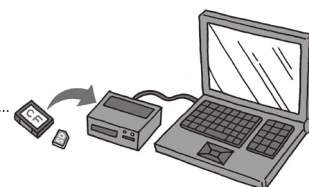
海外でも付属のACアダプター（AC100～240V 50/60Hzまでの電源に対応）を使用できます。お使いになる国のコンセント形状にあった変換プラグを使用してください。

- ACアダプターを変圧器に接続しないでください。故障するおそれがあります。

■ メモリーカード

データはバックアップする

ビデオカメラ本体／メモリーカードの故障や静電気などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。



端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。



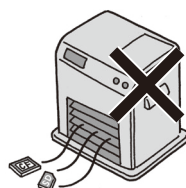
磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

メモリーカード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまるおそれがあります。



ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

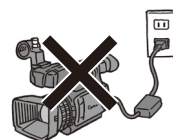


■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた (所要時間: 24時間)

- ① 電源を切る。
- ② ACアダプターを使って、本機をコンセントにつなぐ。



■ その他ご注意

情報漏洩に注意 (譲渡・廃棄するときは)

メモリーカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度メモリーカードの完全初期化／初期化 (42) を行った後、本機にレンズキャップを取り付けて最後まで撮影し、再度完全初期化／初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態ですると故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

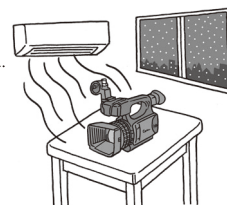
- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、メモリーカードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。



■ コイン型リチウム電池 (CR2025)

コイン型リチウム電池はリモコンに使用されます。捨てるときは、燃えないゴミとして処理してください (地域によって異なりますので指示に従ってください)。

- 本製品のWi-Fi機能は国内でのみ使用いただけます。国外ではご使用になれません。
- 本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談下さい。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談窓口へお問い合わせ下さい。

2.4 DS/OF 4

この表示は、2.4GHz帯を使用している無線機器であることを意味します。

本製品は、他の電波を発する機器（コードレス電話、電子レンジ、Bluetooth機器など）から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして電波干渉を避けて使用してください。

次の事項を行うと、法律で罰せられます。

本製品を分解、改造すること。本製品上の証明ラベルをはがすこと。

医療用の装置や、電子機器の近くで本製品を使用しないで下さい。医療用の装置や、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

36-64チャンネルは、電波法により屋外での使用が禁止されています。

本機に付属の電源コードは、本製品専用です。他の機器に使用することはできません。



- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
ホームページ <http://www.jbrc.com>
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

日常のお手入れ

大切なビデオカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

■ ビデオカメラ本体を清掃する

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズやハイスピードAF用外部センサーはいつもきれいに

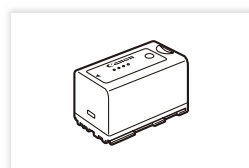
レンズやハイスピードAF用外部センサーの表面にホコリや汚れが付いていると、オートフォーカスがうまく動作しないことがあります。レンズやハイスピードAF用外部センサーは常にきれいに保つようにはしてください。レンズにホコリや汚れがついたときは、最初にブローアで表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。ハイスピードAF用外部センサーは、市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。

有機ELモニターについて

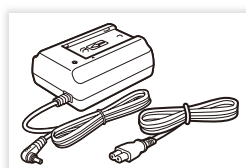
- 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、有機ELモニターの画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

アクセサリ紹介

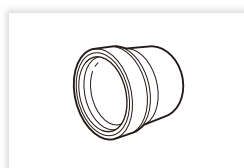
本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリと組み合わせて使用したときに最適な性能を発揮するように設計されておりますので、**キヤノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします**。なお、純正品以外のアクセサリの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、**弊社では一切責任を負いかねます**。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、**保証の対象外となり有償とさせていただきます**。あらかじめご了承ください。



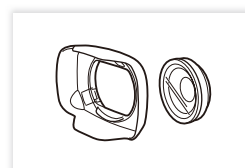
バッテリーパック
BP-955*、BP-975*



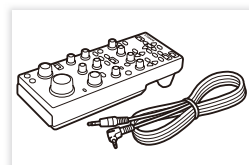
ACアダプター
CA-935



テレコンバーター
TL-H58



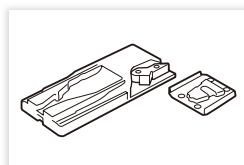
ワイドアタッチメント
WA-H58



リモートコントローラー
RC-V100



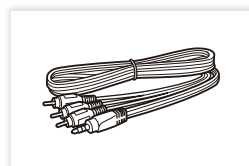
GPSレシーバー
GP-E2



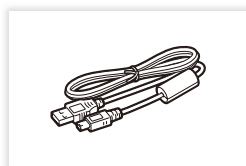
三脚アダプター
TA-100



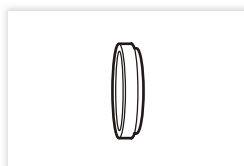
三脚ベース
TB-1



ステレオビデオケーブル
STV-250N



USBケーブル（インターフェース
ケーブル）IFC-400PCU



PROTECTフィルター 58mm、ND4Lフ
ィルター 58mm、ND8Lフィルター 58mm

* このバッテリーパックは、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位（目安）で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。



このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

主な仕様

XF205本体

システム	
記録方式	MXF動画：映像圧縮方法：MPEG-2 Long GOP 音声記録方式：リニアPCM、16 bit、48kHz、2ch / 4ch ファイルフォーマット：MXF MP4動画：MP4準拠 映像圧縮方法：MPEG-4 AVC/H.264 音声記録方式：MPEG-4 AAC-LC、16 bit、48kHz、2ch 静止画：DCF準拠、Exif Ver2.3準拠、静止画圧縮方法：JPEG
記録／再生信号形式	MXF動画：50 Mbps (CBR / 4:2:2 / 422P@HL)：1920×1080 / 59.94i、29.97P、23.98P 1280×720 / 59.94P、29.97P、23.98P 35 Mbps (VBR / 4:2:0 / MP@HL)：1920×1080 / 59.94i、29.97P、23.98P 1440×1080 / 59.94i 1280×720 / 59.94P、29.97P、23.98P 25 Mbps (CBR / 4:2:0 / MP@H14)：1440×1080 / 59.94i、29.97P、23.98P MP4動画：35 Mbps(VBR)：1920×1080 / 59.94P、[256 kbps] 24 Mbps(VBR)：1920×1080 / 29.97P、23.98P、[256 kbps] 17 Mbps(VBR)：1280×720 / 59.94P、[128 kbps] 9 Mbps(VBR)：1280×720 / 29.97P、23.98P、[128 kbps] 3 Mbps(VBR)*：640×360 / 29.97P、23.98P、[128 kbps] []内はオーディオビットレート。 * MXF+MP4モードのときのみ。
記録メディア	MXF動画：コンパクトフラッシュ (CF)カード Type I (2スロット) MP4動画／静止画：SD / SDHC / SDXCメモリーカード* * カスタムピクチャーファイル、設定データ、ユーザーメモの保存／読み込みにも使用。
記録時間 (連続記録時の目安)	MXF動画：16GB CFカード (50 Mbps、35 Mbps、25 Mbps)： 約40分、約55分、約1時間20分 64GB CFカード (50 Mbps、35 Mbps、25 Mbps)： 約2時間40分、約3時間45分、約5時間10分 MP4動画：16 GB SDカード (35 Mbps、24 Mbps、17 Mbps、9 Mbps、3 Mbps)： 約1時間、約1時間25分、約2時間5分、約3時間55分、約11時間25分 32 GB SDカード (35 Mbps、24 Mbps、17 Mbps、9 Mbps、3 Mbps)： 約2時間、約2時間55分、約4時間15分、約7時間50分、約22時間55分
撮像素子	1/2.84型 CMOS、有効画素：約291万画素 (2136×1362)
有機ELモニター	有機EL (3.5型、約123万ドット相当、視野率100%)
ビューファインダー	カラー液晶ファインダー (0.45型、約123万ドット相当、視野率99.8%)
レンズ	f=3.67 - 73.4 mm F=1.8 - 2.8 光学20倍ズーム 8枚羽根円形絞 35 mmフィルム換算時の焦点距離 約28.8 - 576 mm (ワイド画角がワイドのときは、約26.8 - 576 mm)
レンズ構成	10群12枚、非球面2面使用
フィルター径	58 mm
最短撮影距離	60 cm (ズーム全域) / フォーカスリミットOFF時は、1 cm (ワイド端)

システム	
フォーカス (焦点調整)	調整方法：マニュアルフォーカス、オートフォーカス、プッシュ AF AF方式： TTL自動焦点 (ハイスピードAF / ミディアムAF時は、TTL+外部測距)
手ブレ補正	光学式+電子補正 (スタンダードIS、ダイナミックIS、パワードIS)
被写体照度	最低被写体照度： 0.1ルクス 被写体照度範囲： 0.1ルクス ~ 10万ルクス (フルオートモードOFF、フレームレート59.94i、ゲイン33 dB、シャッタースピード1/4秒時)
NDフィルター	グラデーションND (オート時： 1/2、1/4、1/8が自動挿入される)
アイリス	オート、マニュアル
ゲイン	-6 dB ~ 27 dB (3 dBステップ)、33 dB、詳細設定時は-6.0 ~ 27.0 dB (0.5 dBステップ)
シャッタースピード (□ 59)	オート、スピード (ノーマル、ファイン)、アングル、クリアスキャン、スロー、切
露出	フルオートON / OFF、AEシフト、測光方式 (スタンダード、スポットライト、バックライト)
ホワイトバランス	オート (AWB)、プリセット設定 (太陽光 約5400K、電球 約3200K) *、色温度設定 (2000K ~ 15000K)、セットA、セットB * 色温度は目安です。
デジタルズーム	デジタルテレコン (約1.5x / 3.0x / 6.0x)、デジタルズーム (120倍)
赤外線撮影	赤外線撮影可、IRライトあり
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
Wi-Fi	無線LAN規格： IEEE802.11b / g / n (2.4 GHz帯) IEEE802.11a / n (5 GHz帯) 接続方法： WPS (プッシュボタン方式、PINコード方式)、アクセスポイント 検索、手動設定、カメラアクセスポイント 認証方式： オープン、WPA-PSK、WPA2-PSK 暗号化方式： WEP-64、WEP-128、TKIP、AES
静止画サイズ	1920×1080、1280×720 (カメラモード時のみ)

入・出力端子	
3G/HD-SDI端子	BNCジャック (出力のみ)、0.8 Vp-p / 75 Ω、不平衡 3G-SDI (SMPTE 424M、SMPTE ST 425-1準拠)： 映像 (1080P)、エンベデッドオーディオ、タイムコード (VITC/LTC) HD-SDI (SMPTE 292-1準拠)： 映像 (1080i、720P)、エンベデッドオーディオ、タイムコード (VITC/LTC)
MON.端子	BNCジャック (出力のみ)、0.8 Vp-p / 75 Ω、不平衡 HD-SDI (SMPTE 292-1準拠)： 映像 (1080P、1080i、720P)、エンベデッドオーディオ、タイムコード (VITC/LTC) SD-SDI (SMPTE 259M準拠)： 映像 (480i)、エンベデッドオーディオ、タイムコード (VITC/LTC)
HDMI OUT端子	HDMIコネクタ、出力のみ、1080/59.94P出力可能

入・出力端子	
AV OUT端子	Φ3.5 mm、4極ミニジャック、出力のみ 映像：1 Vp-p / 75 Ω、不平衡、SDアナログコンポジット映像信号 音声：-10 dBV(47 kΩ負荷時、出力レベル設定1 Vrms) / 3 kΩ以下、ステレオ音声信号
INPUT1端子 INPUT2端子	XLR(バランス)(①シールド、②ホット、③コールド)、2系統 感度(MIC時)：-60 dBu(マニュアルボリュームセンター、フルスケール-18 dB) / 600 Ω 感度(LINE時)：+4 dBu(マニュアルボリュームセンター、フルスケール-18 dB) / 10 kΩ Att.：20 dB
MIC(マイク)端子	φ3.5mmステレオミニジャック、 -72 dBV(マニュアルボリュームセンター、フルスケール-18 dB) / 600Ω Att.：20 dB
Ⓜ(ヘッドホン)端子	φ3.5 mmステレオミニジャック -∞~-12 dBV(16 Ω負荷、ボリュームMin~Max) / 50 Ω以下
GENLOCK/SYNC OUT端子	BNCジャック(GENLOCK時：入力のみ / SYNC OUT時：出力のみ)、1.0 Vp-p / 75 Ω
TIME CODE端子	BNCジャック(入出力兼用) 入力時：0.5 -18 Vp-p / 10 kΩ 出力時：1.0 Vp-p / 50 Ω
LAN端子	Ethernet(イーサネット)、1000BASE-T対応
USB端子	mini-B Receptacle、Hi-Speed USB(出力のみ)
REMOTE端子	φ2.5 mmステレオミニミニジャック

電源その他	
電源電圧	公称 DC 7.4 V(バッテリーパック)、DC 8.4 V(DC IN)
消費電力	8.4 W (ビットレート50 MbpsでMXF動画を記録中、AF合焦時、ファインダー / 有機ELモニターの明るさノーマル、SDI出力OFF時)
動作温度	0 °C ~ +40 °C
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	約144×158×264 mm (レンズフード、マイクホルダーユニット、アイカップ、グリップベルトを含まない) 約160×201×353 mm (レンズフード、マイクホルダーユニット、アイカップ、を含み、グリップベルトは含まない)
撮影時総重量	約1960 g (レンズフード、マイクホルダーユニット、アイカップ、グリップベルト、BP-955、CFカード1枚、SDカード1枚を含む)
本体質量	約1560 g (グリップベルトを含み、レンズフード、マイクホルダーユニット、アイカップ、バッテリーパック、メモリーカードは含まない)

■ 付属品

ACアダプター CA-935

定格入力	AC 100 ~ 240 V、50/60 Hz アダプターモード時： 44VA(AC 100V) ~ 57VA(AC 240V) チャージモード時： 38VA(AC 100V) ~ 50VA(AC 240V)
定格出力	アダプターモード時： 公称DC8.4 V、2.4 A チャージモード時： 公称DC8.4 V、1.5/2.0 A
使用温度	0℃ ~ +40℃
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約85×51×110 mm
質量	約345 g

バッテリーパック BP-955

使用電池	リチウムイオン (インテリジェントリチウムイオンバッテリー)
使用温度	0℃ ~ +40℃
公称電圧	DC 7.4 V
公称容量	5200 mAh
定格 (最小) 容量	37 Wh / 4900 mAh
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約38.2×43.5×70.5 mm
質量	約220 g

■ バッテリーの充電時間／使用時間の目安

充電時間の目安

バッテリーパック	BP-955	BP-975
充電時間*(ACアダプター CA-935を使用時)	約190分	約275分

* 周囲の温度や充電状態によって異なります。

使用時間の目安

3G/HD-SDI / MON.の各端子出力がOFFのときの使用時間です。

バッテリーパック	動画形式	ビットレート	ファインダー+OLED		
			連続撮影時間	実撮影時間	再生時間
BP-955	MXF	50 Mbps	約250分	約150分	約335分
	MP4	35 Mbps	約260分	約150分	約345分
BP-975	MXF	50 Mbps	約360分	約235分	約490分
	MP4	35 Mbps	約385分	約235分	約505分

* 実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入／切などの操作を繰り返したときの撮影時間です。

* 有機ELモニターを明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。

* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。



MEMO

バッテリーパックは予定撮影時間の2～3倍分を用意

ビデオカメラの消費電力は、撮影のしかたによって変化します。そのため、バッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなることがあります。撮影時には、予定撮影時間の2～3倍のバッテリーパックを用意することをおすすめします。

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

索引

ア

アイカップ	32
アイリス	69
アクセサリ	274
アサインボタン	138
アスペクト比	176
アワメーター	242
インターバル記録	125
映像伝送装置	211
エッジモニター	115
エラーメッセージ	261
オーディオリミッター	112
オートフォーカス	86
音声を記録する	105
音声をモニターする	112

カ

解像度	56
回転グリップ	35
カウントアップ方式	97
拡大表示	90
カスタムディスプレイ	233
カスタムピクチャー	141
カスタムファンクション	151
カメラダイレクト設定	58
カラーバー	113
キーロック	51
吸気口	55
記録信号形式	56
記録メディア	
: 使用可能なメモリーカード	38
: 初期化する	42
: CFカードスロット記録方式を選ぶ	43
: CFカードスロットを切り換える	43
: CFカードを入れる	39
: CFカードを修復する	44
: CFカードを取り出す	40
: SDカードを入れる／出す	41
クリップ	
: インデックス画面	154
: エクスパンダクリップインデックス画面	168
: コピーする	164

: 再生する	156
: 消去する	165
: 詳細情報を表示する	161
: ショットマークインデックス画面	167
: ショットマークを付加／消去する	169
: 代表画を設定する	170
: OKマーク／チェックマークを付加／消去する	162
グリップ	35
ゲイン	65
結露	270
広角	81
コンバージョンレンズ	85
コンパクトフラッシュカード	38

サ

再生	
: 静止画を再生する	220
: 動画を再生する	154
撮影	
: 静止画を撮影する	218
: 動画を撮影する	48
: MXF動画とMP4動画を同時に撮影する	131
撮影フレームレート	128
三脚に取り付ける	37
シャッタースピード	59
修理対応	290
修理について	291
出力信号形式	172
ジョイスティックガイド	157
仕様	275
使用時間	242、250
焦点距離ガイド	136
ショットマーク	116
ショルダーストラップ	36
ズーム	
: ズームリングで操作する	81
: ズームロッカーまたはリモコンで操作する	81
: ソフトズームコントロール	85
スキャンリバース記録	242
ステータス画面	246
スピーカー	158
スロー & ファーストモーション記録	128

静止画	
: 記録する	218
: 再生する	220
: 消去する	222
赤外 (IR) ライト	134
赤外撮影 (Infrared)	134
接続	
: 音声出力を選択する	177
: 外部モニターを接続する	173
: パソコンに保存する	179
: ヘッドホンでモニターする	112
設定データ	152
ゼブラパターン	95
測光方式	73

タ

ダイナミック	93
タイムコード	97
タイムコードホールド	99
タイムコードを外部同期する	101
ダブルスロット記録	43
タリーランプ	48
端子カバーを取り付ける／取り外す	36
チェックマーク	117
デジタルテレコン	80
テストトーン	113
手ブレ補正	93
電源	
: コンセントを使う	24
: バッテリーパックを使う	22
電源を入れる／切る	25
動画形式	56
トラブルシューティング	255
ドロップフレーム	98

ナ

ノンドロップフレーム	98
------------	----

ハ

排気口	55
波形モニター	114

バッテリー

: 残量を確認する	24、250
: 充電時間／使用時間	279
: 充電する	22
: 本体に取り付ける／取り外す	23
パワーセーブモード	54
パワードIS	93
ピーキング	89
日付・時刻	26
ビットレート	56
ファイル番号	124
ファインダー	
: 表示	33
ファンタム電源	109
フォーカス	
: オートフォーカス	86
: 顔検出AF	91
: フォーカスアシスト	89
: フォーカスリミット	92
: ブッシュ AF	90
: マニュアルフォーカス	88
ブラウザープレビュー	214
ブラウザーリモート	198
フリーラン	97
フリッカーを抑える	64
フルオートモード	50
ブレ記録	130
フレーム記録	126
フレームレート	56
ベクトルスコープ	115
ヘッドホン端子	112、158
望遠	81
保存	
: パソコンに保存する	179
ホワイトバランス	
: 色温度設定	76
: オートホワイトバランス	75
: プリセット設定	76
: ホワイトバランスセット	78

マ

マーカー	94
マイク	105

マイクの感度	108、109
マイクホルダー	31
マイメニュー	29
マクロ撮影	92
メタデータ	118
メッセージ	261
メニュー	
: 基本操作	27
: メニュー一覧	224
モニター接続	173

ヤ

有機ELモニター	33
ユーザービット	100
ユーザーメモ	118

ラ

リアルタイムプロキシ転送	205
リセット	236
リファレンスビデオ信号	101
リモートコントローラー	46
リモート撮影	45
リモコン	45
リレー記録	43
冷却ファン	55
レックラン	97
レックレビュー	123
レンズフード	31
録音レベル調整	110
露出補正	73

ワ

ワイド画角	227
ワイヤレスコントローラー	45

数字

3G/HD-SDI端子	174
4ch記録	106

記号

+48V	109
------	-----

その他

ACアダプター	24
AEシフト	73
AGC	66
AGCリミット	66
Att.	108、110
AV OUT端子	175
AWB	75
CameraAccess plus	205
CFカード	38
Data Import Utility	183
DC IN端子	24
Edge Monitor	115
FEC(エラー訂正)	212
FTPファイル転送	207
GENLOCK端子	101
GPS	121
HDMI OUT端子	173
Hour Meter	242、250
INPUT端子	105
IPストリーミング	211
LAN端子	194
MIC(マイク)端子	107
MON.端子	174
MP4インデックス画面	154
MP4ファイルフォーマット	56
MXFインデックス画面	154
MXFファイルフォーマット	2、56
OKマーク	117
POWER(電源)スイッチ	25
REMOTE(リモート)端子	46
SDカード	41
Shot Mark	116
TIME CODE端子	101
Vectorscope	115
Waveform Monitor	114
Wide DR	142
XF Utility	179
XLR	107
Ⓜ(ヘッドホン)端子	112、158

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- CompactFlash(コンパクトフラッシュ)は、SanDisk Corporationの商標です。
- CFロゴはCompactFlash Associationの商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、Mac OS、Final Cut Pro、App Storeは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- iOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Avid、Media Composer、NewsCutterは、米国および／またはその他の国におけるAvid Technology, Inc.またはその子会社の商標または登録商標です。
- Google、Android、Google Playは、Google Inc.の商標です。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2とWi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの商標です。
- 本書で使用している「WPS」は、Wi-Fi Protected Setupを意味します。
- JavaScriptは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

MPEG-2使用許諾について

個人使用目的以外で、MPEG-2規格に適合した本機を、パッケージメディア用に映像情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許使用許諾を取得する必要があります。この特許使用許諾はMPEG LA, L.L.C., (250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206 USA)から取得可能です。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and noncommercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

XF205は、DCFに準拠しています。DCFは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

本機器は、MicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

保証書と修理対応

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地での修理対応はご容赦ください。

■ 保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

■ 修理対応

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内に弊社修理受付窓口までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。修理受付窓口については、カメラ修理受付センター（☎ 291）にお問い合わせいただくか、弊社ホームページでご確認ください。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はご購入日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承ください。

修理を依頼されるときは

故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は十分な梱包でお送りください。

修理対応期間について

ビデオカメラの修理対応期間は、製造打ち切り後8年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地での修理対応はご容赦ください。

修理について

■ 修理に出すまえに

- 不具合症状の再現・確認のために、記録メディアをお預かりすることがあります。その場合、修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、必要最小限の範囲で記録メディア内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。



■ 修理のお問い合わせは

カメラ修理受付センター

050-555-99077 (全国共通)

9:00～18:00

1月1日～3日は休ませていただきます。電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようお願いいたします。なお、上記電話番号をご利用になれない場合は、043-211-9316をご利用ください。

- 購入年月日、型名「XF205」、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法(宅配便発送/弊社によるお引き取り)やお届けについてご案内いたします。



ビデオカメラの使用方法やData Import Utilityに関するご相談窓口は

キヤノンお客様相談センター
050-555-90004 (全国共通)

平日 9:00～17:00

※土・日・祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。

※上記番号をご利用になれない方は043-211-9790をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらないことがあります。

■保証書は製品の箱に添付されています

保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

キヤノン業務用デジタルビデオカメラホームページ

キヤノンデジタルビデオカメラのホームページを開いています。最新の情報が掲載されておりますので、ぜひお立ち寄りください。

デジタルビデオカメラ製品情報
canon.jp/prodv

キヤノン サポートページ
canon.jp/support

■本書の記載内容は2015年10月現在のものです

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。最新の使用説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6



Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクル
にご協力ください。